
データ集6

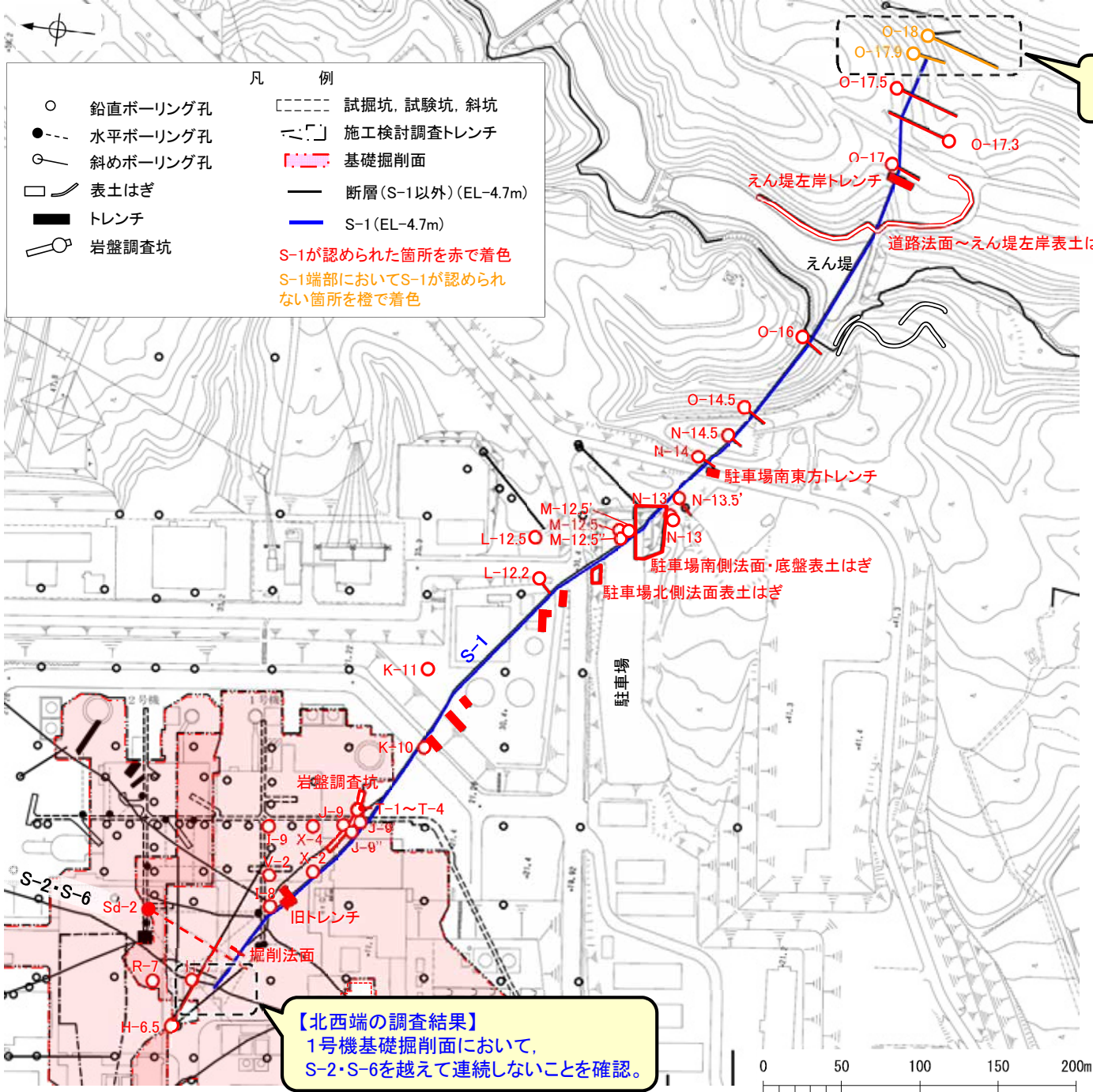
断層端部の調査結果

余白

(1) S-1端部の調査結果

S-1端部の調査結果　－概要－

■S-1端部の調査結果の概要を以下に示す。



【南東端の調査結果】
O-17.9孔、O-18孔より南東方に連続しないことを確認。

【北西端の調査結果】
1号機基礎掘削面において、
S-2・S-6を越えて連続しないことを確認。

S-1端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北西端	1号機基礎掘削面	北西端の止め
南東端	O-17.9孔	南東端の止め
	O-18孔	

	延長	走向/傾斜
S-1	780m	N60°W/80~70°NE*

* 走向は一般走向
傾斜は岩盤調査坑の値

調査位置図

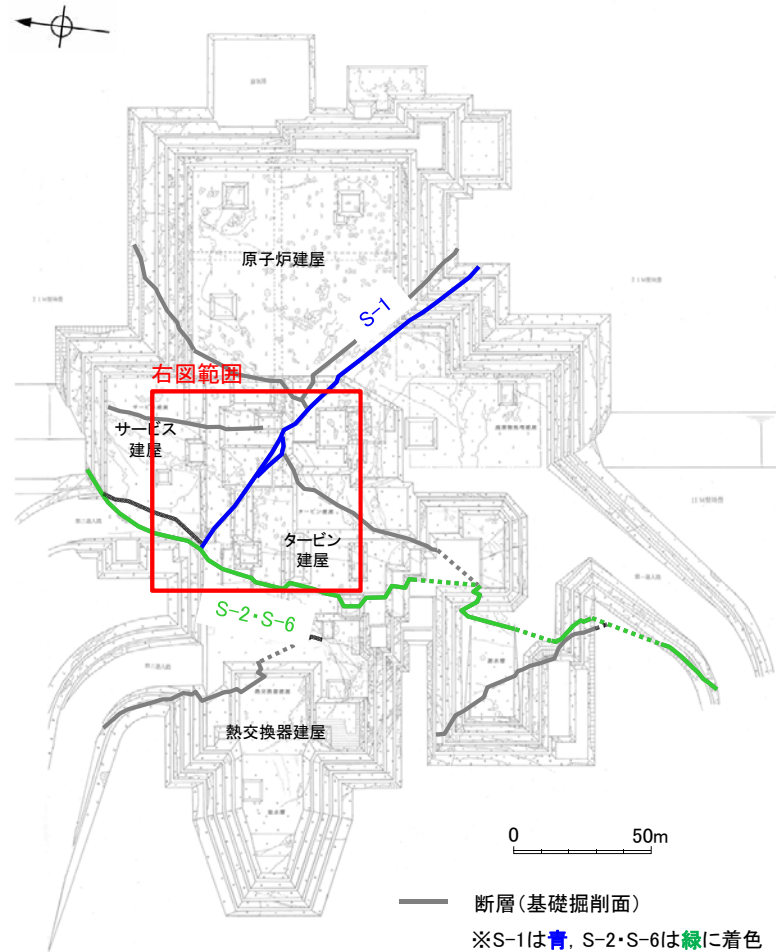
S-1端部の調査結果 ―北西端: 1号機基礎掘削面―

第553回審査会合
机上配布資料1 P.9-38 一部修正

■S-1北西端の調査結果を以下に示す。

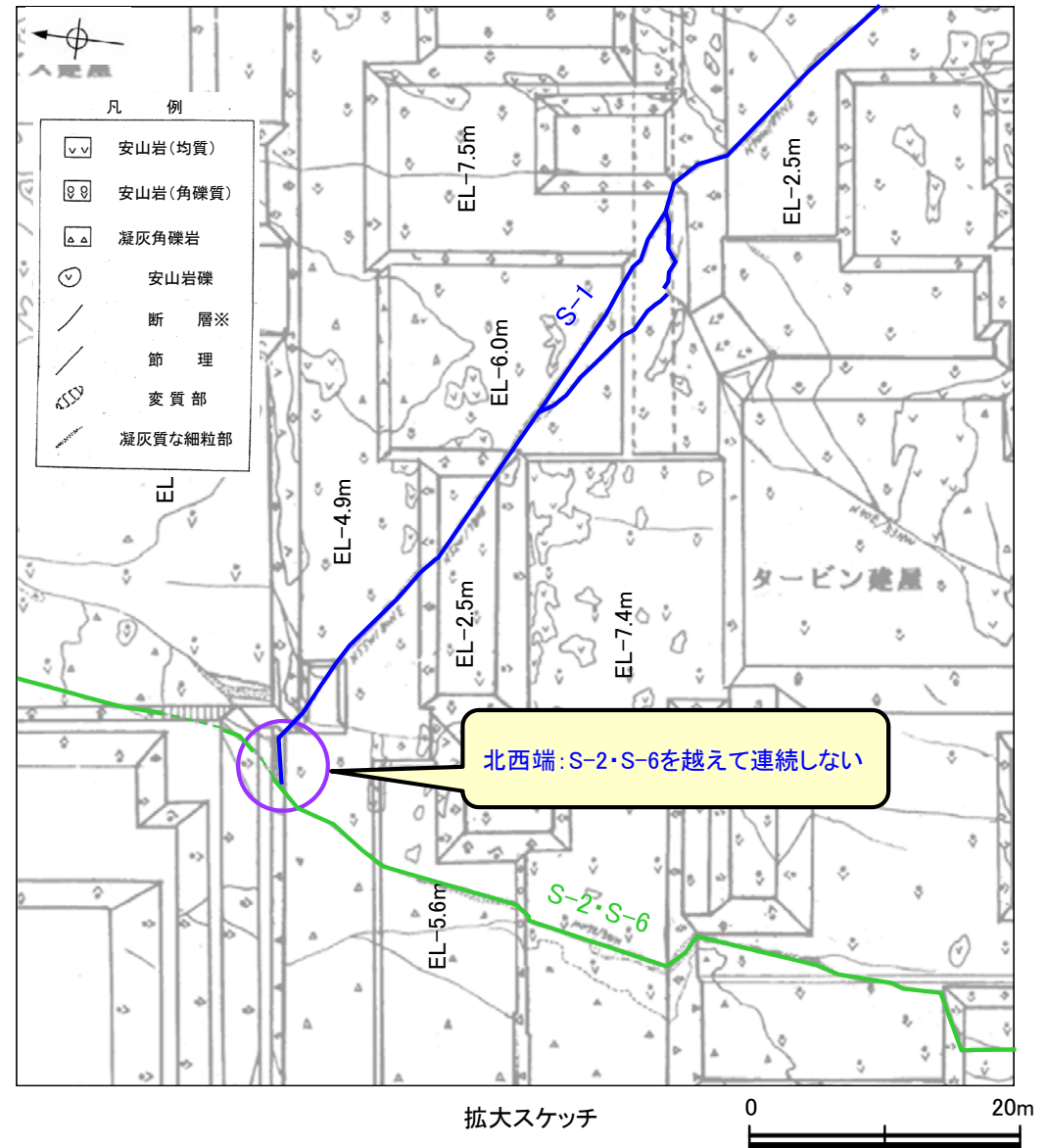
【S-1北西端の調査結果】

1号機基礎掘削面において、S-1はS-2・S-6を越えて連続しないことを確認。



1号機基礎掘削面

※S-1は青、S-2・S-6は緑に着色



拡大スケッチ

S-1端部の調査結果 ―南東端:O-17.9孔①―

■S-1南東端の調査結果を以下に示す。

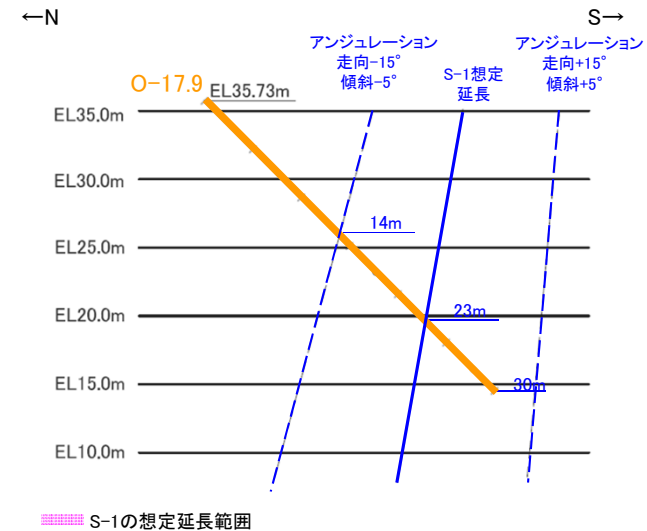
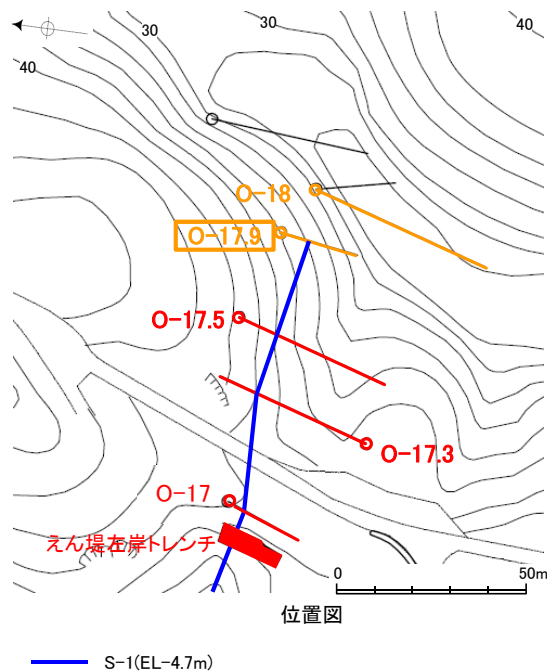
【S-1南東端の調査結果】

- ・基礎掘削面から南東方に追跡した結果、O-17.5孔までS-1を確認。
- ・O-17.3孔とO-17.5孔で確認したS-1の位置、走向・傾斜を考慮して、南東方への想定延長範囲を設定。
- ・O-17.9孔の想定延長範囲内に、S-1が認められないため、S-1はこれ以上連続しない。
- ・さらに、延長部のO-18孔においても、S-1が認められないことを確認している。

○南東端の止めとしているO-17.9孔の調査結果を以降に示す。

【O-17.9孔の調査結果】

- ・右の断面図に示すとおり、S-1の想定延長は、深度14m以深となる。
 - ・想定延長範囲において、S-1は認められない。
- (想定延長範囲のコア写真は次頁参照)

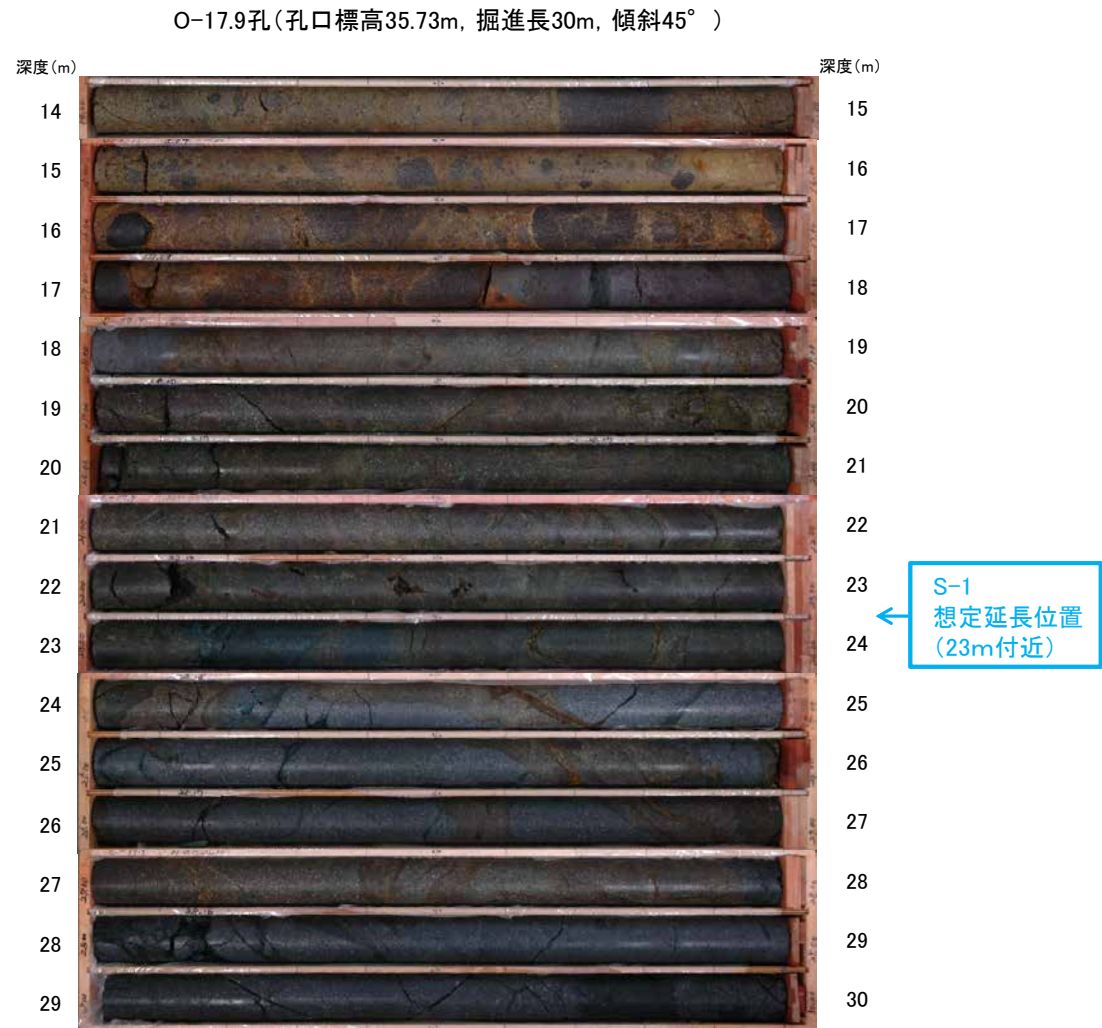


O-17.9孔断面図
(掘進方向)

S-1端部の調査結果 ー南東端:O-17.9孔②ー

・S-1想定延長範囲(深度14～30m)のコア写真を以下に示す。

柱状図はデータ集10 P.10-2-116



コア写真(深度14～30m)

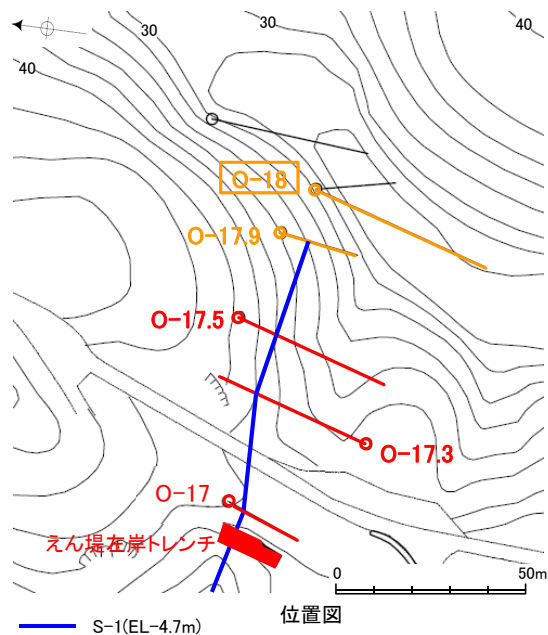
O-17.9孔において, S-1の想定延長範囲(深度14～30m)にS-1は認められない。

S-1端部の調査結果 ―南東端延長部:O-18孔①―

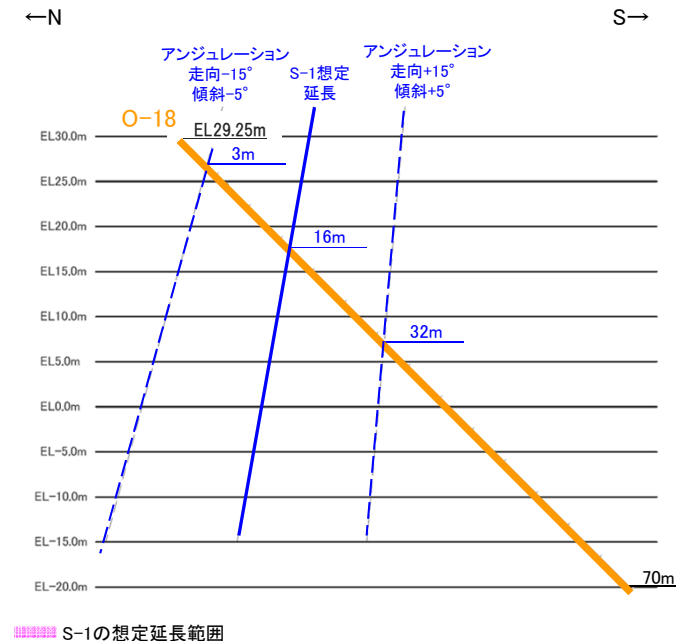
○南東端延長部のO-18孔の調査結果を以降に示す。

【O-18孔の調査結果】

- ・右の断面図に示すとおり、S-1の想定延長は、深度3m～32mとなる。
- ・想定延長範囲において、S-1は認められない。
(想定延長範囲のコア写真は次頁参照)



赤:S-1が認められる箇所
橙:S-1端部においてS-1が認められない箇所



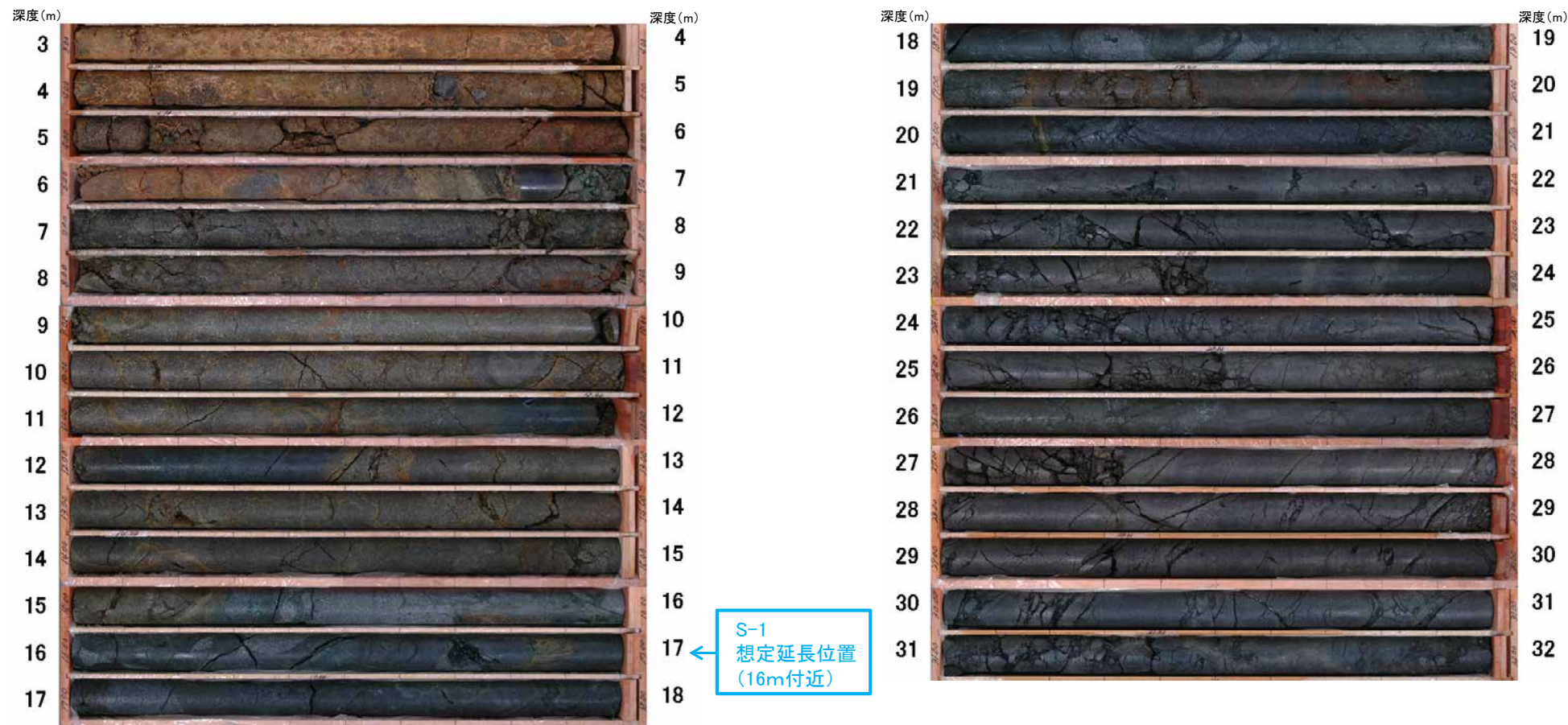
O-18孔断面図
(掘進方向)

S-1端部の調査結果 ー南東端延長部:O-18孔②ー

・S-1想定延長範囲(深度3～32m)のコア写真を以下に示す。

柱状図はデータ集10 P.10-2-117～118

O-18孔(孔口標高29.25m, 掘進長70m, 傾斜45°)

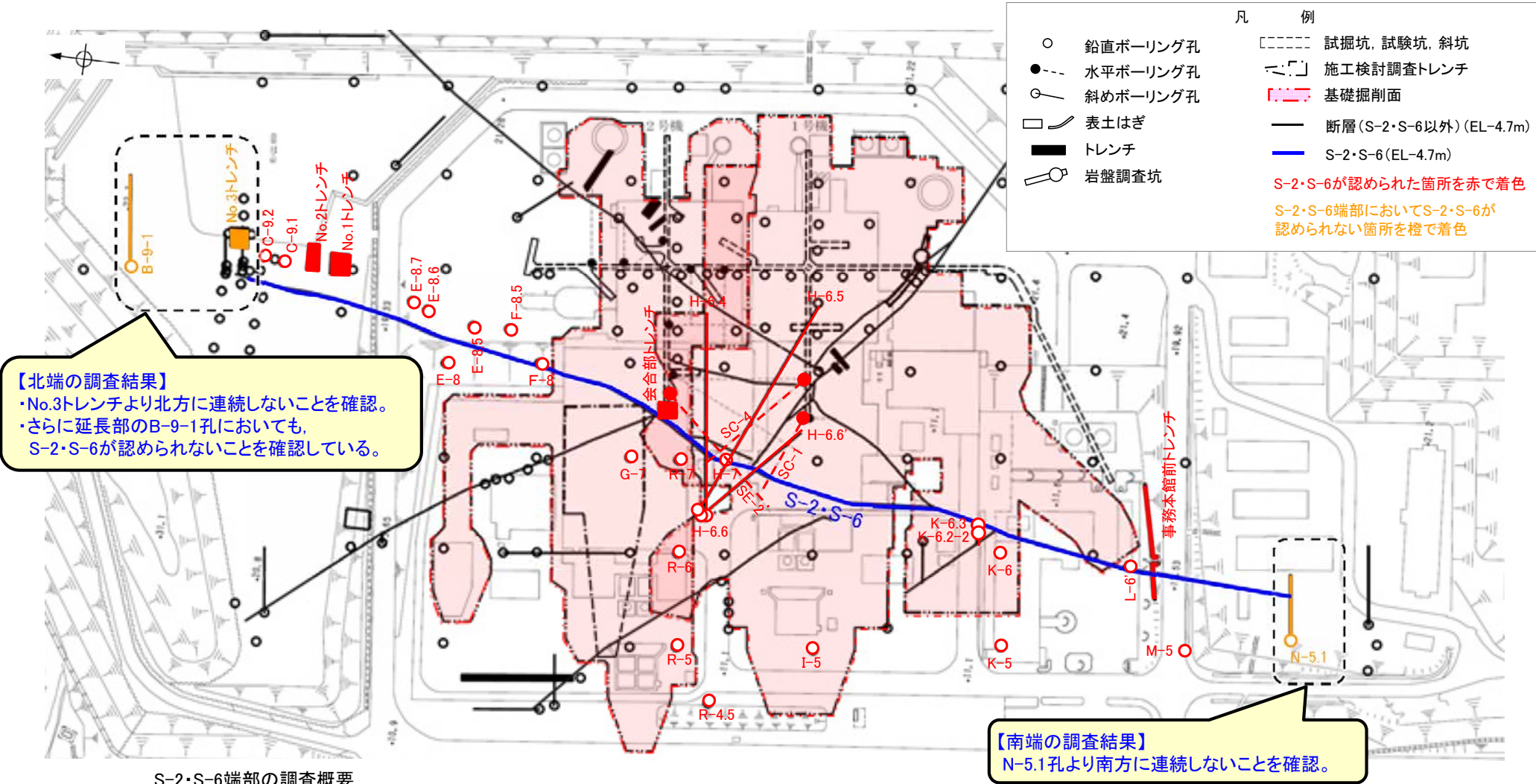


コア写真(深度3～32m)

O-18孔において, S-1の想定延長範囲(深度3～32m)にS-1は認められない。

(2) S-2・S-6端部の調査結果

■S-2・S-6端部の調査結果の概要を以下に示す。



S-2・S-6端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北端	No.3トレンチ	北端の止め
	B-9-1孔	さらに延長部の止め
南端	N-5.1孔	南端の止め

調査位置図

	延長	走向/傾斜
S-2・S-6	600m	N11°E/60°NW*

* 走向は一般走向
傾斜はトレンチの値

S-2・S-6端部の調査結果 ―北端:No.3トレンチ①―

第597回審査会合
資料2-2 P.4-76 一部修正

■S-2・S-6北端の調査結果を以下に示す。

【S-2・S-6北端の調査結果】

- ・S-2・S-6を基礎掘削面から北方に追跡した結果、C-9.2孔までS-2・S-6を確認。
- ・C-9.1孔とC-9.2孔で確認したS-2・S-6の位置、走向・傾斜を考慮して、北方への想定延長範囲を設定。
- ・想定延長範囲内に位置するNo.3トレンチで、S-2・S-6が認められないため、S-2・S-6はこれ以上連続しない。
- ・さらに、延長部のB-9-1孔においても、S-2・S-6が認められないことを確認している。

○北端の止めとしているNo.3トレンチの調査結果を以降に示す。

No.3トレンチは、下図に示すとおり、南側トレンチと北側トレンチからなり、それぞれの調査結果を次頁以降に示す。



北側

トレンチ状況写真(西側から撮影)

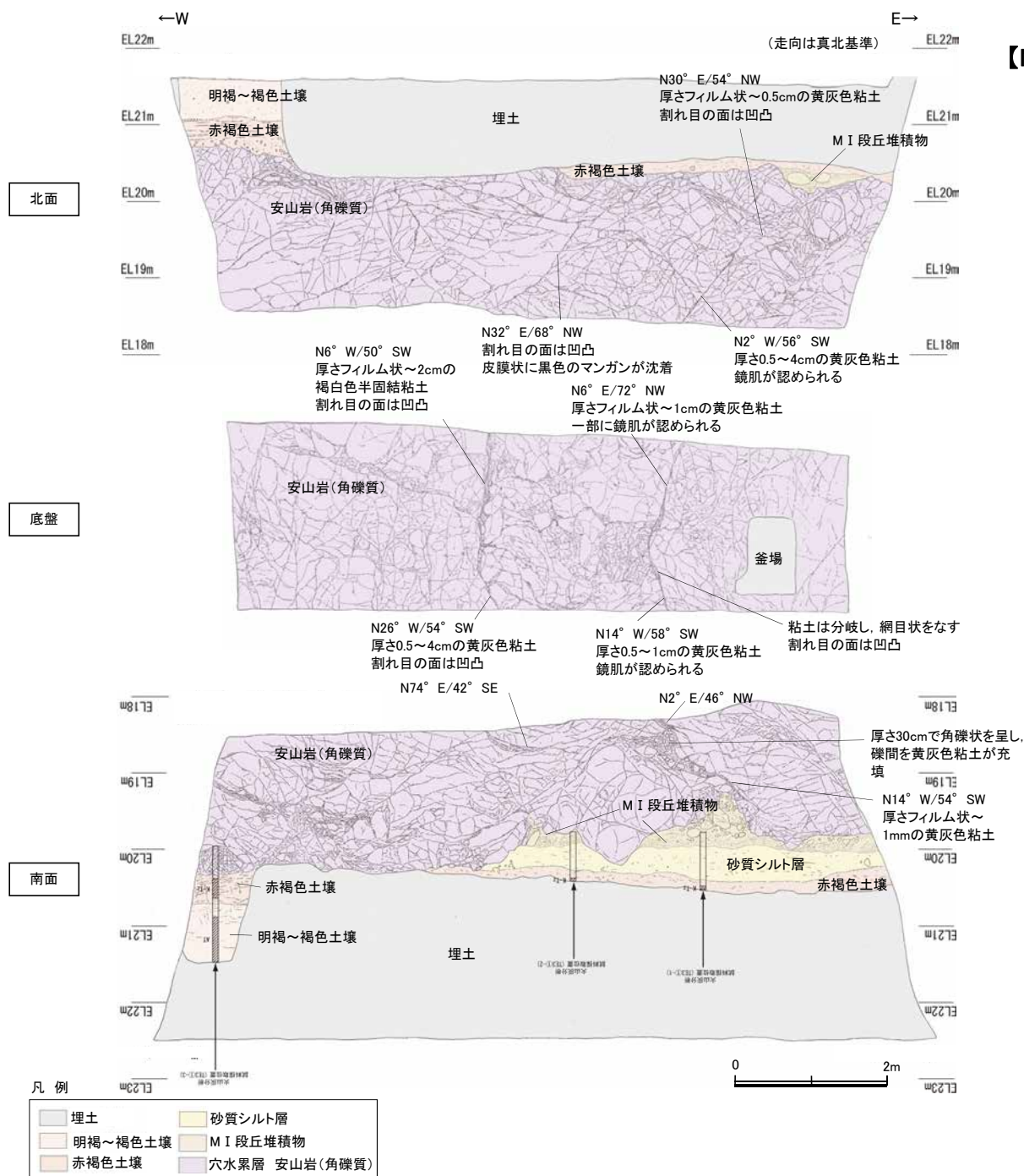
南側



トレンチ写真

0 2m

EL 22.6m



【No.3南側トレンチの調査結果】

・No.3南側トレンチにおいて、S-2・S-6は認められない。

【露頭観察結果】

明褐色土壌

- ・色調7.5YR5/6~5/4を呈し、一部で7.5YR4/6を帯びる。
- ・シルト質粘土からなる。
- ・締まっているが、指圧で跡が残る。
- ・壁状~弱い亜角塊状土壌構造が認められる。

赤褐色土壌

- ・色調5YR4/8~7.5YR5/6、ごく一部で弱いトラ斑が認められる。
- ・シルト質粘土からなる。
- ・よく締まっており、強い指圧で僅かに跡が残る。
- ・中程度の亜角塊状土壌構造が認められる。

砂質シルト層

- ・色調7.5YR5/4~6/6
- ・シルトからなり、砂分が混じる。
- ・よく締まっており、強い指圧で僅かに跡が残る。
- ・径10cm程度の安山岩亜円礫が僅かに含まれる。

MI段丘堆積物

- ・シルト質砂礫層
- ・色調2.5YR6/2~7.5YR/5/3
- ・基質はシルト質細~粗粒砂からなり、径5~30cmの安山岩円~亜角礫を5~30%含む。径5cm以下の礫はクサリ礫化が進む。
- ・よく締まっており、強い指圧で僅かに跡が残る。北面では基質部は風化により粘土化し、褐色を帯びる。

スケッチ(展開図)

【No.3北側トレンチの調査結果】

・No.3北側トレンチにおいて、S-2・S-6は認められない。

【露頭観察結果】

明褐～褐色土壌

- ・色調7.5YR5/6～5/4を呈し、一部で7.5YR4/6を帯びる。
- ・シルト質粘土からなる。
- ・締まっているが、指圧で跡が残る。
- ・壁状～弱い亜角塊状土壌構造が認められる。

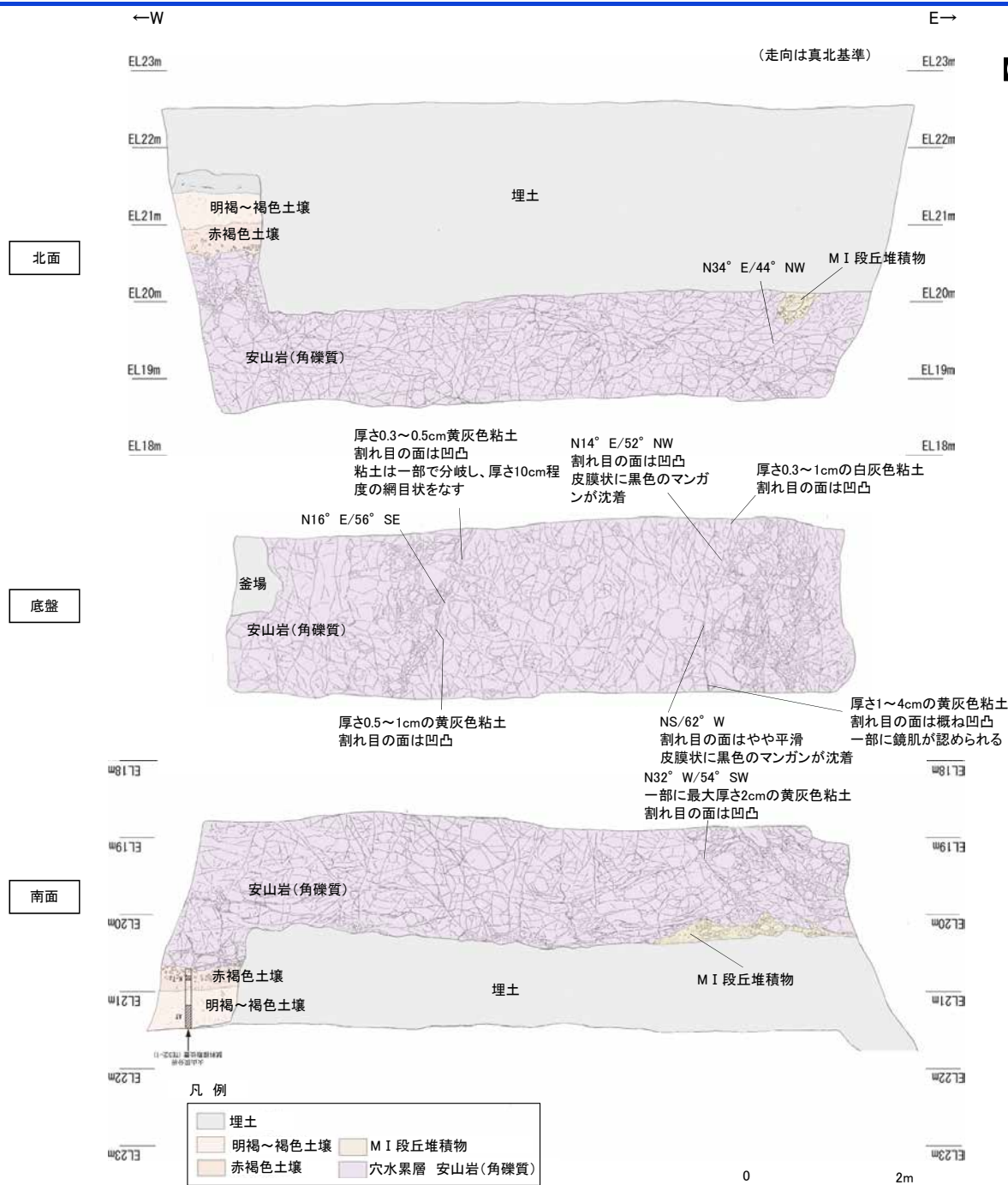
赤褐色土壌

- ・色調5YR4/8～7.5YR5/6, ごく一部で弱いトラ斑が認められる。
- ・シルト質粘土からなる。
- ・よく締まっており、強い指圧で僅かに跡が残る。
- ・中程度の亜角塊状土壌構造が認められる。

M I 段丘堆積物

- ・シルト混じり砂礫層
- ・色調2.5YR6/2～7.5YR/5/3
- ・基質はシルト質細～粗粒砂からなり、径5～30cmの安山岩円～亜角礫を5～30%含む。径5cm以下の礫はクサリ礫化が進む。
- ・よく締まっており、強い指圧で僅かに跡が残る。南面では基質部は風化により粘土化し、褐色を帯びる。

No.3トレンチにおいて、S-2・S-6は認められない。

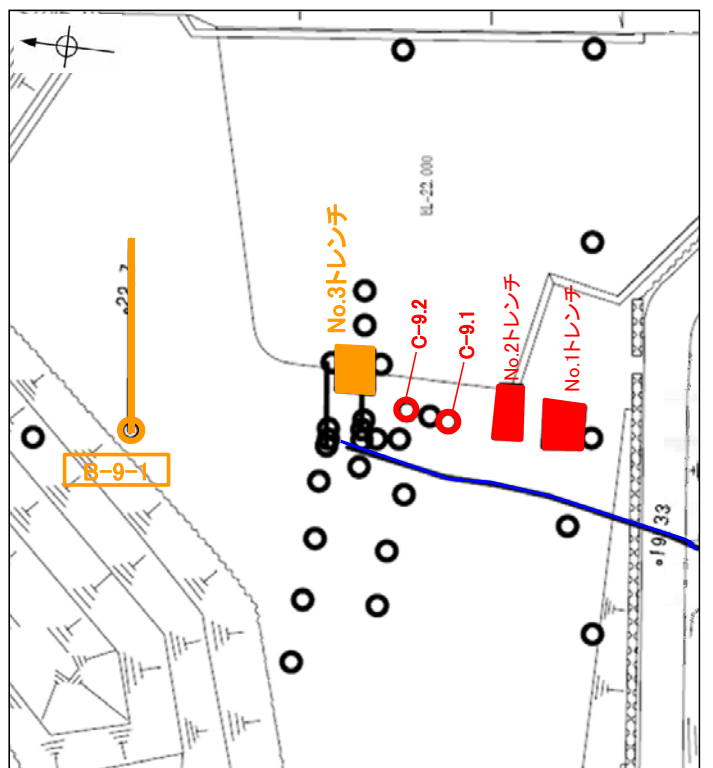


S-2・S-6端部の調査結果 ―北端延長部:B-9-1孔①―

○北端延長部のB-9-1孔の調査結果を以降に示す。

【B-9-1孔の調査結果】

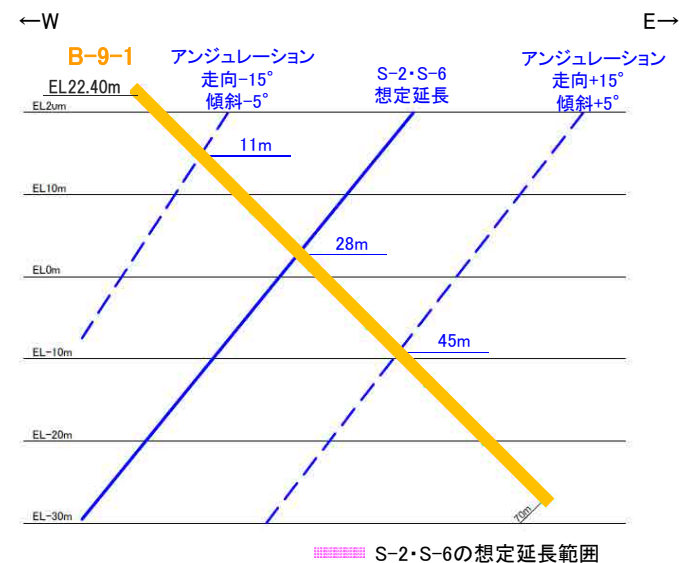
- ・右の断面図に示すとおり、S-2・S-6の想定延長範囲は、深度11～45mとなる。
- ・想定延長範囲において、S-2・S-6は認められない。
(想定延長範囲のコア写真は次頁参照)



— S-2・S-6 (EL-4.7m)

赤: S-2・S-6が認められる箇所

橙: S-2・S-6端部においてS-2・S-6が認められない箇所

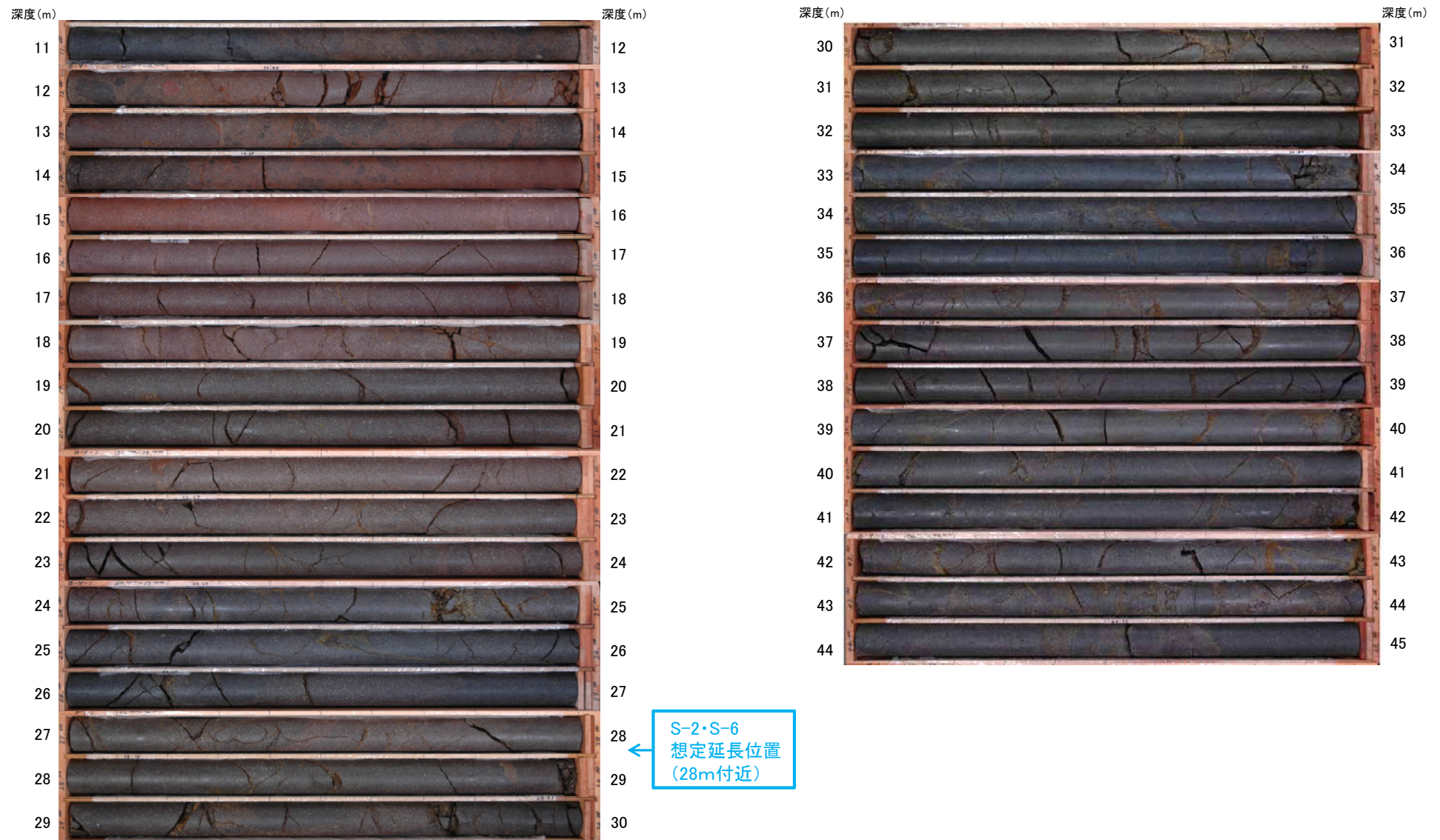


S-2・S-6端部の調査結果 ー北端延長部:B-9-1孔②ー

・S-2・S-6想定延長範囲(深度11～45m)のコア写真を以下に示す。

柱状図はデータ集10 P.10-3-94～95

B-9-1孔(孔口標高22.40m, 掘進長70m, 傾斜45°)



コア写真(深度11～45m)

B-9-1孔において、S-2・S-6の想定延長範囲(深度11～45m)にS-2・S-6は認められない。

■ S-2・S-6南端の調査結果を以下に示す。

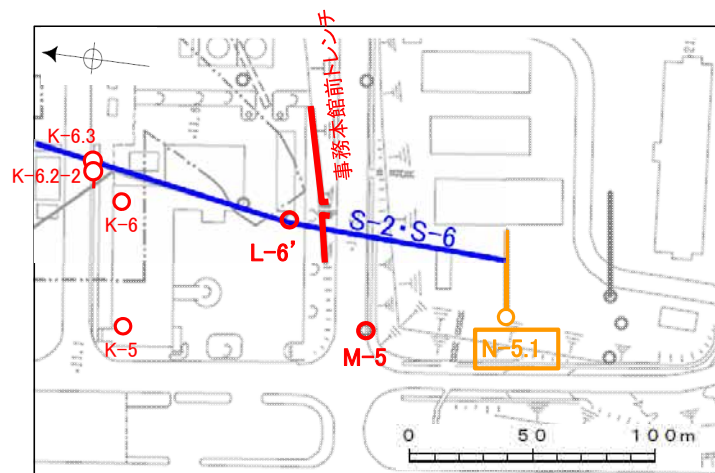
【S-2・S-6南端の調査結果】

- ・基礎掘削面から南方に追跡した結果、L-6' 孔、事務本館前トレンチ、M-5孔付近までS-2・S-6を確認。
- ・L-6' 孔と事務本館前トレンチで確認したS-2・S-6の位置、走向・傾斜を考慮して、南方への想定延長範囲を設定。
- ・N-5.1孔の想定延長範囲内に、S-2・S-6が認められないため、S-2・S-6はこれ以上連続しない。

○南端の止めとしているN-5.1孔の調査結果を以降に示す。

【N-5.1孔の調査結果】

- ・右の断面図に示すとおり、S-2・S-6の想定延長範囲は、深度15～50mとなる。
- ・想定延長範囲において、S-2・S-6は認められない。
(想定延長範囲のコア写真は次頁参照)

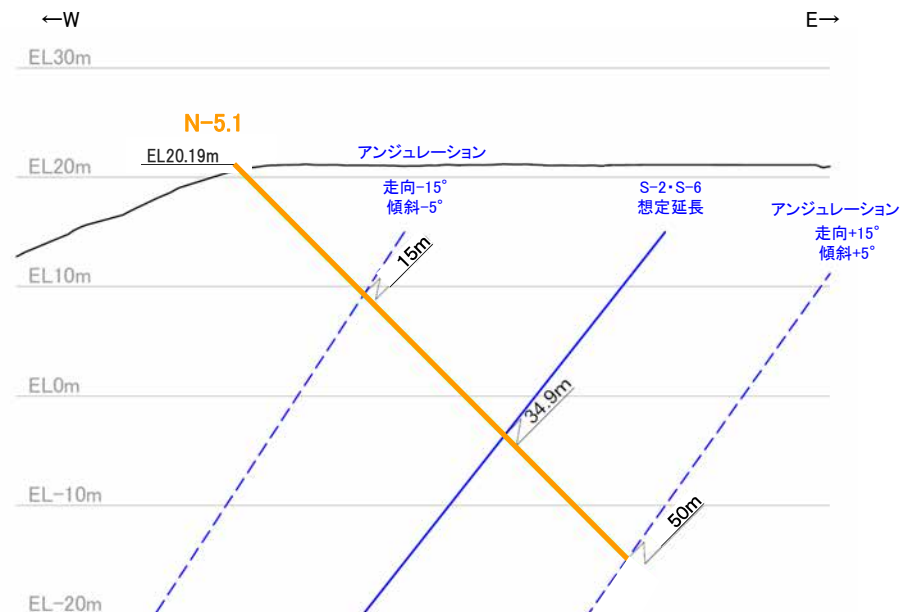


調査位置図

— S-2・S-6(EL-4.7m)

赤:S-2・S-6が認められる箇所

橙:S-2・S-6端部においてS-2・S-6が認められない箇所



■ S-2・S-6の想定延長範囲

N-5.1孔断面図
(掘進方向)

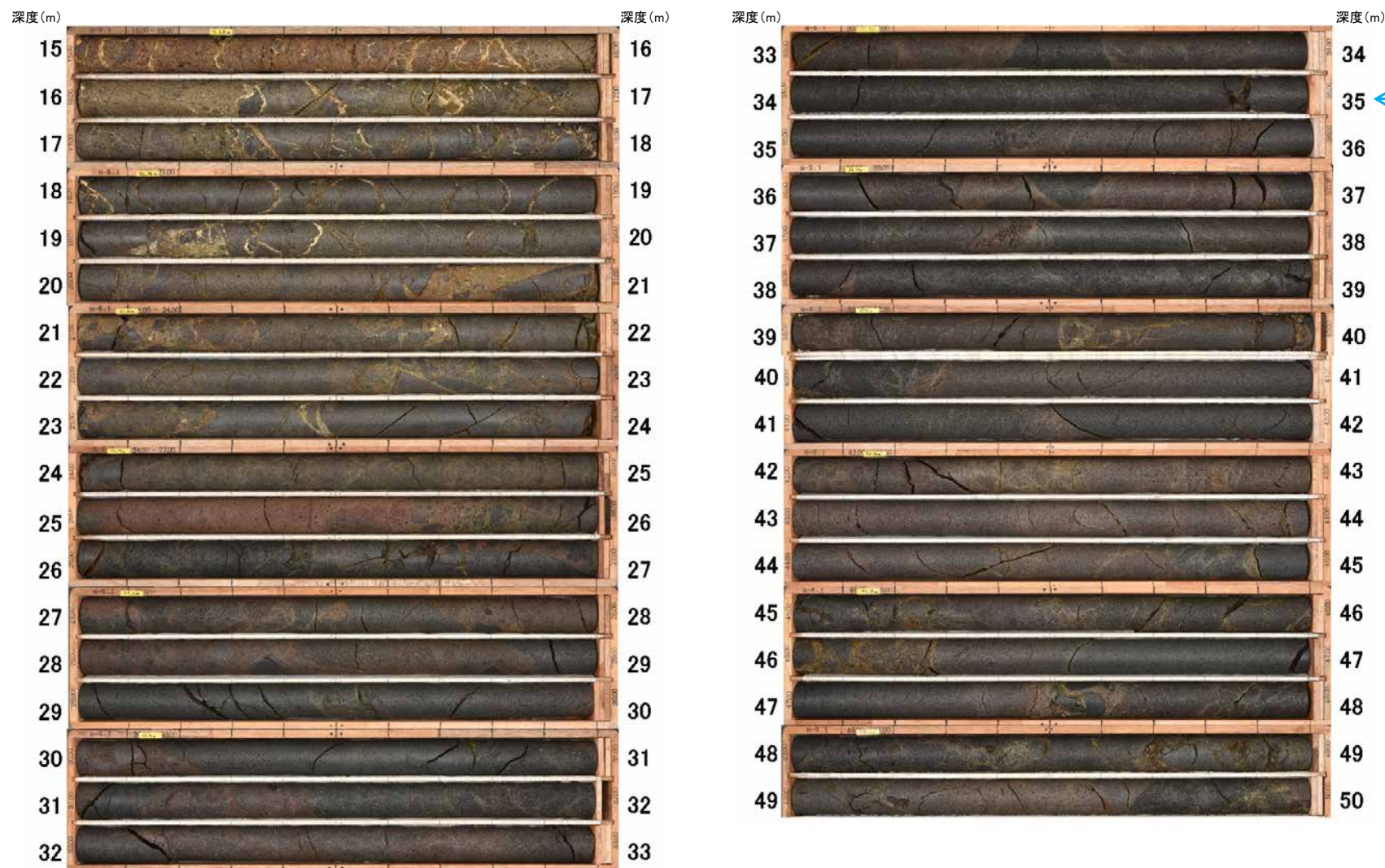
S-2・S-6端部の調査結果 ー南端:N-5.1孔②ー

第553回審査会合
机上配布資料1 P.1-5 一部修正

・S-2・S-6想定延長範囲(深度15～50m)のコア写真を以下に示す。

柱状図はデータ集10 P.10-3-104～105

N-5.1孔(孔口標高20.19m, 掘進長50m, 傾斜45°)



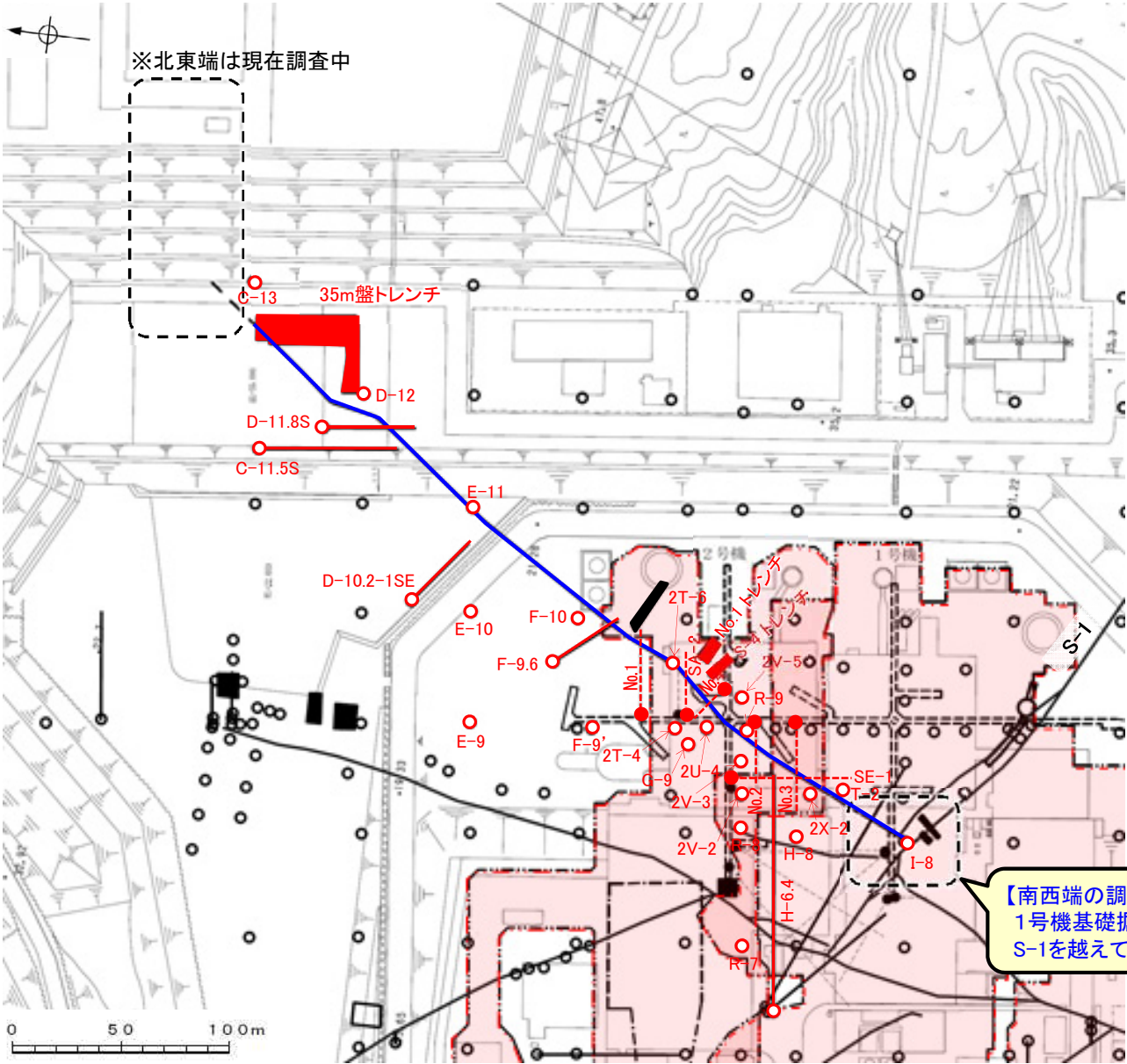
コア写真(深度15～50m)

N-5.1孔において、S-2・S-6の想定延長範囲(深度15～50m)にS-2・S-6は認められない。

(3) S-4端部の調査結果

S-4端部の調査結果 一概要一

■S-4端部の調査結果の概要を以下に示す。



凡 例

○

鉛直ボーリング孔

●

水平ボーリング孔

○

斜めボーリング孔

□

表土はぎ

■

トレンチ

○

岩盤調査坑

□

試掘坑、試験坑、斜坑

□

施工検討調査トレンチ

□

基礎掘削面

—

断層(S-4以外)(EL-4.7m)

—

S-4(EL-4.7m)

S-4が認められた箇所を赤で着色

S-4端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
南西端	1号機基礎掘削面	南西端の止め

	延長	走向/傾斜
S-4	370m以上	N29°E／66°NW*

* 走向は一般走向
傾斜は試掘坑の値

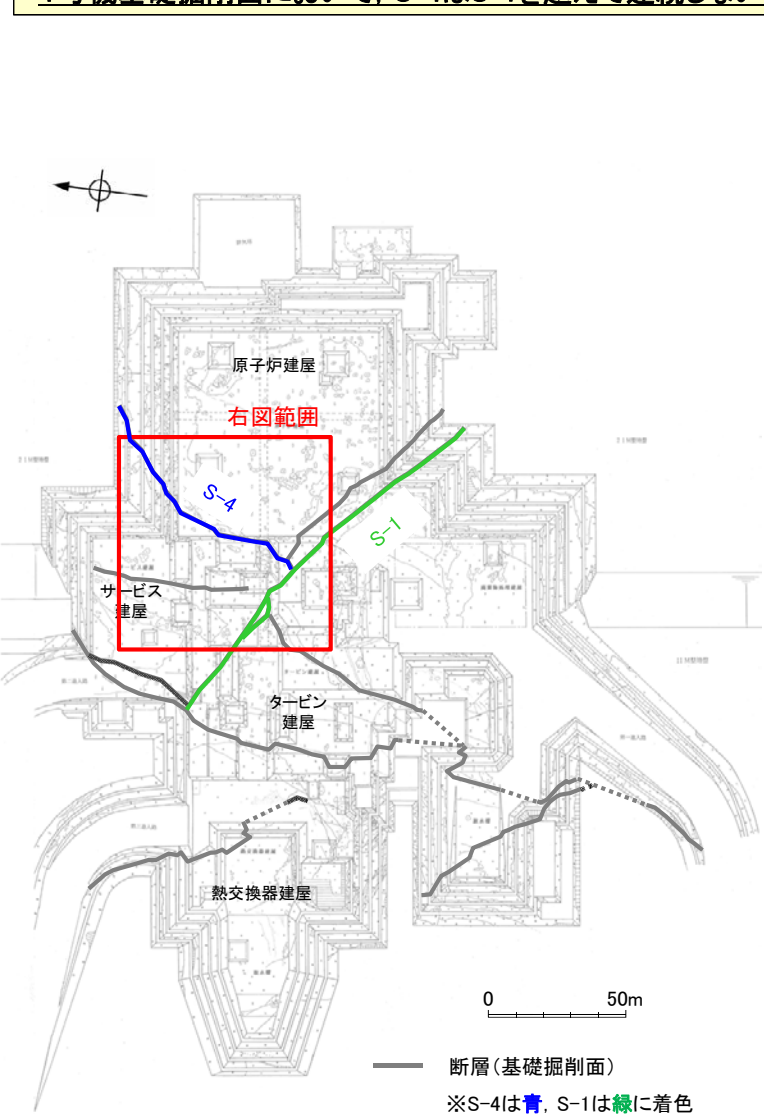
【南西端の調査結果】
1号機基礎掘削面において、
S-1を越えて連続しないことを確認。

調査位置図

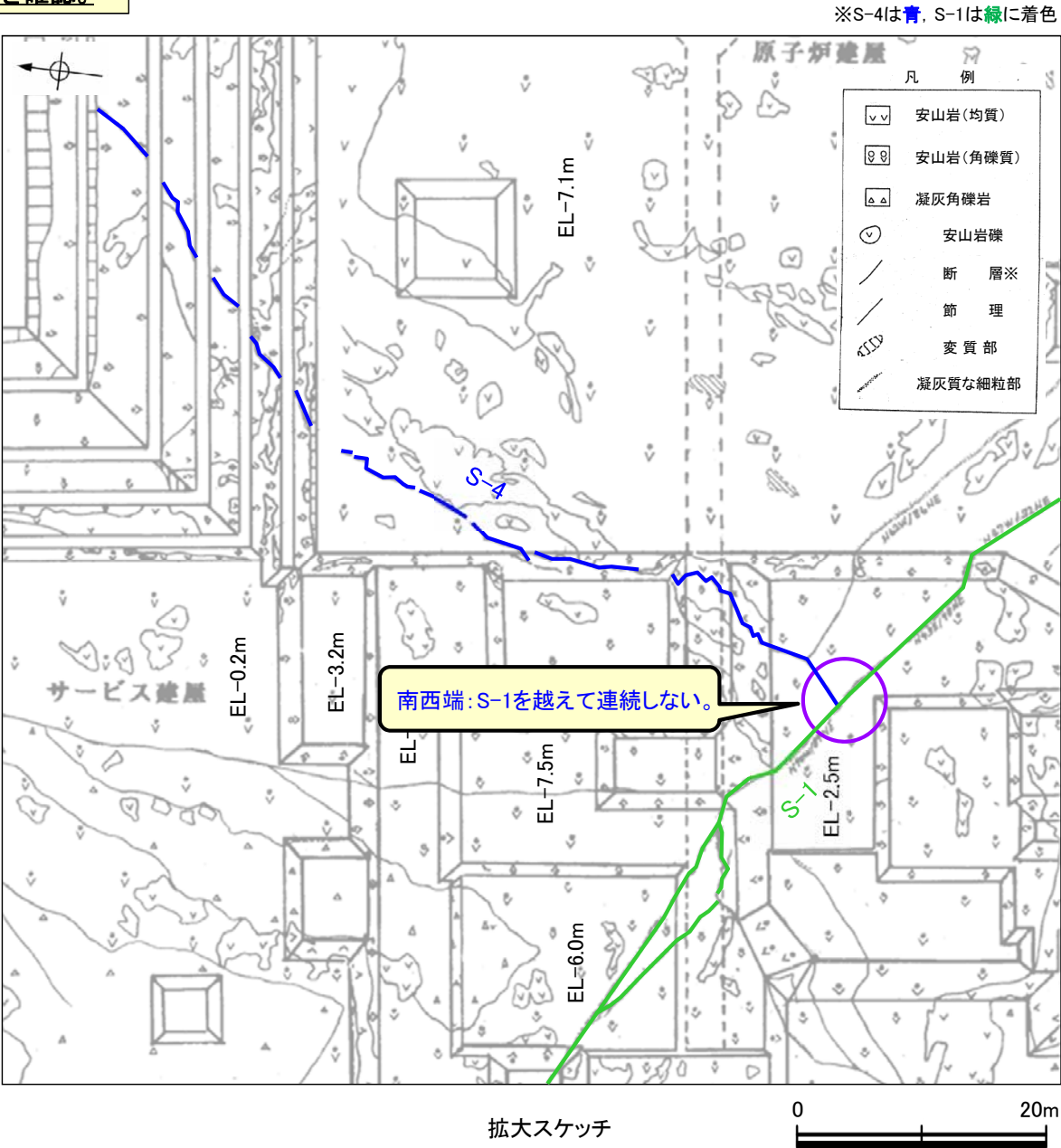
S-4端部の評価　－南西端：1号機基礎掘削面－

■S-4南西端の評価を以下に示す。

【S-4南西端の評価】
1号機基礎掘削面において、S-4はS-1を越えて連続しないことを確認。



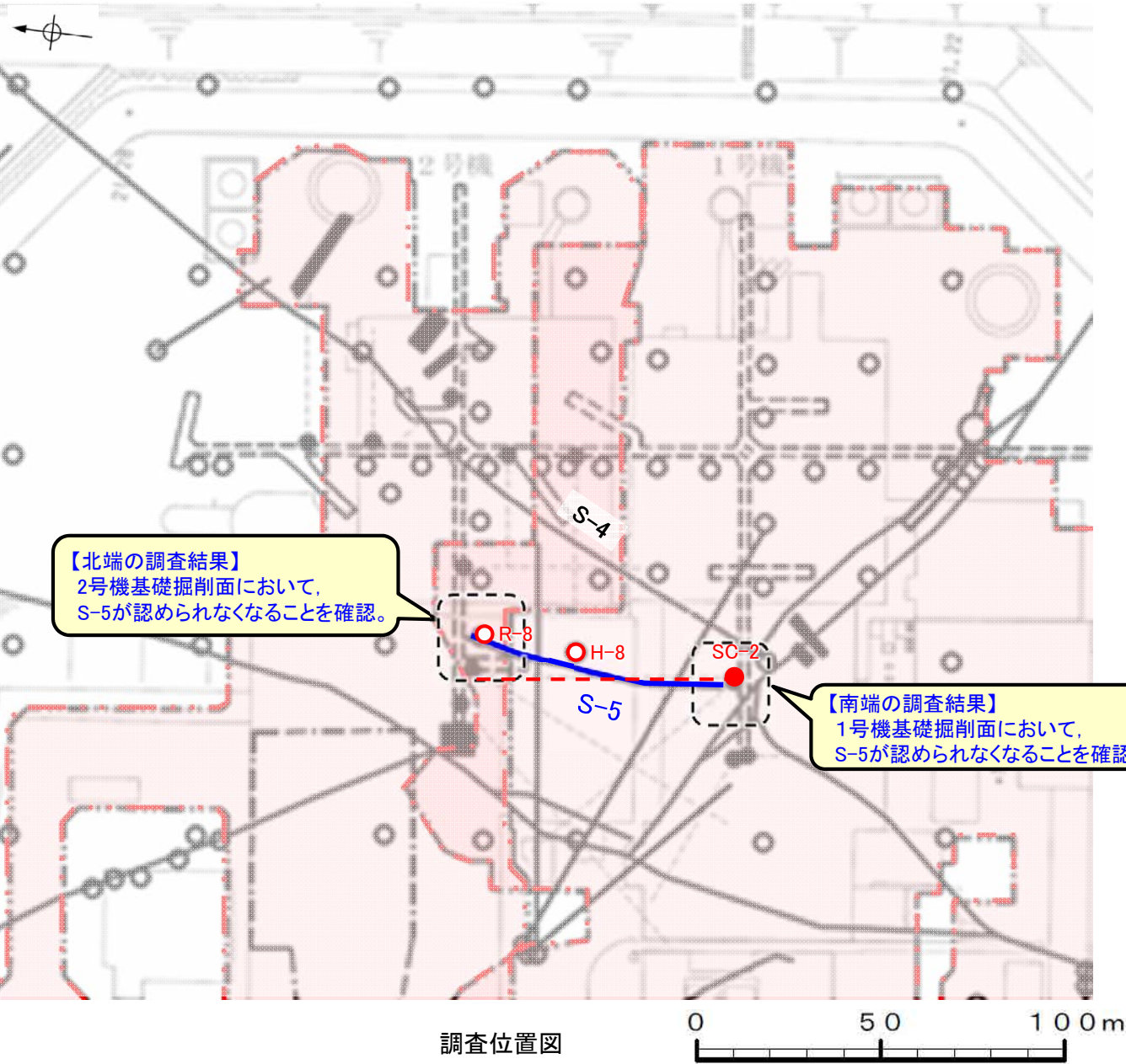
1号機基礎掘削面



(4) S-5端部の調査結果

S-5端部の調査結果　－概要－

■S-5端部の調査結果の概要を以下に示す。



凡例

○

鉛直ボーリング孔

●

水平ボーリング孔

○

斜めボーリング孔

□

表土はぎ

■

トレンチ

○

岩盤調査坑

□

試掘坑, 試験坑, 斜坑

□

施工検討調査トレンチ

□

基礎掘削面

—

断層(S-5以外)(EL-4.7m)

—

S-5(EL-4.7m)

S-5が認められた箇所を赤で着色

S-5端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北端	2号機基礎掘削面	北端の止め
南端	1号機基礎掘削面	南端の止め

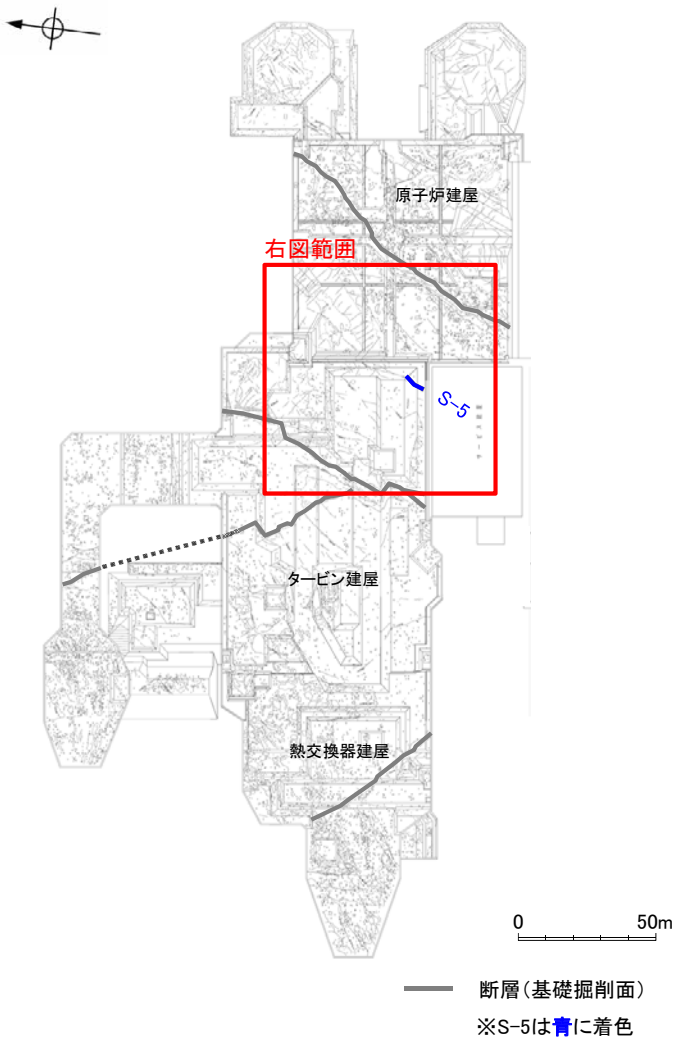
	延長	走向/傾斜
S-5	70m	N4°E/70°SE*

* 走向は一般走向
傾斜はボーリングの値

S-5端部の評価　－北端:2号機基礎掘削面－

■S-5北端の調査結果を以下に示す。

【S-5北端の評価】
2号機基礎掘削面において、S-5が認められなくなることを確認。



2号機基礎掘削面

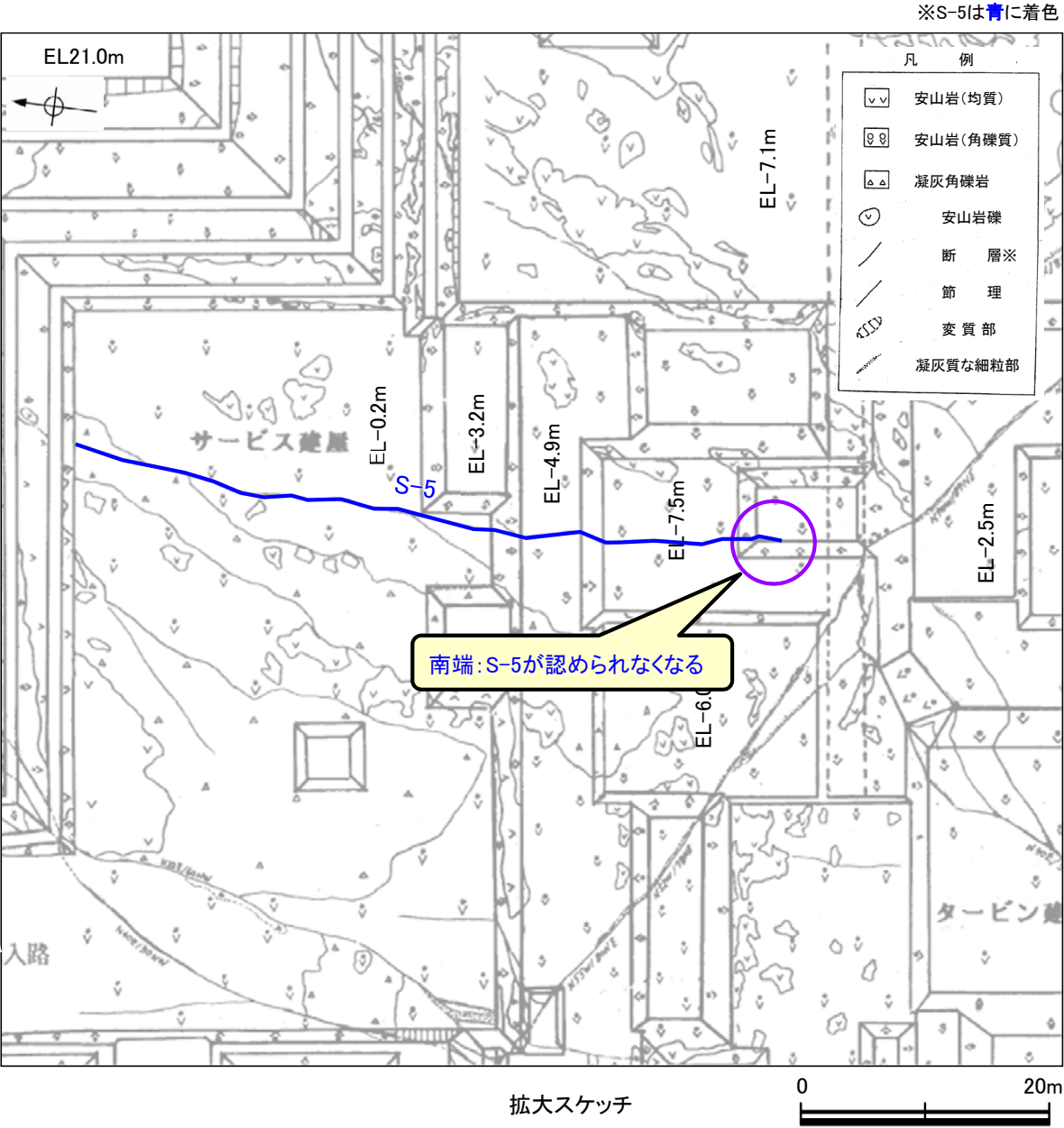
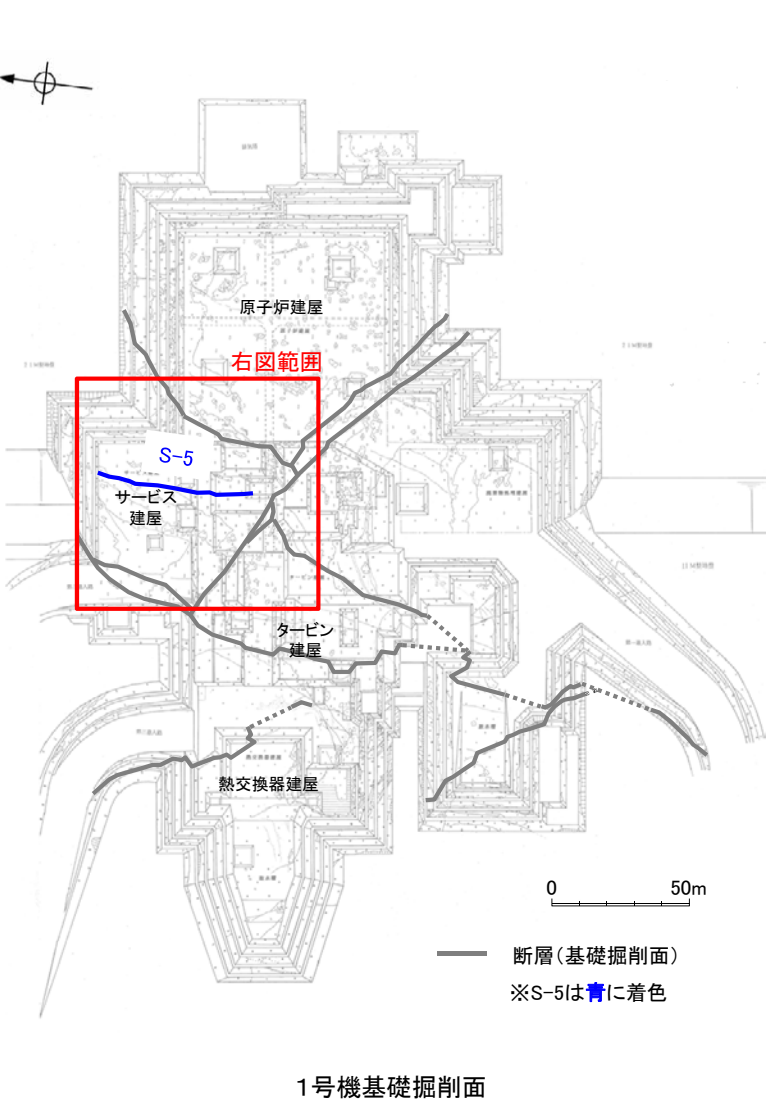


拡大スケッチ

S-5端部の調査結果　－南端：1号機基礎掘削面－

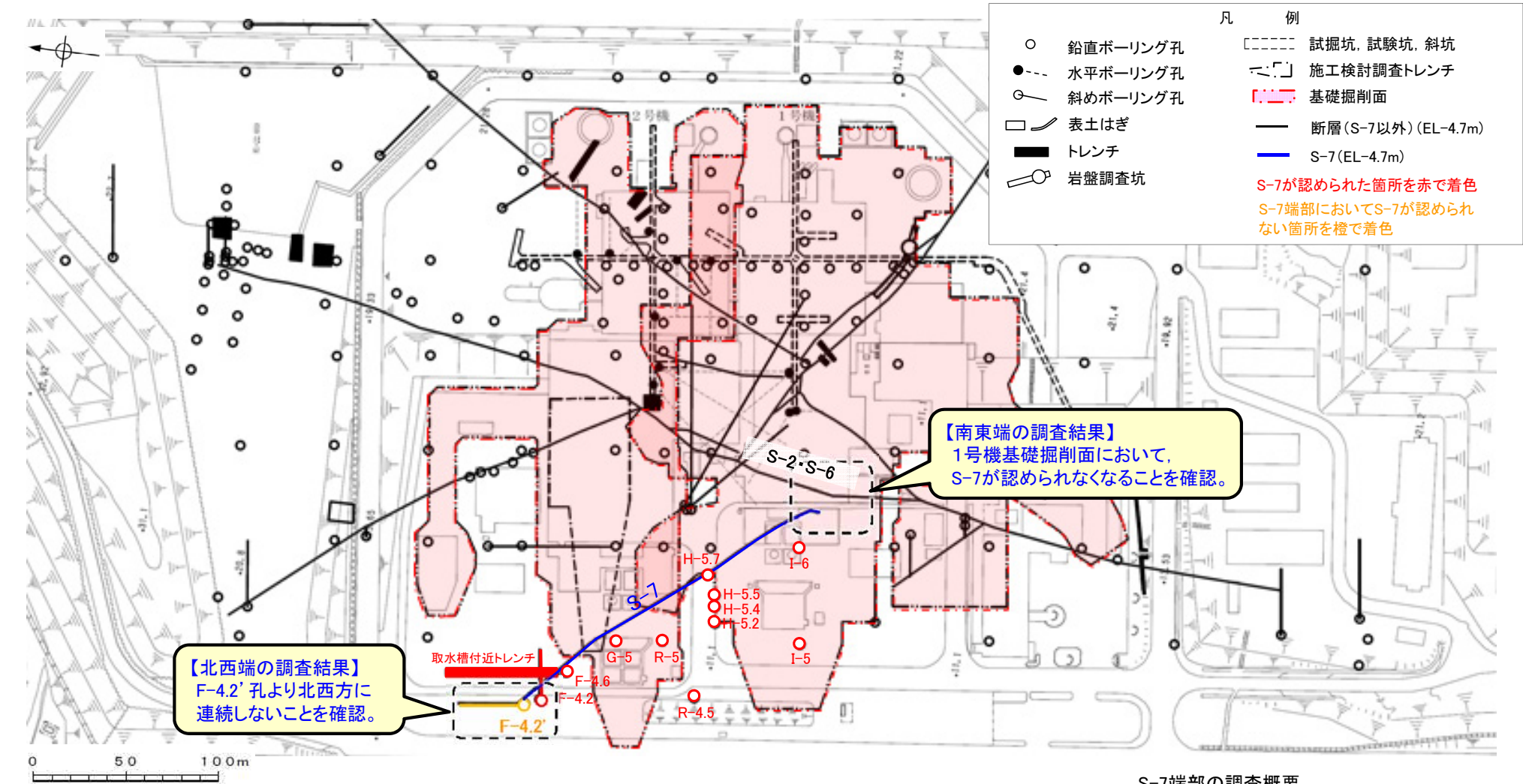
■S-5南端の調査結果を以下に示す。

【S-5南端の調査結果】
1号機基礎掘削面において、S-5が認められなくなることを確認。



(5) S-7端部の調査結果

■S-7端部の調査結果の概要を以下に示す。



	延長	走向/傾斜
S-7	190m	N41°W/60°SW*

* 走向は一般走向
傾斜はボーリングの値

調査位置図

S-7端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北西端	F-4.2' 孔	北西端の止め
南東端	1号機基礎掘削面	南東端の止め

■ S-7北西端の調査結果を以下に示す。

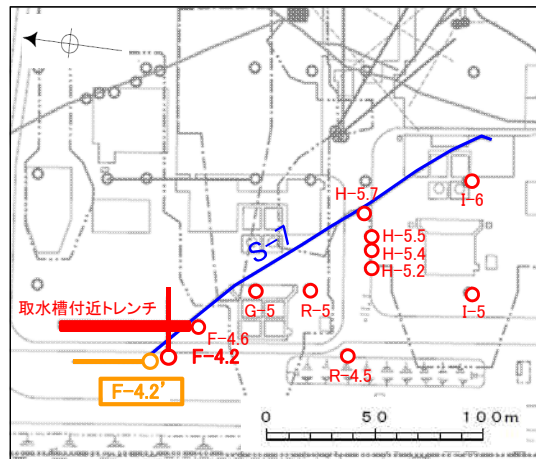
【S-7北西端の調査結果】

- ・基礎掘削面から北西方に追跡した結果、取水槽付近トレンチまでS-7を確認。
- ・取水槽付近トレンチとF-4.2孔で確認したS-7の位置、走向・傾斜を考慮して、北西方への想定延長範囲を設定。
- ・F-4.2'孔の想定延長範囲内に、S-7が認められないため、S-7はこれ以上連続しない。

○北西端の止めとしているF-4.2'孔の調査結果を以降に示す。

【F-4.2'孔の調査結果】

- ・右の断面図に示すとおり、S-7の想定延長範囲は、深度5～34mとなる。
 - ・想定延長範囲において、S-7は認められない。
- (想定延長範囲のコア写真は次頁参照)

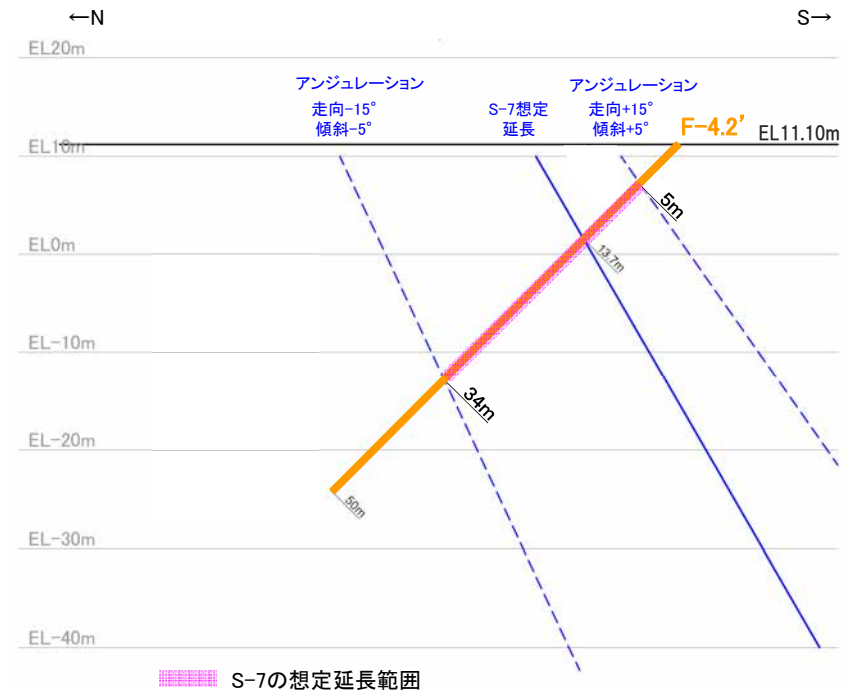


調査位置図

— S-7(EL-4.7m)

赤:S-7が認められる箇所

橙:S-7端部においてS-7が認められない箇所



F-4.2'孔断面図
(掘進方向)

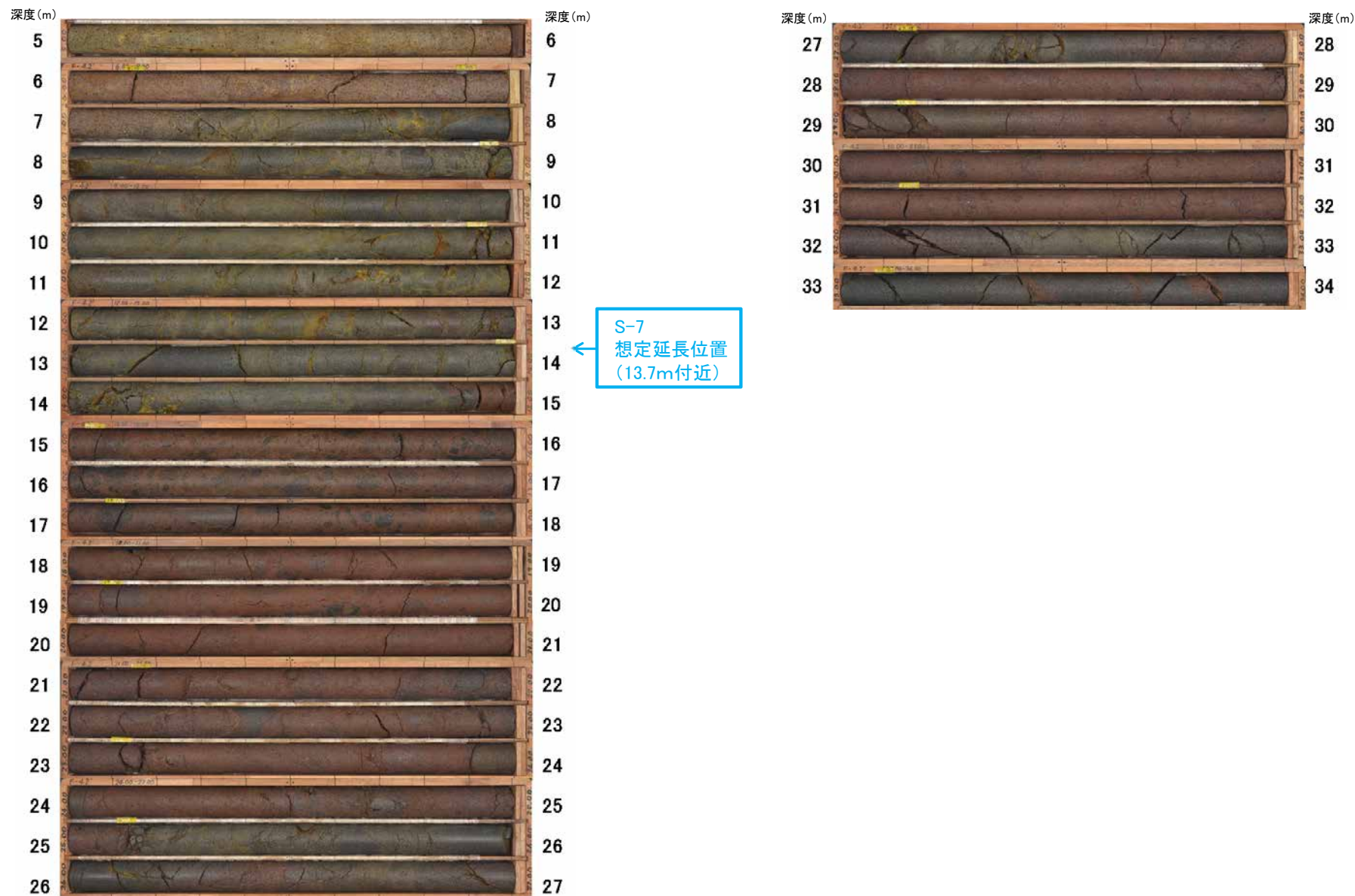
S-7端部の調査結果 ー北西端:F-4.2'孔②ー

第553回審査会合
机上配布資料1 P.1-12 一部修正

・S-7想定延長範囲(深度5～34m)のコア写真を以下に示す。

柱状図はデータ集10 P.10-6-38～39

F-4.2' 孔(孔口標高11.10m, 掘進長50m, 傾斜45°)



コア写真(深度5～34m)

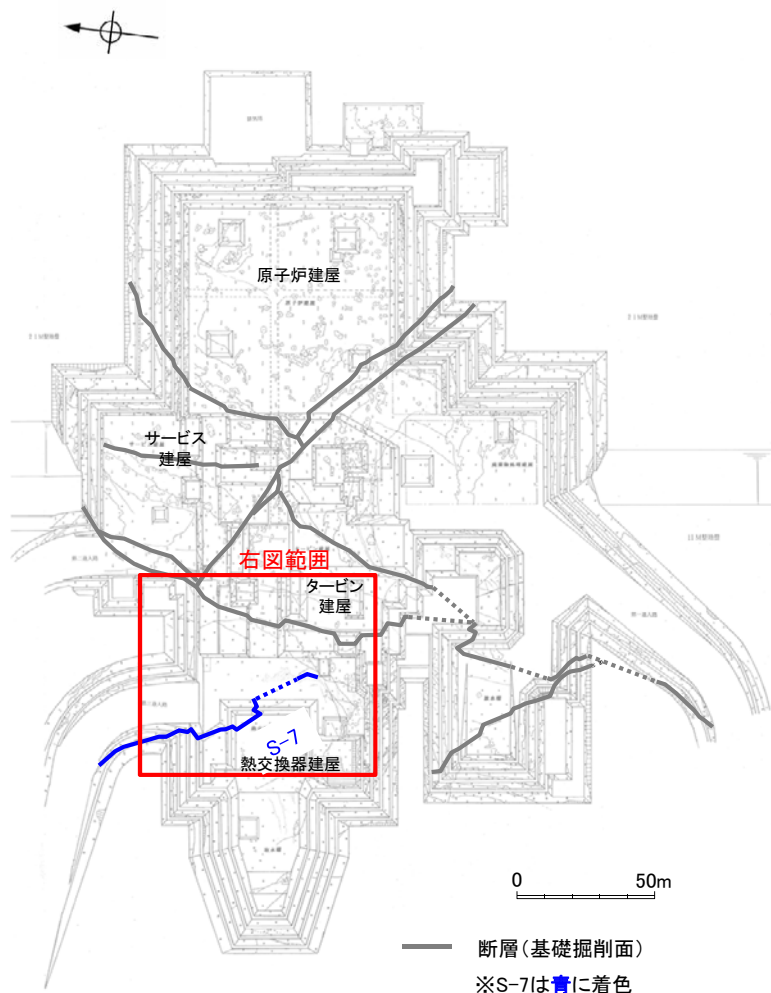
F-4.2' 孔において, S-7の想定延長範囲(深度5～34m)にS-7は認められない。

S-7端部の評価 ―南東端:1号機基礎掘削面―

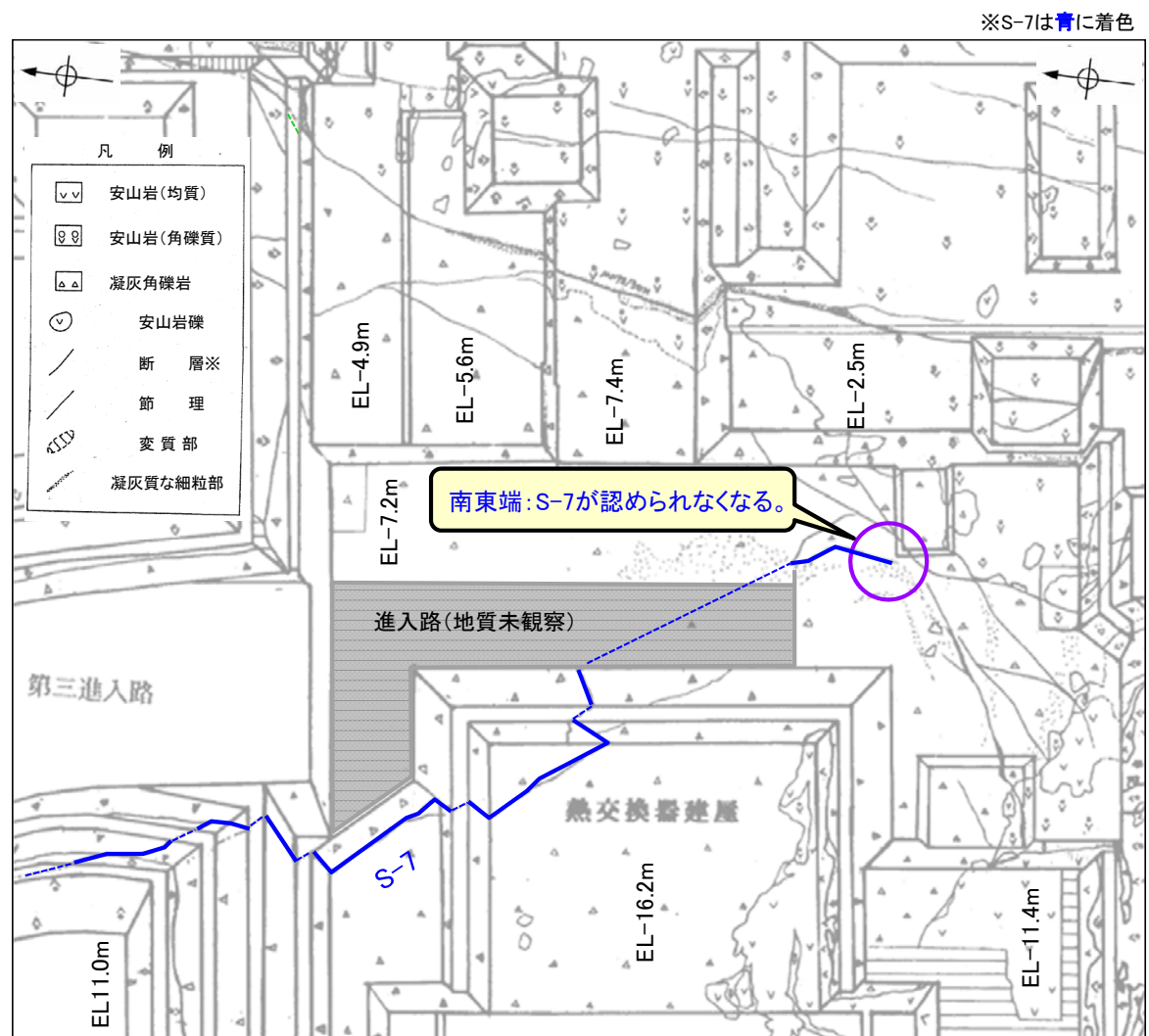
■S-7南東端の評価を以下に示す。

【S-7南東端の評価】

1号機基礎掘削面において、S-7が認められなくなることを確認。



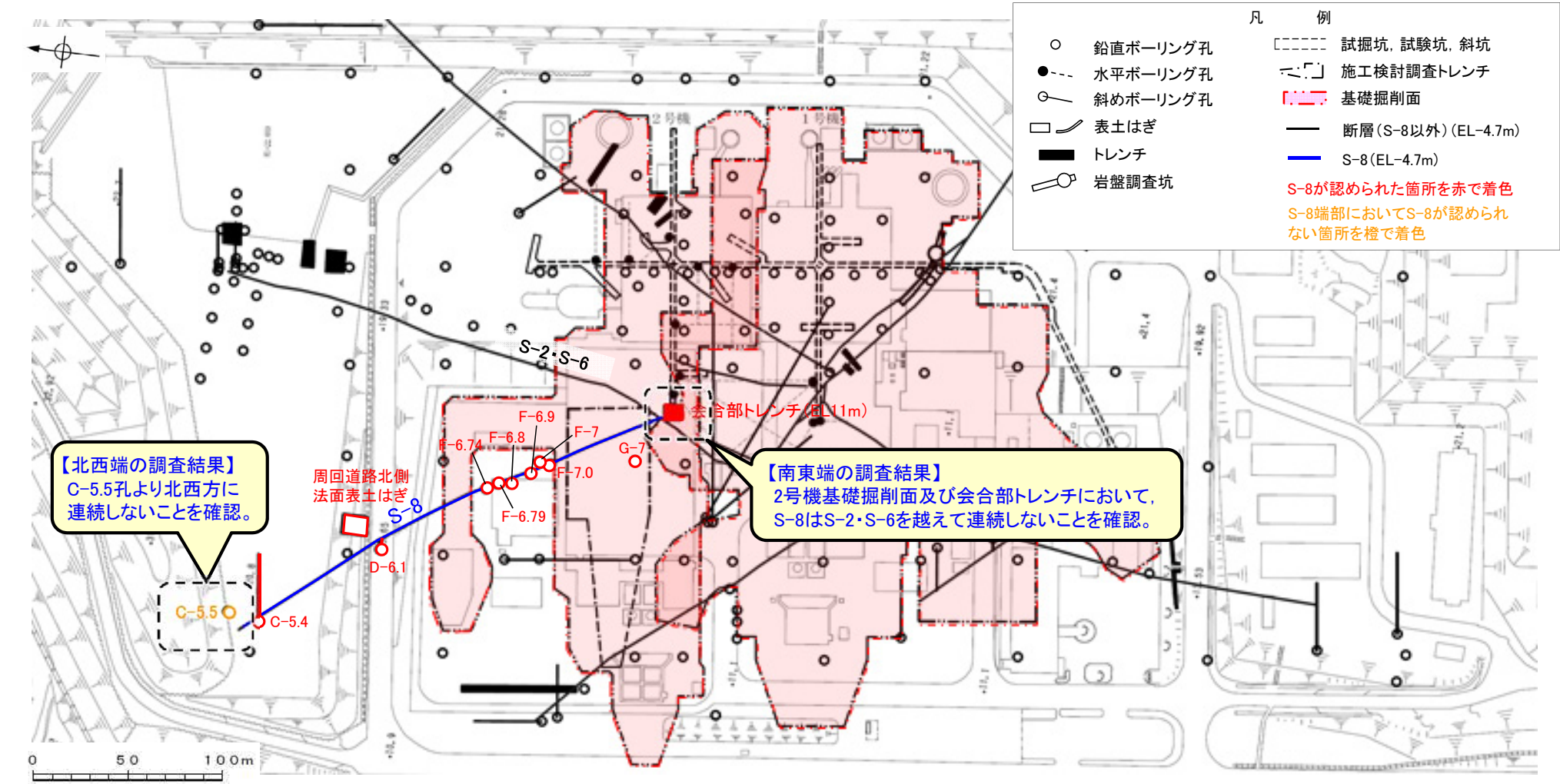
1号機基礎掘削面



拡大スケッチ

(6) S-8端部の調査結果

■S-8端部の調査結果の概要を以下に示す。



	延長	走向/傾斜
S-8	250m	N28°W／58°SW*

* 走向は一般走向
傾斜はトレンチの値

調査位置図

S-8端部の調査概要		
位置	調査箇所	調査結果
北西端	C-5.5孔	北西端の止め
南東端	2号機基礎掘削面	南東端の止め
	会合部トレンチ	

■ S-8北西端の調査結果を以下に示す。

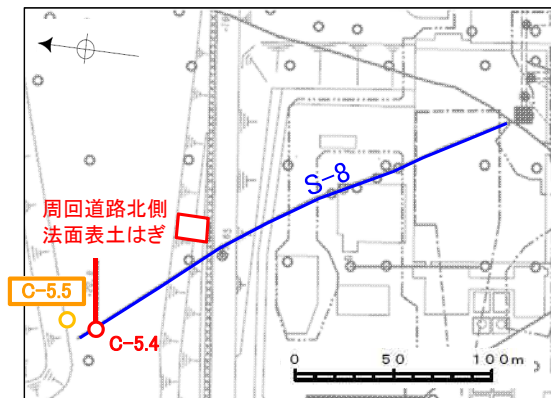
【S-8北西端の調査結果】

- ・基礎掘削面から北西方に追跡した結果、C-5.4孔までS-8を確認。
- ・周回道路北側法面表土はぎとC-5.4孔で確認したS-8の位置、走向・傾斜を考慮して、北西方への想定延長範囲を設定。
- ・C-5.5孔の想定延長範囲内に、S-8が認められないため、S-8はこれ以上連続しない。

○北西端の止めとしているC-5.5孔の調査結果を以降に示す。

【C-5.5孔の調査結果】

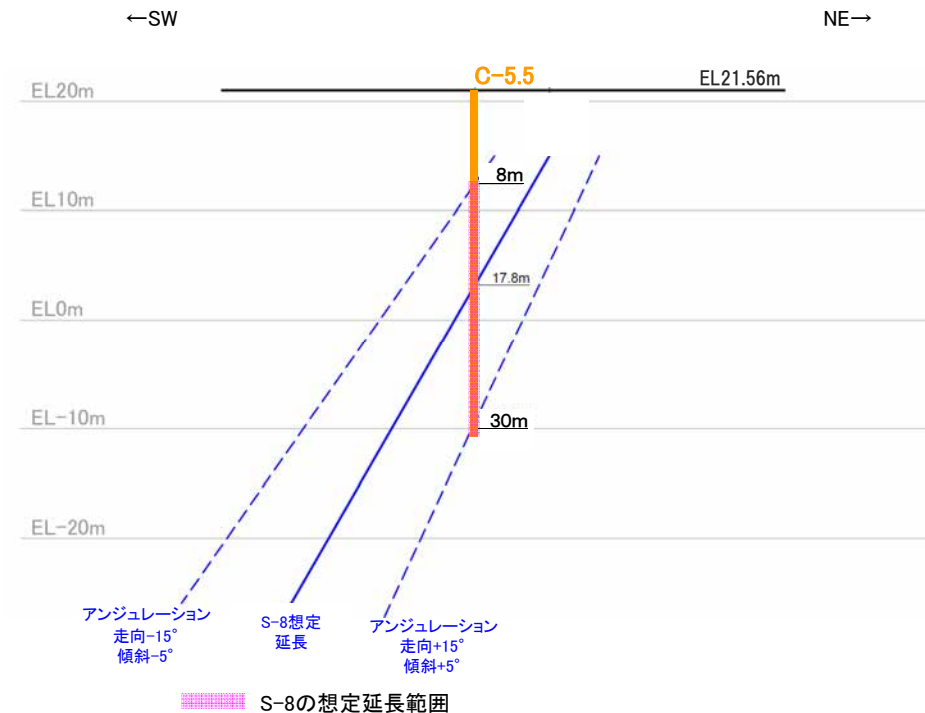
- ・下の断面図に示すとおり、S-8の想定延長範囲は、深度8～30mとなる。
- ・想定延長範囲において、S-8は認められない。
- （想定延長範囲のコア写真は次頁参照）



— S-8 (EL-4.7m)

赤: S-8が認められる箇所

橙: S-8端部においてS-8が認められない箇所



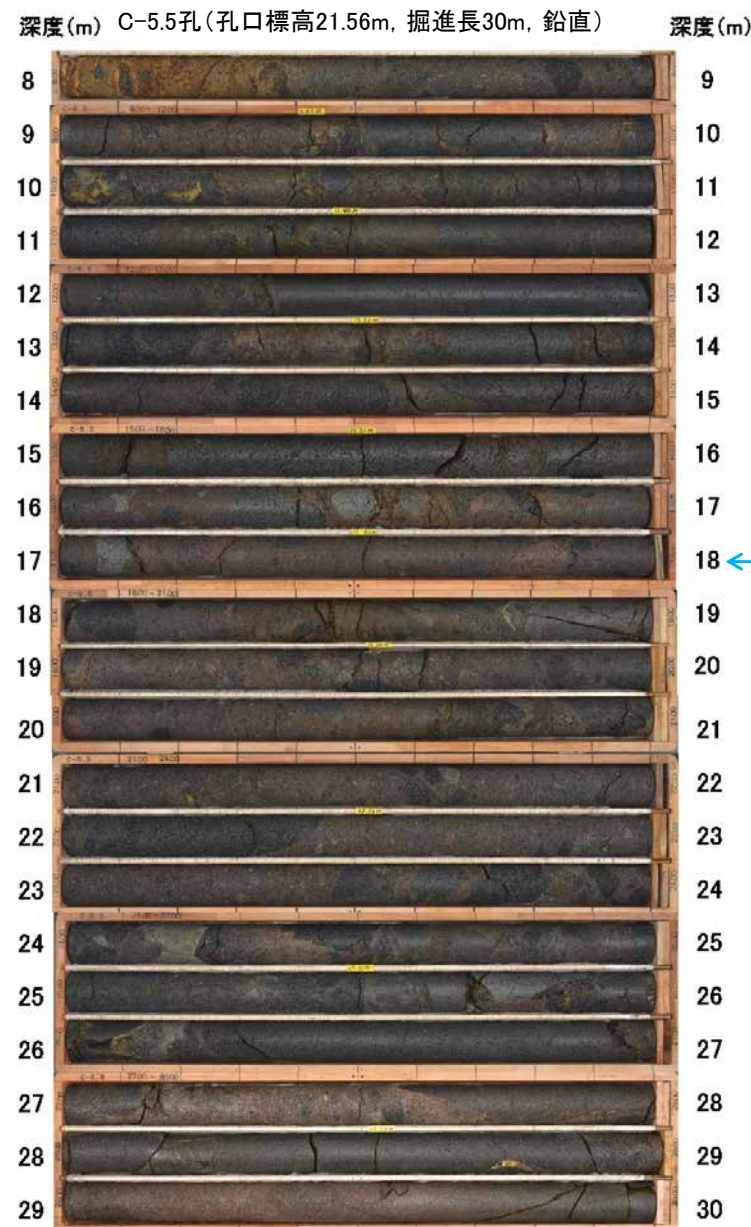
C-5.5孔断面図
(断面直交方向)

S-8端部の調査結果 ー北西端:C-5.5孔②ー

第553回審査会合
机上配布資料1 P.1-17 一部修正

・S-8想定延長範囲(深度8～30m)のコア写真を以下に示す。

柱状図はデータ集10 P.10-7-16



コア写真(深度8～30m)

C-5.5孔において, S-8の想定延長範囲(深度8～30m)にS-8は認められない。

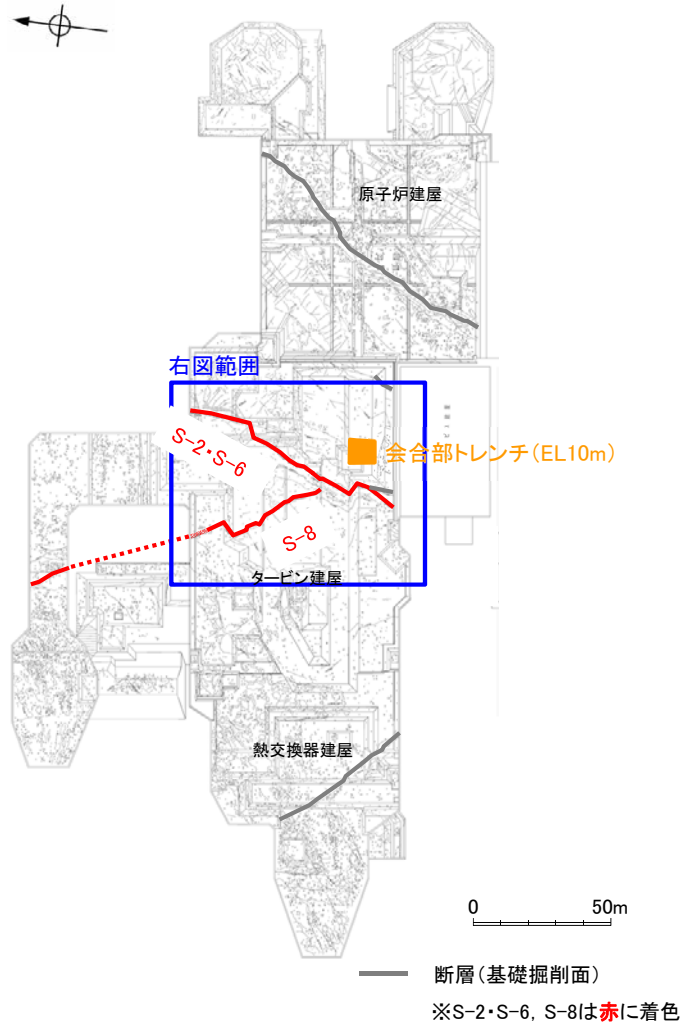
S-8端部の評価 ―南東端:2号機基礎掘削面及び会合部トレンチ①―

第553回審査会合
机上配布資料1 P.9-18 一部修正

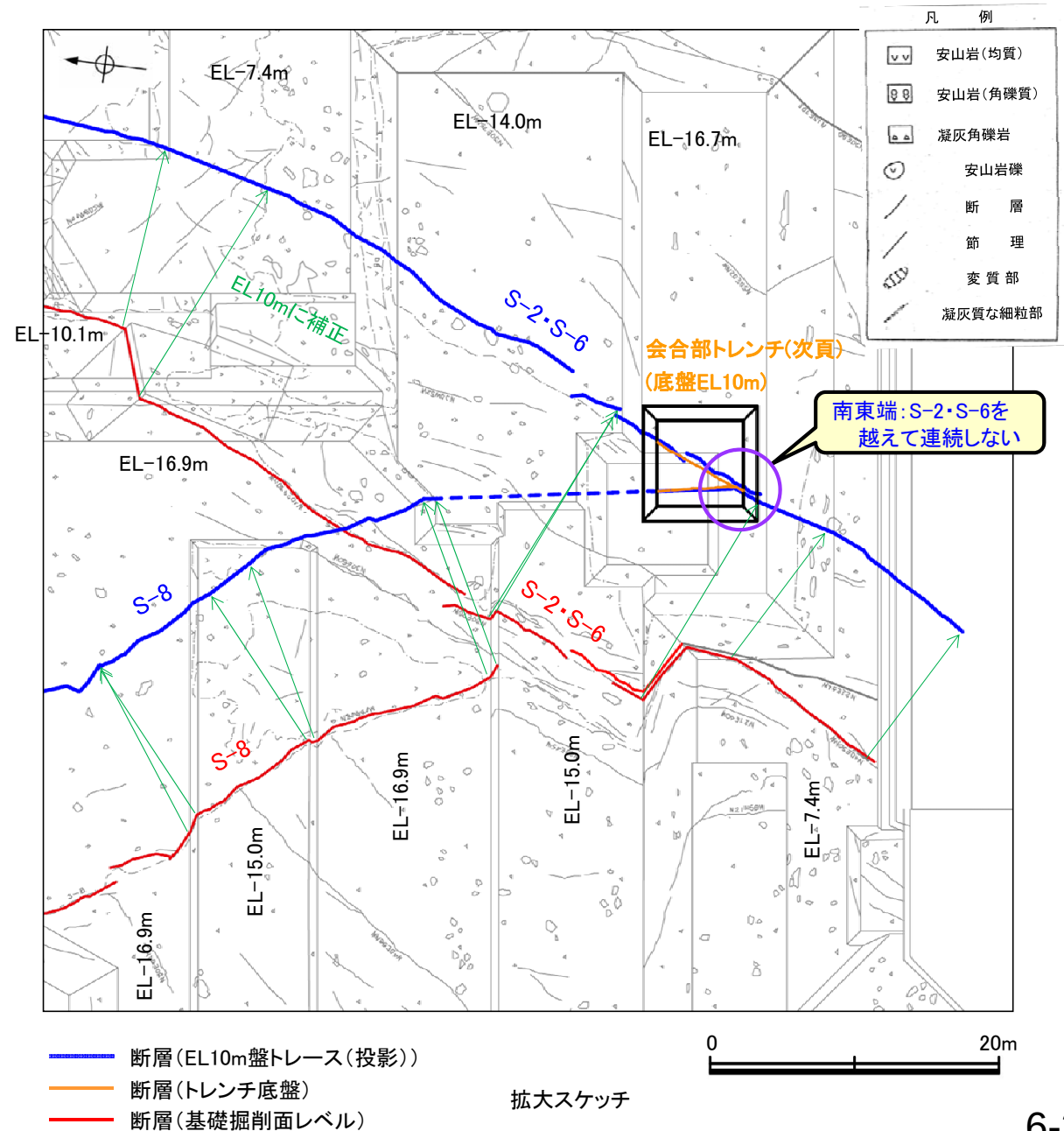
■S-8南東端の評価を以下に示す。

【S-8南東端の評価】

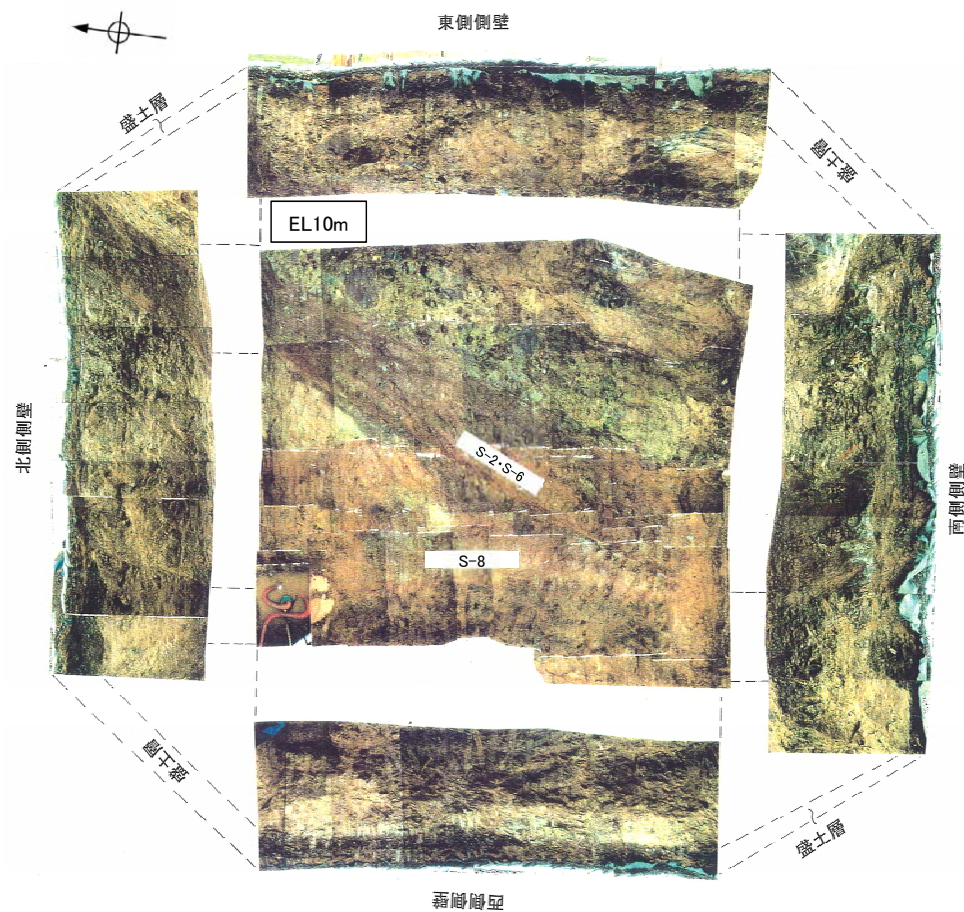
2号機基礎掘削面及び会合部トレンチにおいて、S-8はS-2・S-6を越えて連続しないことを確認。



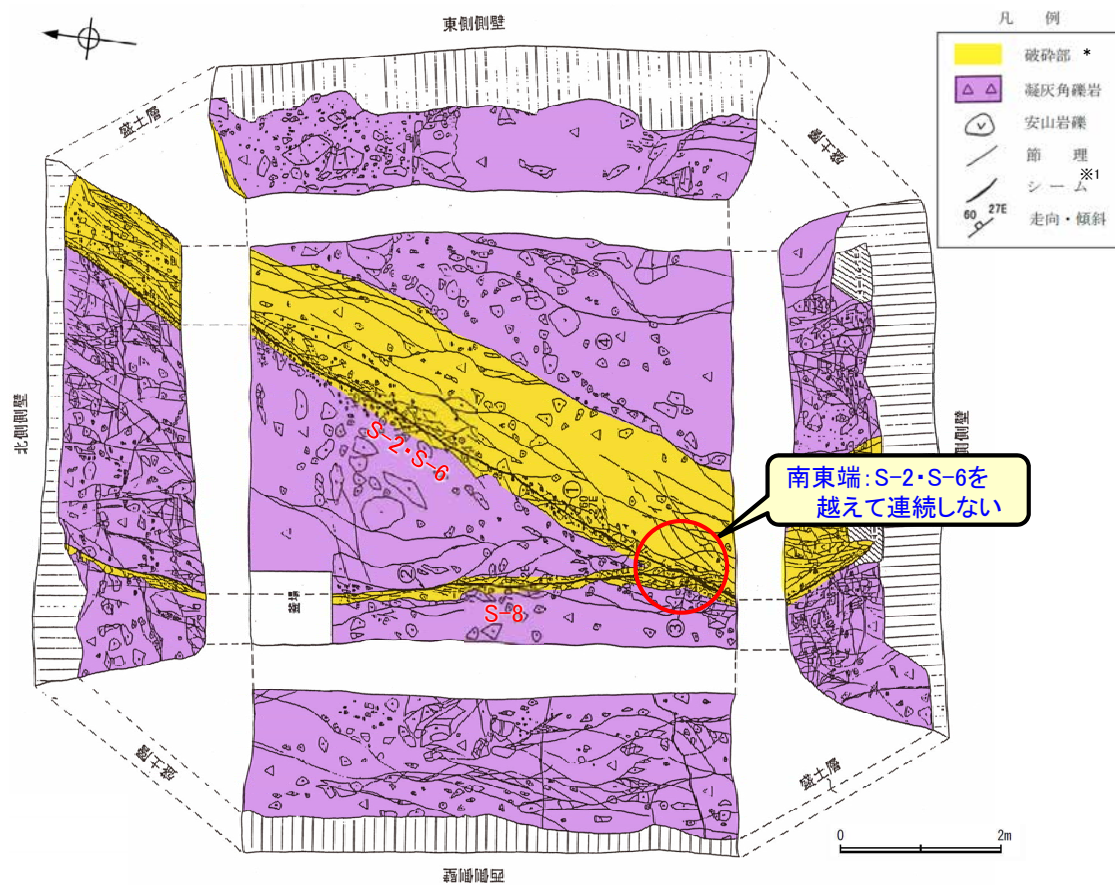
2号機基礎掘削面



○会合部トレンチの調査結果を以下に示す。



会合部トレンチ写真(展開図)



会合部トレンチスケッチ(展開図)
S-2・S-6とS-8の会合部の状況

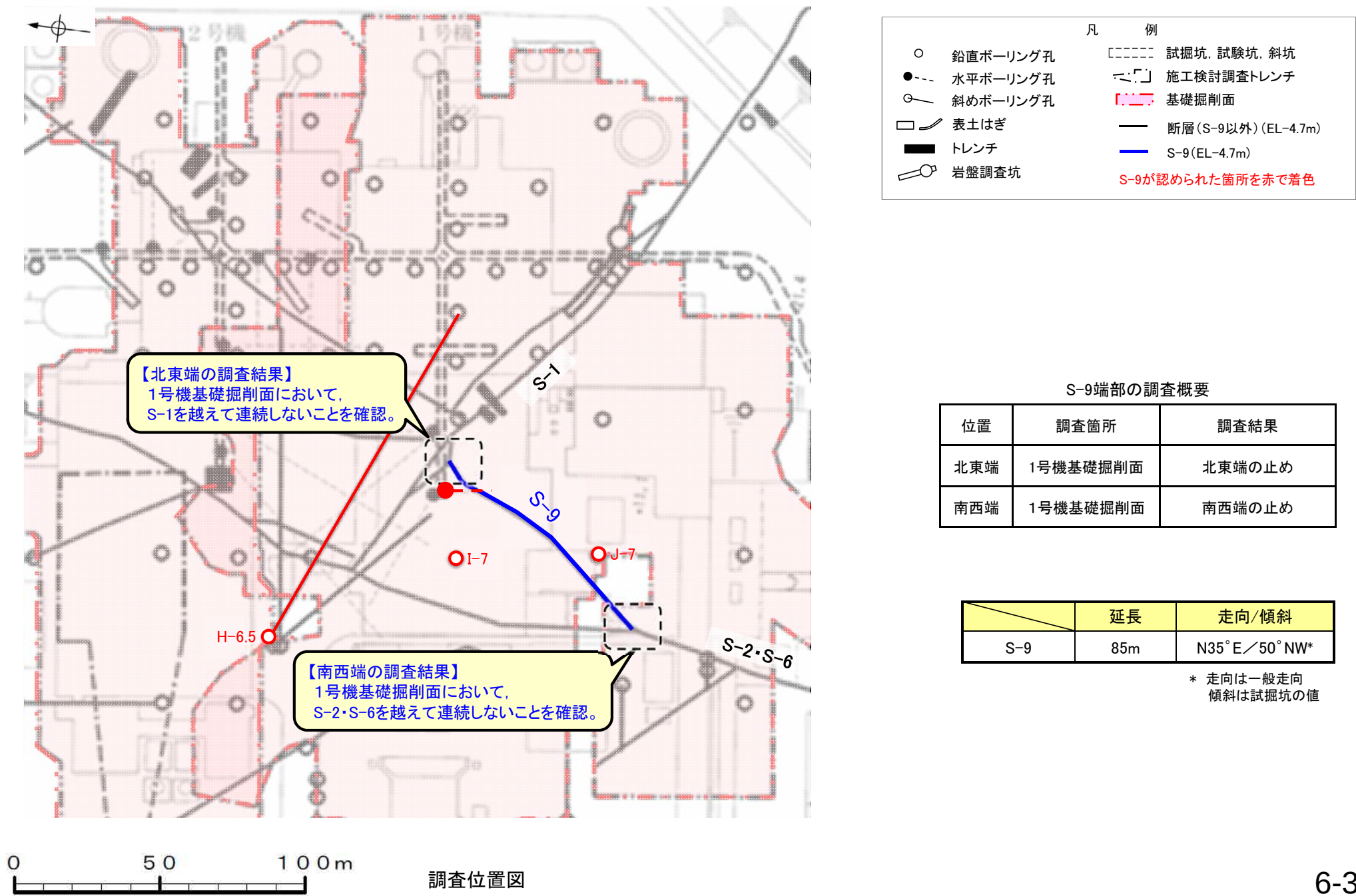
※1 スケッチ時の記載用語。
「粘土状破砕部」に対応する。

S-8は、S-2・S-6を越えて連続しない。

(7) S-9端部の調査結果

S-9端部の調査結果　－概要－

■S-9端部の調査結果の概要を以下に示す。



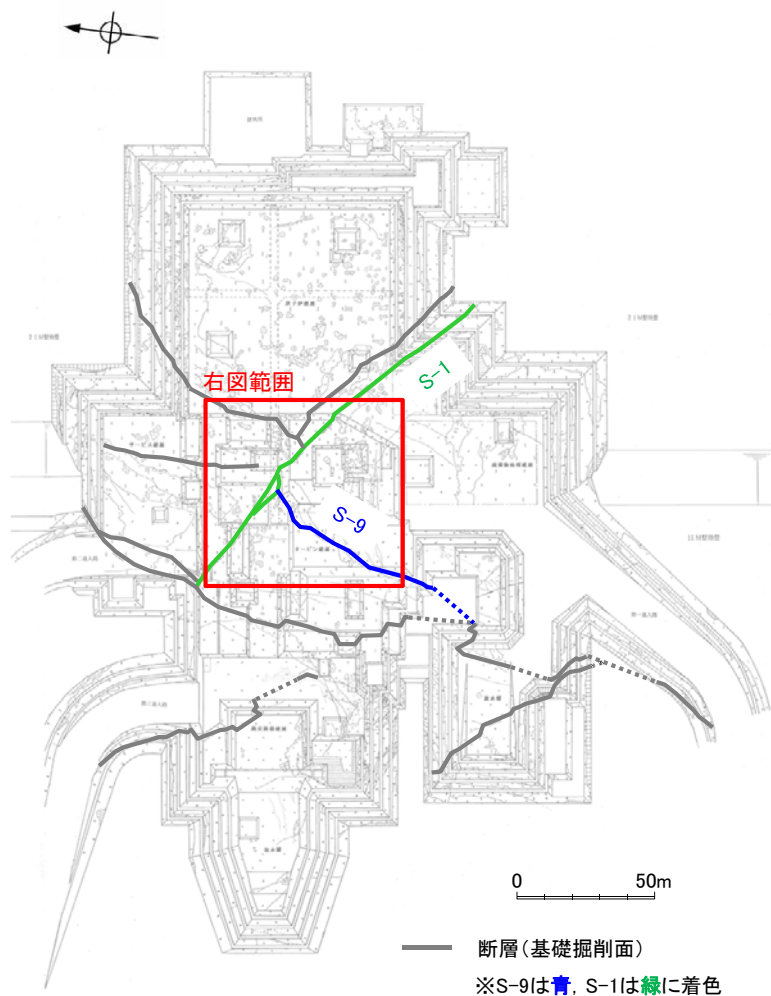
S-9端部の評価 ―北東端:1号機基礎掘削面―

第553回審査会合
机上配布資料1 P.9-5 一部修正

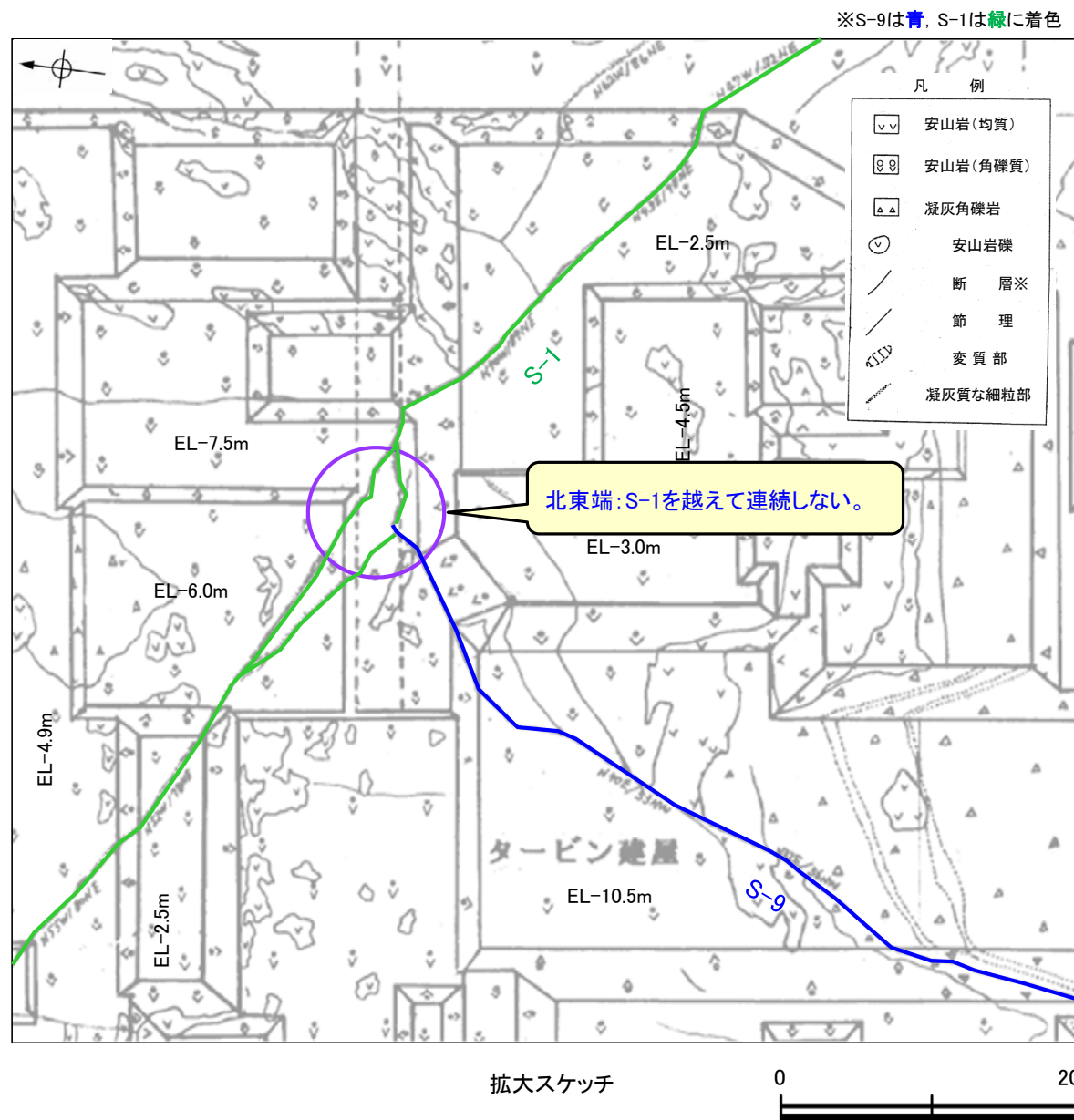
■S-9北東端の評価を以下に示す。

【S-9北東端の評価】

1号機基礎掘削面において、S-9はS-1を越えて連続しないことを確認。



1号機基礎掘削面



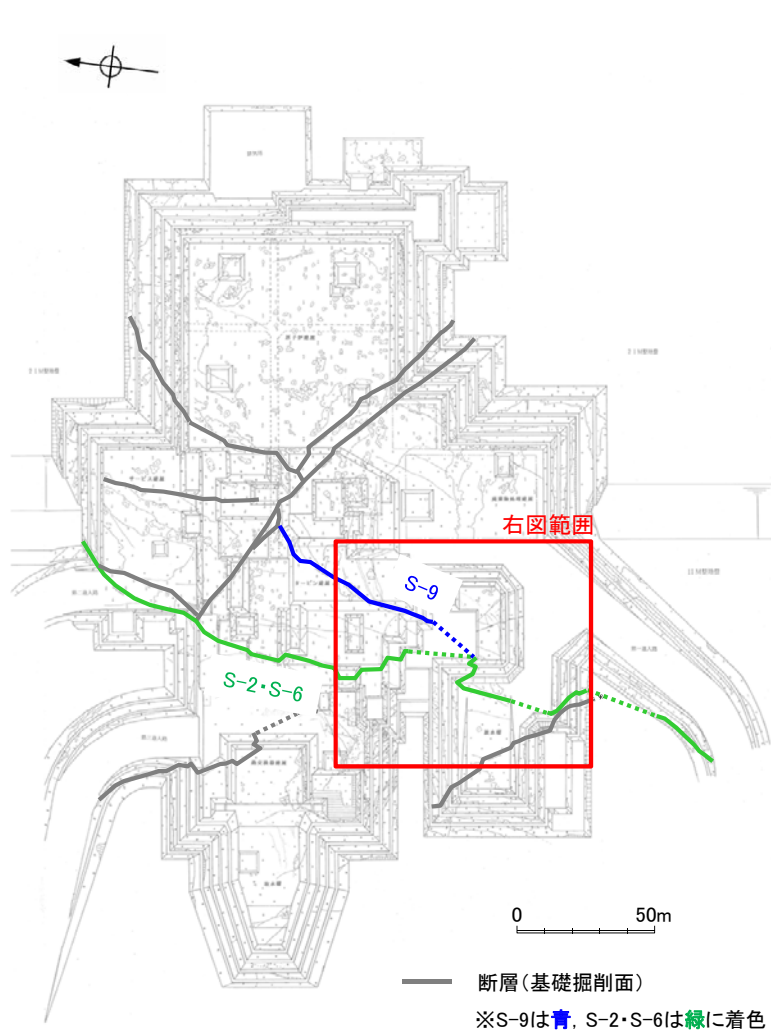
S-9端部の評価 ―南西端:1号機基礎掘削面―

第553回審査会合
机上配布資料1 P.9-6 一部修正

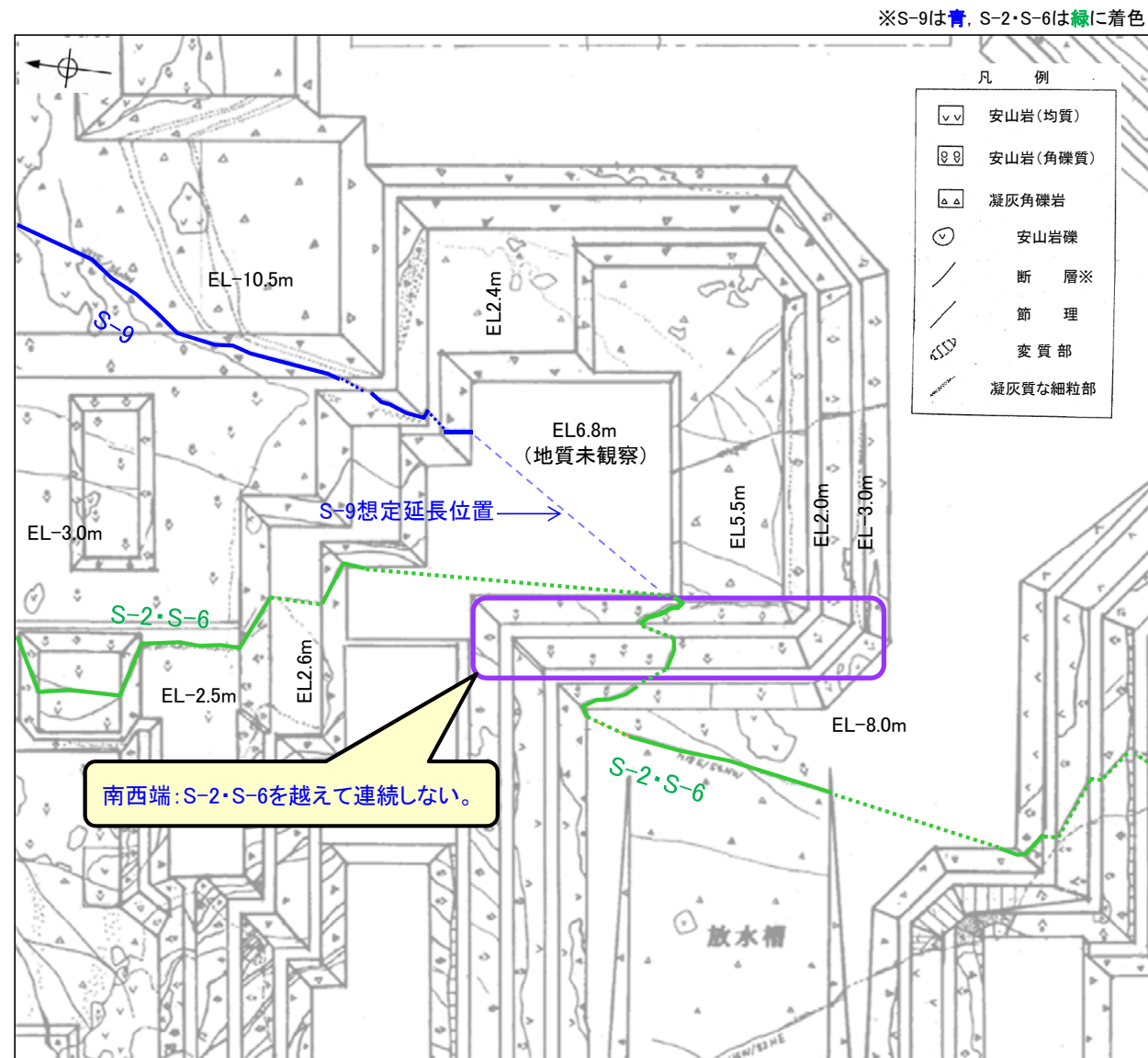
■S-9南西端の評価を以下に示す。

【S-9南西端の評価】

1号機基礎掘削面において、S-9はS-2・S-6を越えて連続しないことを確認。



1号機基礎掘削面



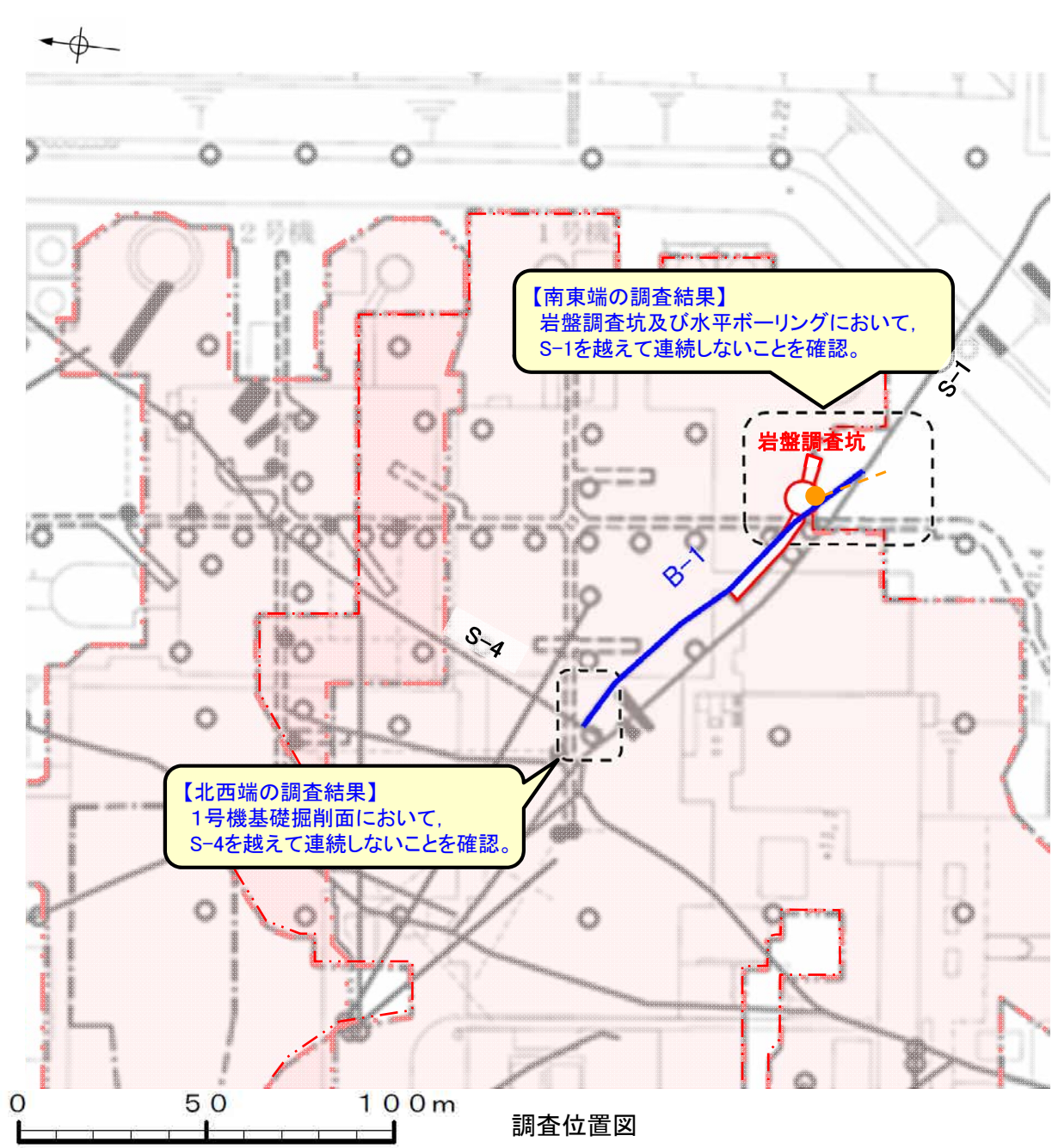
拡大スケッチ

0 20m

(8) B-1端部の調査結果

B-1端部の調査結果　－概要－

■B-1端部の調査結果の概要を以下に示す。



凡 例

○

鉛直ボーリング孔

●

水平ボーリング孔

○

斜めボーリング孔

□

表土はぎ

■

トレンチ

○

岩盤調査坑

□

試掘坑、試験坑、斜坑

□

施工検討調査トレンチ

□

基礎掘削面

—

断層(B-1以外)(EL-4.7m)

—

B-1(EL-4.7m)

B-1が認められた箇所を赤で着色

B-1端部においてB-1が認められない箇所を橙で着色

B-1端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北西端	1号機基礎掘削面	北西端の止め
南東端	岩盤調査坑及び水平ボーリング	南東端の止め

	延長	走向/傾斜
B-1	100m	N49° W／86° NE*

* 走向は一般走向
傾斜は基礎掘削面の値

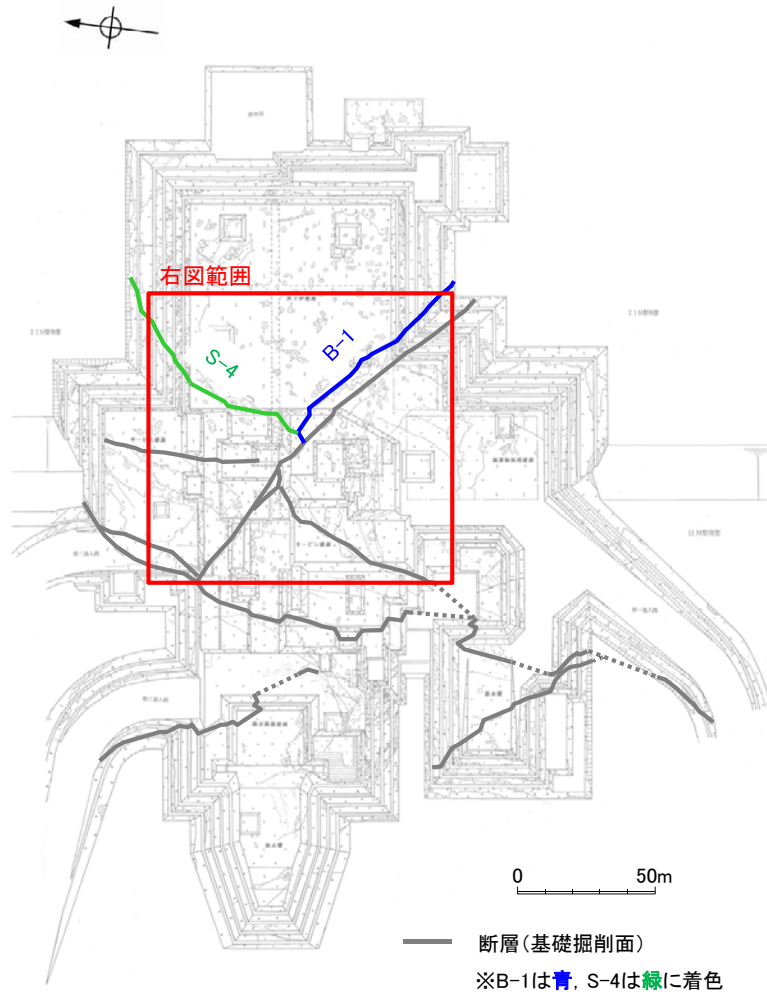
B-1端部の評価 ―北西端:1号機基礎掘削面―

第553回審査会合
机上配布資料1 P.9-11 一部修正

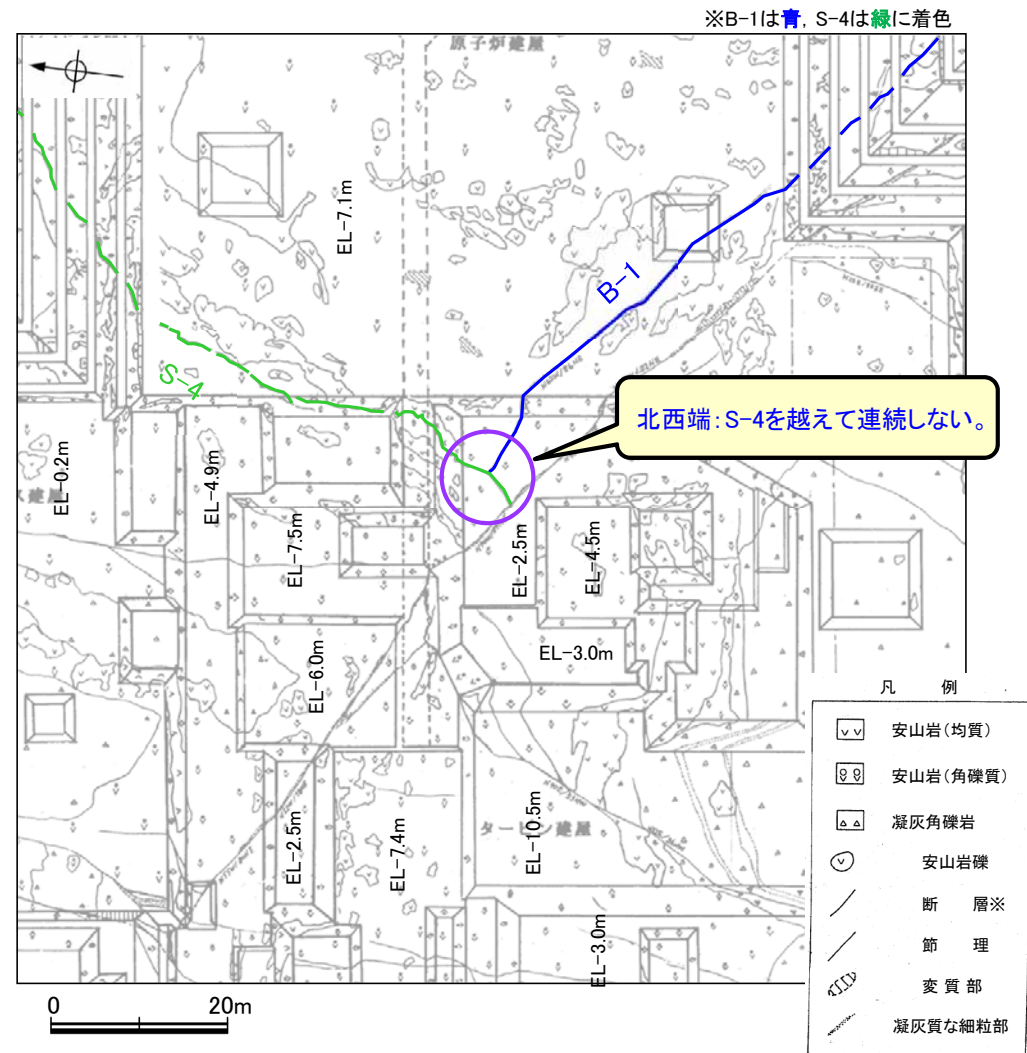
■B-1北西端の評価を以下に示す。

【B-1北西端の評価】

1号機基礎掘削面において、B-1はS-4を越えて連続しないことを確認。



1号機基礎掘削面

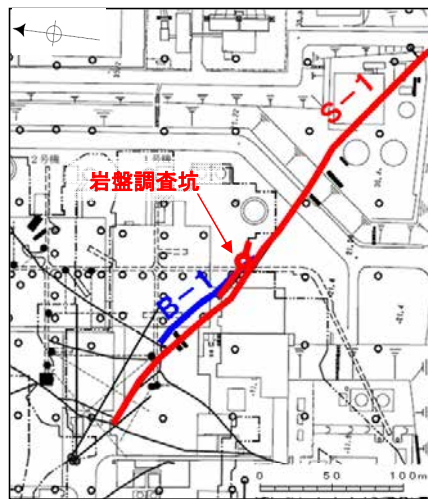


拡大スケッチ

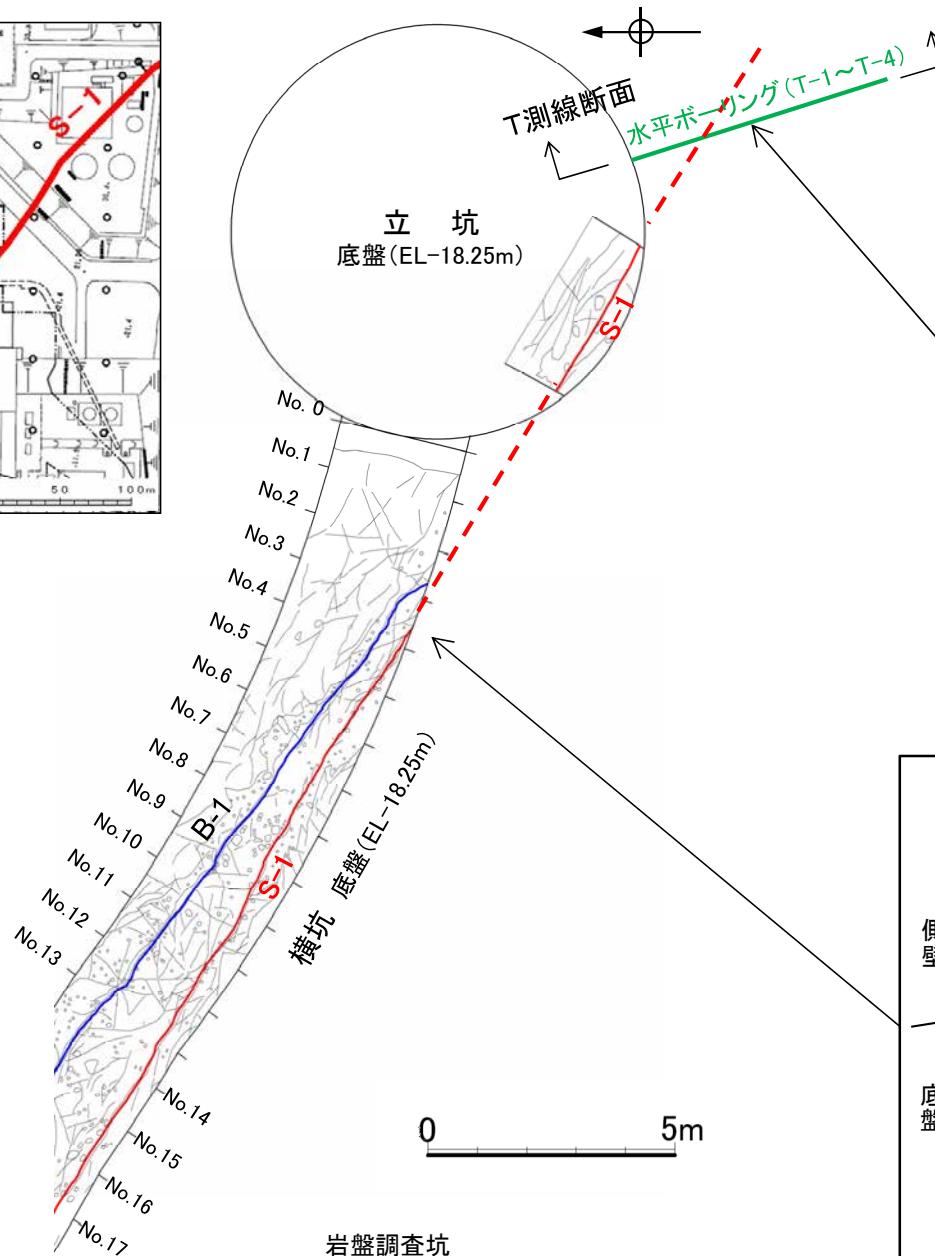
■B-1南東端の評価を以下に示す。

【B-1南東端の評価】

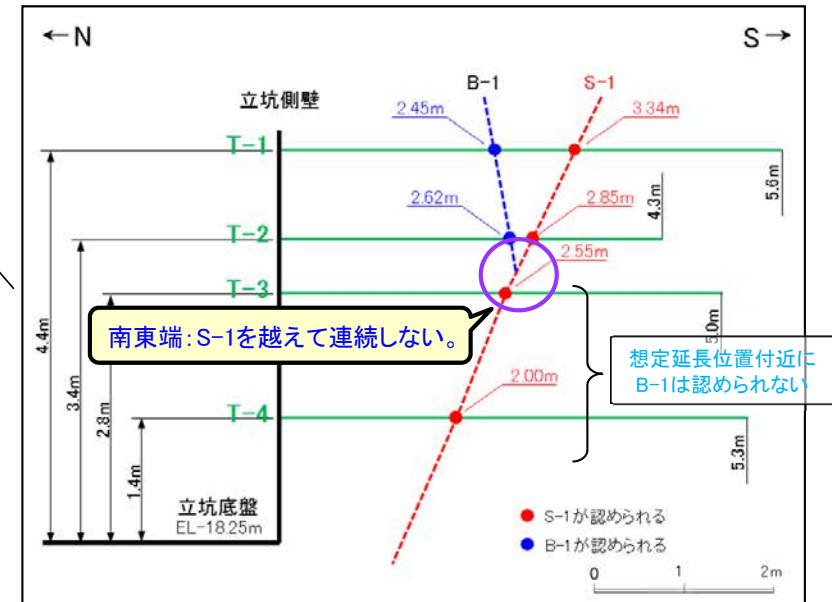
岩盤調査坑及び水平ボーリングにおいて、B-1はS-1を越えて連続しないことを確認。



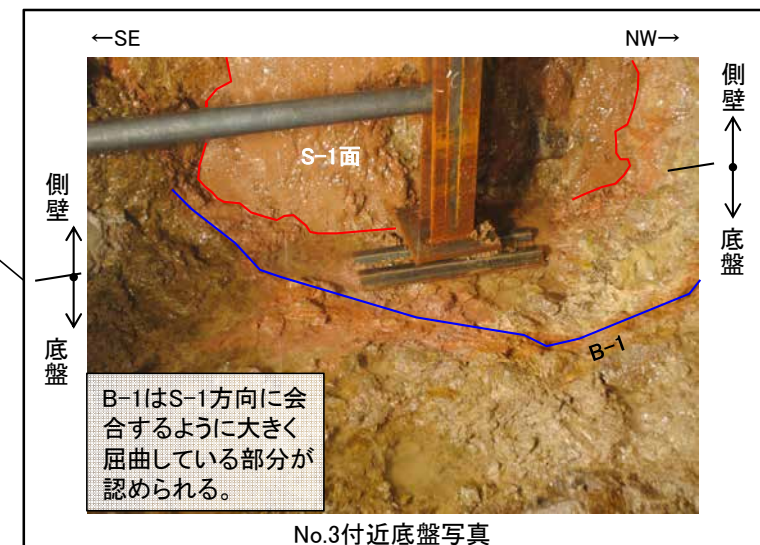
位置図



岩盤調査坑
ボーリング調査位置図



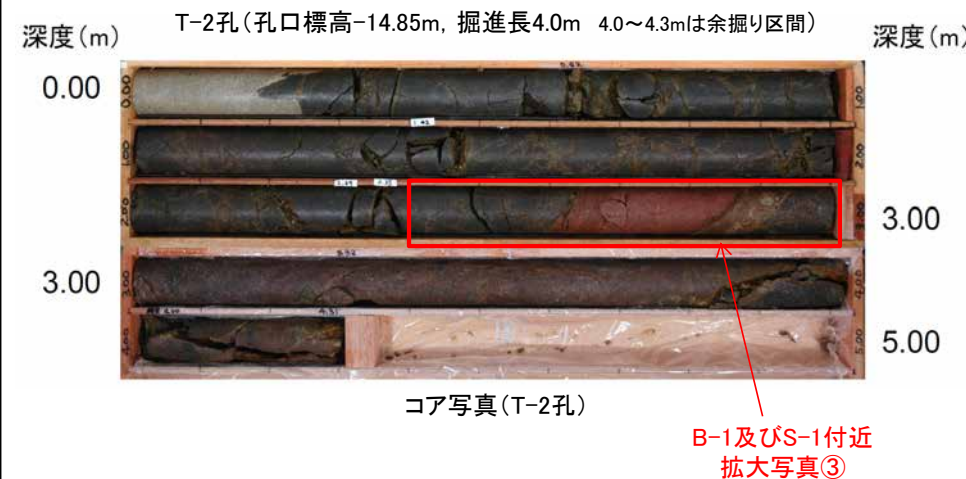
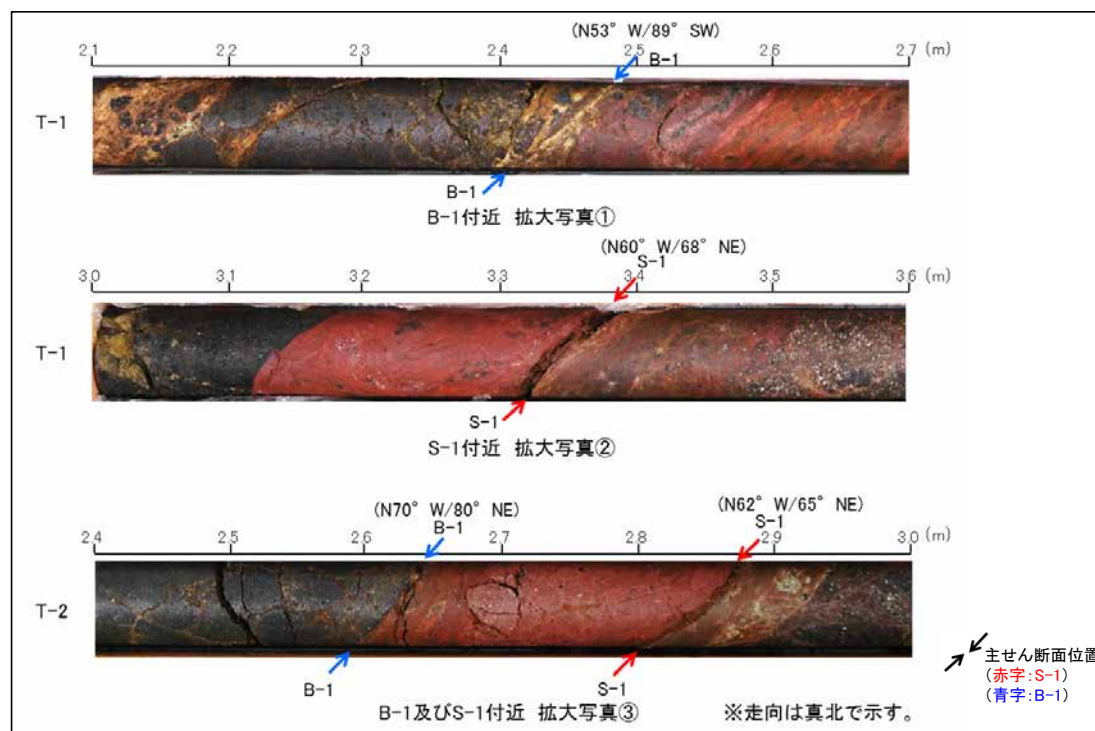
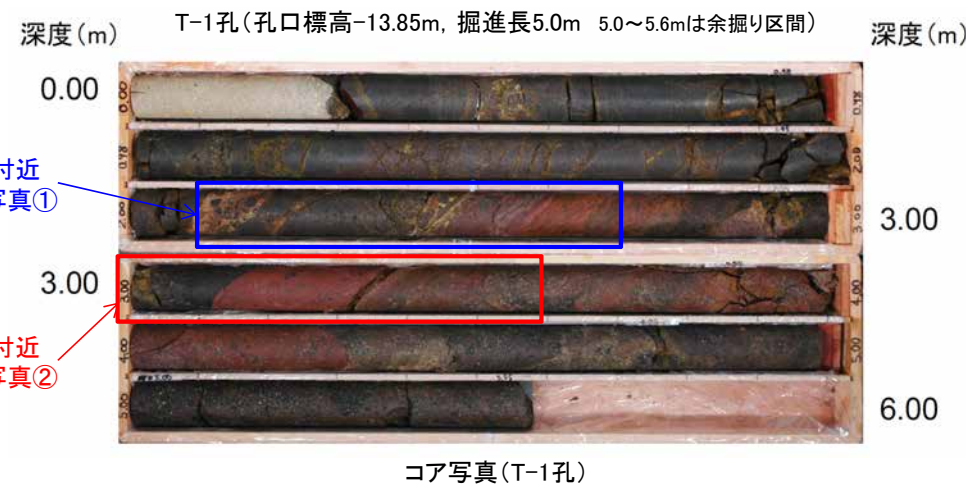
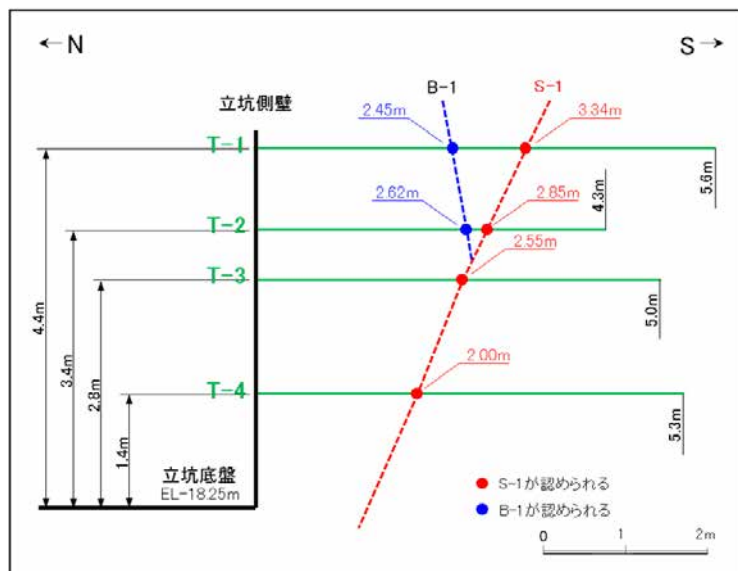
T測線水平ボーリング 断面図 (H:V=1:1)
(各孔のボーリングコア写真を次頁以降に示す)



No.3付近底盤写真

水平ボーリング(T-1孔, T-2孔) コア写真

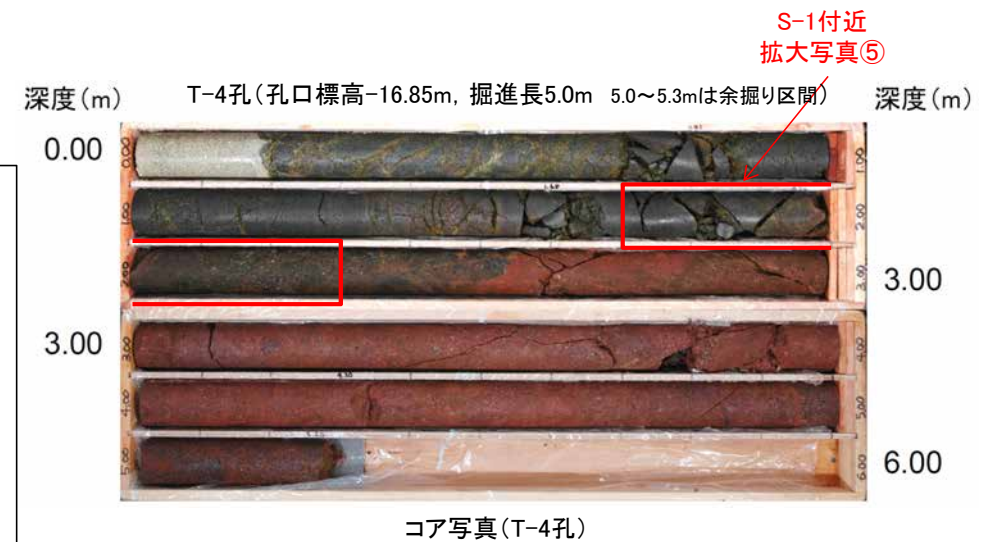
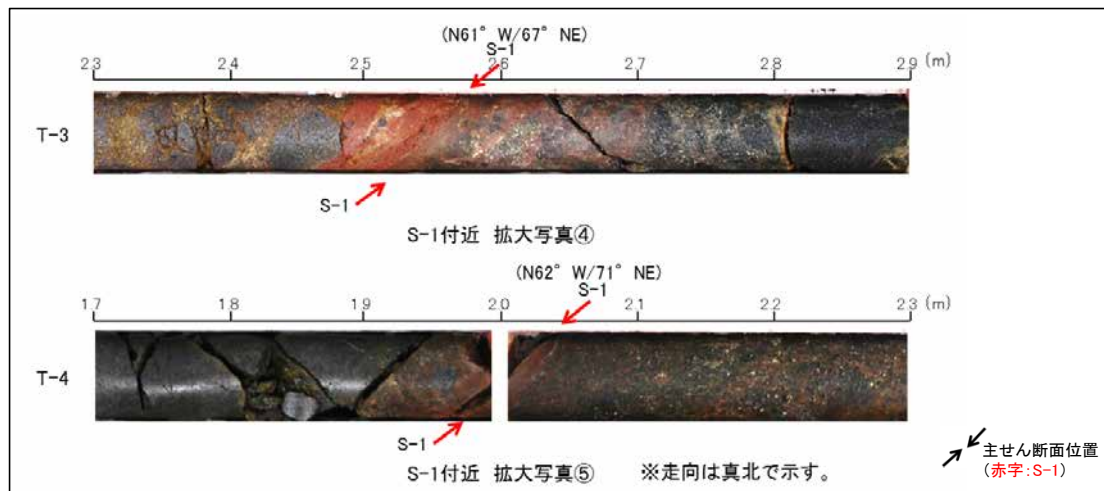
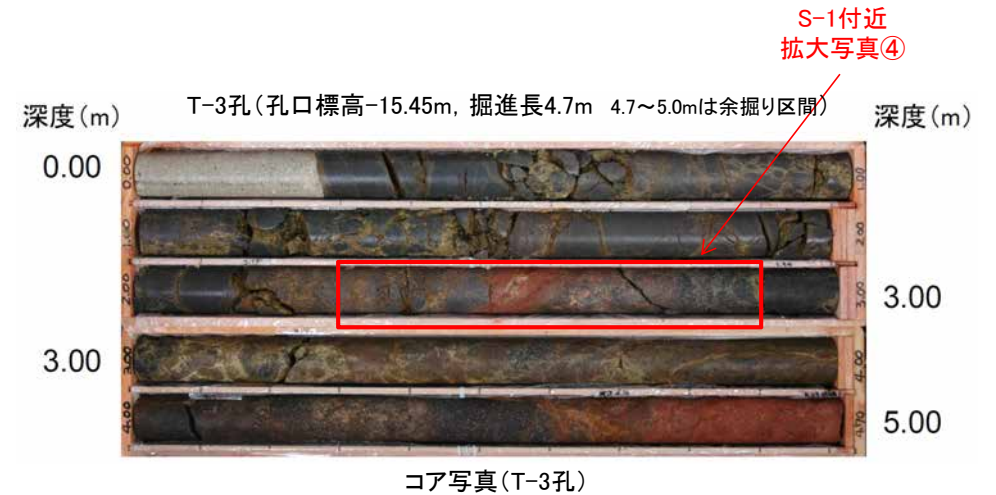
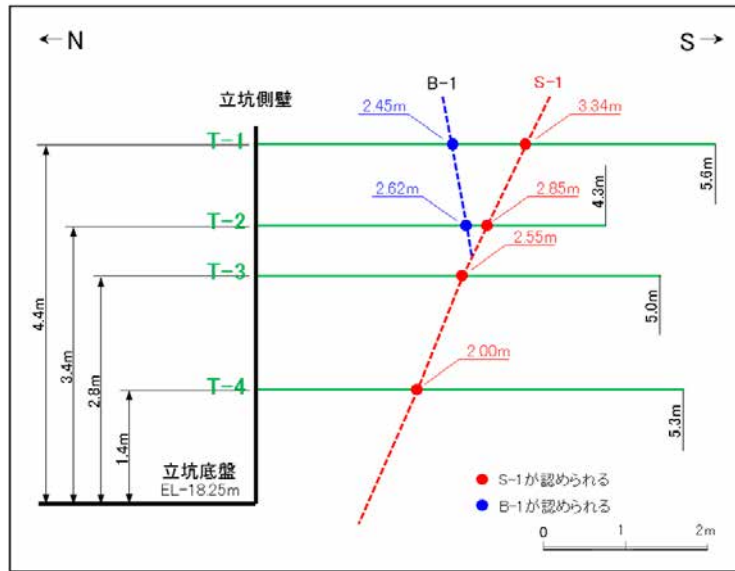
柱状図はデータ集10 P.10-9-3~4



T-1, T-2孔においてS-1とその上盤側にB-1が認められる。

水平ボーリング(T-3孔, T-4孔) コア写真

柱状図はデータ集10 P.10-9-5~6

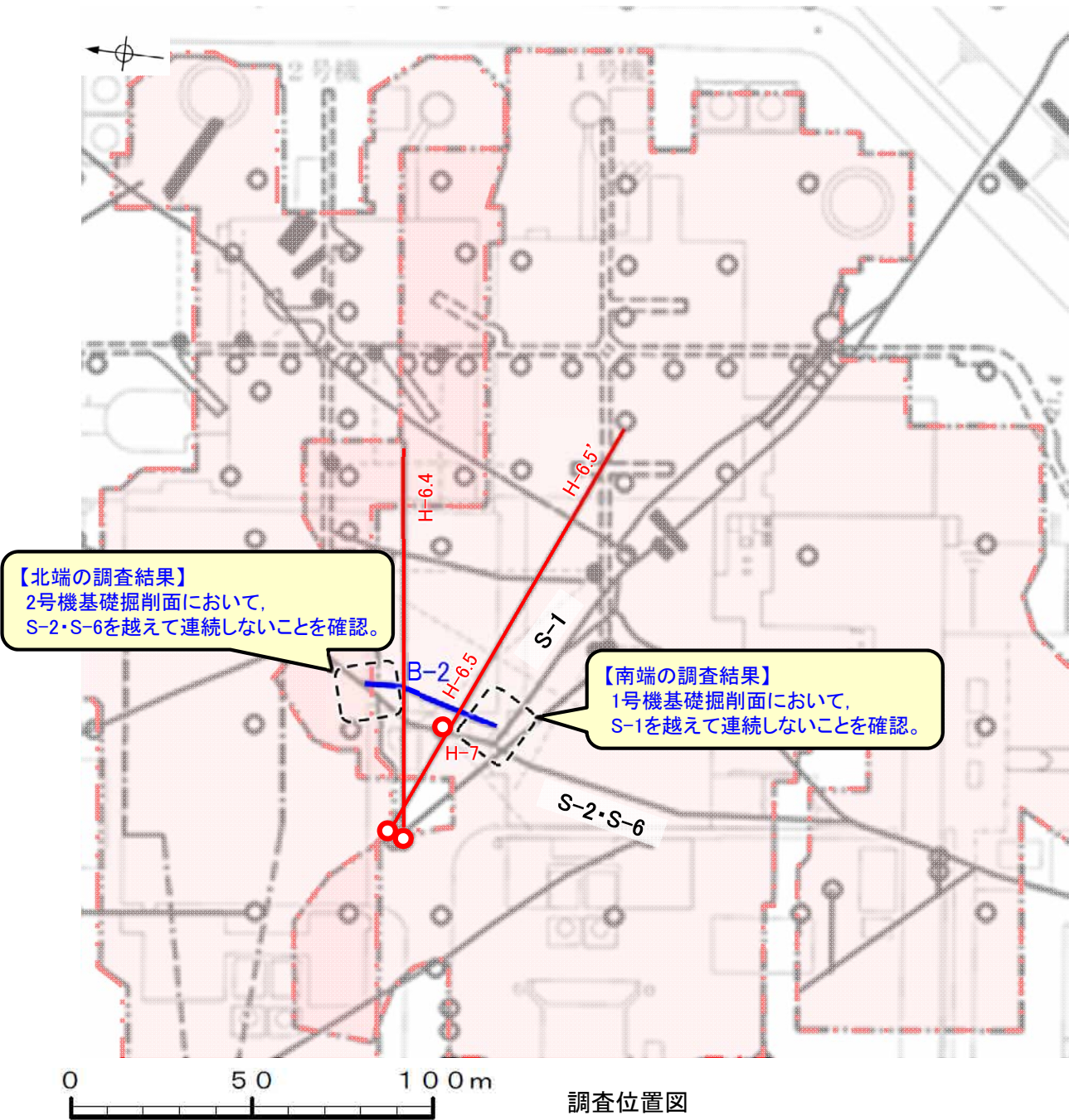


T-3, T-4孔においてS-1が認められるものの, その下盤側にB-1は認められない。

(9) B-2端部の調査結果

B-2端部の調査結果 ー概要ー

■B-2端部の調査結果の概要を以下に示す。



凡 例

○

鉛直ボーリング孔

●

水平ボーリング孔

○

斜めボーリング孔

□

表土はぎ

■

トレンチ

○

岩盤調査坑

□

試掘坑、試験坑、斜坑

□

施工検討調査トレンチ

□

基礎掘削面

—

断層(B-2以外)(EL-4.7m)

—

B-2(EL-4.7m)

—

B-2が認められた箇所を赤で着色

B-2端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北端	2号機基礎掘削面	北端の止め
南端	1号機基礎掘削面	南端の止め

	延長	走向/傾斜
B-2	50m	N12° E／60° NW*

* 走向は一般走向
傾斜は基礎掘削面の値

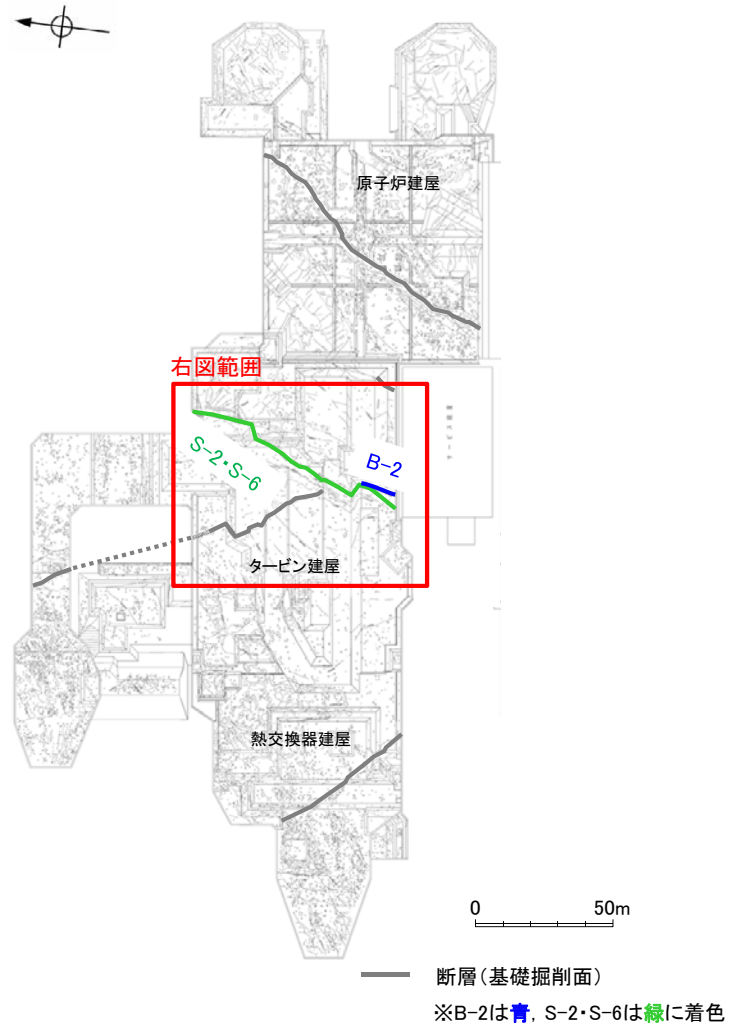
B-2端部の評価 ―北端:2号機基礎掘削面―

第553回審査会合
机上配布資料1 P.9-13 一部修正

■B-2北端の調査結果を以下に示す。

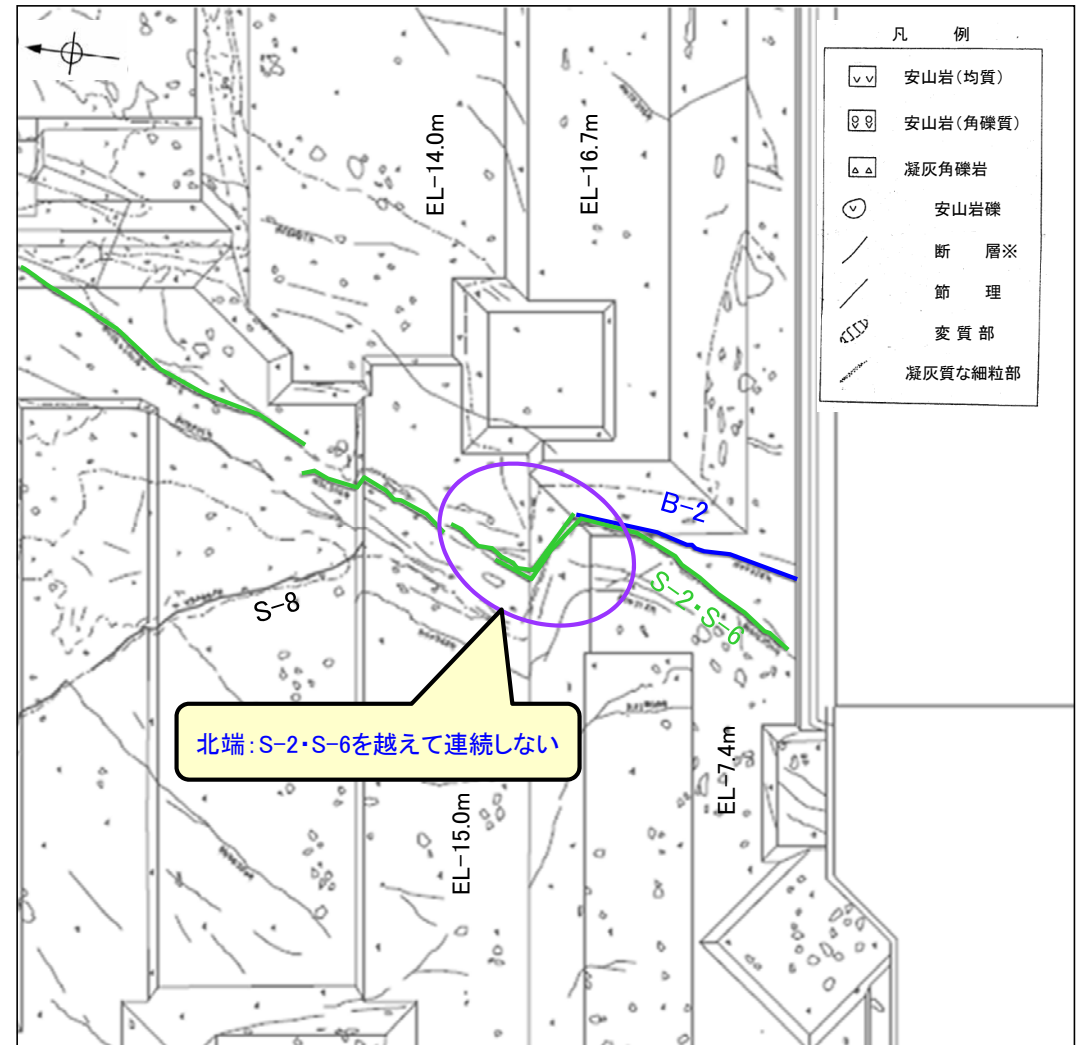
【B-2北端の評価】

2号機基礎掘削面において、B-2はS-2・S-6を越えて連続しないことを確認。



2号機基礎掘削面

※B-2は青, S-2・S-6は緑に着色

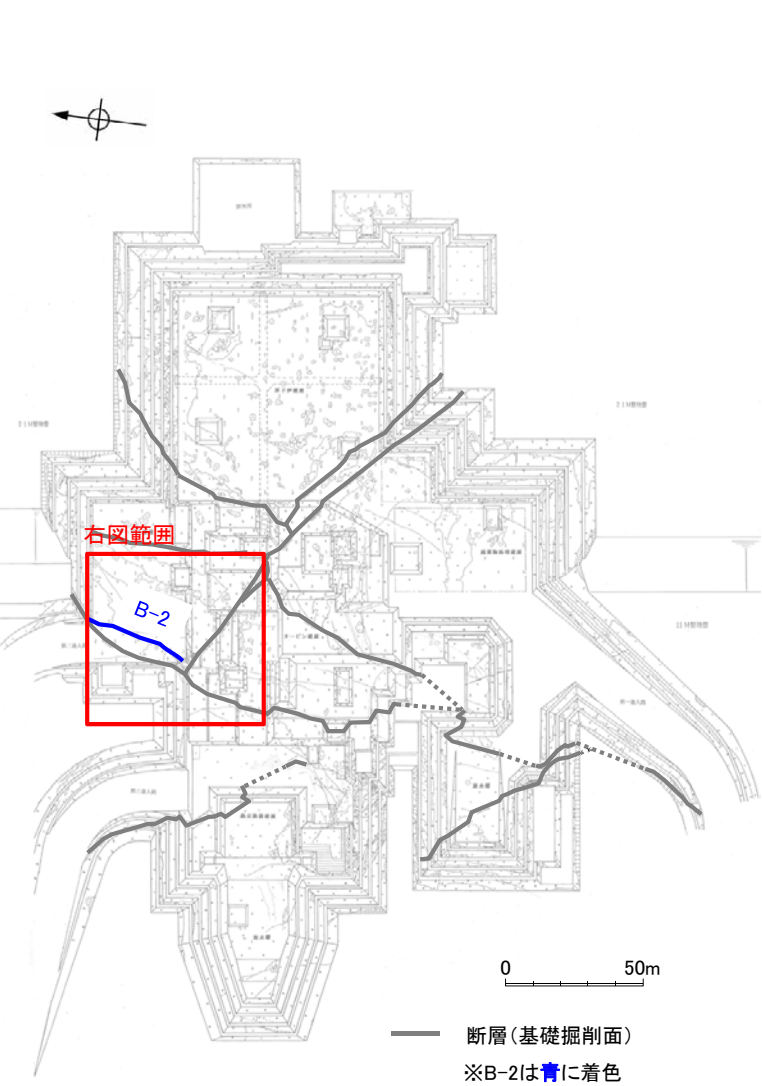


拡大スケッチ

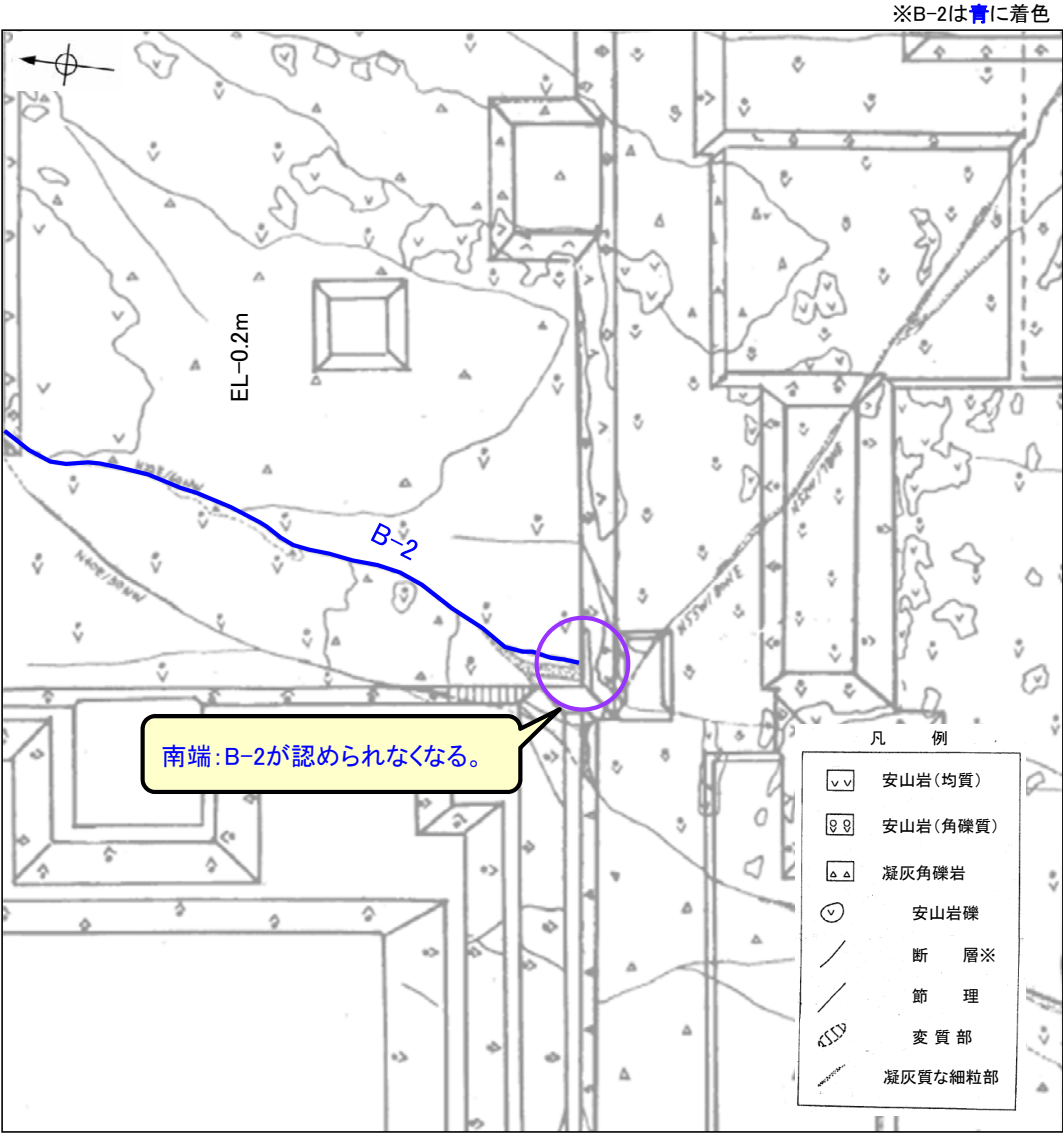
B-2端部の評価　－南端：1号機基礎掘削面－

■B-2南端の評価を以下に示す。

【B-2南端の評価】
1号機基礎掘削面において、B-2が認められなくなることを確認。



1号機基礎掘削面

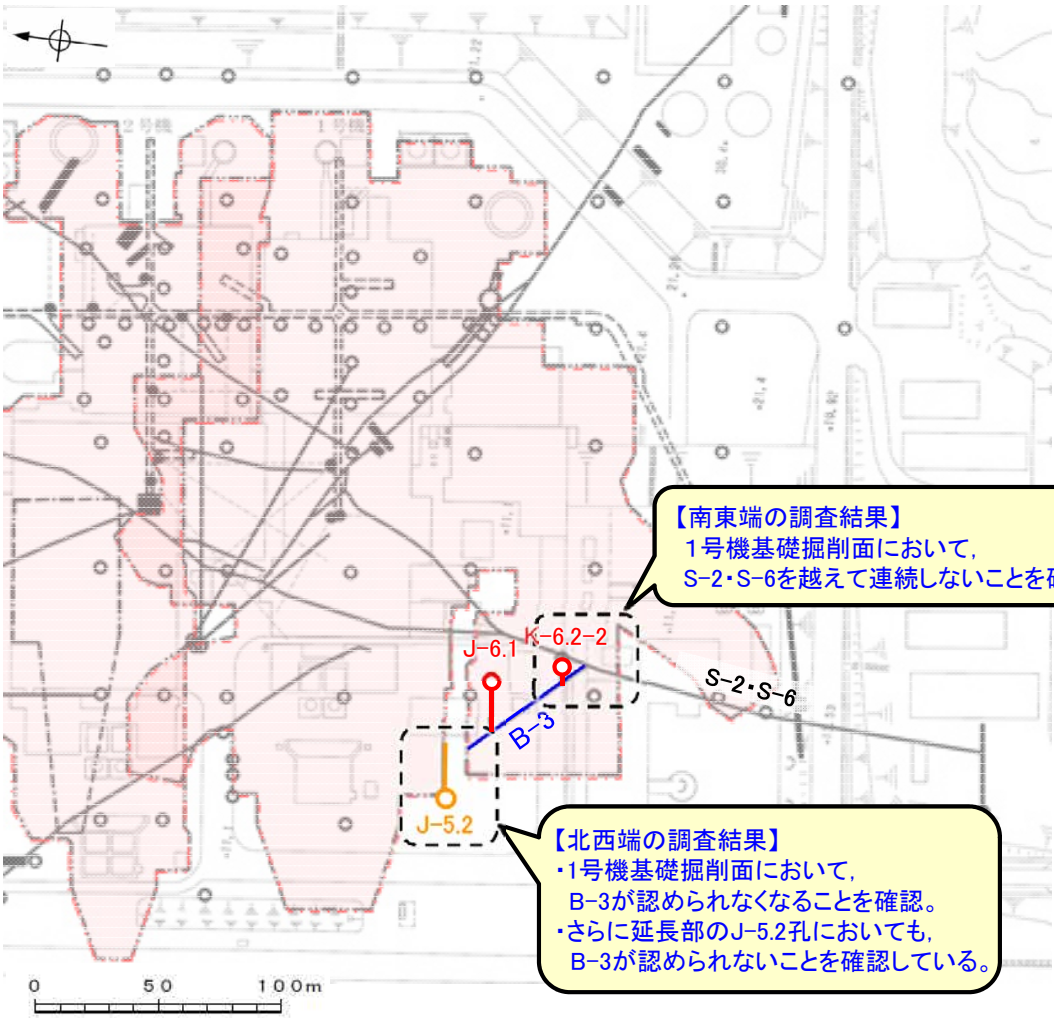


拡大スケッチ



(10) B-3端部の調査結果

■B-3端部の調査結果の概要を以下に示す。



調査位置図

凡 例

○	鉛直ボーリング孔	[-----]	試掘坑, 試験坑, 斜坑
●---	水平ボーリング孔	┌─┐└─┘	施工検討調査トレンチ
○---	斜めボーリング孔	[■]	基礎掘削面
□	表土はぎ	—	断層(B-3以外)(EL-4.7m)
■	トレンチ	—	B-3(EL-4.7m)
○	岩盤調査坑		B-3が認められた箇所を赤で着色
			B-3端部においてB-3が認められない箇所を橙で着色

B-3端部の調査概要		
位置	調査箇所	調査結果
北西端	1号機基礎掘削面	北西端の止め
	J-5.2孔	さらに延長部の止め
南東端	1号機基礎掘削面	南東端の止め

	長さ	走向/傾斜
B-3	60m	N42°W／82°NE*

* 走向は一般走向
傾斜は基礎掘削面の値

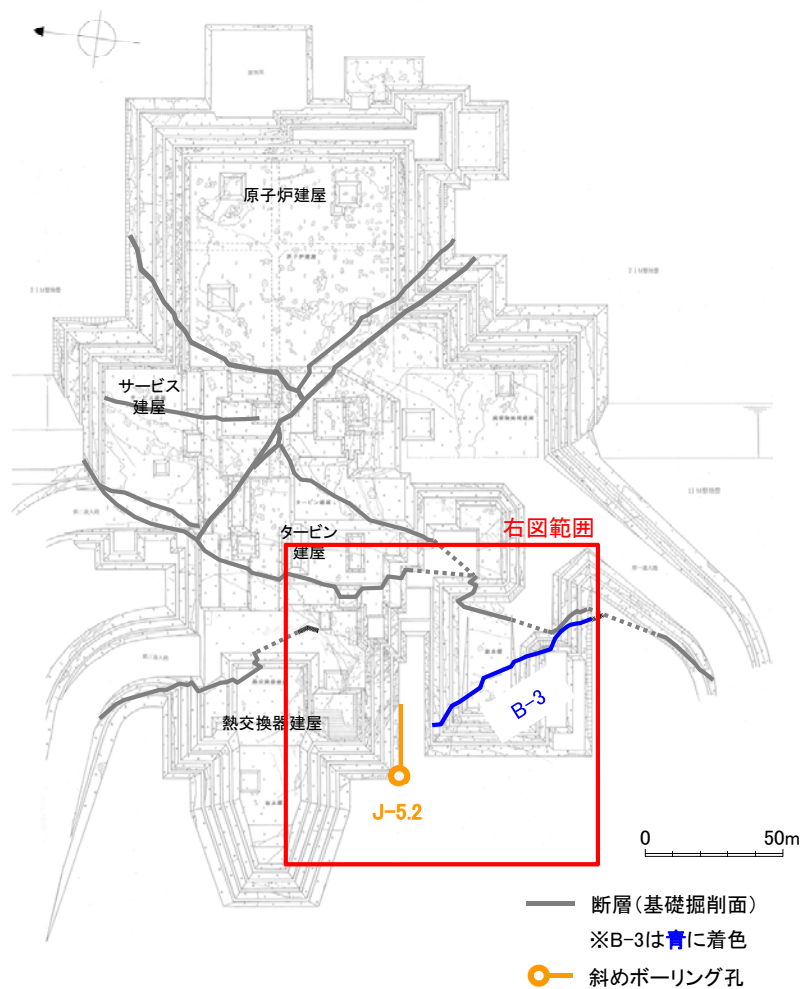
B-3端部の調査結果 ―北西端:1号機基礎掘削面―

第553回審査会合
机上配布資料1 P.1-19 一部修正

■B-3北西端の調査結果を以下に示す。

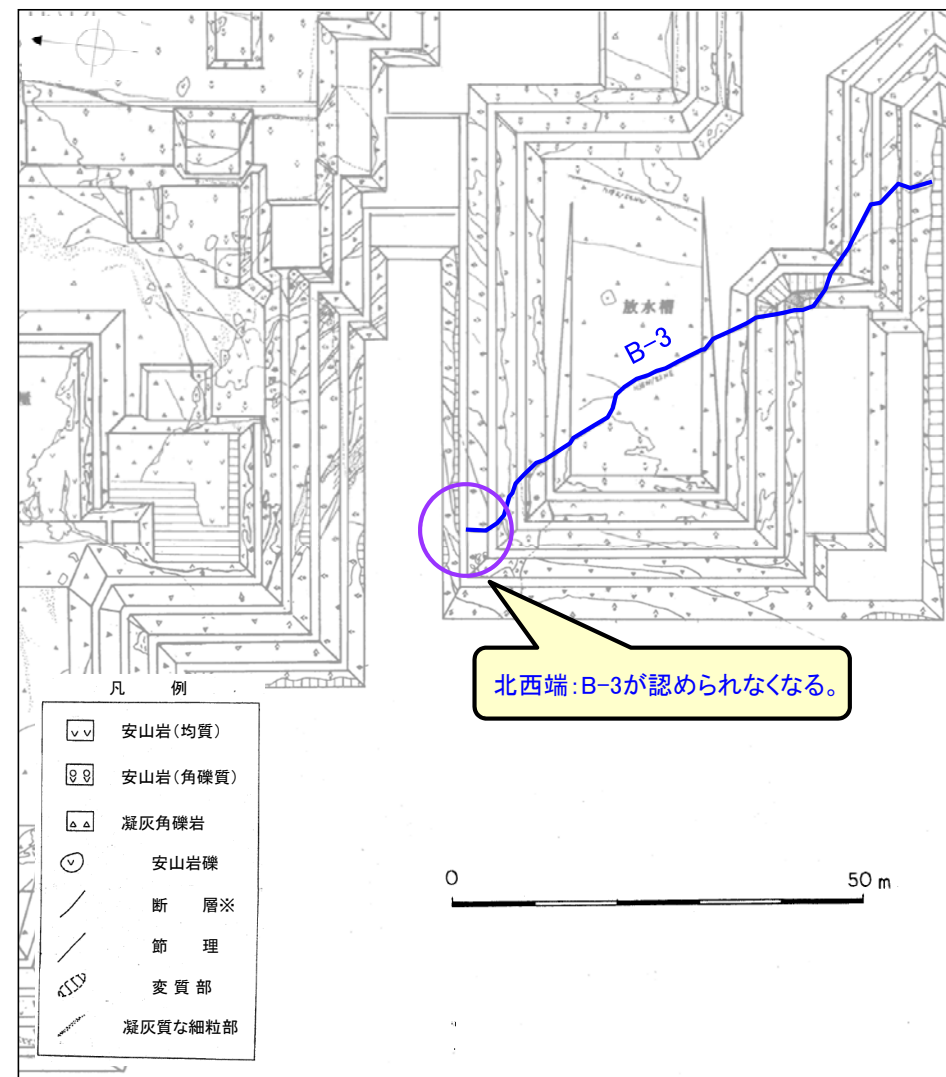
【B-3北西端の調査結果】

- ・1号機基礎掘削面において、B-3が認められなくなることを確認。
- ・さらに延長部のJ-5.2孔においても、B-3が認められないことを確認している。



1号機基礎掘削面

※B-3は青に着色

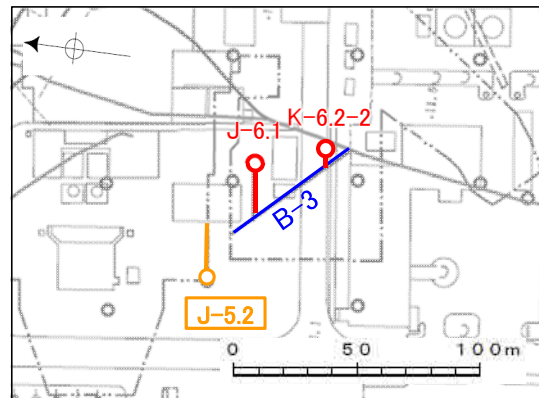


拡大スケッチ

○北西端延長部のJ-5.2孔の調査結果を以降に示す。

【J-5.2孔の調査結果】

- ・右の断面図に示すとおり、B-3の想定延長範囲は、深度5～24mとなる。
- ・想定延長範囲において、B-3は認められない。
(想定延長範囲のコア写真は次頁参照)

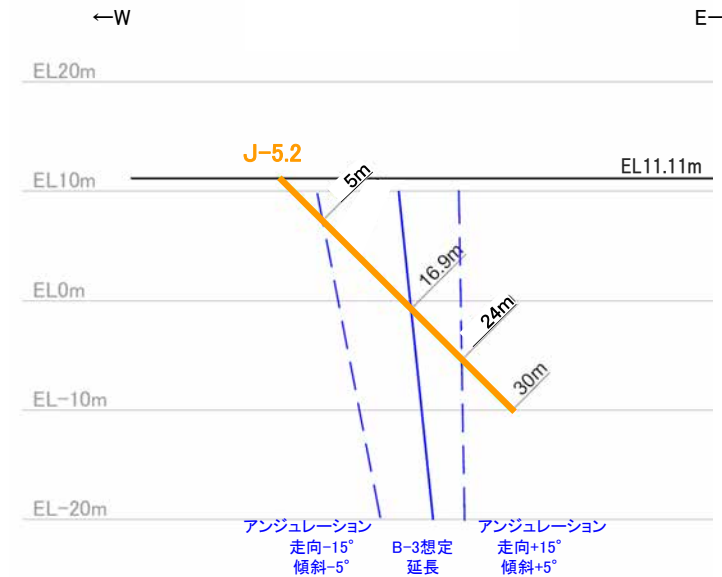


調査位置図

— B-3 (EL-4.7m)

赤: B-3が認められる箇所

橙: B-3端部においてB-3が認められない箇所

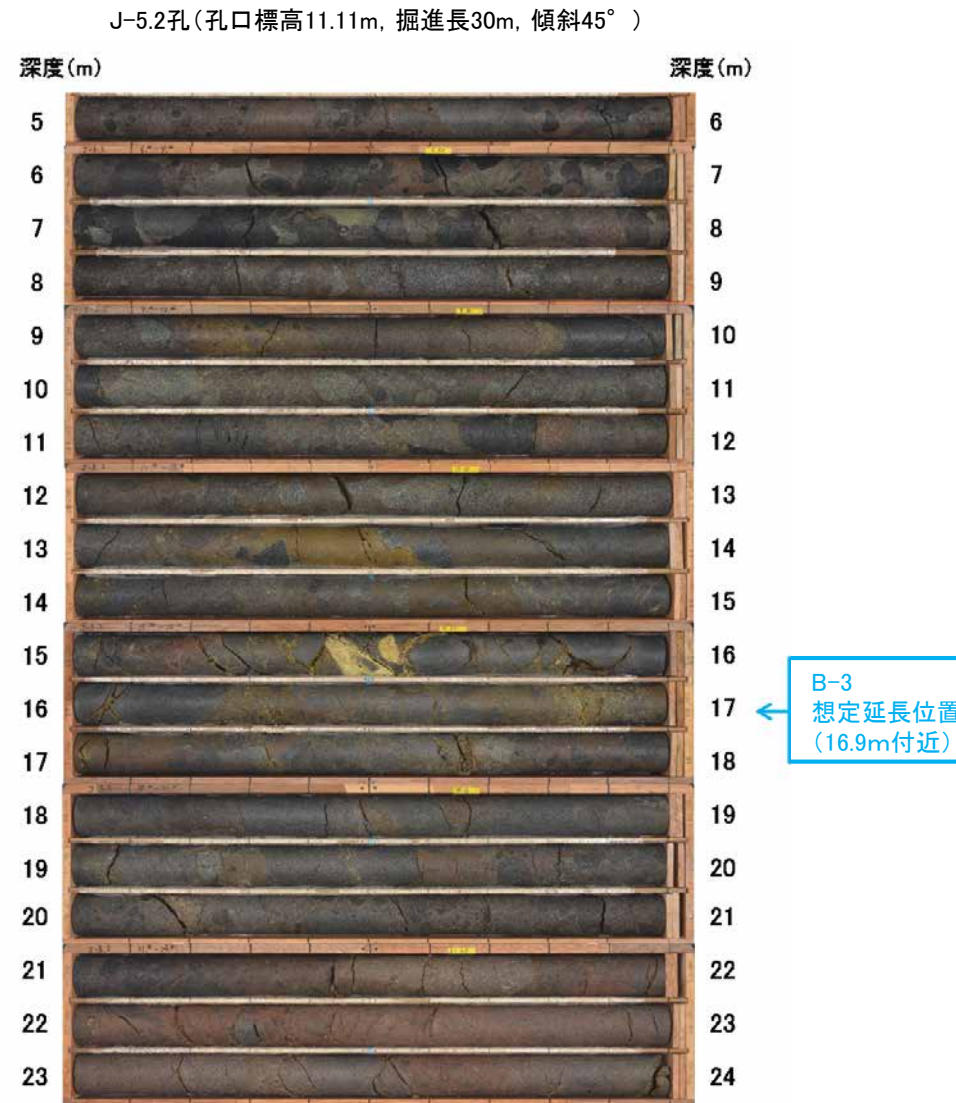


■■■■■■■■■■ B-3の想定延長範囲

J-5.2孔断面図
(掘進方向)

・B-3想定延長範囲(深度5～24m)のコア写真を以下に示す。

柱状図はデータ集10 P.10-11-5



コア写真(深度5～24m)

J-5.2孔において, B-3の想定延長範囲(深度5～24m)にB-3は認められない。

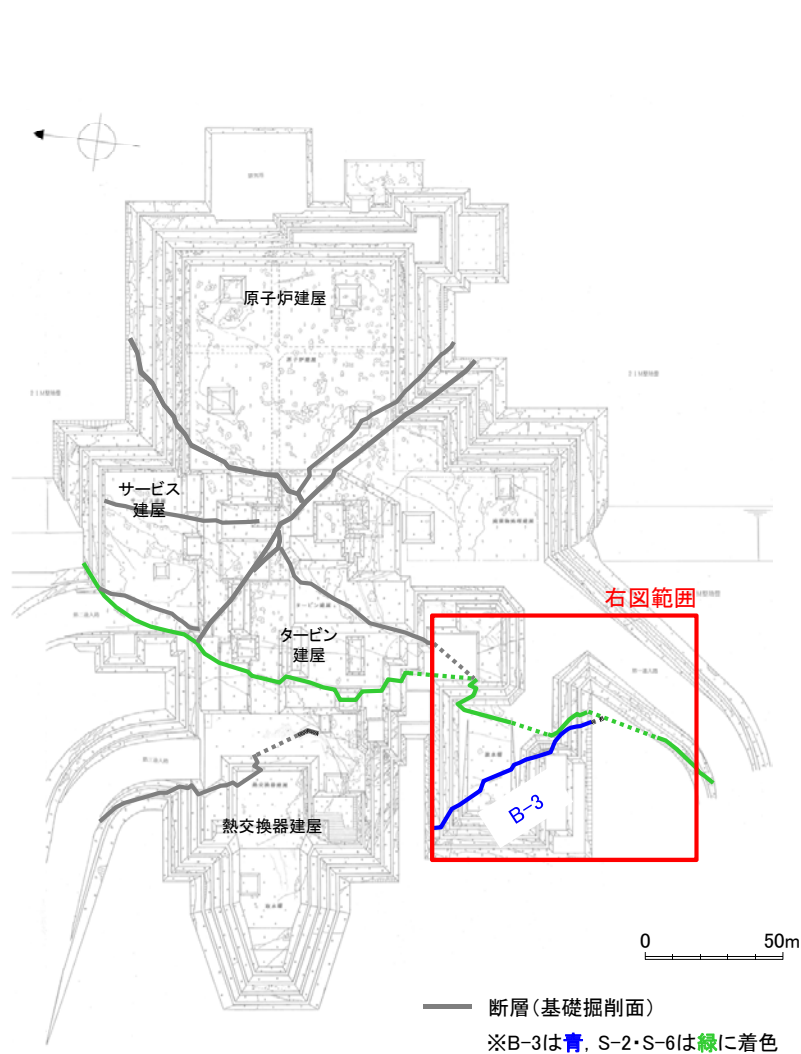
B-3端部の調査結果 ー南東端:1号機基礎掘削面ー

第553回審査会合
机上配布資料1 P.9-34 一部修正

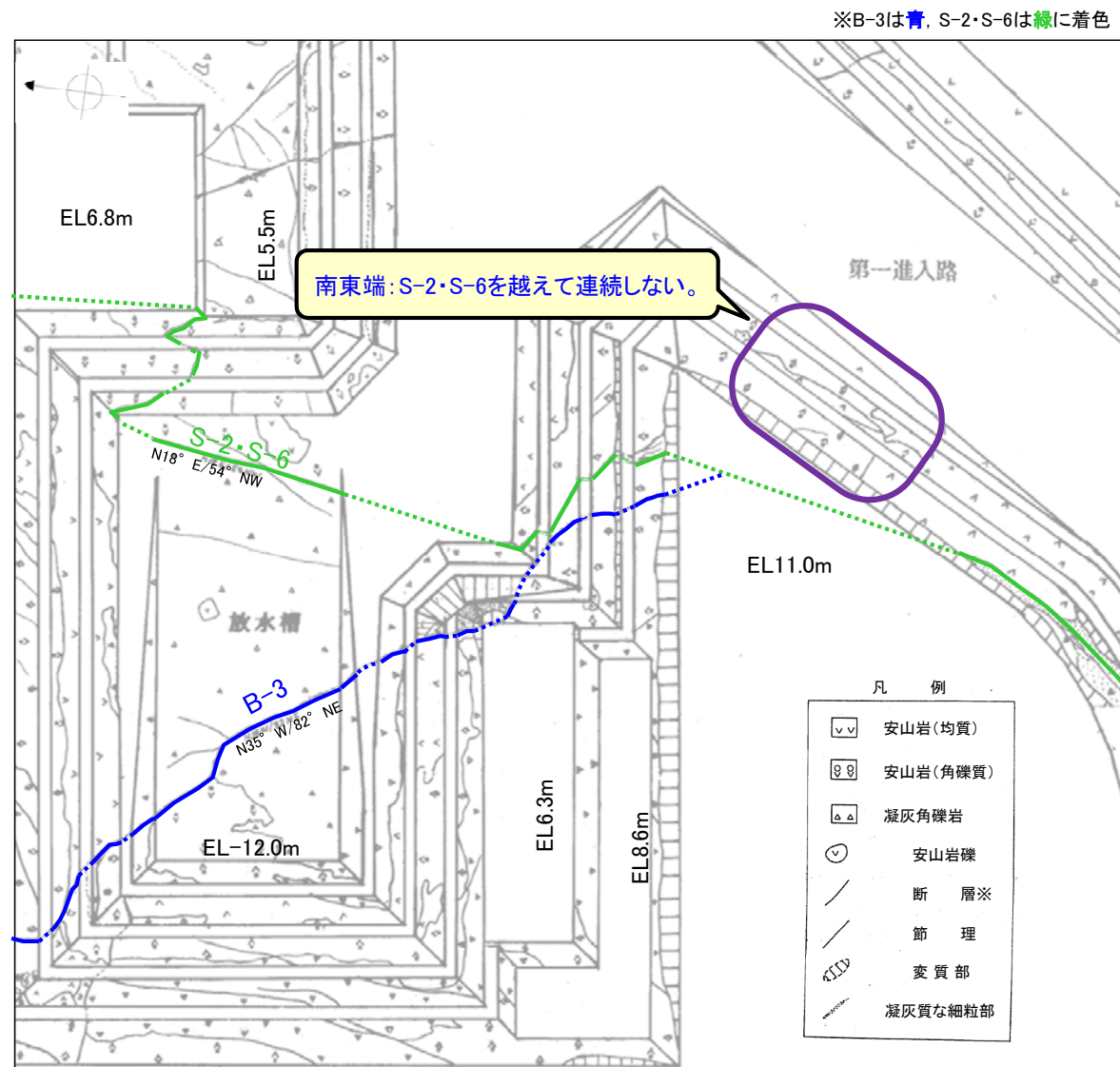
■B-3南東端の調査結果を以下に示す。

【B-3南東端の調査結果】

1号機基礎掘削面において、B-3はS-2・S-6を越えて連続しないことを確認。



1号機基礎掘削面



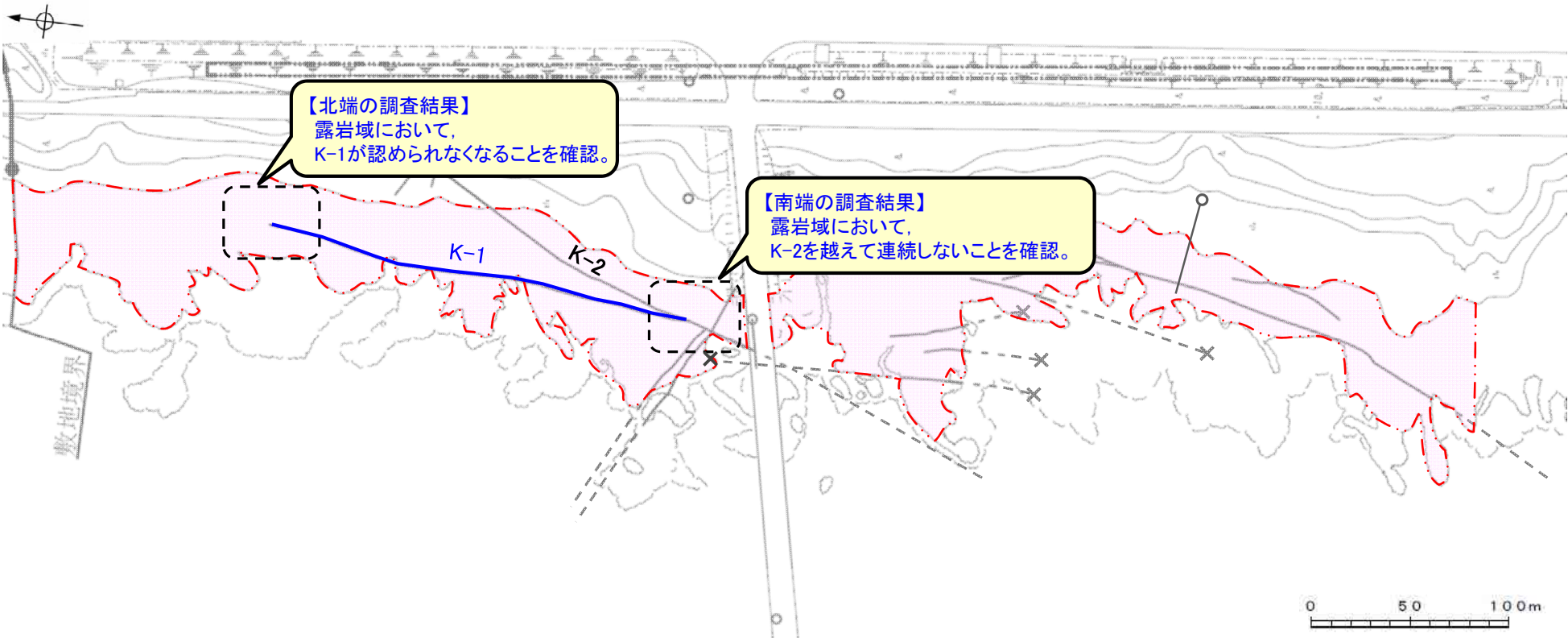
拡大スケッチ



(11) K-1端部の調査結果

K-1端部の調査結果　－概要－

■K-1端部の調査結果の概要を以下に示す。



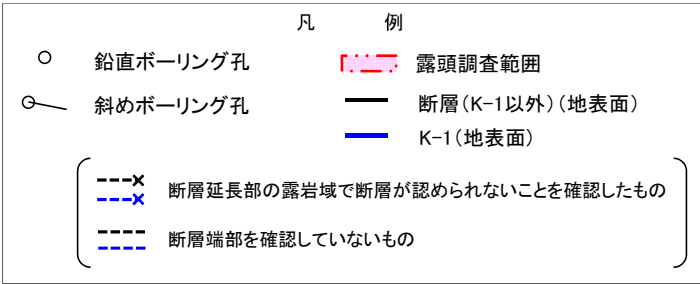
K-1端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北端	露岩域	北端の止め
南端	露岩域	南端の止め

	延長	走向/傾斜
K-1	205m	N4° E／58° SE

* 走向は一般走向
傾斜は海岸部露頭の値

調査位置図

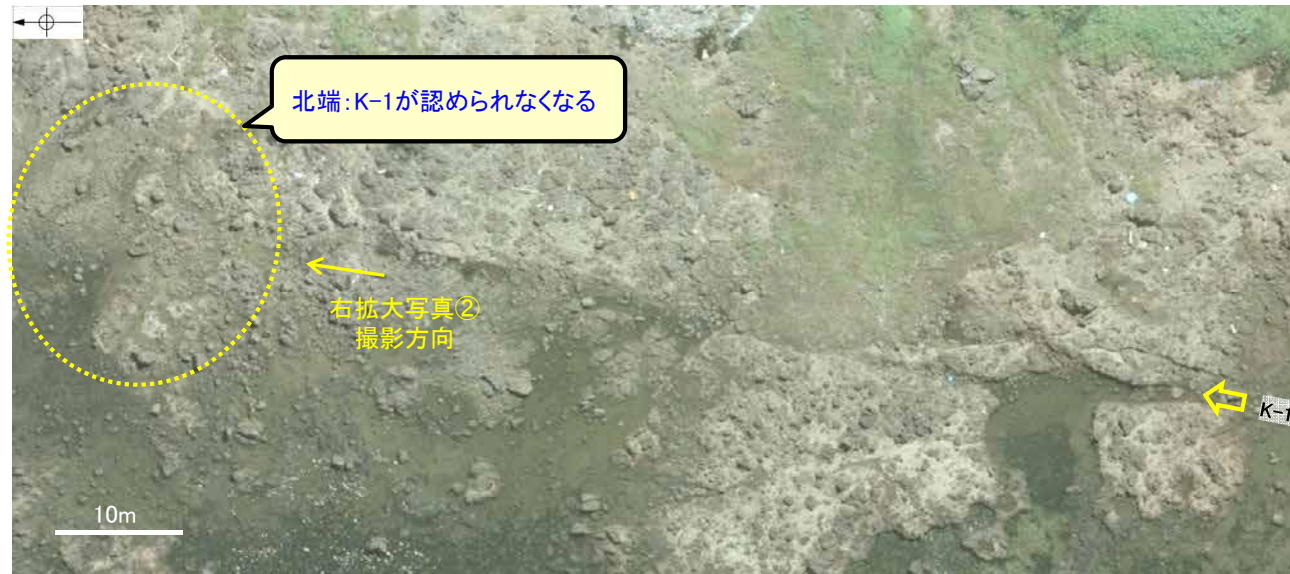
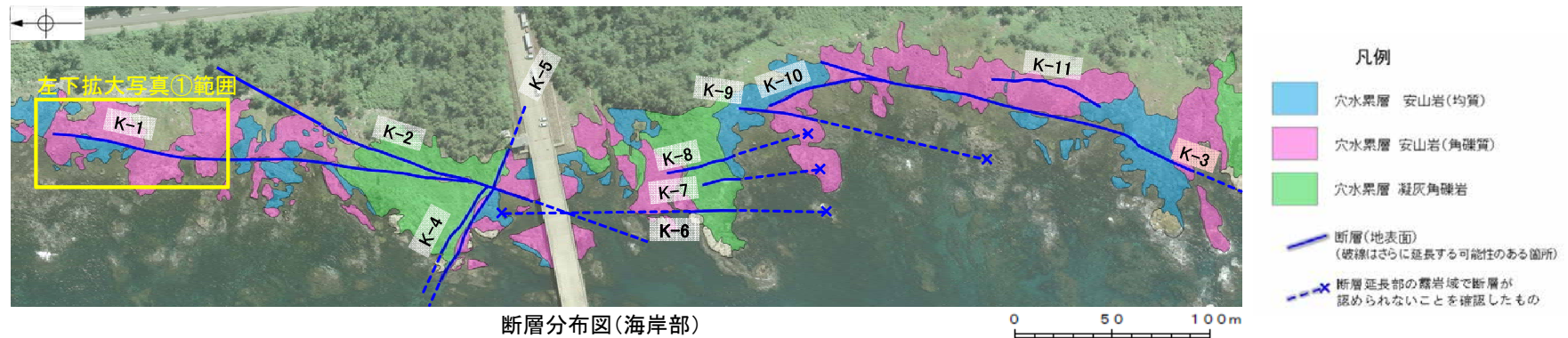


K-1端部の調査結果 ―北端:露岩域―

■K-1北端の調査結果を以下に示す。

【K-1北端の調査結果】

露岩域において、K-1が認められなくなることを確認。



拡大写真①
K-1の北方付近



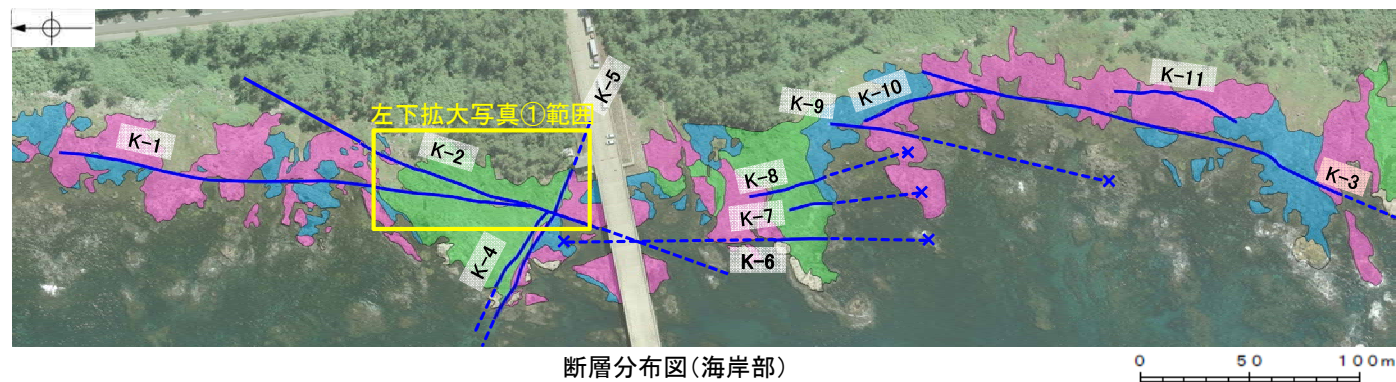
拡大写真②
K-1の北方延長

K-1端部の調査結果 ー南端:露岩域ー

■K-1南端の調査結果を以下に示す。

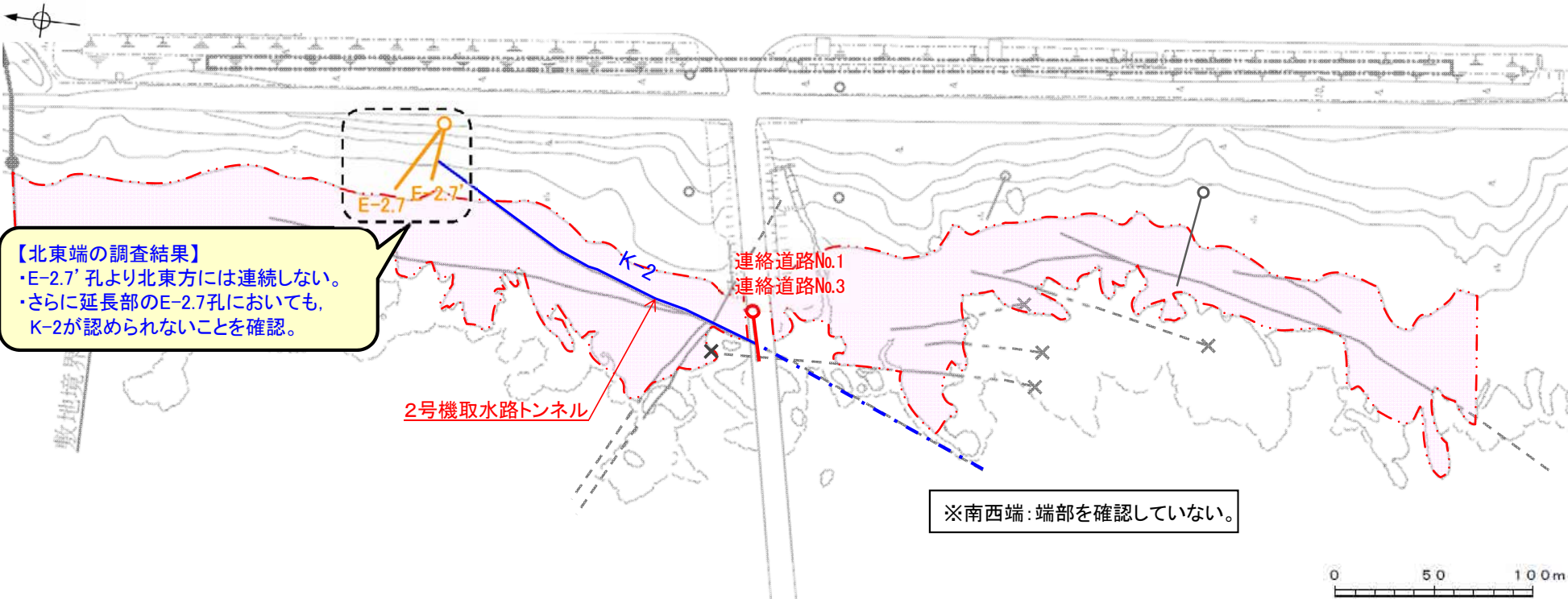
【K-1南端の調査結果】

露岩域において、K-1はK-2を越えて連続しないことを確認。



(12) K-2端部の調査結果

■K-2端部の調査結果の概要を以下に示す。



【北東端の調査結果】
・E-2.7' 孔より北東方には連続しない。
・さらに延長部のE-2.7孔においても、
K-2が認められないことを確認。

※南西端：端部を確認していない。

K-2端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北東端	E-2.7' 孔	北東端の止め
	E-2.7孔	さらに延長部の止め

	延長	走向/傾斜
K-2	180m以上	N19°E／72°SE*

* 走向は一般走向
傾斜は海岸部露頭の値

調査位置図

凡 例

○

鉛直ボーリング孔

⊙

斜めボーリング孔

露頭調査範囲

断層（K-2以外）（地表面）

K-2（地表面）

K-2が認められた箇所を赤で着色

K-2端部においてK-2が認められない箇所を橙で着色

断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの

断層端部を確認していないもの

■ K-2北東端の調査結果を以下に示す。

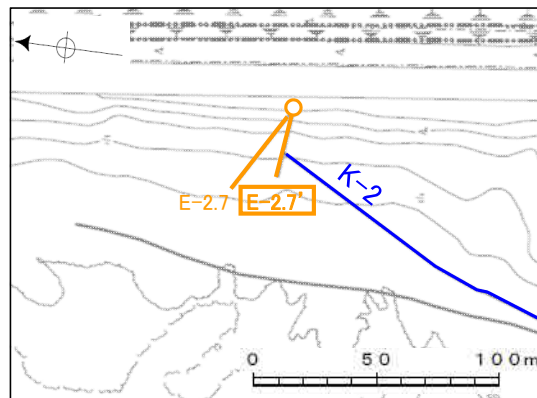
【K-2北東端の調査結果】

- ・K-2は、露岩域において北東方に連続する。
- ・露岩域の北東端で確認したK-2の位置、走向・傾斜を考慮して、北東方への想定延長範囲を設定。
- ・E-2.7' 孔の想定延長範囲内に、K-2が認められないため、K-2はこれ以上連続しない。
- ・さらに、延長部のE-2.7'孔においても、K-2が認められないことを確認している。

○北東端の止めとしているE-2.7' 孔の調査結果を以降に示す。

【E-2.7' 孔の調査結果】

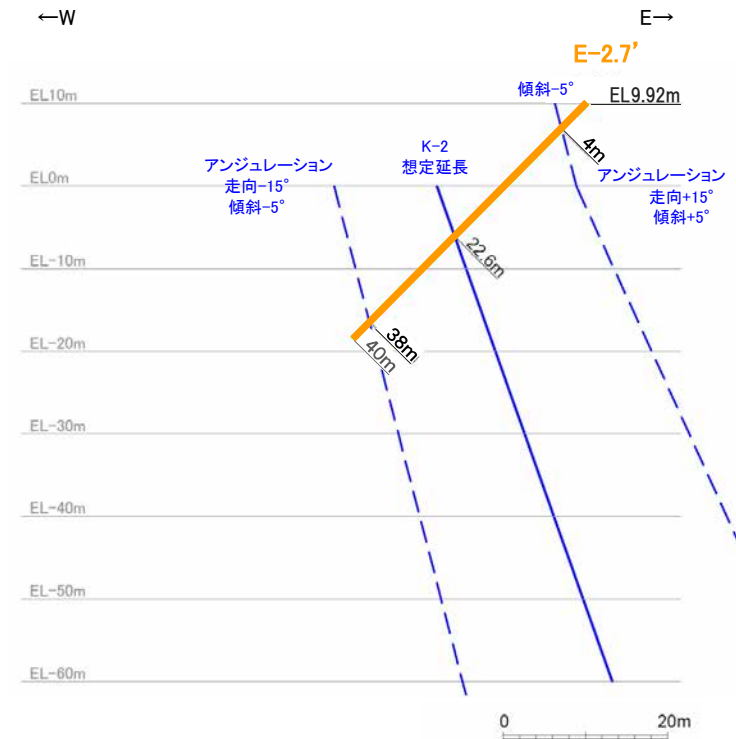
- ・右の断面図に示すとおり、K-2の想定延長範囲は、深度4～38mとなる。
- ・想定延長範囲において、K-2は認められない。
- （想定延長範囲のコア写真は次頁参照）



調査位置図

— K-2(地表面)

橙:K-2端部においてK-2が認められない箇所



■■■■ K-2の想定延長範囲

E-2.7' 孔断面図(掘進方向)

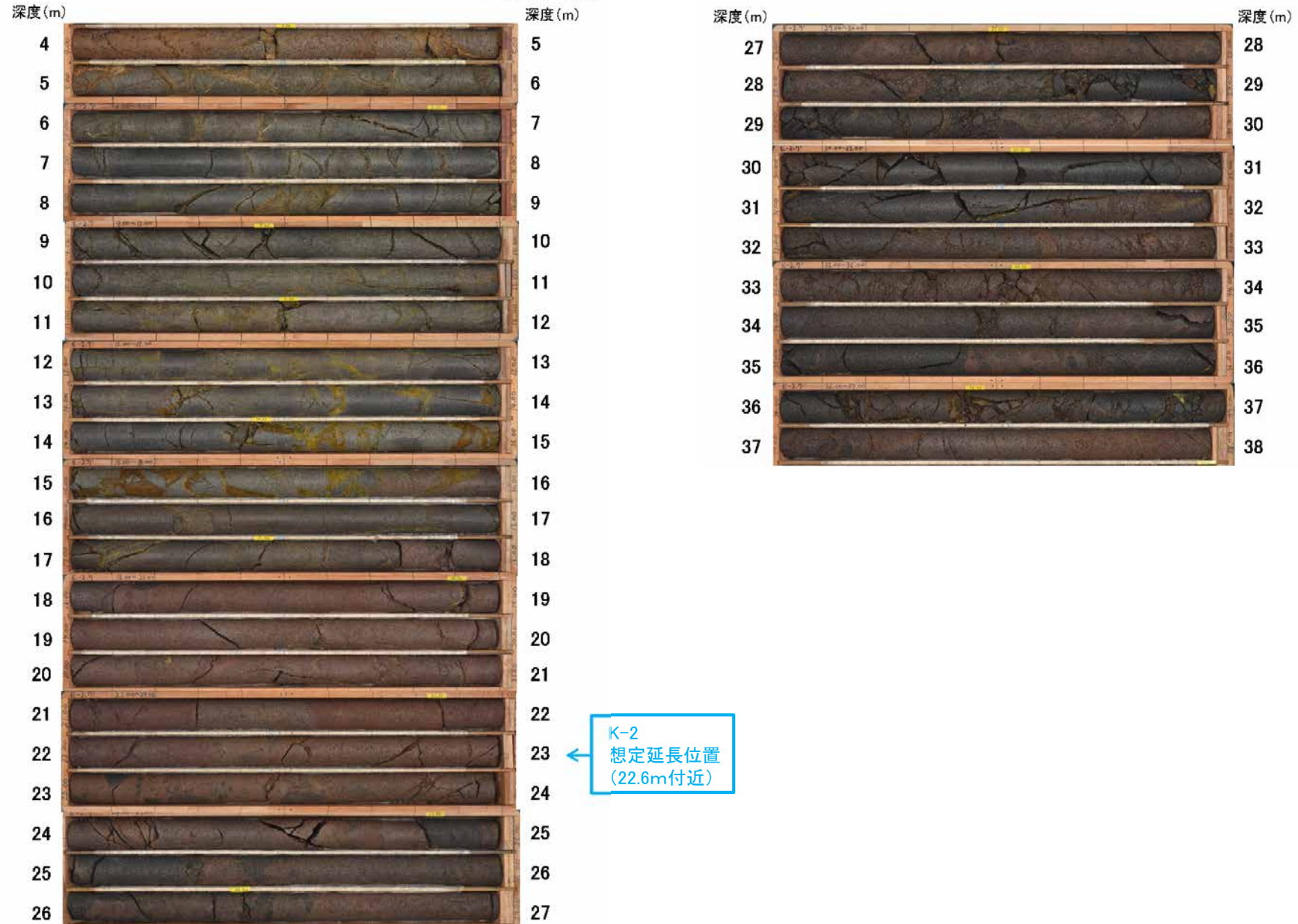
K-2端部の調査結果 ー北東端:E-2.7' 孔②ー

第553回審査会合
机上配布資料1 P.1-22 一部修正

・K-2想定延長範囲(深度4～38m)のコア写真を以下に示す。

柱状図はデータ集10 P.10-12-9

E-2.7' 孔(孔口標高9.92m, 掘進長40m, 傾斜45°)



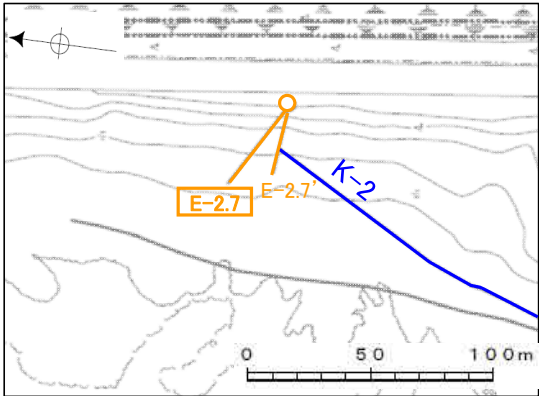
コア写真(深度4～38m)

E-2.7' 孔において, K-2の想定延長範囲(深度4～38m)にK-2は認められない。

○北東端延長部の調査結果を以降に示す。

【E-2.7孔の調査結果】

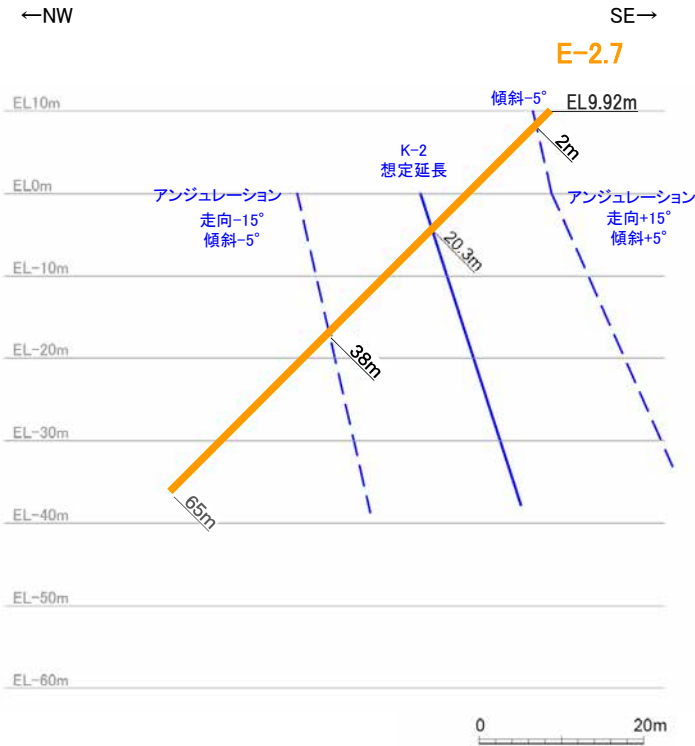
- ・右の断面図に示すとおり、K-2の想定延長範囲は、深度2m～38mとなる。
- ・想定延長範囲において、K-2は認められない。
(想定延長範囲のコア写真は次頁参照)



調査位置図

— K-2(地表面)

橙:K-2端部においてK-2が認められない箇所



■■■■ K-2の想定延長範囲

E-2.7孔断面図
(掘進方向)

・K-2想定延長範囲(深度2～38m)のコア写真を以下に示す。

柱状図はデータ集10 P.10-12-7～8

E-2.7孔(孔口標高9.92m, 掘進長65m, 傾斜45°)

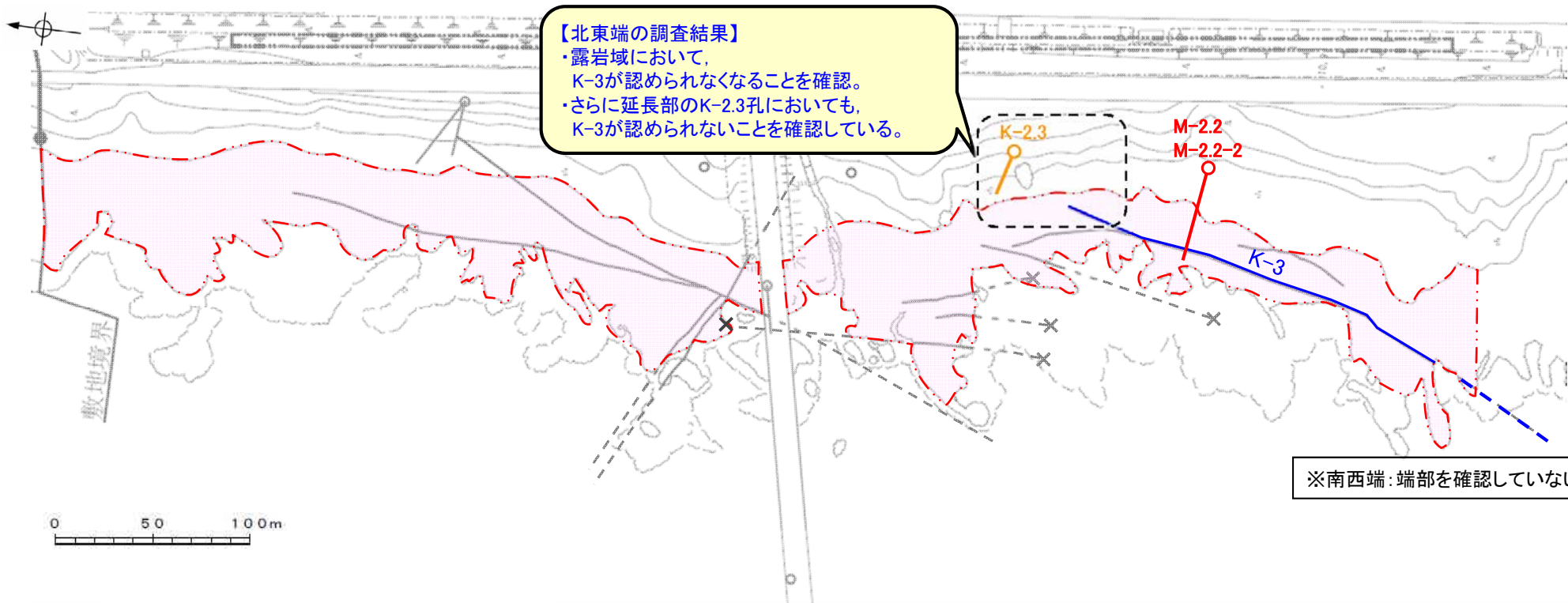


コア写真(深度2～38m)

E-2.7孔において, K-2の想定延長範囲(深度2～38m)にK-2は認められない。

(13) K-3端部の調査結果

■K-3端部の調査結果の概要を以下に示す。



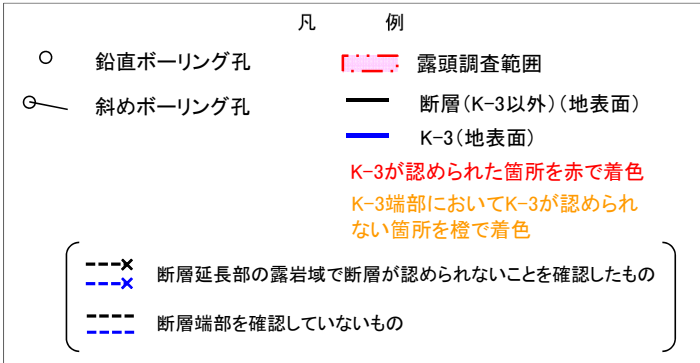
K-3端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北東端	露岩域	北東端の止め
	K-2.3孔	さらに延長部の止め

	延長	走向/傾斜
K-3	200m以上	N16°E／70°SE*

* 走向は一般走向
傾斜は海岸部露頭の値

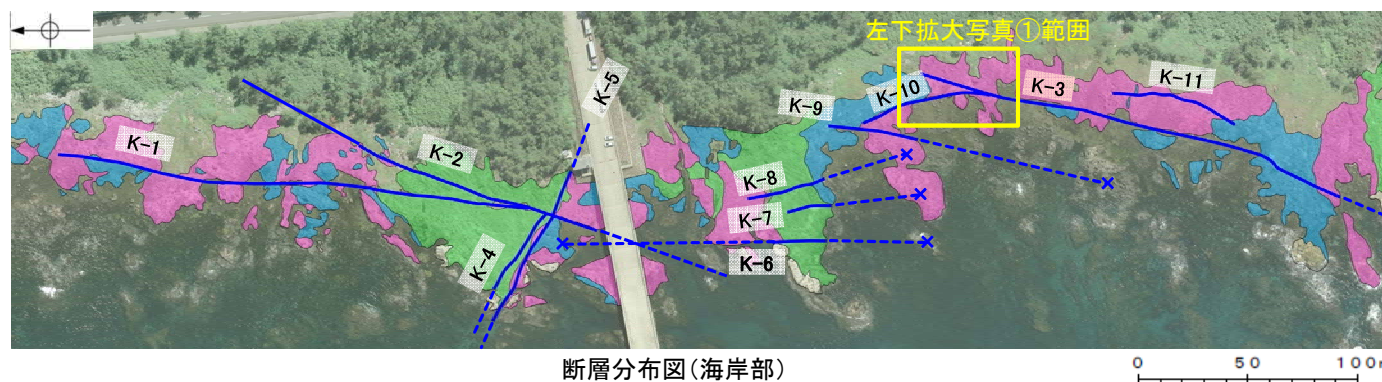
調査位置図



■K-3北東端の調査結果を以下に示す。

【K-3北東端の調査結果】

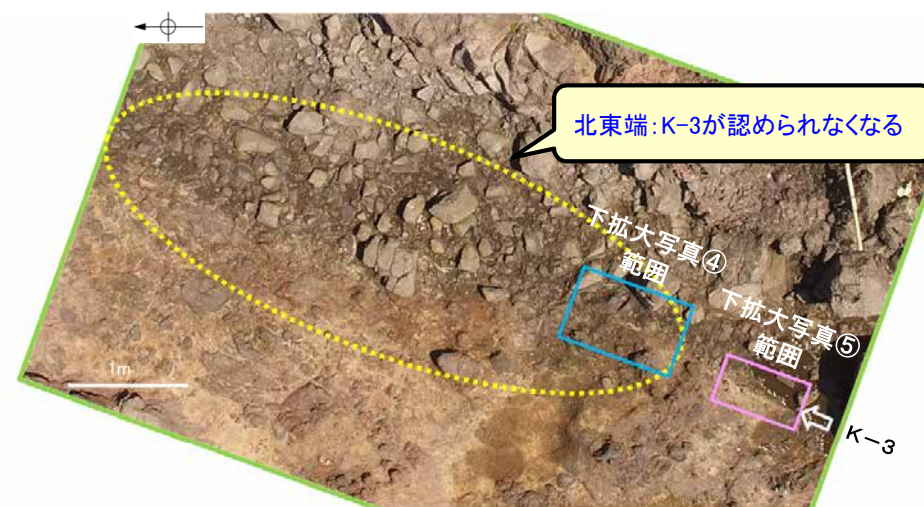
- ・露岩域において、K-3が認められなくなることを確認。
- ・さらに、延長部の K-2.3孔においても、K-3が認められないことを確認している。



- 凡例
- 穴水泉層 安山岩(均質)
 - 穴水泉層 安山岩(角礫質)
 - 穴水泉層 凝灰角礫岩
 - 断層(地表面)
(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
 - 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの



拡大写真①
K-10の北東方付近



拡大写真③



拡大写真②



拡大写真④

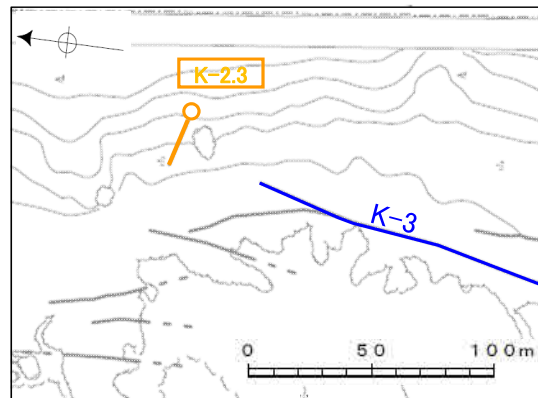


拡大写真⑤

○北東端延長部の調査結果を以降に示す。

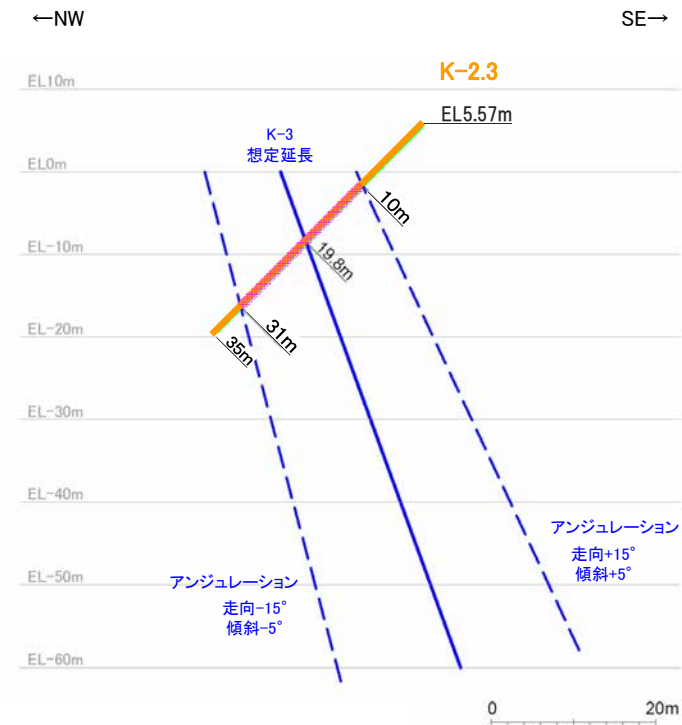
【K-2.3孔の調査結果】

- ・右の断面図に示すとおり、K-3の想定延長範囲は、深度10m～31mとなる。
- ・想定延長範囲において、K-3は認められない。
(想定延長範囲のコア写真は次頁参照)



調査位置図
— K-3(地表面)

橙: K-3端部においてK-3が認められない箇所



■ K-3の想定延長範囲

K-2.3断面図
(掘進方向)

・K-3想定延長範囲(深度10～31m)のコア写真を以下に示す。

柱状図はデータ集10 P.10-13-8

K-2.3孔(孔口標高5.57m, 掘進長35m, 傾斜45°)



← K-3
想定延長位置
(19.8m付近)

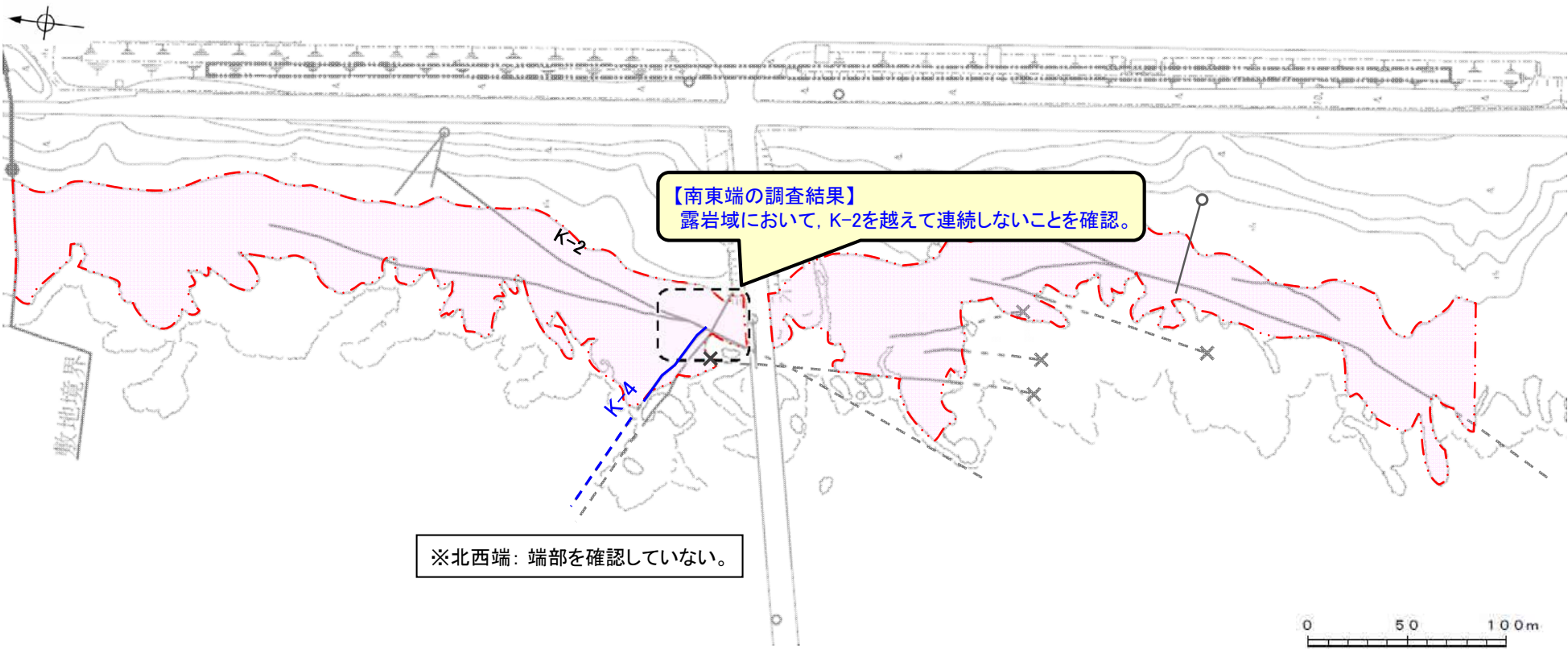
コア写真(深度10～31m)

K-2.3孔において, K-3の想定延長範囲(深度10～31m)にK-3は認められない。

(14) K-4端部の調査結果

K-4端部の調査結果 一概要一

■K-4端部の調査結果の概要を以下に示す。



※北西端：端部を確認していない。

調査位置図

K-4端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
南東端	露岩域	南東端の止め

	延長	走向/傾斜
K-4	45m以上	N56° W／85° NE

* 走向は一般走向
傾斜は海岸部露頭の値

凡 例

○

鉛直ボーリング孔

○

斜めボーリング孔

断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの

断層端部を確認していないもの

露頭調査範囲

断層(K-4以外)(地表面)

K-4(地表面)

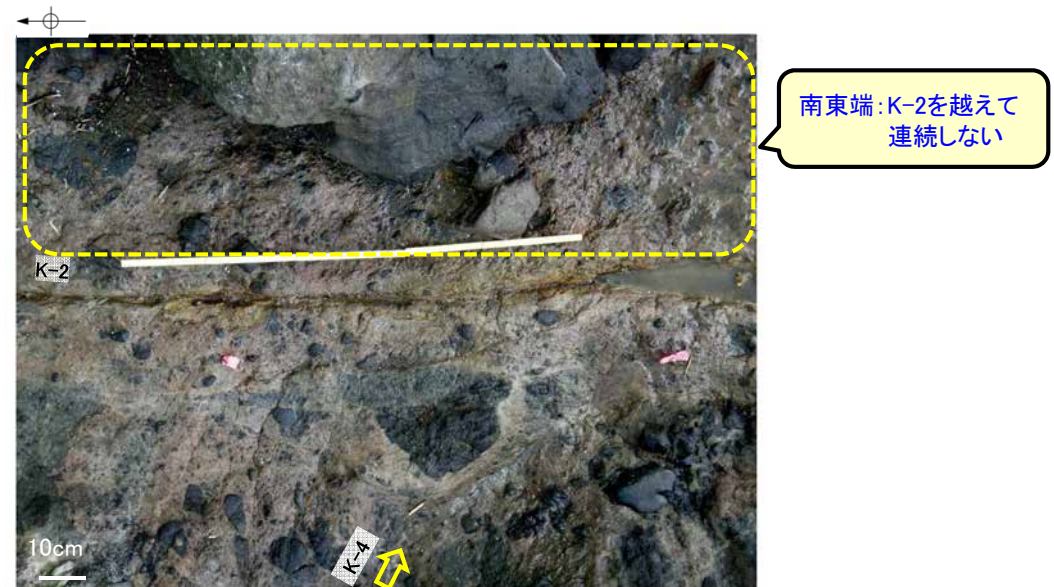
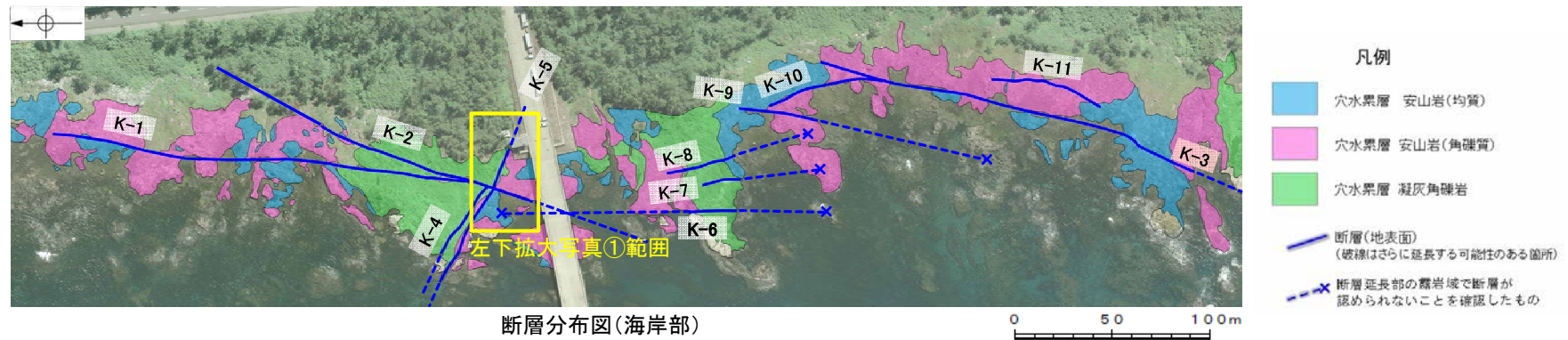
6-73

K-4端部の調査結果 ー南東端:露岩域ー

■K-4南東端の調査結果を以下に示す。

【K-4南東端の調査結果】

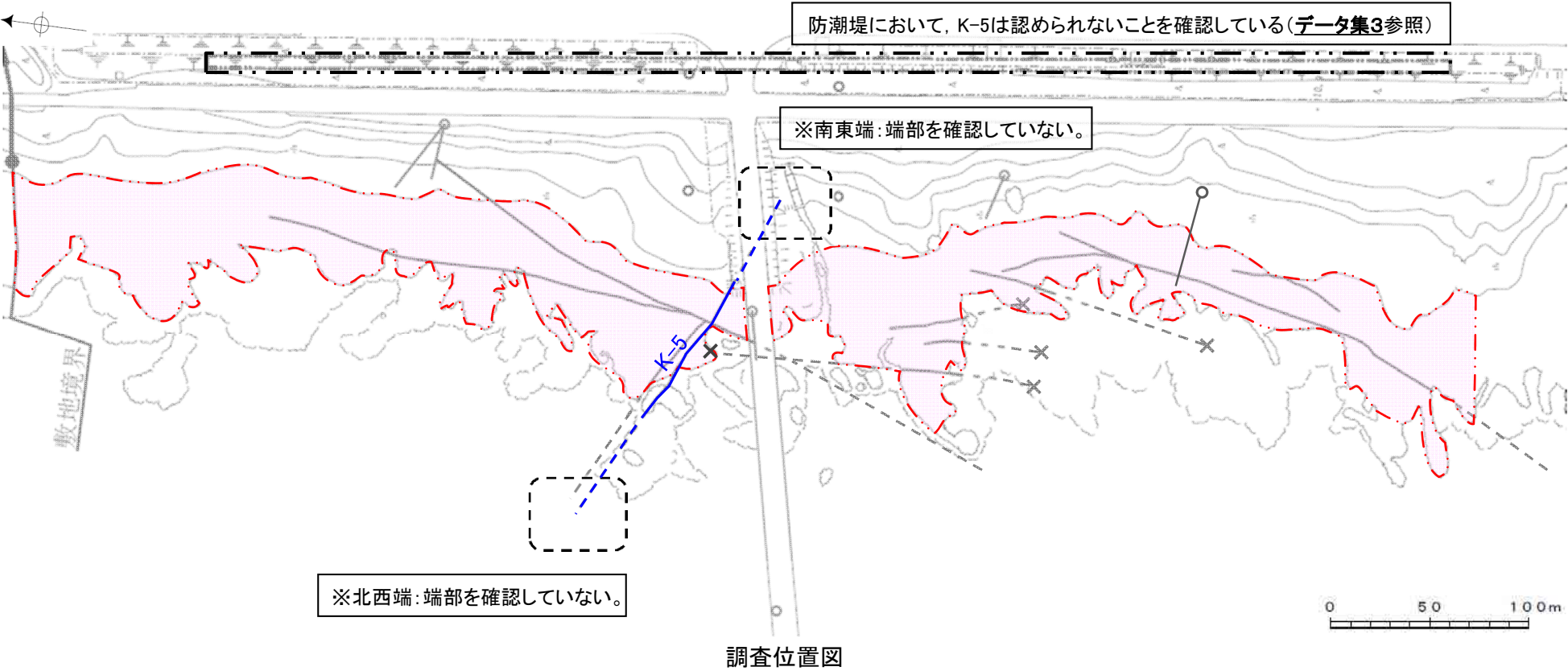
露岩域において、K-4はK-2を越えて連続しないことを確認。



(15) K-5端部の調査結果

K-5端部の調査結果

■K-5端部の調査結果の概要を以下に示す。



	延長	走向/傾斜
K-5	75m以上	N63° W / 64° NE

* 走向は一般走向
傾斜は海岸部露頭の値

凡 例

○

鉛直ボーリング孔

○

斜めボーリング孔

防潮堤

---x

---x

断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの

断層端部を確認していないもの

露頭調査範囲

—

断層(K-5以外)(地表面)

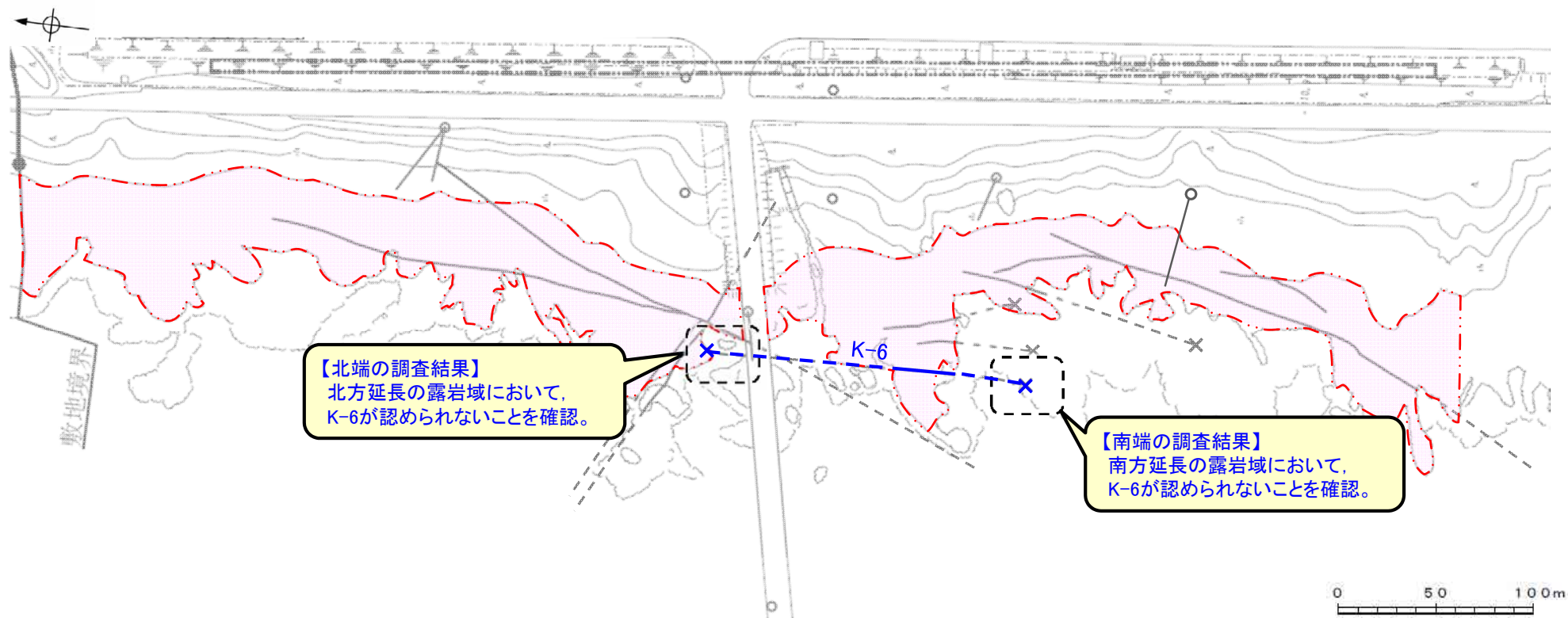
—

K-5(地表面)

(16) K-6端部の調査結果

K-6端部の調査結果 一概要一

■K-6端部の調査結果の概要を以下に示す。



調査位置図

K-6端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北端	露岩域	北端の止め
南端	露岩域	南端の止め

	延長	走向/傾斜
K-6	25m以上 160m以下	N2° W／60° NE

* 走向は一般走向
傾斜は海岸部露頭の値

凡 例

○

鉛直ボーリング孔

○

斜めボーリング孔

断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの

断層端部を確認していないもの

露頭調査範囲

断層(K-6以外)(地表面)

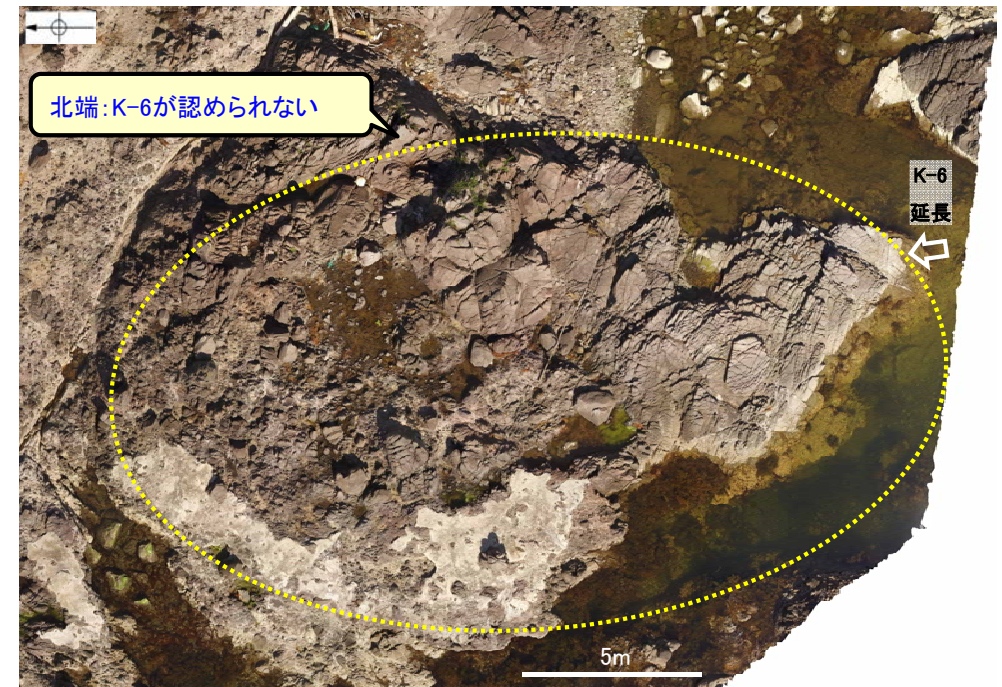
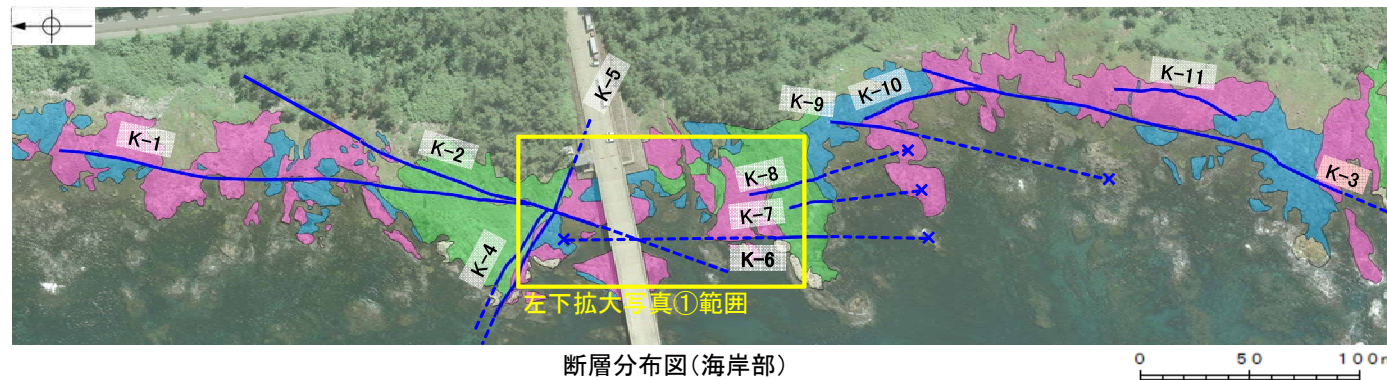
K-6(地表面)

6-78

■K-6北端の調査結果を以下に示す。

【K-6北端の調査結果】

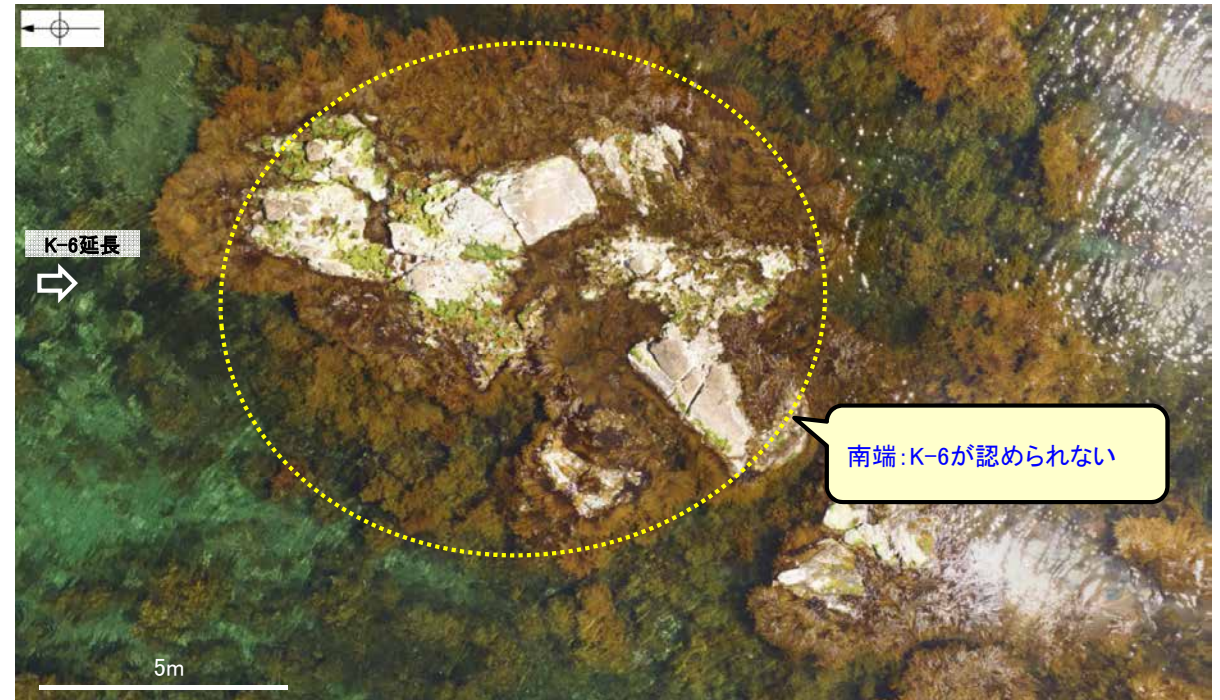
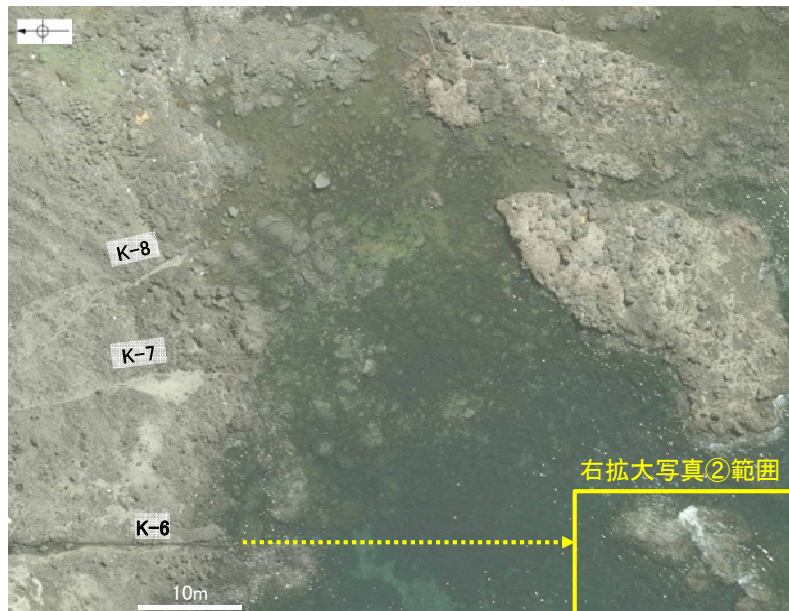
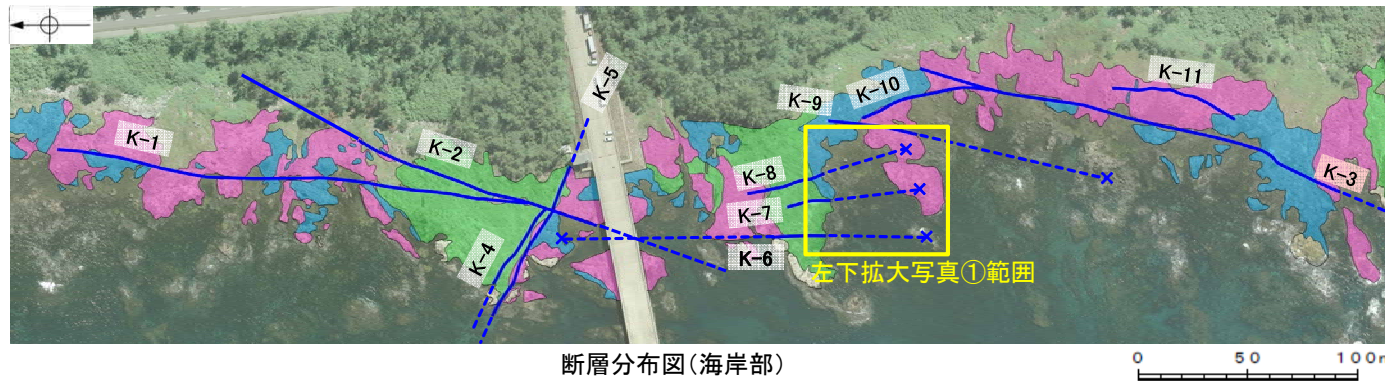
北方延長の露岩域において、K-6が認められないことを確認。



■K-6南端の調査結果を以下に示す。

【K-6南端の調査結果】

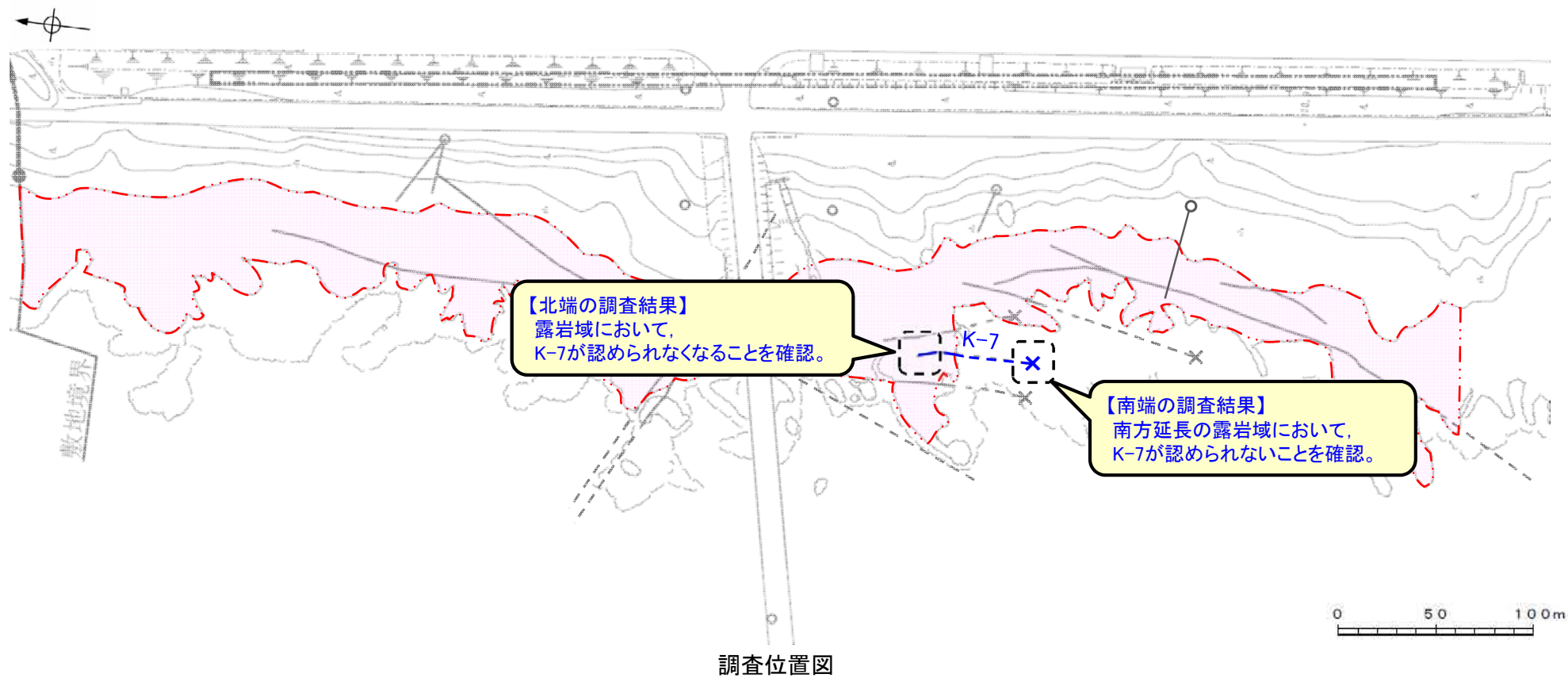
南方延長の露岩域において、K-6が認められないことを確認。



(17) K-7端部の調査結果

K-7端部の調査結果 一概要一

■K-7端部の調査結果の概要を以下に示す。



K-7端部の調査概要		
位置	調査箇所	調査結果
北端	露岩域	北端の止め
南端	露岩域	南端の止め

	延長	走向/傾斜
K-7	20m以上 55m以下	N8° W／88° NE

* 走向は一般走向
傾斜は海岸部露頭の値

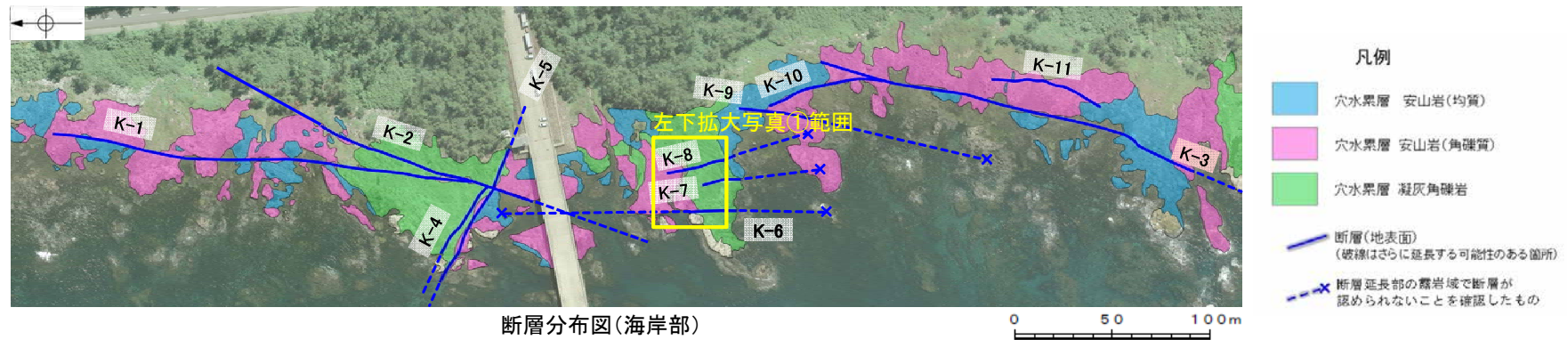
凡 例	
○	鉛直ボーリング孔
○	斜めボーリング孔
	露頭調査範囲
	断層(K-7以外)(地表面)
	K-7(地表面)
	断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
	断層端部を確認していないもの

K-7端部の調査結果 ―北端:露岩域―

■K-7北端の調査結果を以下に示す。

【K-7北端の調査結果】

露岩域において、K-7が認められなくなることを確認。



拡大写真①
K-7の北方付近

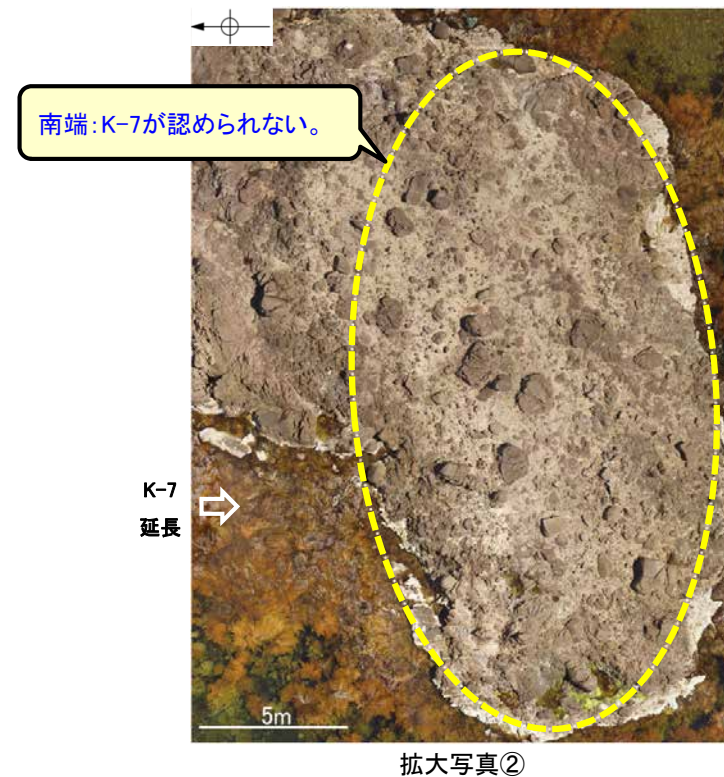
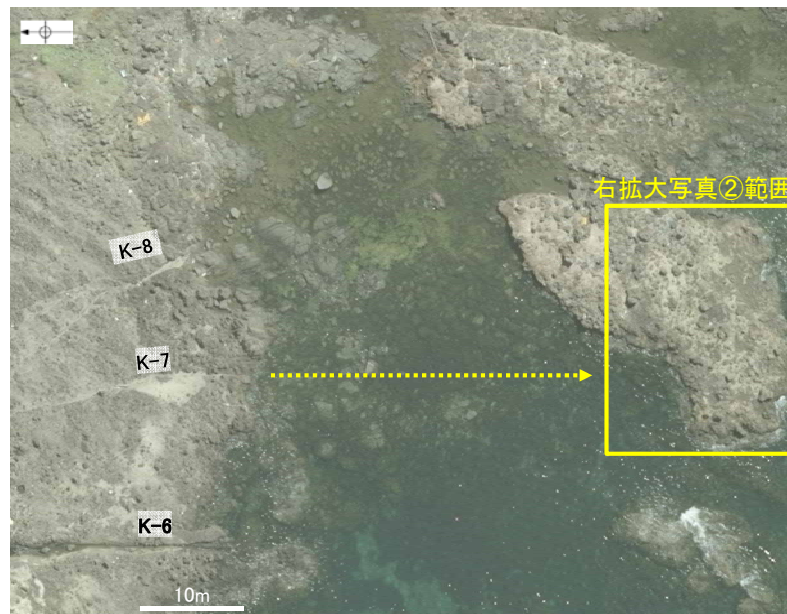
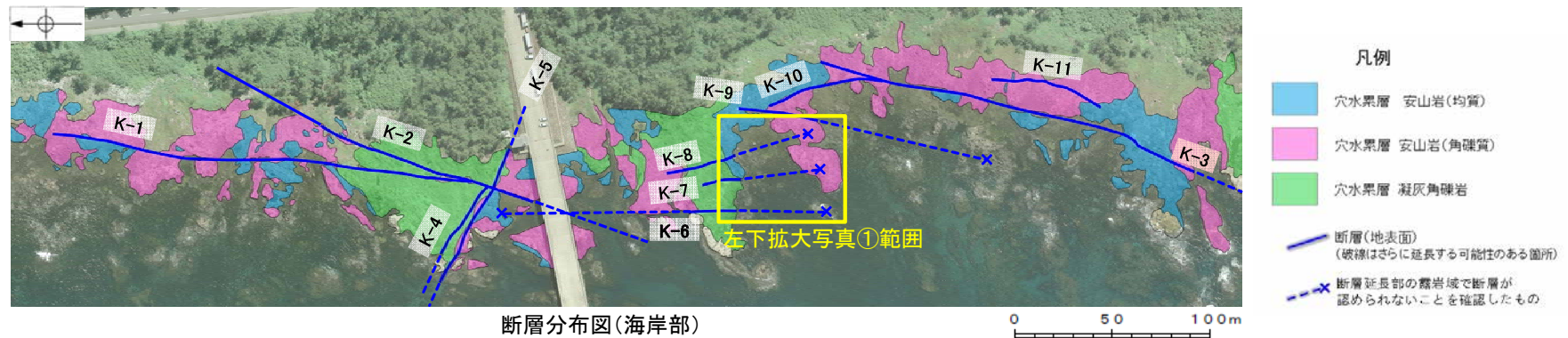


拡大写真②
K-7の北方延長

■K-7南端の調査結果を以下に示す。

【K-7南端の調査結果】

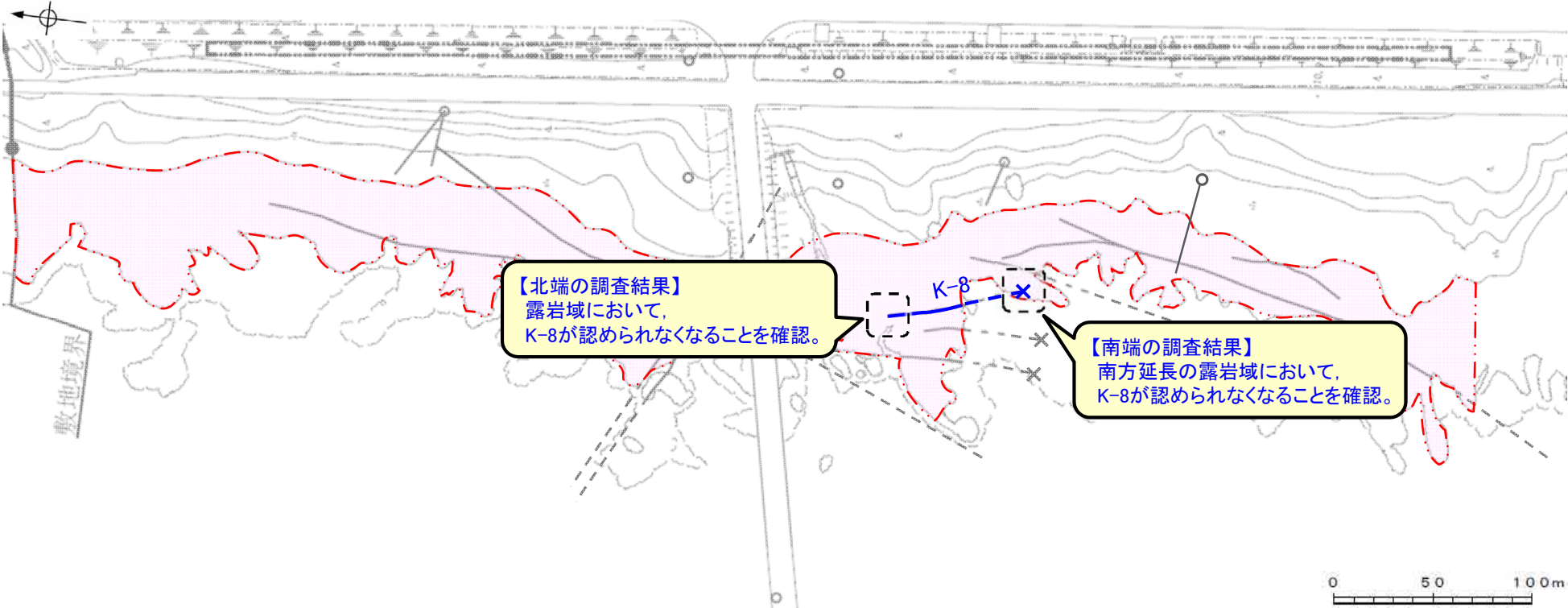
南方延長の露岩域において、K-7が認められないことを確認。



(18) K-8端部の調査結果

K-8端部の調査結果 一概要一

■K-8端部の調査結果の概要を以下に示す。



調査位置図

K-8端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北端	露岩域	北端の止め
南端	露岩域	南端の止め

	延長	走向/傾斜
K-8	35m以上 70m以下	N15° W／80° NE

* 走向は一般走向
傾斜は海岸部露頭の値

凡 例

○

鉛直ボーリング孔

○

斜めボーリング孔

断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの

断層端部を確認していないもの

断層(K-8以外)(地表面)

K-8(地表面)

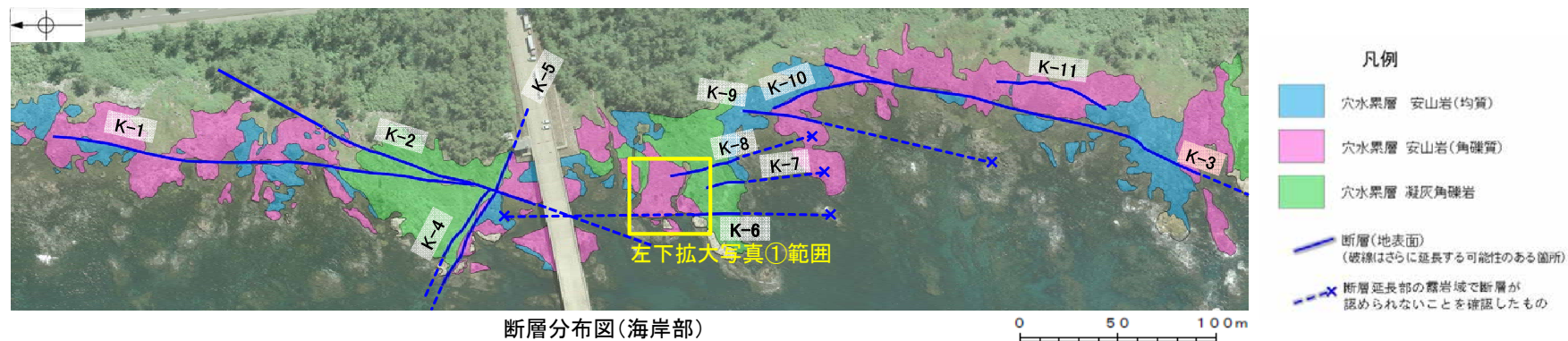
露頭調査範囲

K-8端部の調査結果 ―北端：露岩域―

■K-8北端の調査結果を以下に示す。

【K-8北端の調査結果】

露岩域において、K-8が認められなくなることを確認。



拡大写真①
K-8の北方付近

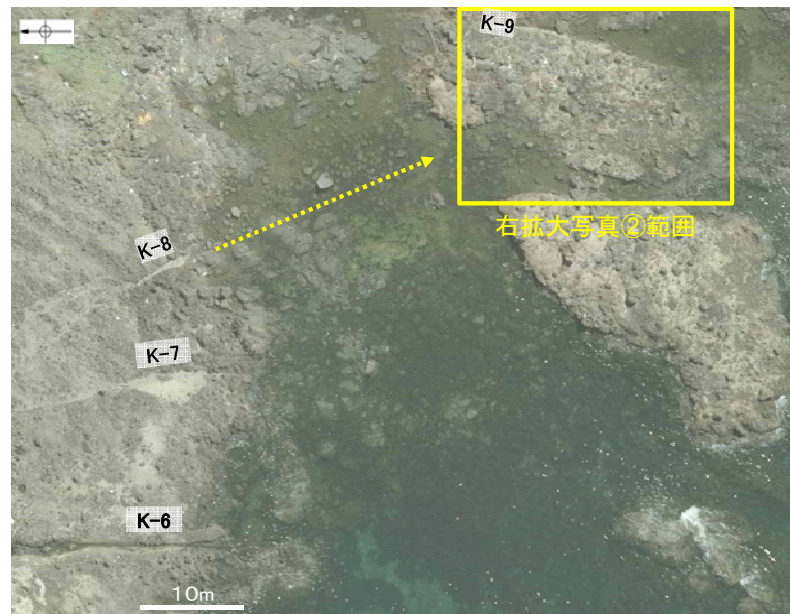
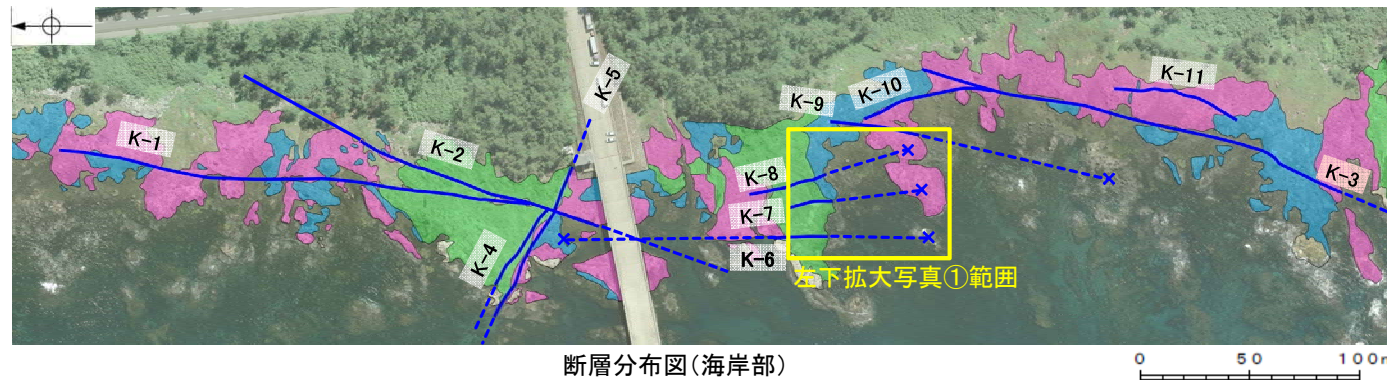


拡大写真②
K-8の北方延長

■K-8南端の調査結果を以下に示す。

【K-8南端の調査結果】

南方延長の露岩域において、K-8が認められないことを確認。

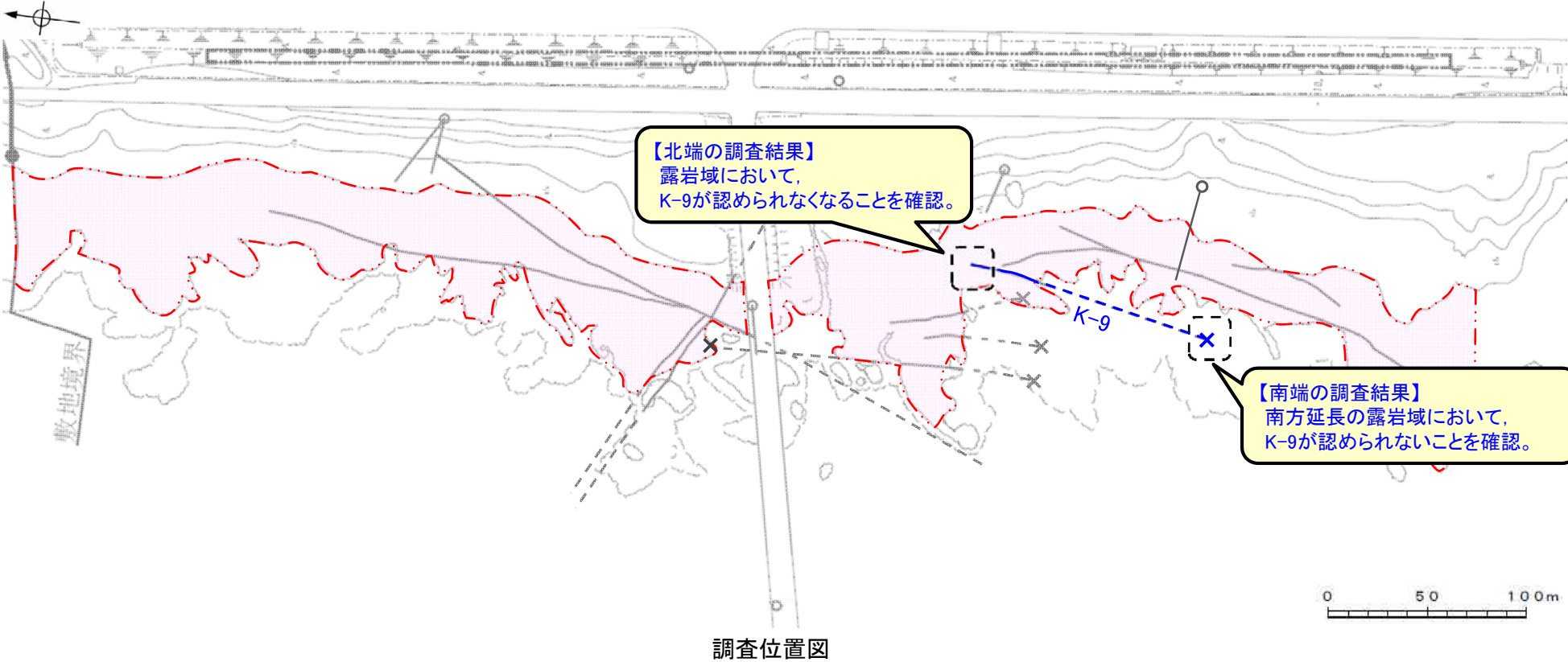


南端:K-8が認められない

(19) K-9端部の調査結果

K-9端部の調査結果 一概要一

■K-9端部の調査結果の概要を以下に示す。



K-9端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北端	露岩域	北端の止め
南端	露岩域	南端の止め

	延長	走向/傾斜
K-9	40m以上 120m以下	N10° E／88° SE

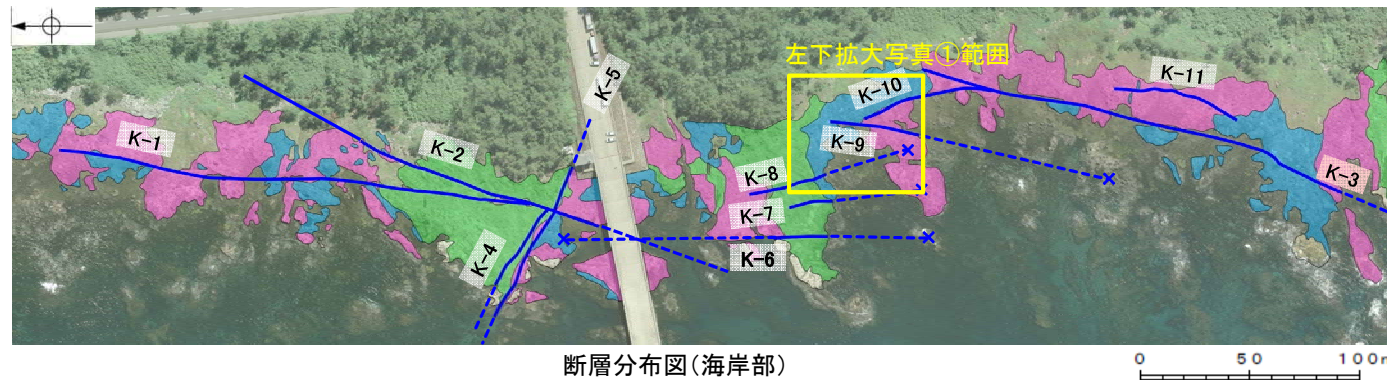
* 走向は一般走向
傾斜は海岸部露頭の値

K-9端部の調査結果 ―北端：露岩域―

■K-9北端の調査結果を以下に示す。

【K-9北端の調査結果】

露岩域において、K-9が認められなくなることを確認。



- 凡例
- 穴水累層 安山岩(均質)
 - 穴水累層 安山岩(角礫質)
 - 穴水累層 凝灰角礫岩
 - 断層(地表面)
(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
 - 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの



拡大写真①
K-9の北方付近

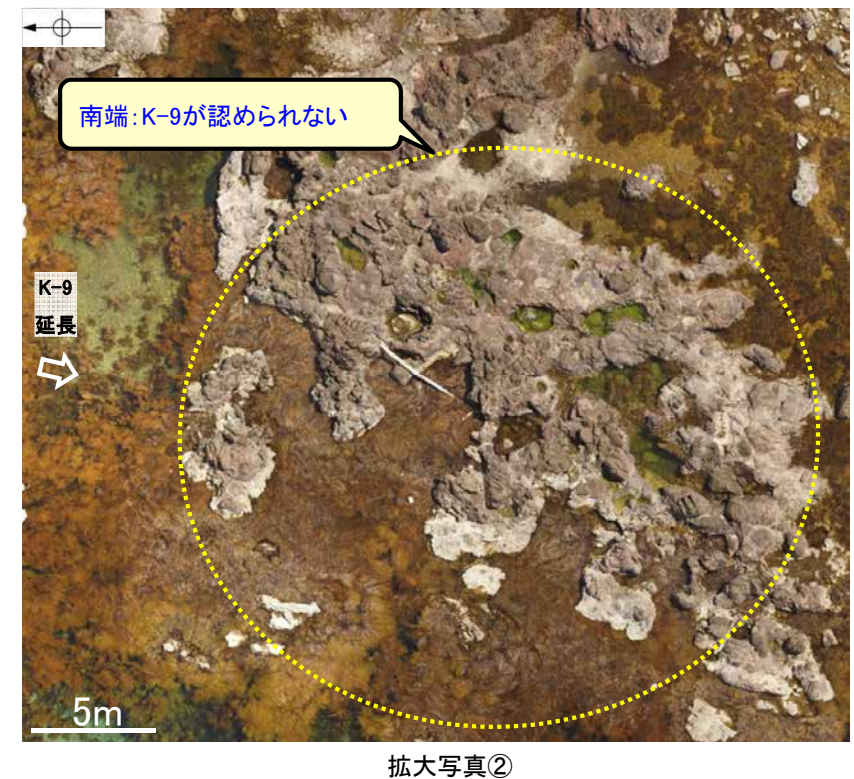
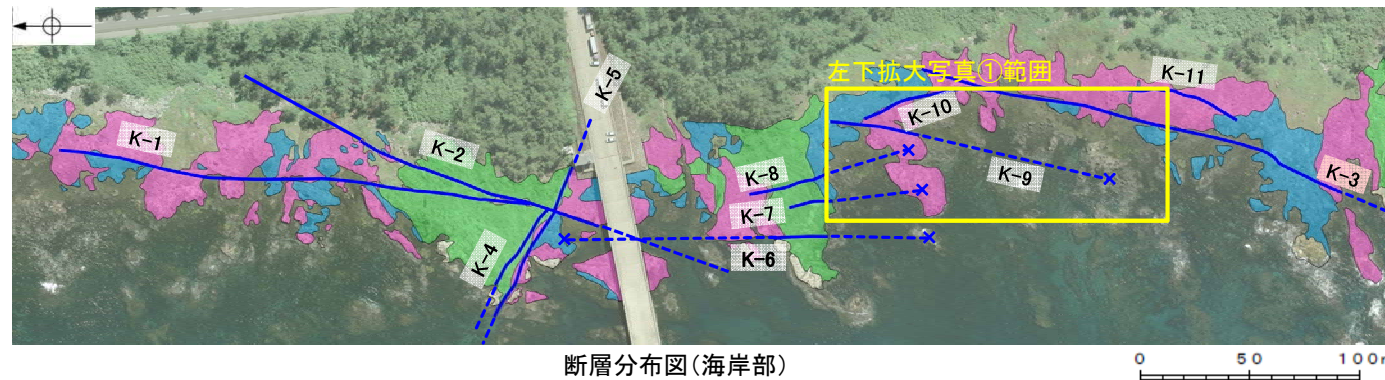


拡大写真②
K-9の北方延長

■K-9南端の調査結果を以下に示す。

【K-9南端の調査結果】

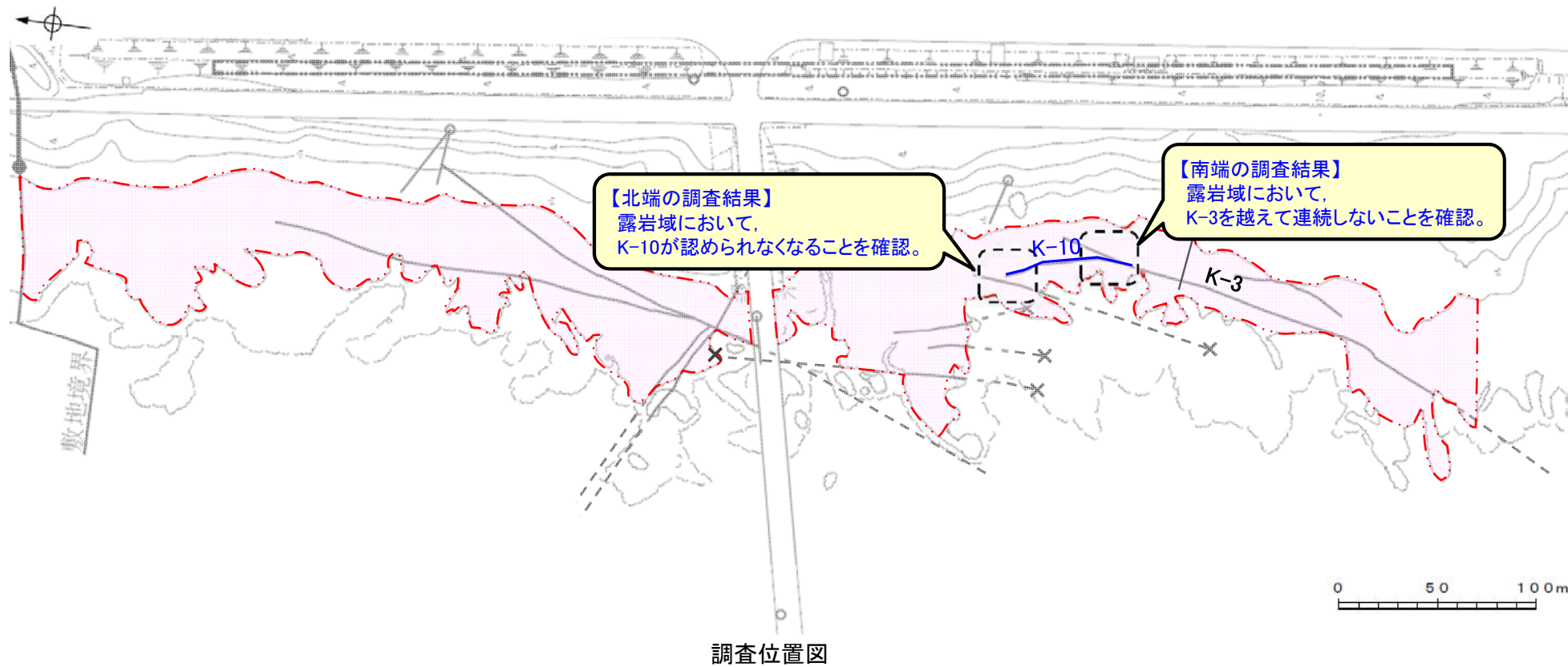
南方延長の露岩域において、K-9が認められないことを確認。



(20) K-10端部の調査結果

K-10端部の調査結果　－概要－

■K-10端部の調査結果の概要を以下に示す。



K-10端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北端	露岩域	北端の止め
南端	露岩域	南端の止め

	延長	走向/傾斜
K-10	60m	N16° W／62° NE

* 走向は一般走向
傾斜は海岸部露頭の値

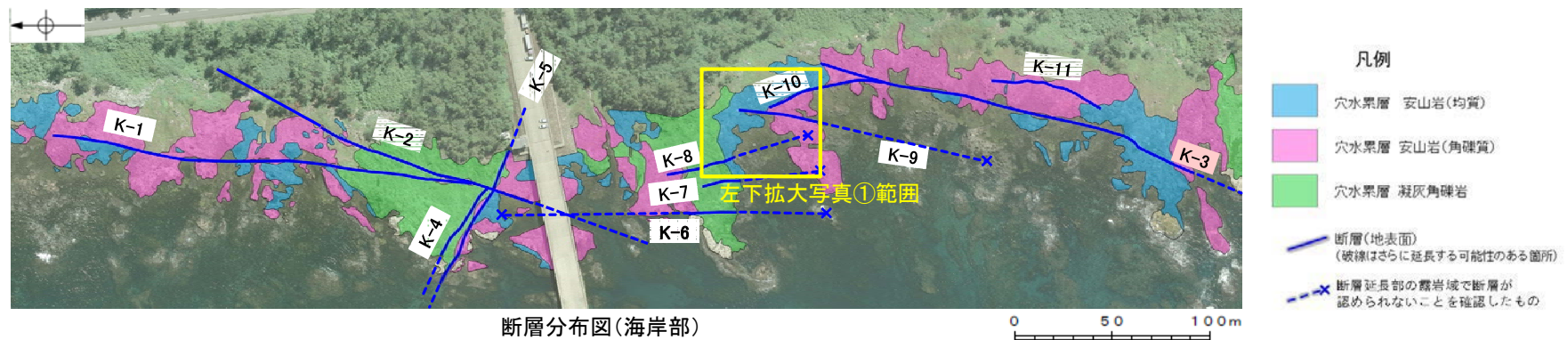
凡 例	
○	鉛直ボーリング孔
○	斜めボーリング孔
—	断層(K-10以外)(地表面)
—	K-10(地表面)
---	断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
---	断層端部を確認していないもの

K-10端部の調査結果 ―北端:露岩域―

■K-10北端の調査結果を以下に示す。

【K-10北端の調査結果】

露岩域において、K-10が認められなくなることを確認。



拡大写真①
K-10の北方付近



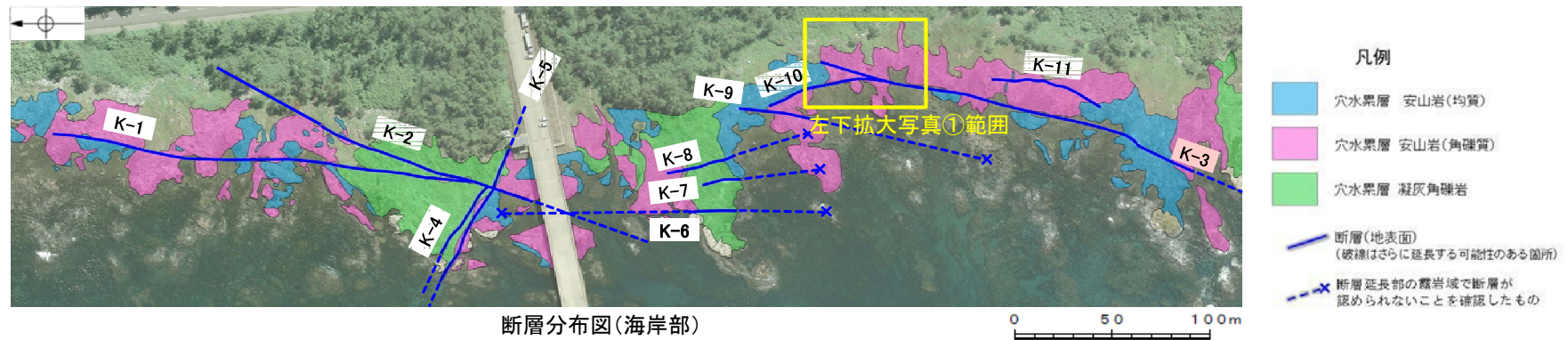
拡大写真②
K-10の北方延長

K-10端部の調査結果 ー南端:露岩域ー

■K-10南端の調査結果を以下に示す。

【K-10南端の調査結果】

露岩域において、K-10はK-3を越えて連続しないことを確認。



拡大写真①
K-10の南方付近



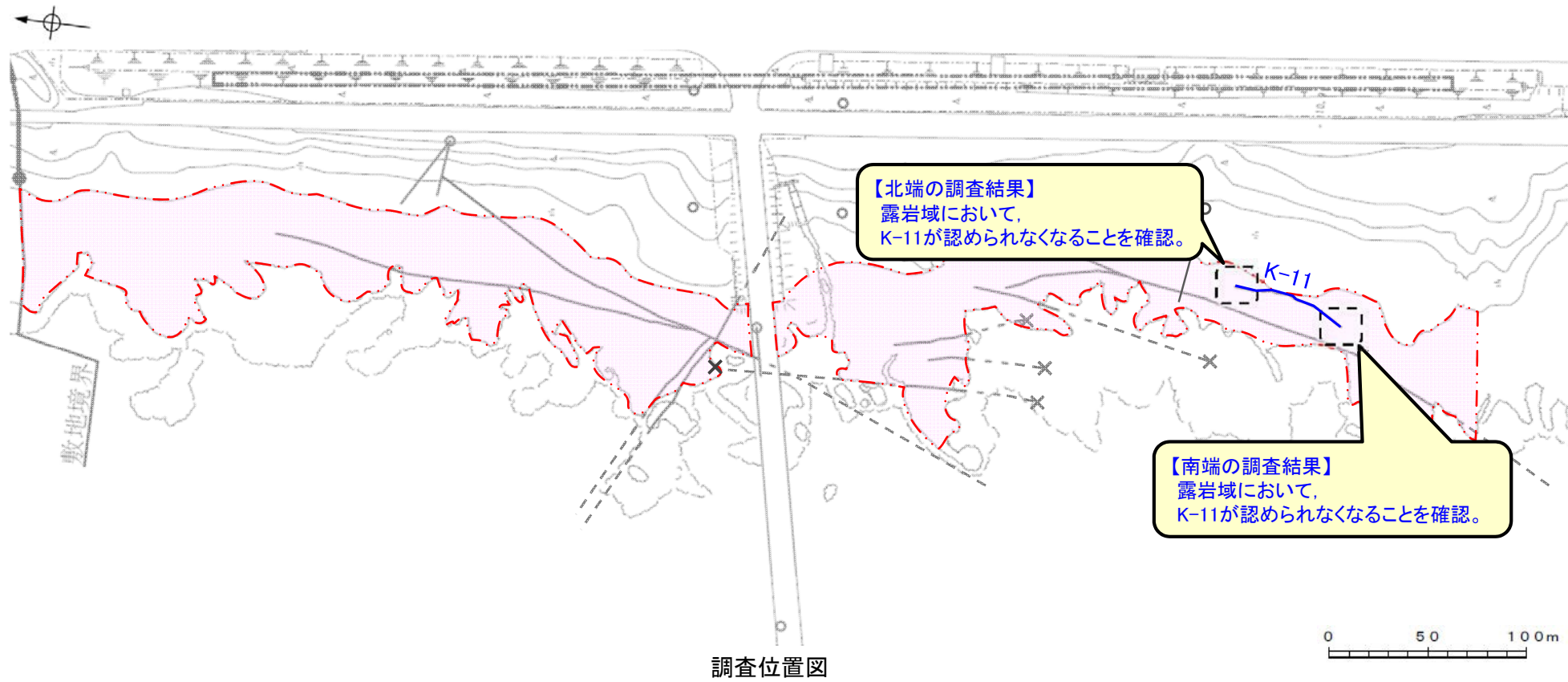
南端:K-3を越えて連続しない

拡大写真②
K-10とK-3の会合部

(21) K-11端部の調査結果

K-11端部の調査結果 一概要一

■K-11端部の調査結果の概要を以下に示す。



K-11端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北端	露岩域	北端の止め
南端	露岩域	南端の止め

	延長	走向/傾斜
K-11	60m	N14° E／70° NW

* 走向は一般走向
傾斜は海岸部露頭の値

凡 例

○

鉛直ボーリング孔

○

斜めボーリング孔

---x

---x

断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの

断層端部を確認していないもの

露頭調査範囲

断層(K-11以外)(地表面)

K-11(地表面)

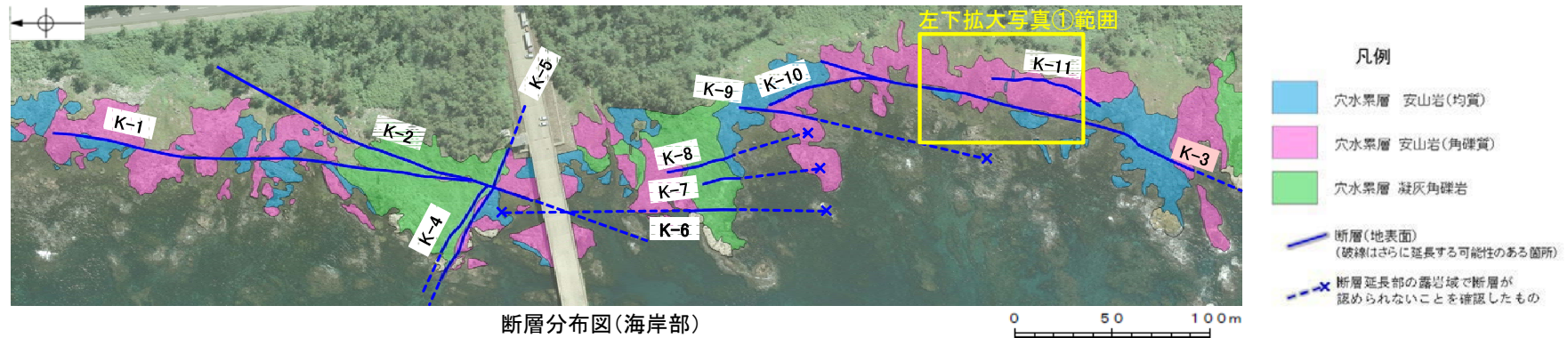
6-98

K-11端部の調査結果 ―北端:露岩域―

■K-11北端の調査結果を以下に示す。

【K-11北端の調査結果】

露岩域において、K-11が認められなくなることを確認。



拡大写真①
K-11の北方付近



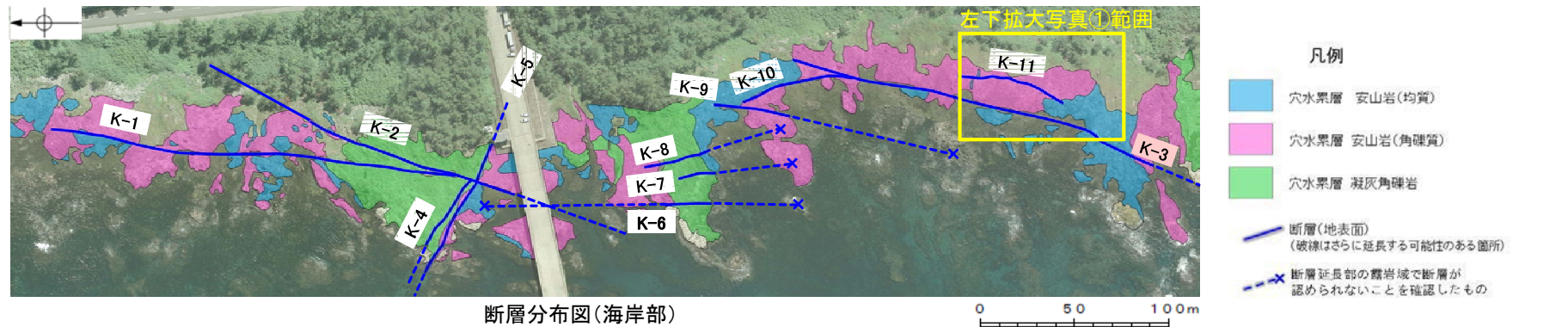
拡大写真②
K-11の北方延長

K-11端部の調査結果 ー南端:露岩域ー

■K-11南端の調査結果を以下に示す。

【K-11南端の調査結果】

露岩域において、K-11が認められなくなることを確認。

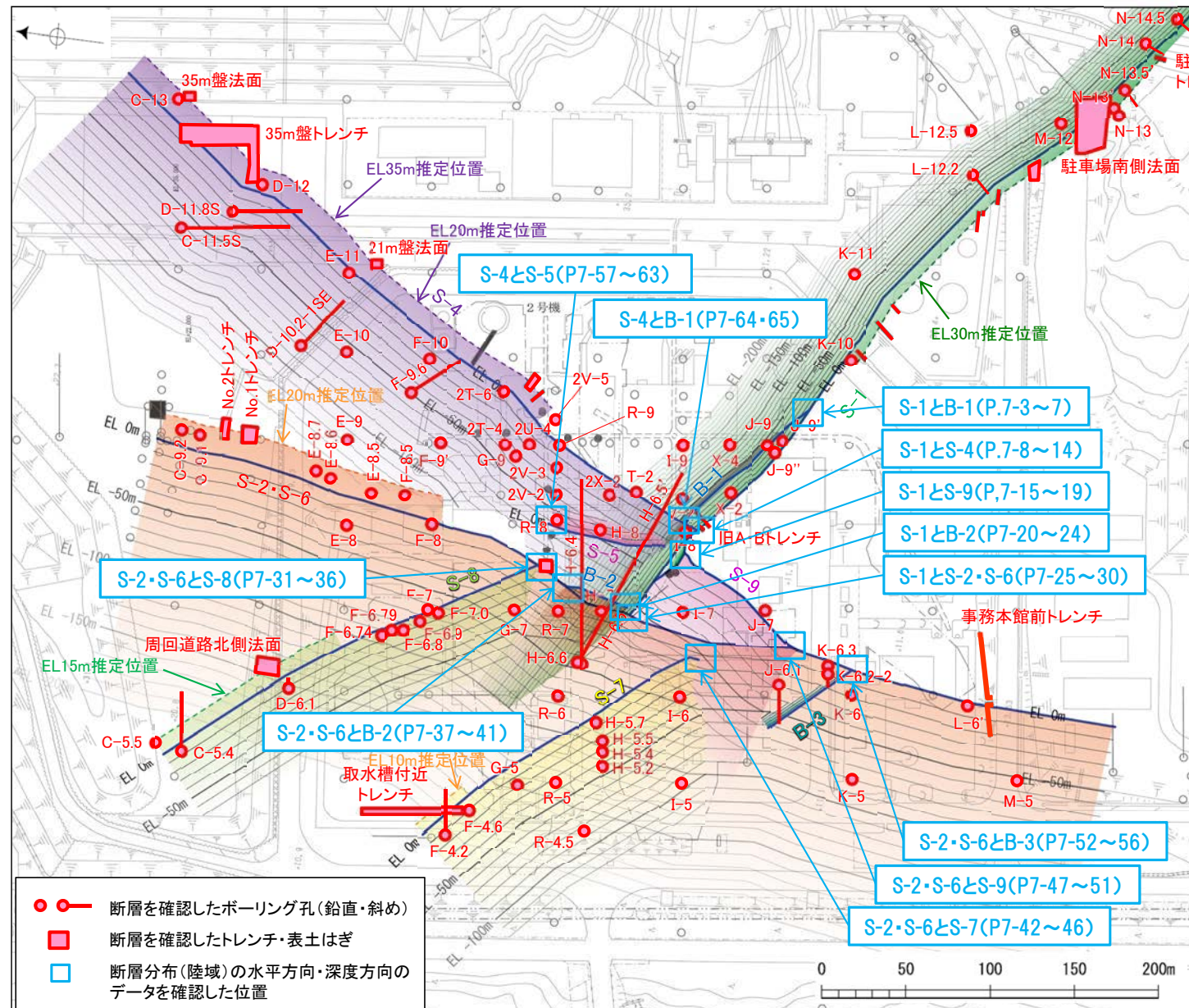


データ集7

断層分布(陸域)の水平方向・深度方向のデータ

断層分布(陸域)の水平方向・深度方向のデータ ー位置図ー

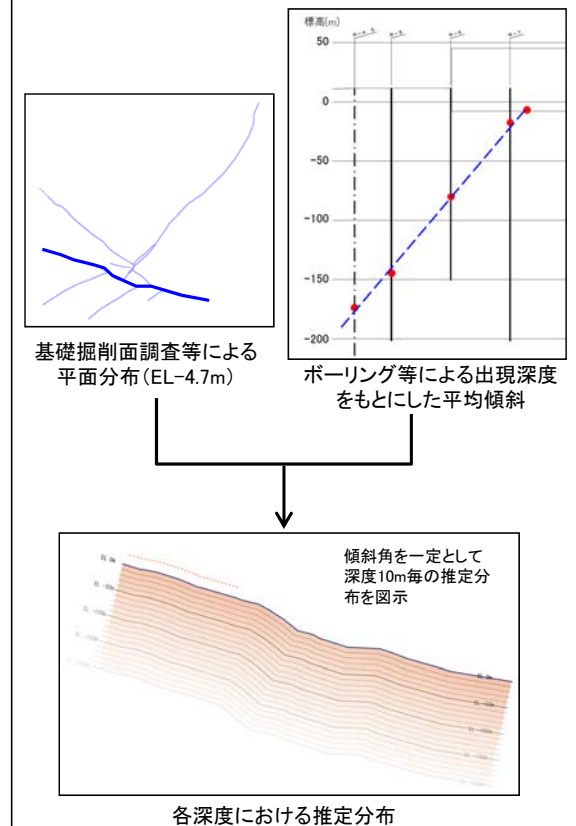
■断層分布(陸域)の水平方向・深度方向のデータを確認した位置(下図□)について、以下に示す。



位置図
(陸域の断層の3次元的な分布)

(作図方法)

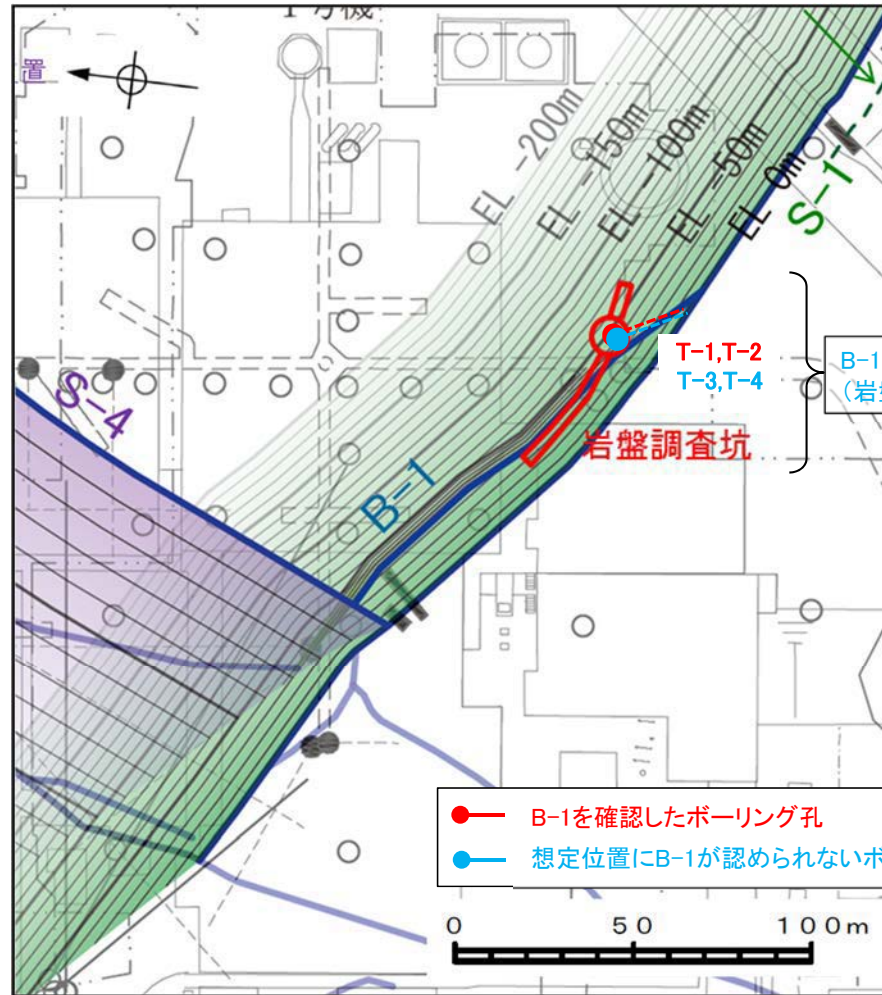
- ・この図は、2号機の基礎掘削面深度EL-4.7mを基準とした断層トレースをもとに、断層の傾斜角を一定として、EL0m以深の断層の推定分布を深度10m毎に図示したものである。
- ・各深度における断層分布の推定には、各ボーリング孔における出現深度をもとに求めた断層の平均的な傾斜角を用いた。
- ・このため、実際のボーリングコアでの断層出現標高とは異なる場合がある。



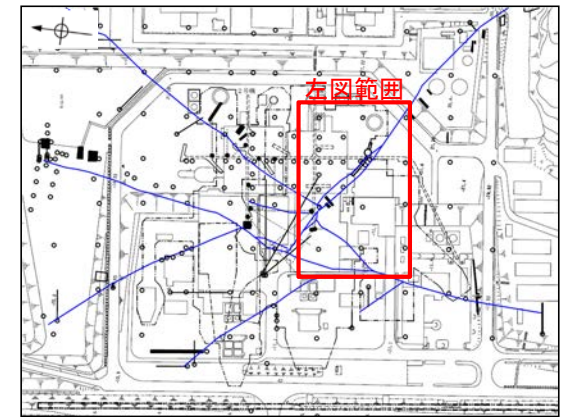
(1) S-1とB-1の水平方向・深度方向のデータ

S-1とB-1の水平方向・深度方向のデータ

OB-1は、水平方向・深度方向にS-1を越えて連続しない。



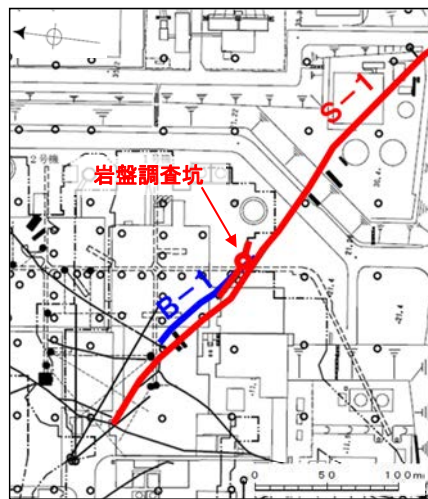
B-1は、水平方向・深度方向にS-1を越えて連続しない
(岩盤調査坑及びボーリング断面P.7-5～7)



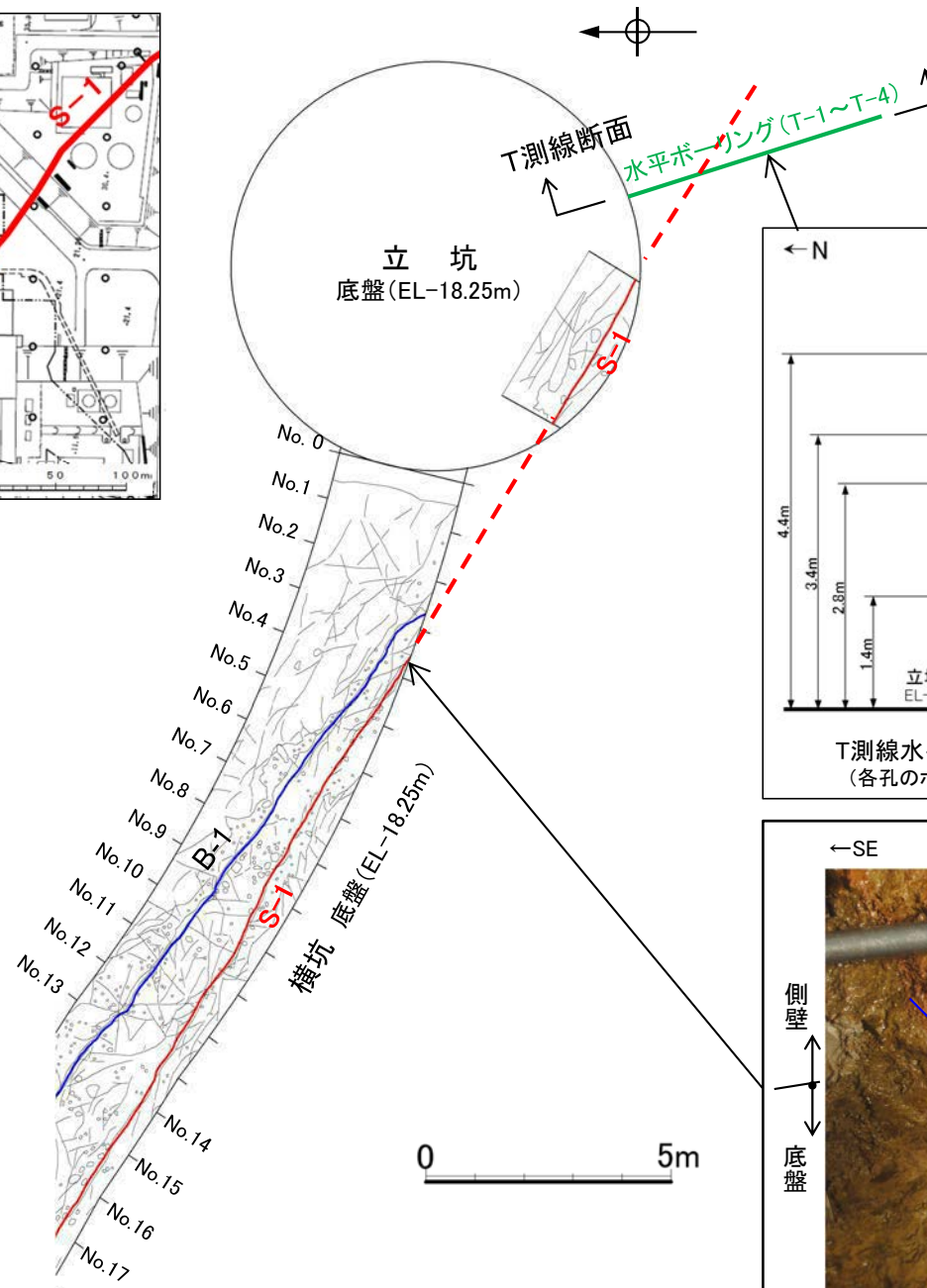
位置図

S-1とB-1の関係

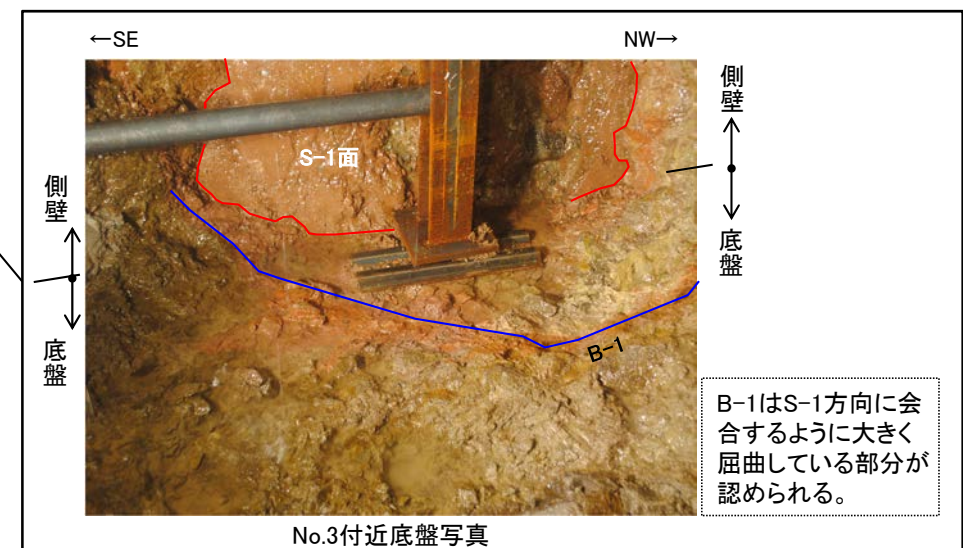
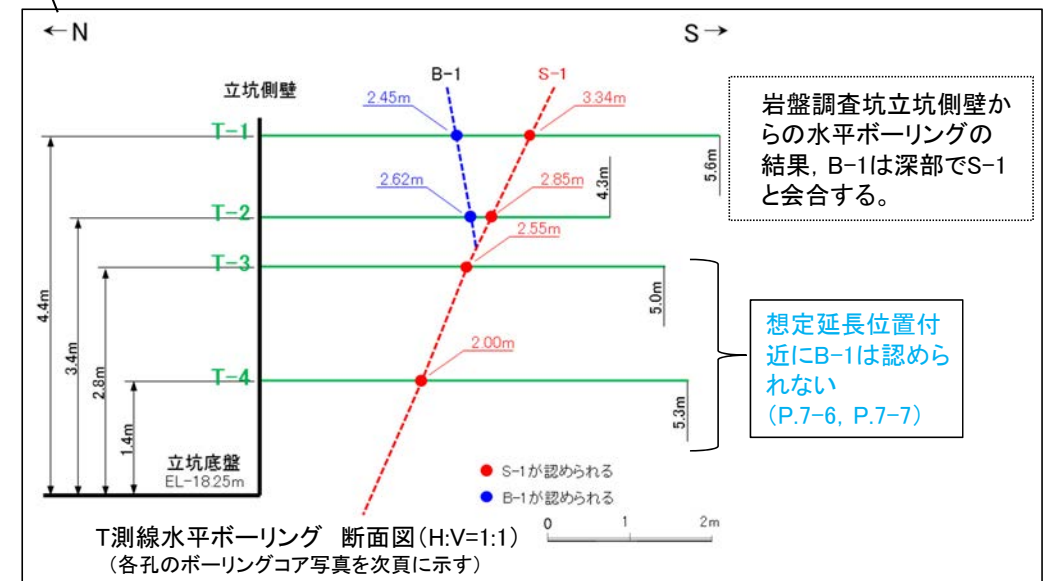
○岩盤調査坑及びボーリング断面において、B-1は、水平方向・深度方向にS-1を越えて連続しない。



位置図

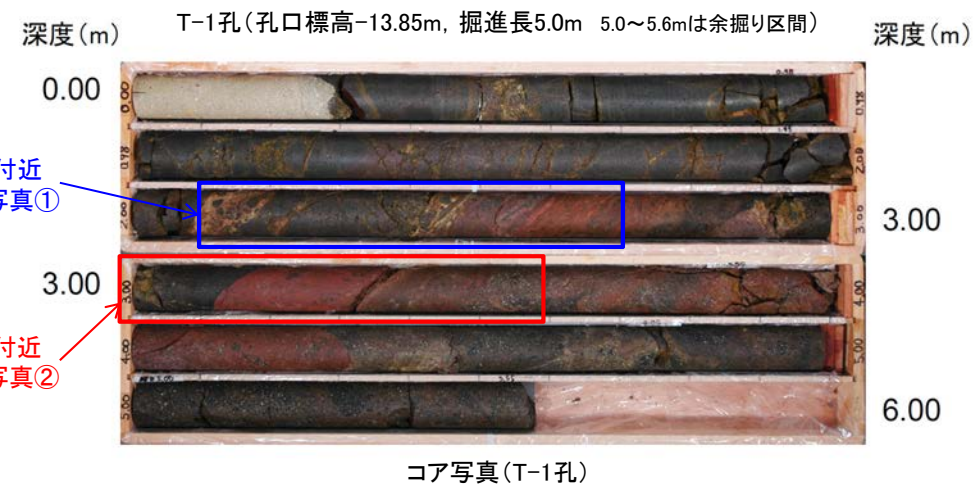
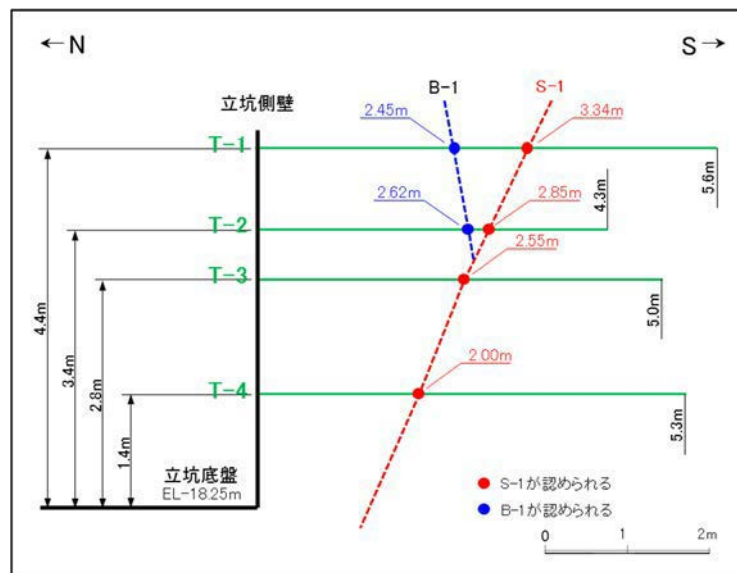


岩盤調査坑
ボーリング調査位置図

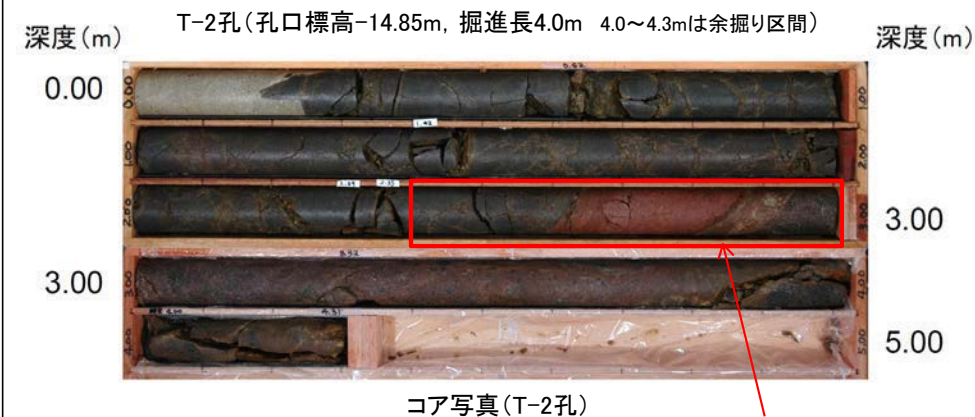
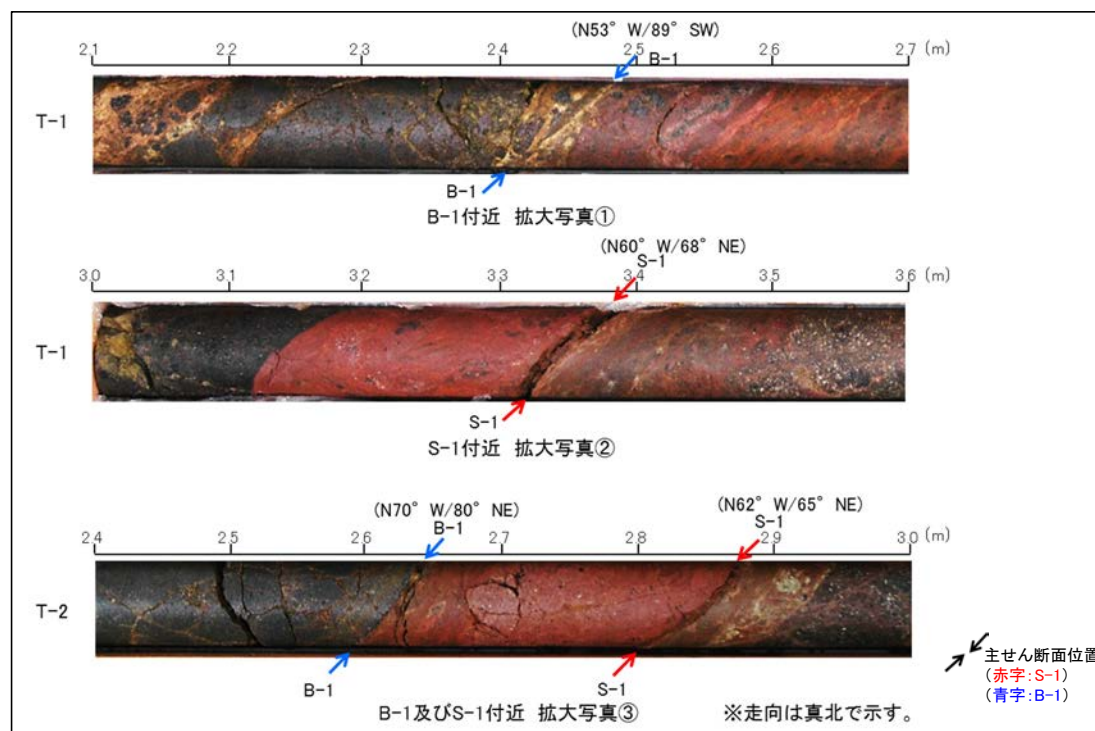


水平ボーリング(T-1孔, T-2孔) コア写真

柱状図はデータ集10 P.10-9-3~4



コア写真(T-1孔)

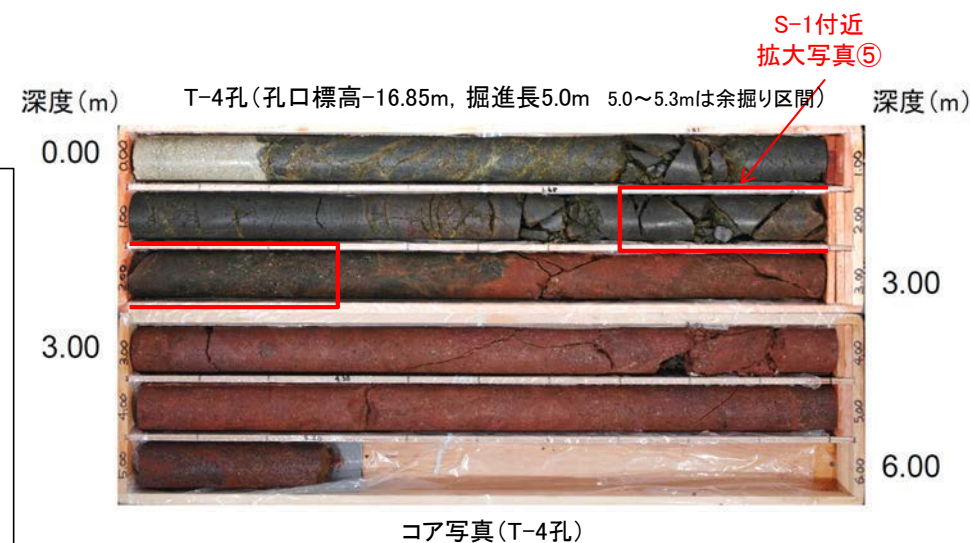
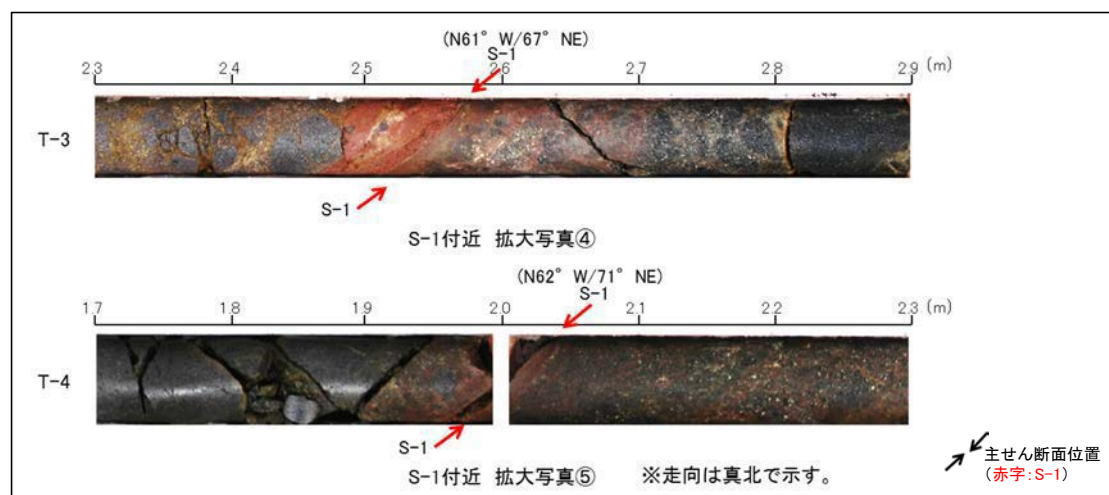
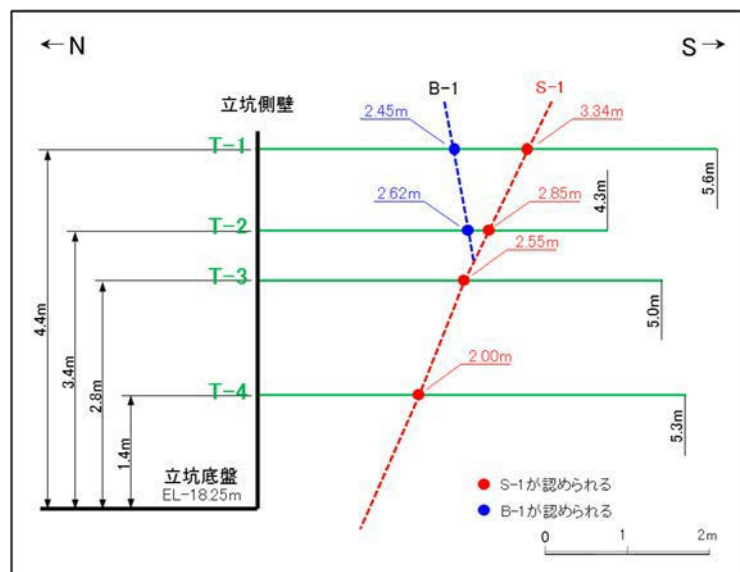


コア写真(T-2孔)

T-1, T-2孔においてS-1とその上盤側にB-1が認められる。

水平ボーリング(T-3孔, T-4孔) コア写真

柱状図はデータ集10 P.10-9-5~6

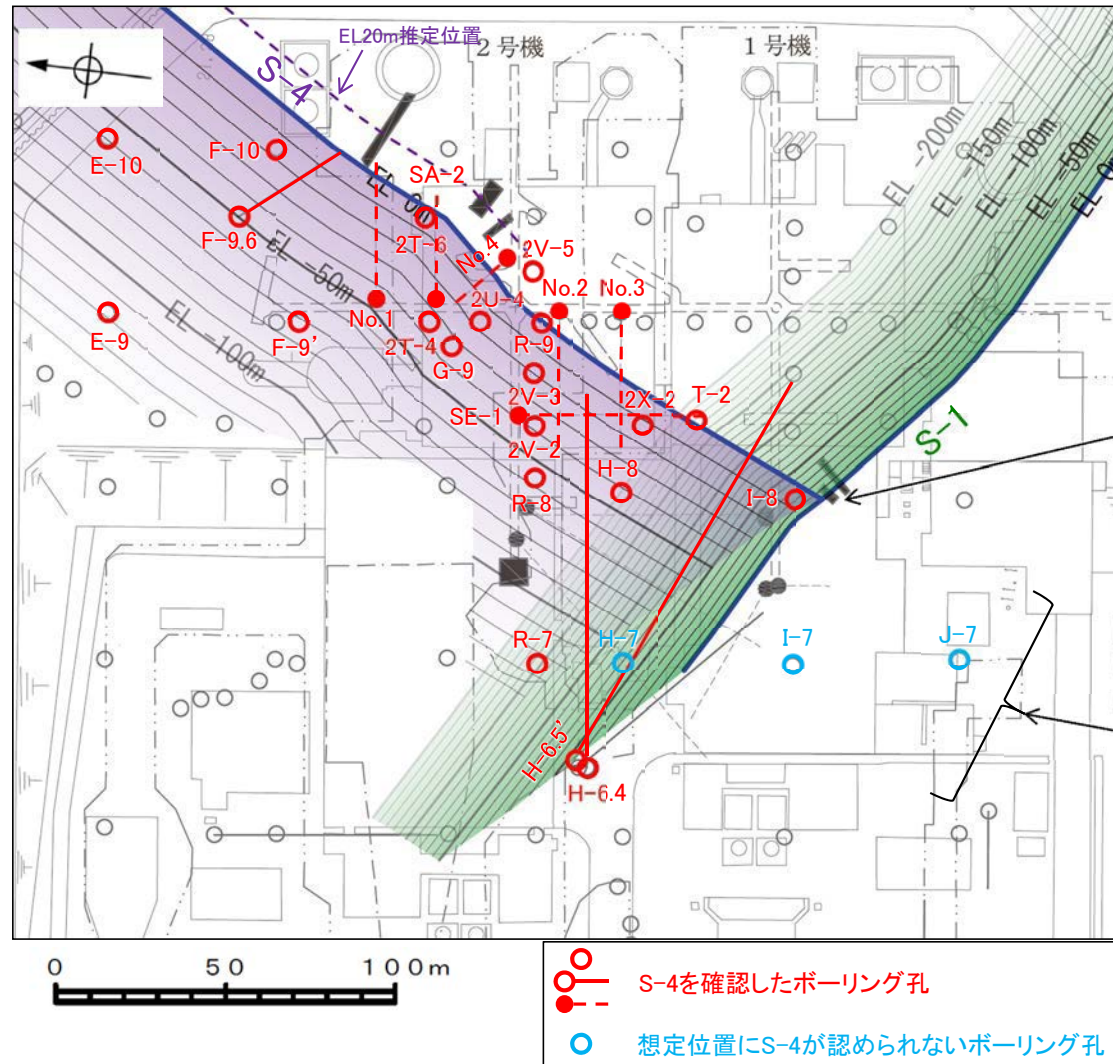
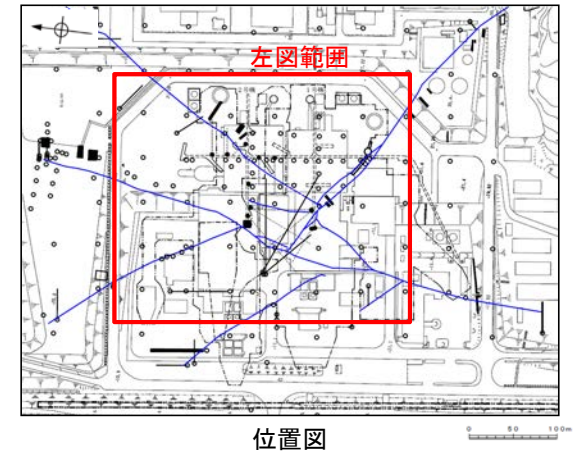


T-3, T-4孔においてS-1が認められるものの、その下盤側にB-1は認められない。

(2) S-1とS-4の水平方向・深度方向のデータ

S-1とS-4の水平方向・深度方向のデータ

OS-4は、水平方向・深度方向にS-1を越えて連続しない。



S-1とS-4の関係

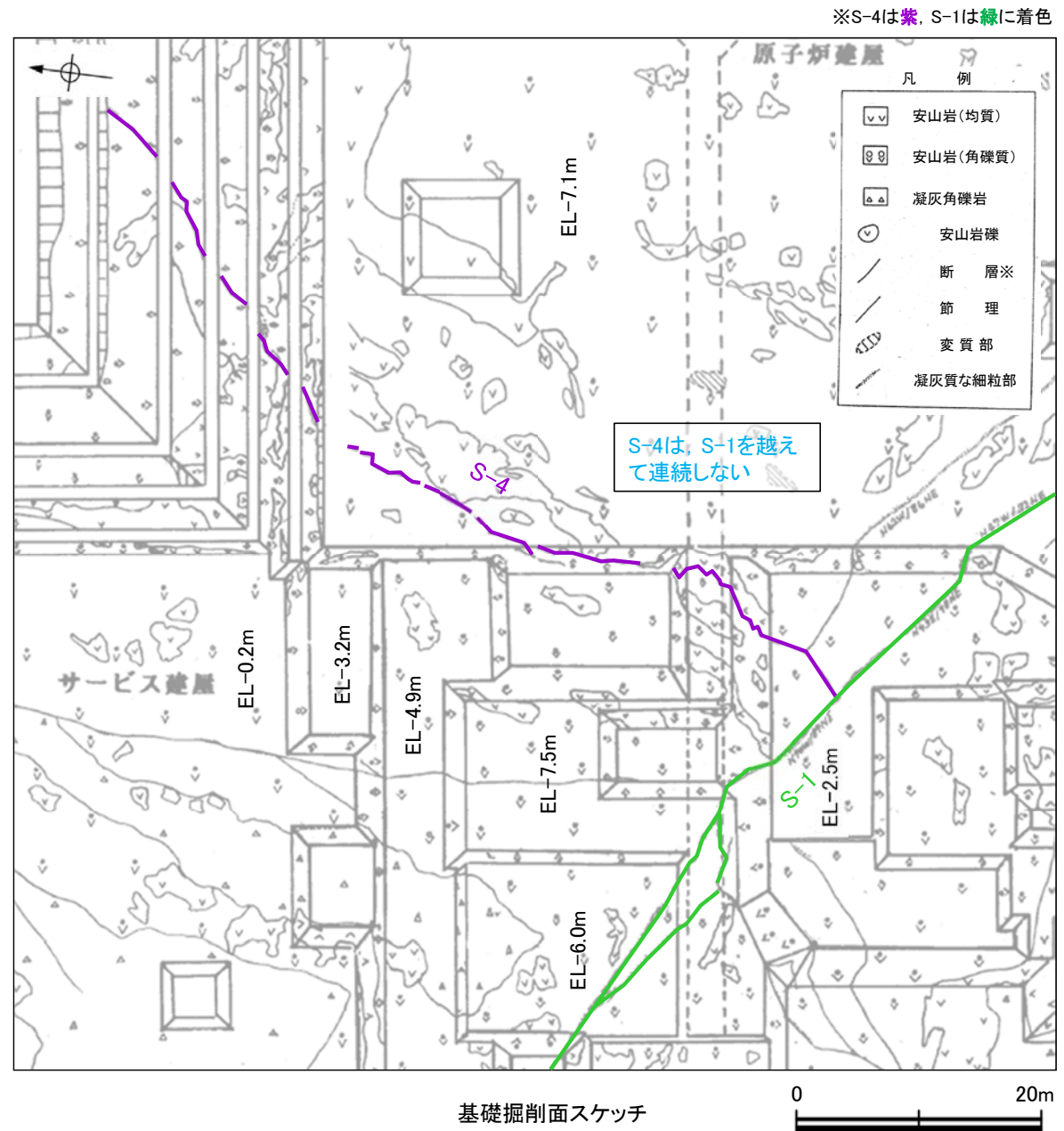
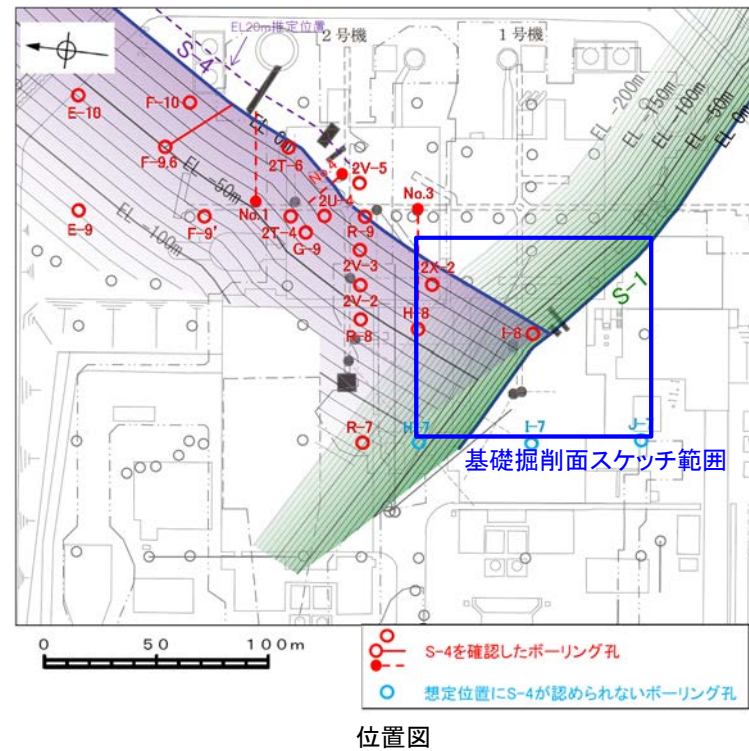
S-4は、水平方向にS-1を越えて連続しない
(基礎掘削面P.7-10)

S-4は、深度方向にS-1を越えて連続しない
(ボーリング断面P.7-11~14)

S-1とS-4の水平方向・深度方向のデータ ー基礎掘削面ー

第553回審査会合
机上配布資料1 P.9-46 一部修正

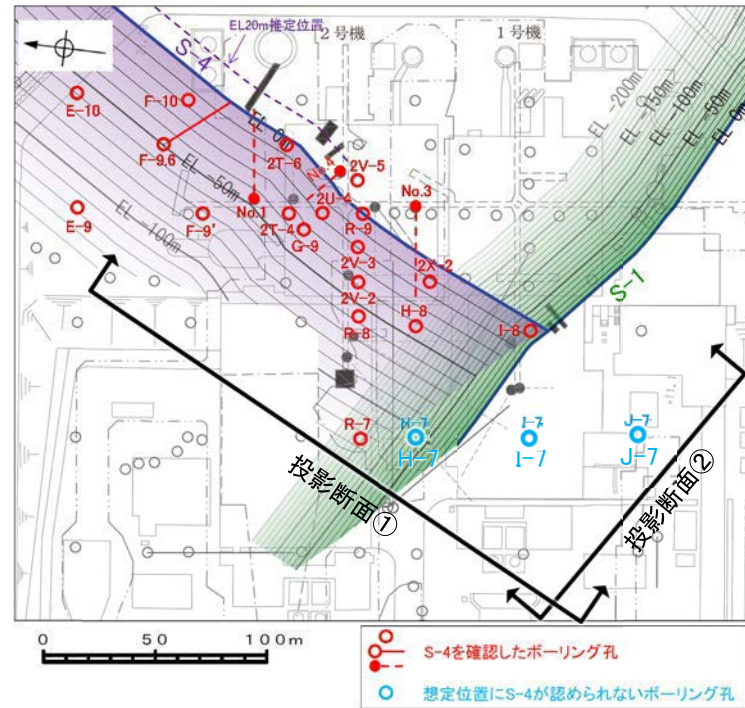
○基礎掘削面において、S-4は、水平方向にS-1を越えて連続しない。



S-1とS-4の水平方向・深度方向のデーターボーリング断面①ー

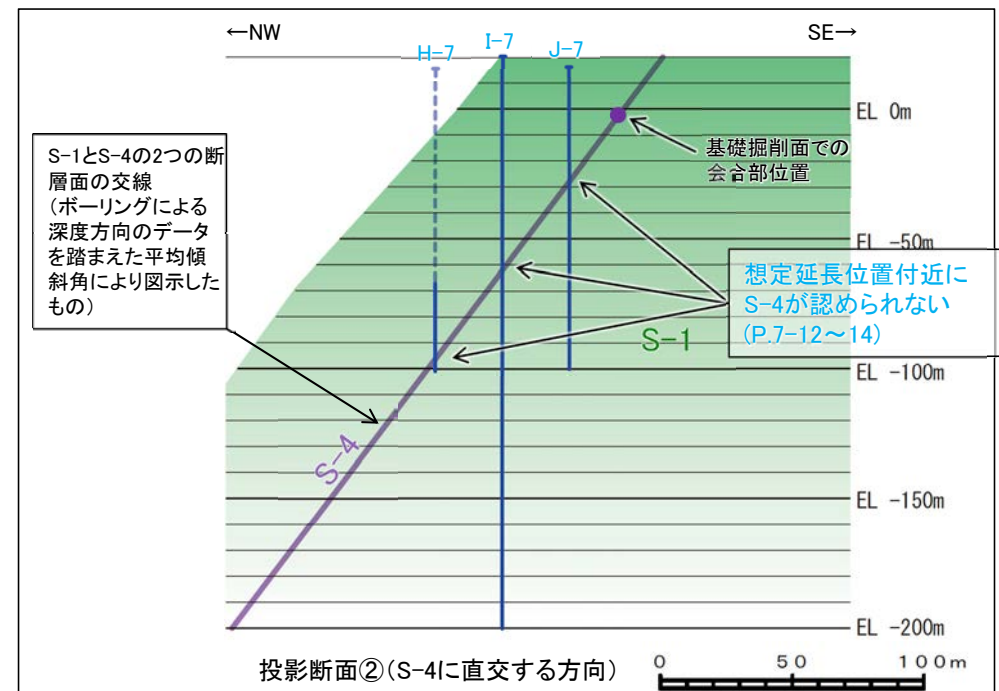
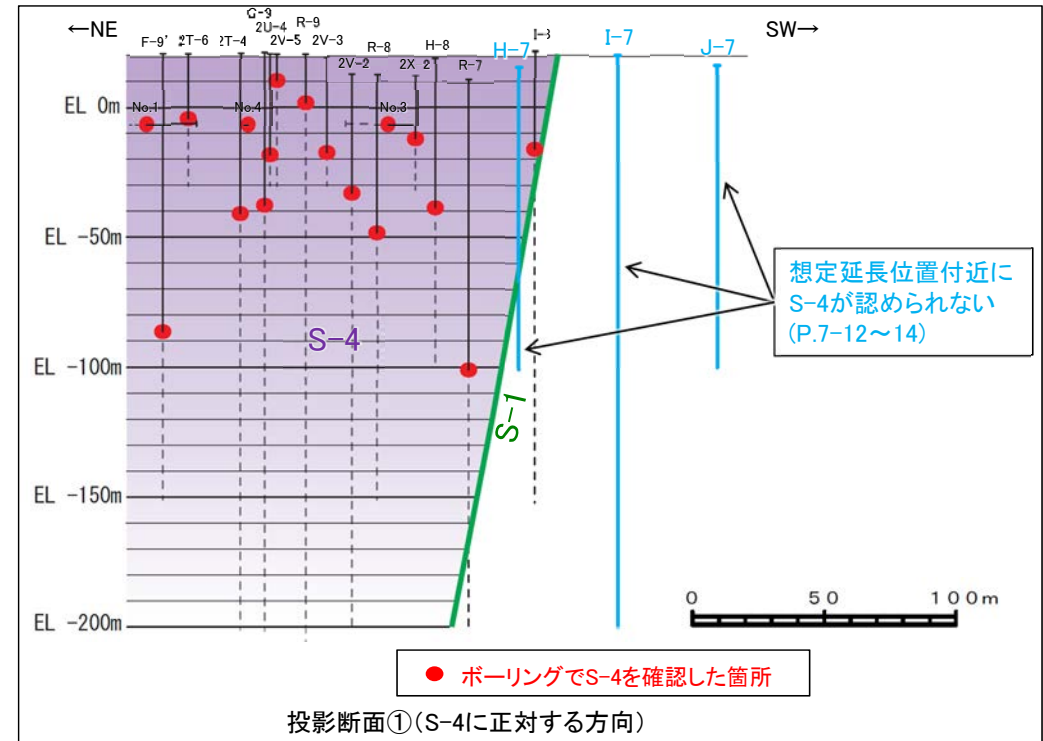
第553回審査会合
机上配布資料1 P.9-47 一部修正

○ボーリング断面において、S-4は、S-1を越えて連続しない。



位置図

S-4は、S-1断層面より南西側のボーリングH-7孔、I-7孔及びJ-7孔において想定延長位置付近に認められず、S-1断層面より北東側にのみ認められる。



S-1とS-4の水平方向・深度方向のデーターボーリング断面②ー

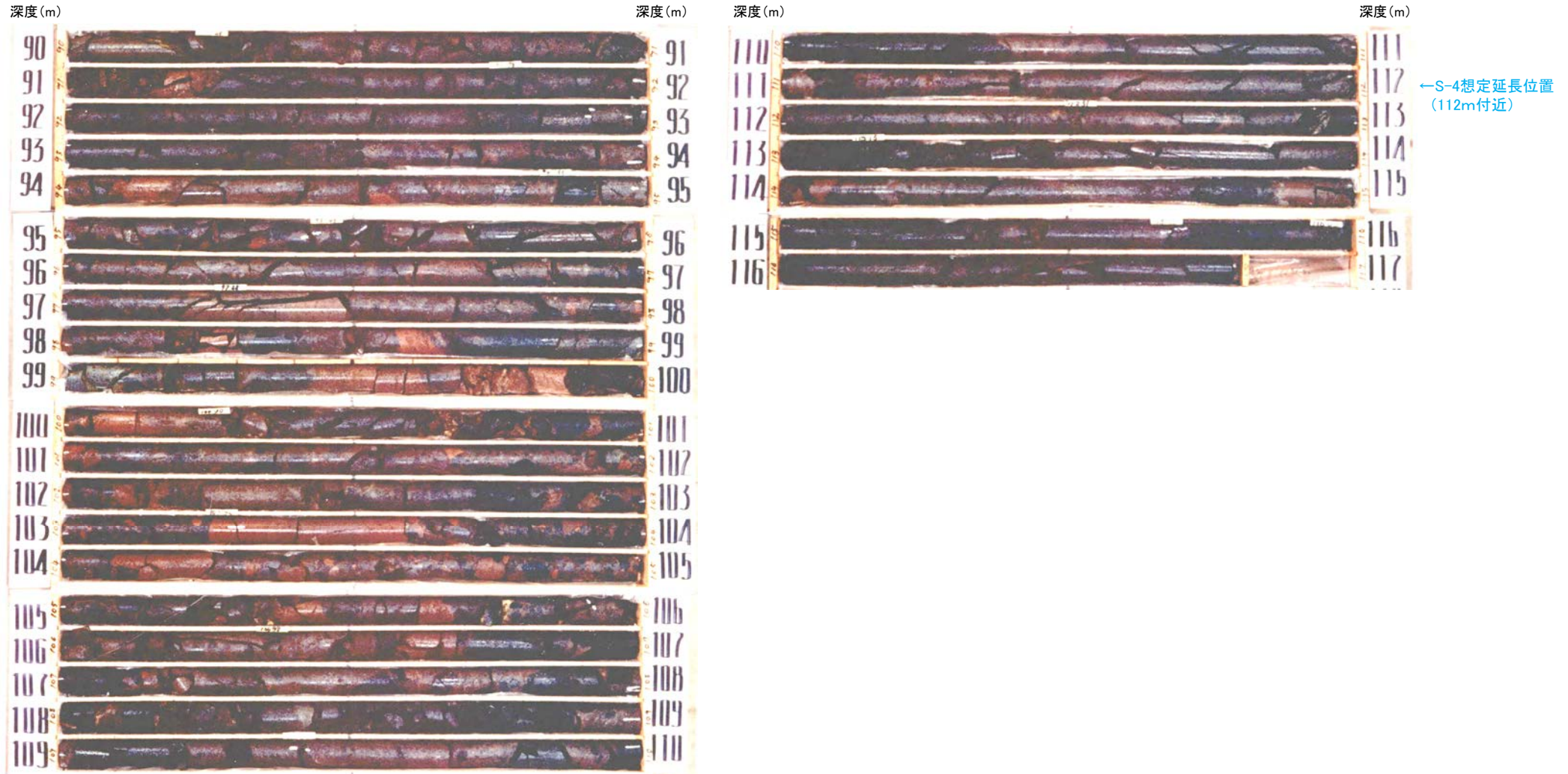
第553回審査会合
机上配布資料1 P.9-48 一部修正

■H-7孔のS-4の想定延長位置付近のコア写真を示す。

柱状図はデータ集10 P.10-4-123～125

この写真は、層相の判断を行うため、明度を調整

H-7孔(孔口標高15.92m, 掘進長116.80m, 鉛直)



コア写真(深度90～116.8m)

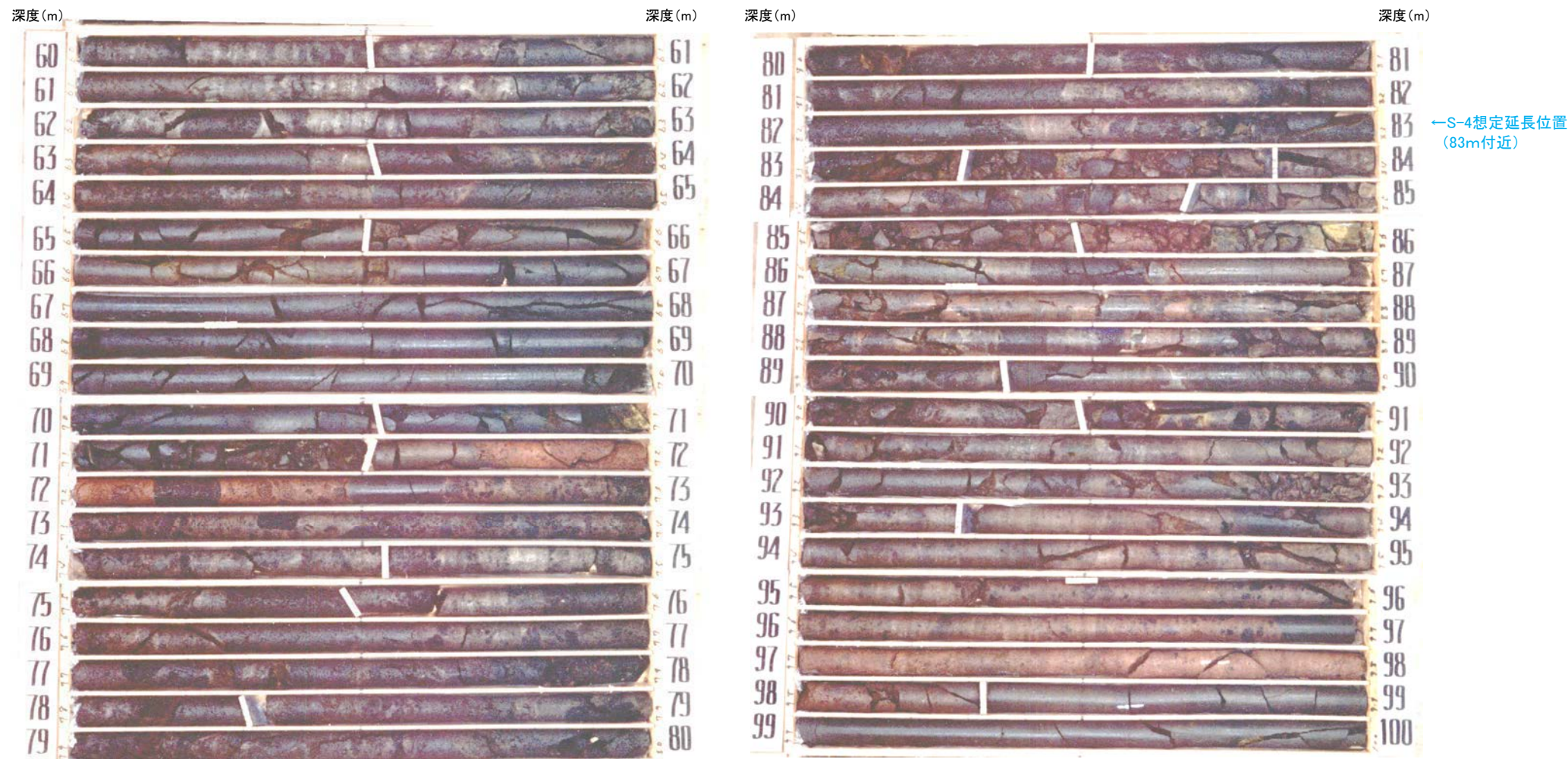
H-7孔において、想定延長位置付近にS-4は認められない。

■I-7孔のS-4の想定延長位置付近のコア写真を示す。

柱状図はデータ集10 P.10-4-126～131

この写真は、層相の判断を行うため、明度を調整

I-7孔(孔口標高20.47m, 掘進長220.68m, 鉛直)



コア写真(深度60～100m)

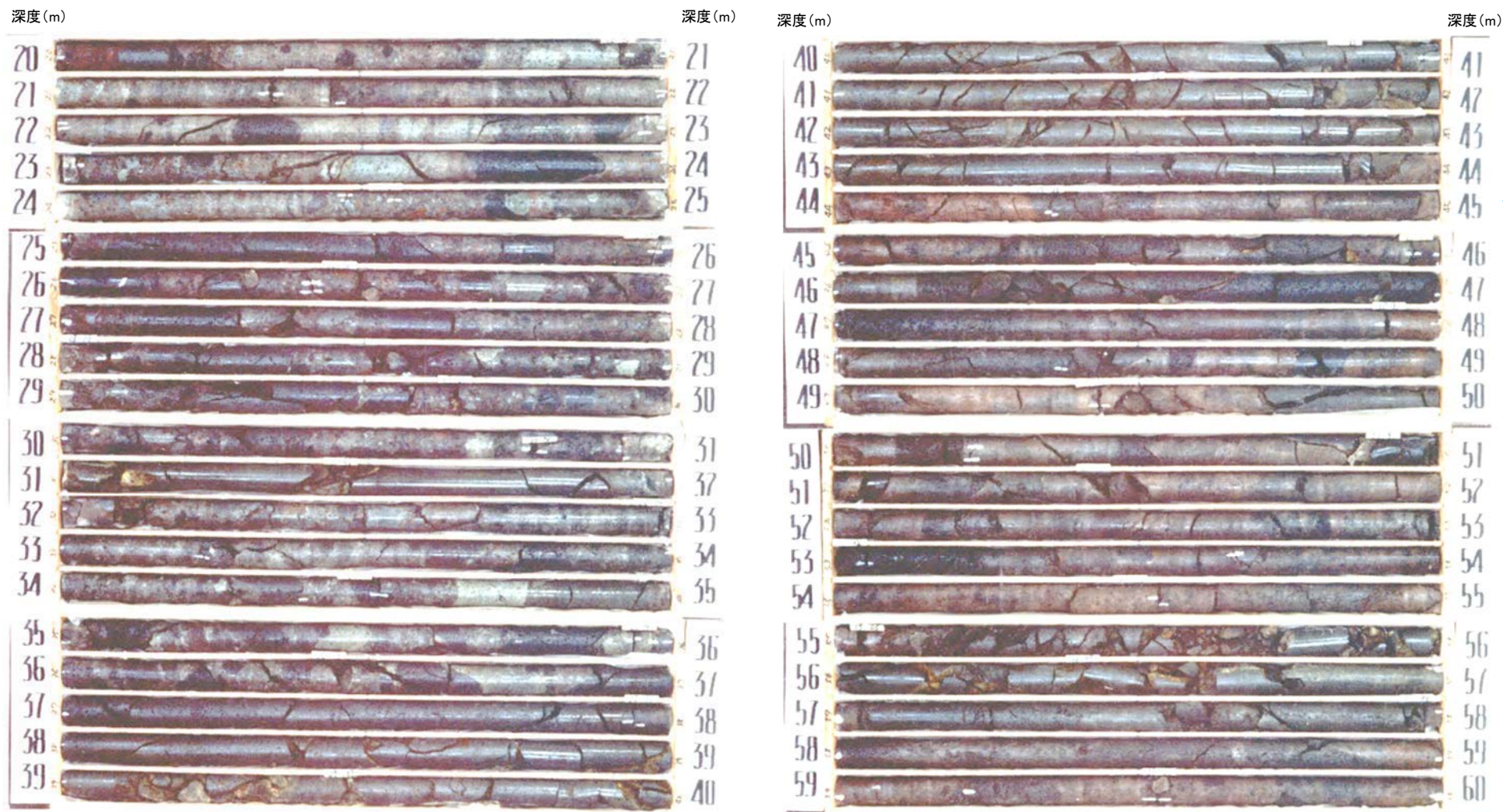
I-7孔において、想定延長位置付近にS-4は認められない。

■J-7孔のS-4の想定延長位置付近のコア写真を示す。

柱状図はデータ集10 P.10-4-132～134

この写真は、層相の判断を行うため、明度を調整

J-7孔(孔口標高16.48m, 掘進長116.55m, 鉛直)



コア写真(深度20～60m)

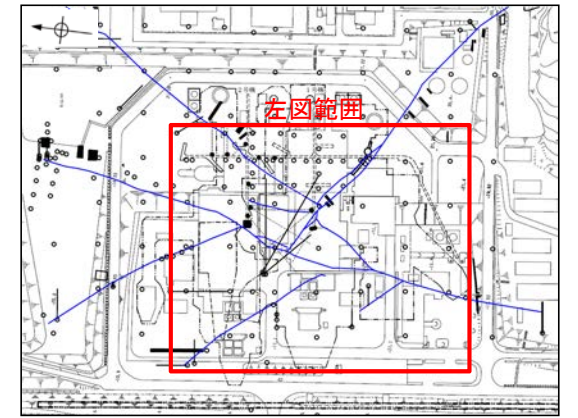
J-7孔において、想定延長位置付近にS-4は認められない。

(3) S-1とS-9の水平方向・深度方向のデータ

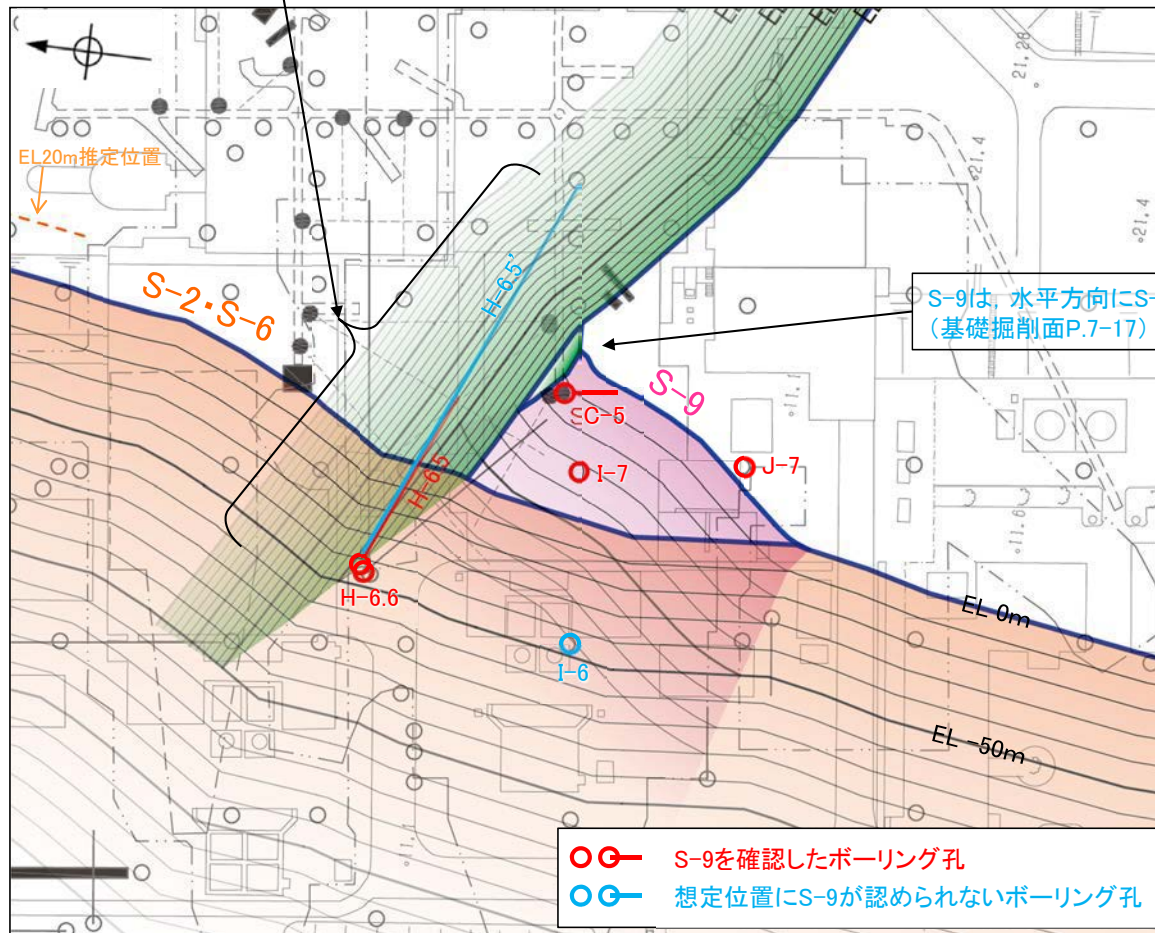
S-1とS-9の水平方向・深度方向のデータ

○S-9は、水平方向・深度方向にS-1を越えて連続しない。

S-9は、深度方向にS-1を越えて連続しない
(ボーリング断面P.7-18・19)



位置図

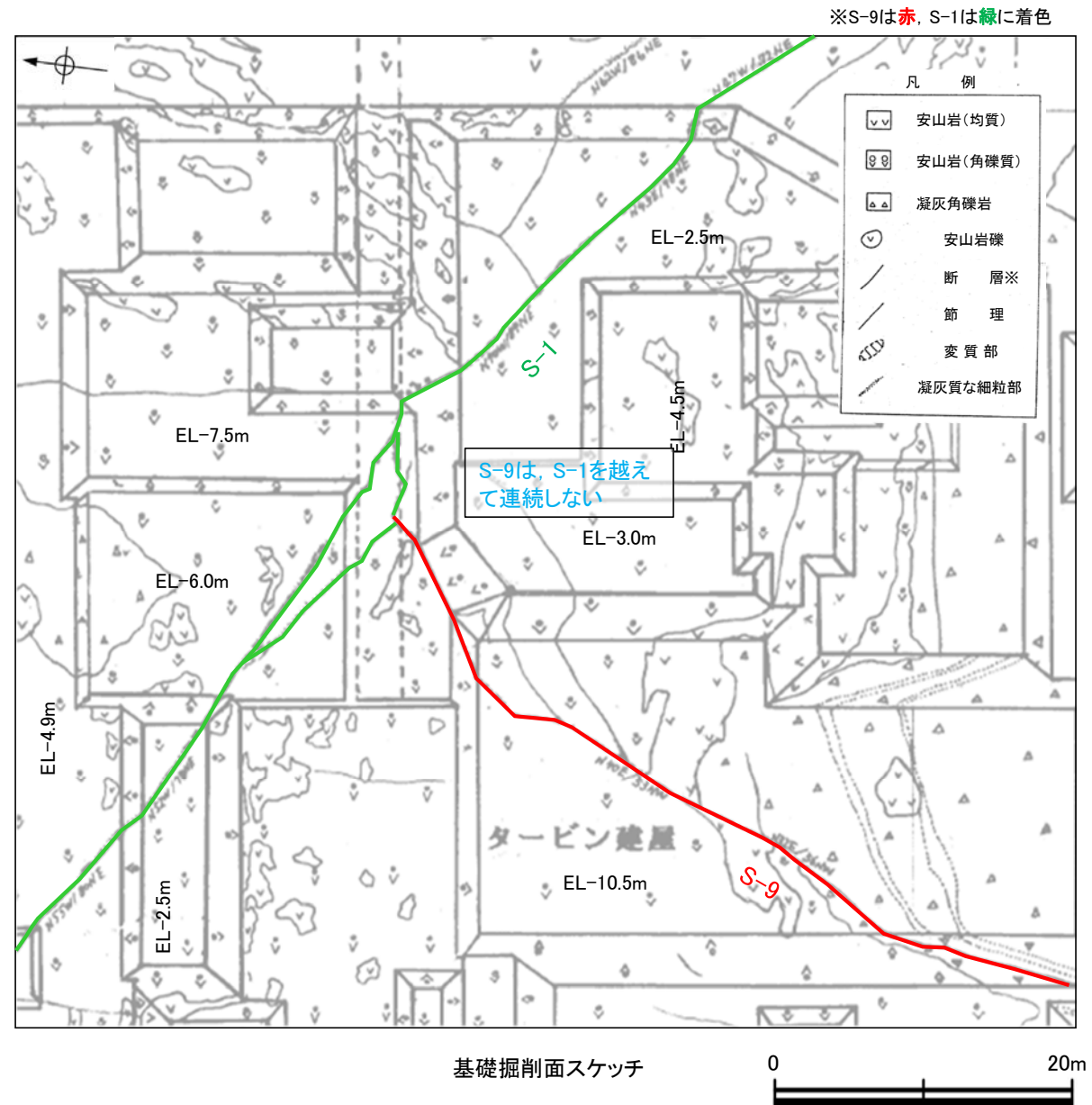
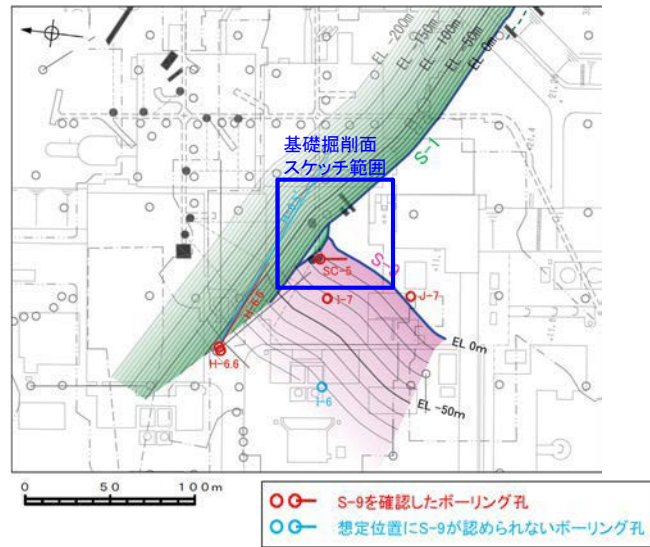


S-9は、水平方向にS-1を越えて連続しない
(基礎掘削面P.7-17)

- S-9を確認したボーリング孔
- S-9が認められないボーリング孔

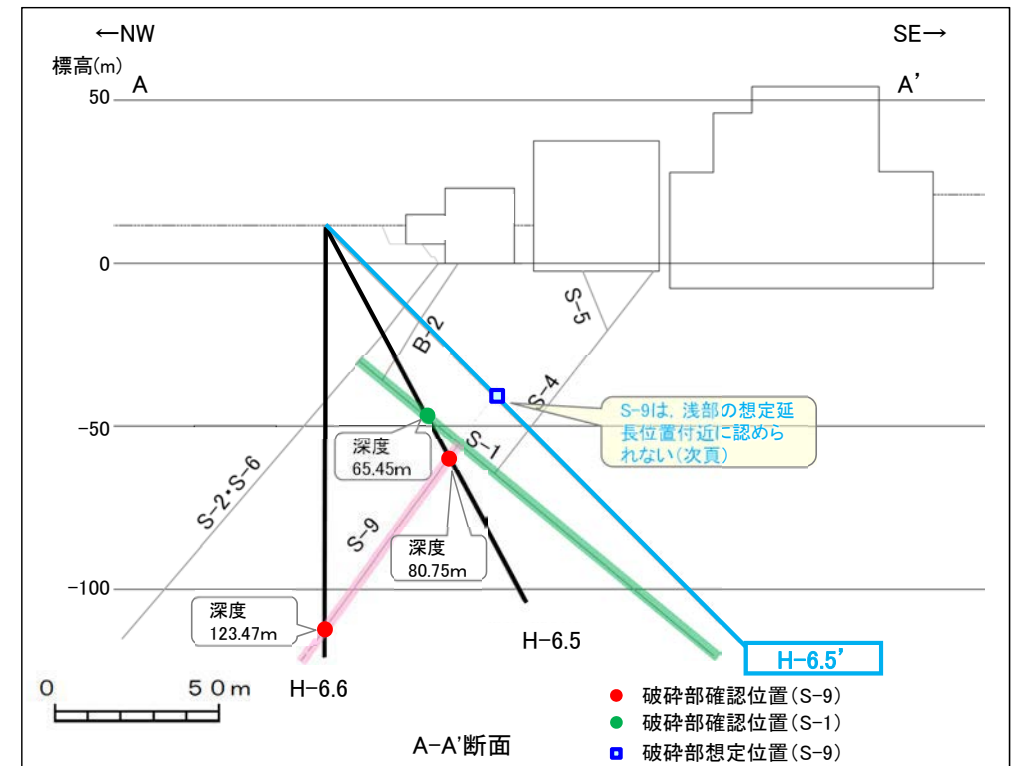
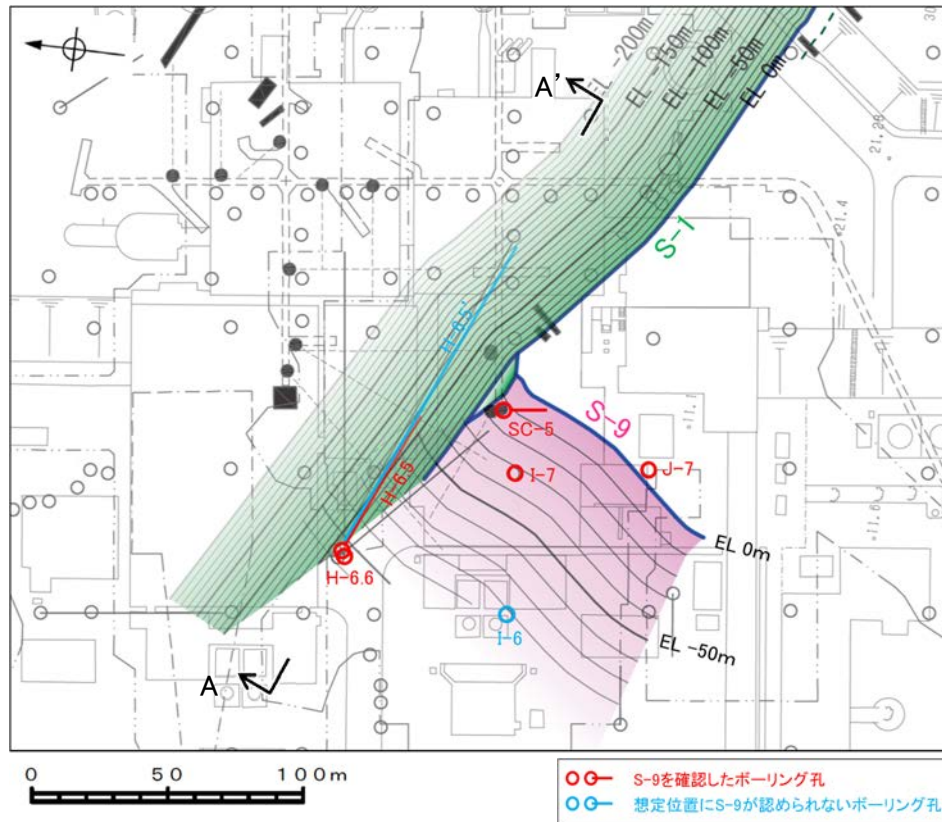
S-1とS-9の関係

○基礎掘削面において、S-9は、水平方向にS-1を越えて連続しない。



S-1とS-9の水平方向・深度方向のデーターボーリング断面①ー

○ボーリング断面において、S-9は、S-1を越えて連続しない。



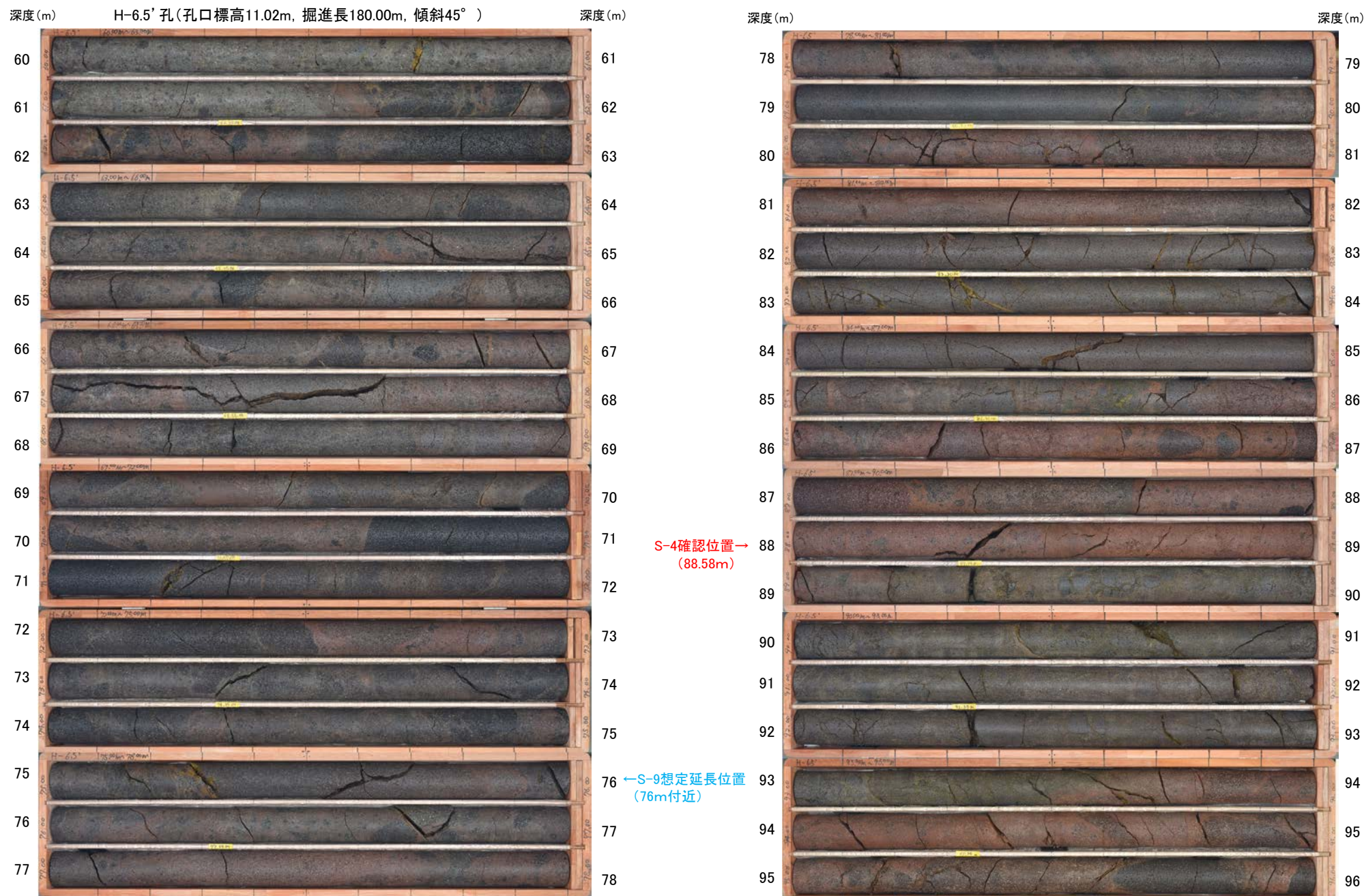
この図の断層線は、周辺ボーリングでの出現位置を基に直線的に描いている。

S-9は、S-1断層面より北東側のボーリングH-6.5'孔において想定延長位置付近に認められず、S-1断層面より南西側にのみ認められる。

S-1とS-9の水平方向・深度方向のデータ ーボーリング断面②ー

■H-6.5'孔のS-9の想定延長位置付近のコア写真を示す。

柱状図はデータ集10 P.10-8-21～25



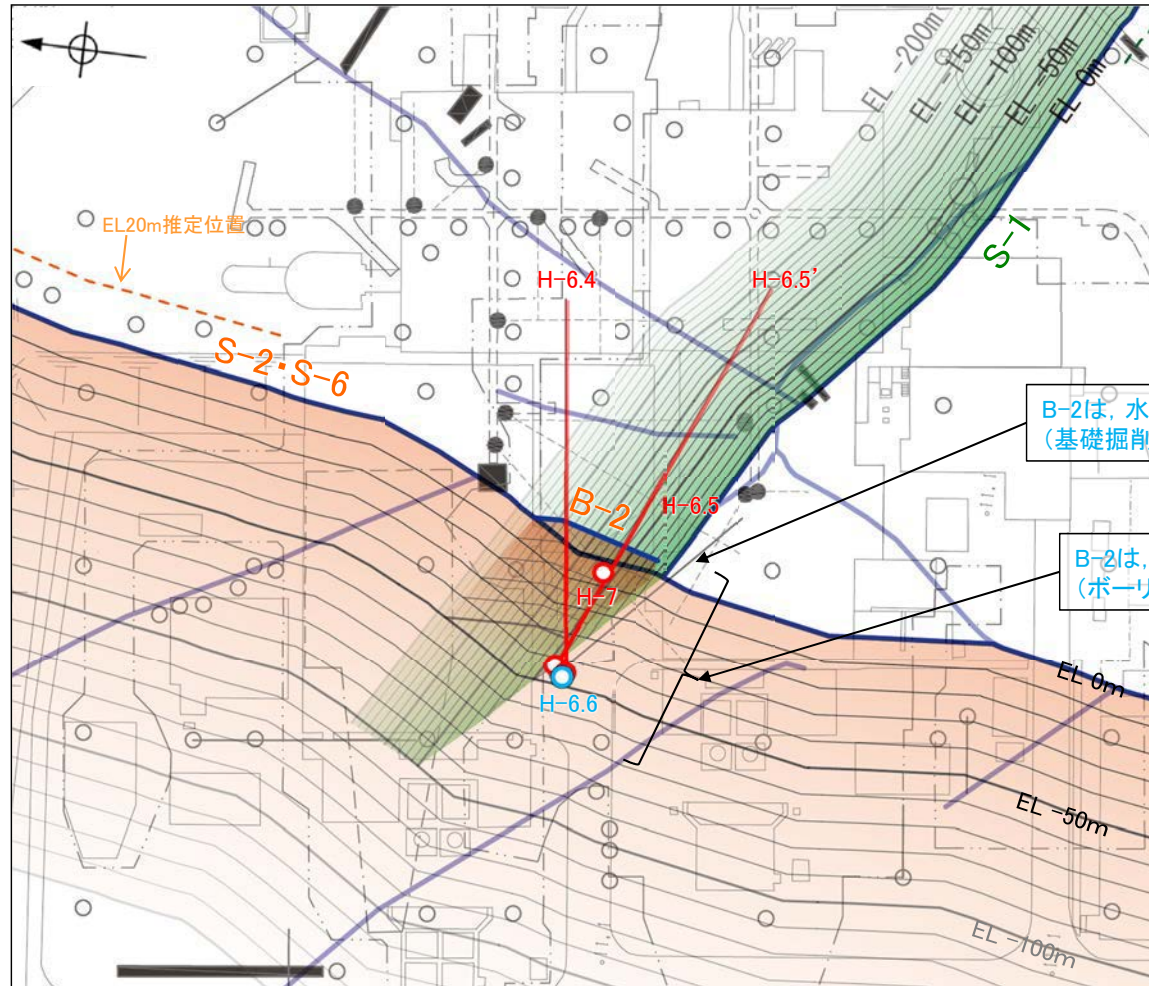
コア写真(深度60～96m)

H-6.5'孔において、想定延長位置付近にS-9は認められない。

(4) S-1とB-2の水平方向・深度方向のデータ

S-1とB-2の水平方向・深度方向のデータ

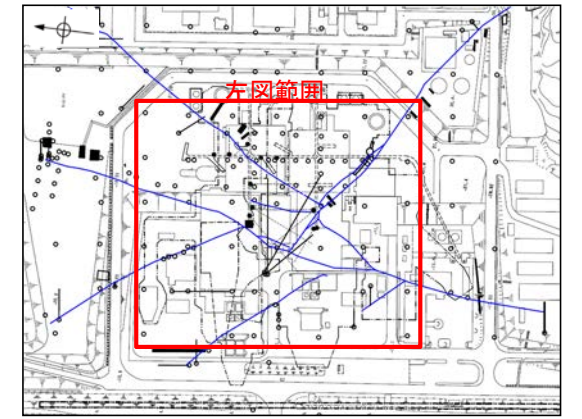
OB-2は、水平方向・深度方向にS-1を越えて連続しない。



B-2は、水平方向にS-1を越えて連続しない
(基礎掘削面P.7-22)

B-2は、深度方向にS-1を越えて連続しない
(ボーリング断面P.7-23・24)

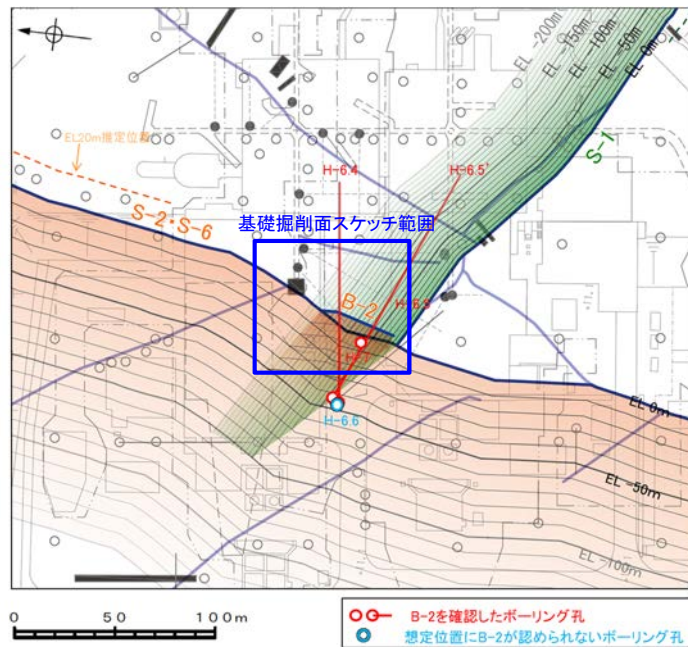
- B-2を確認したボーリング孔
- 想定位置にB-2が認められないボーリング孔



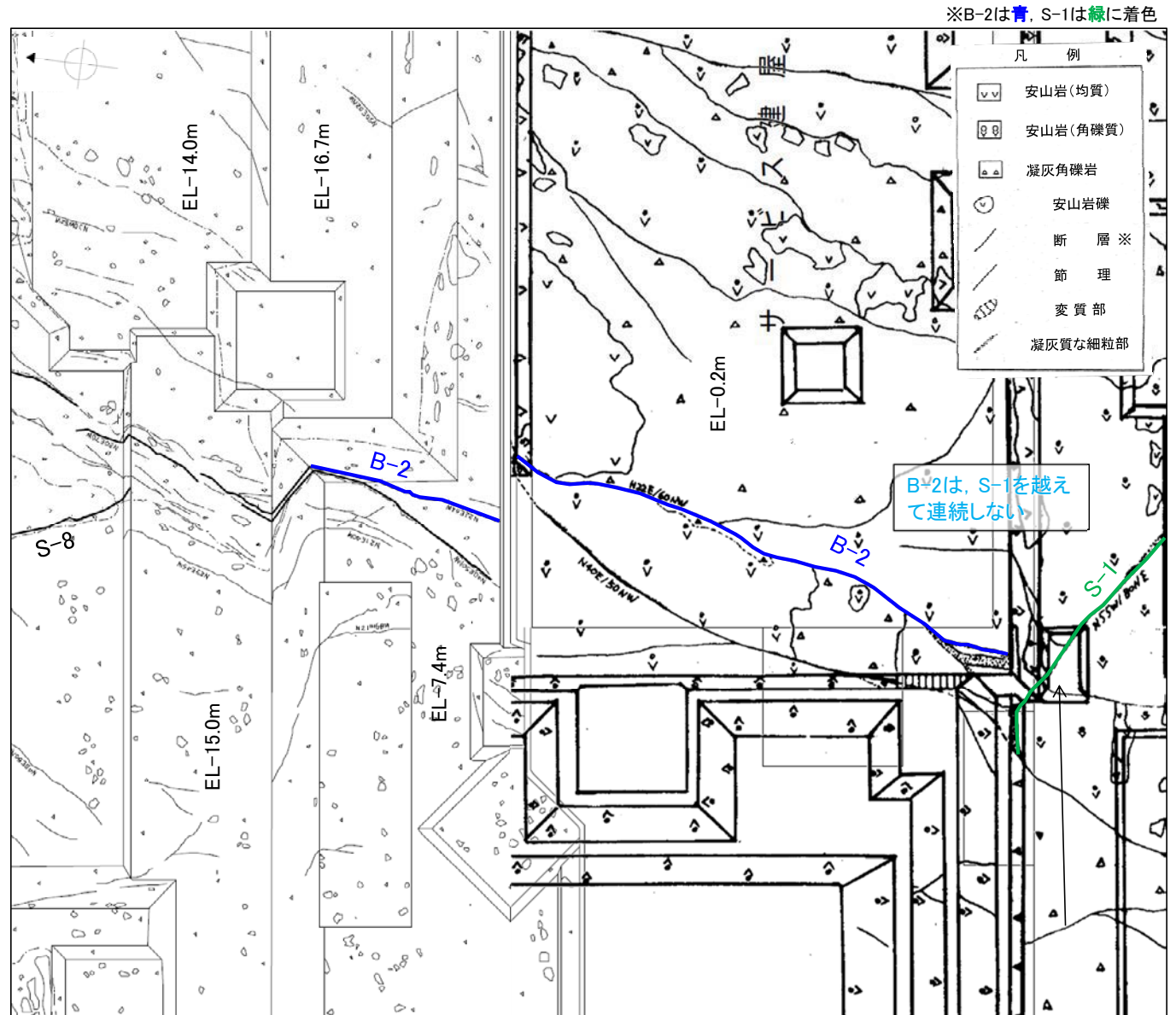
位置図

S-1とB-2の関係

○基礎掘削面において、B-2は、水平方向にS-1を越えて連続しない。

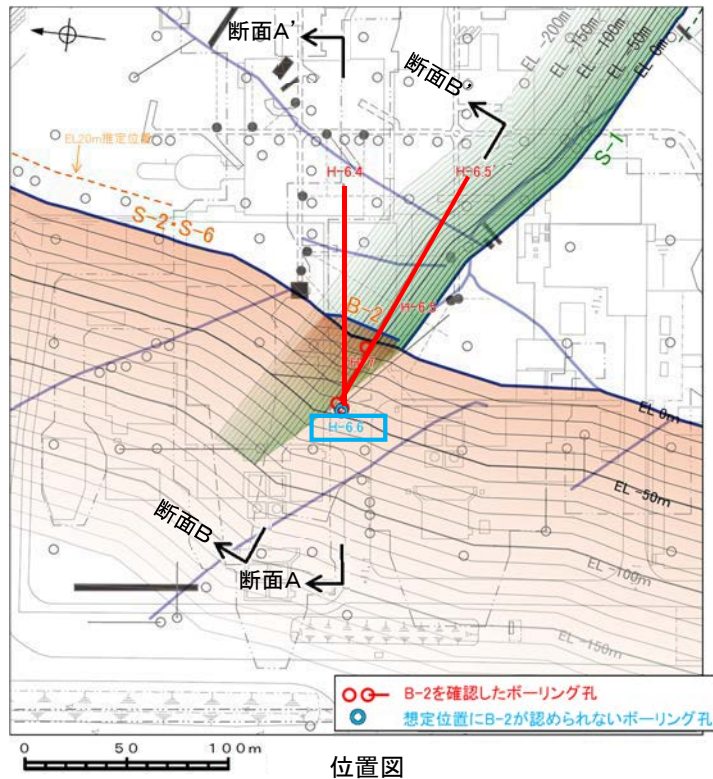


位置図



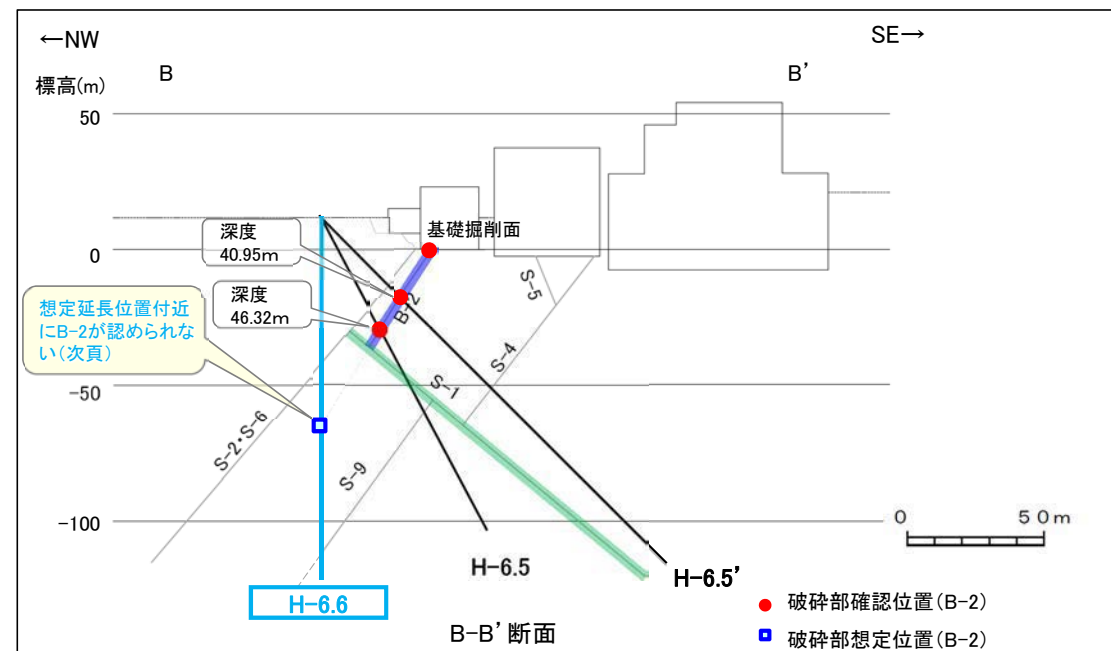
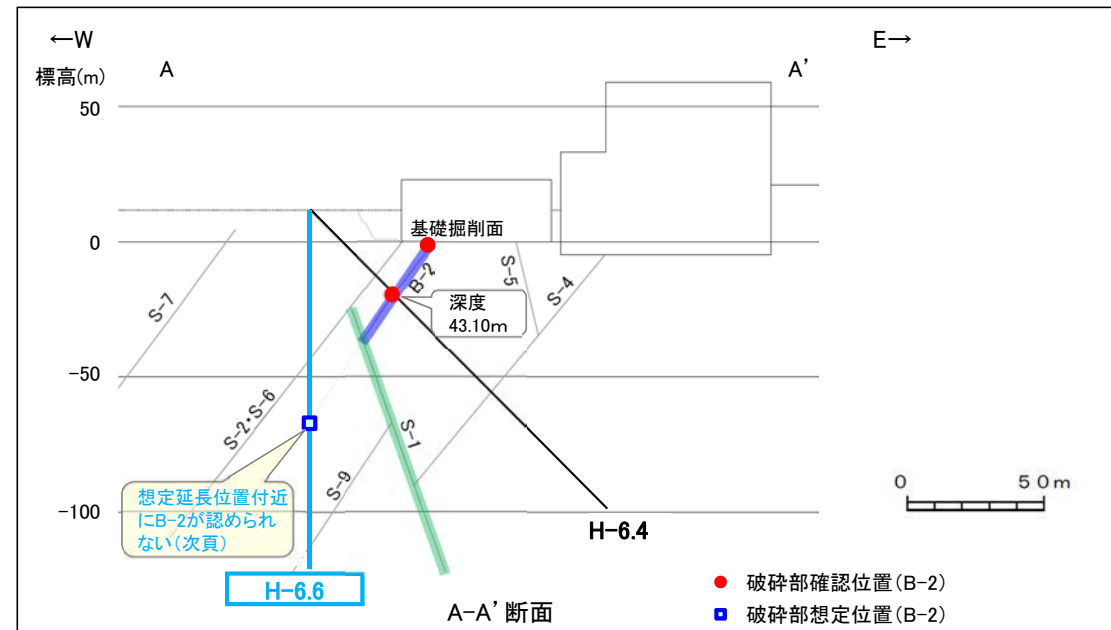
基礎掘削面スケッチ(左:2号機, 右:1号機)

○ボーリング断面において、B-2は、S-1を越えて連続しない。



- ・B-2は、H-6.6孔において想定延長位置付近に認められない。
- ・北東傾斜であるS-1と北西傾斜であるB-2は、深部で会合する関係にあり、B-2はS-1を越えて連続しない。

この図の断層線は、周辺ボーリングでの出現位置を基に直線的に描いている。

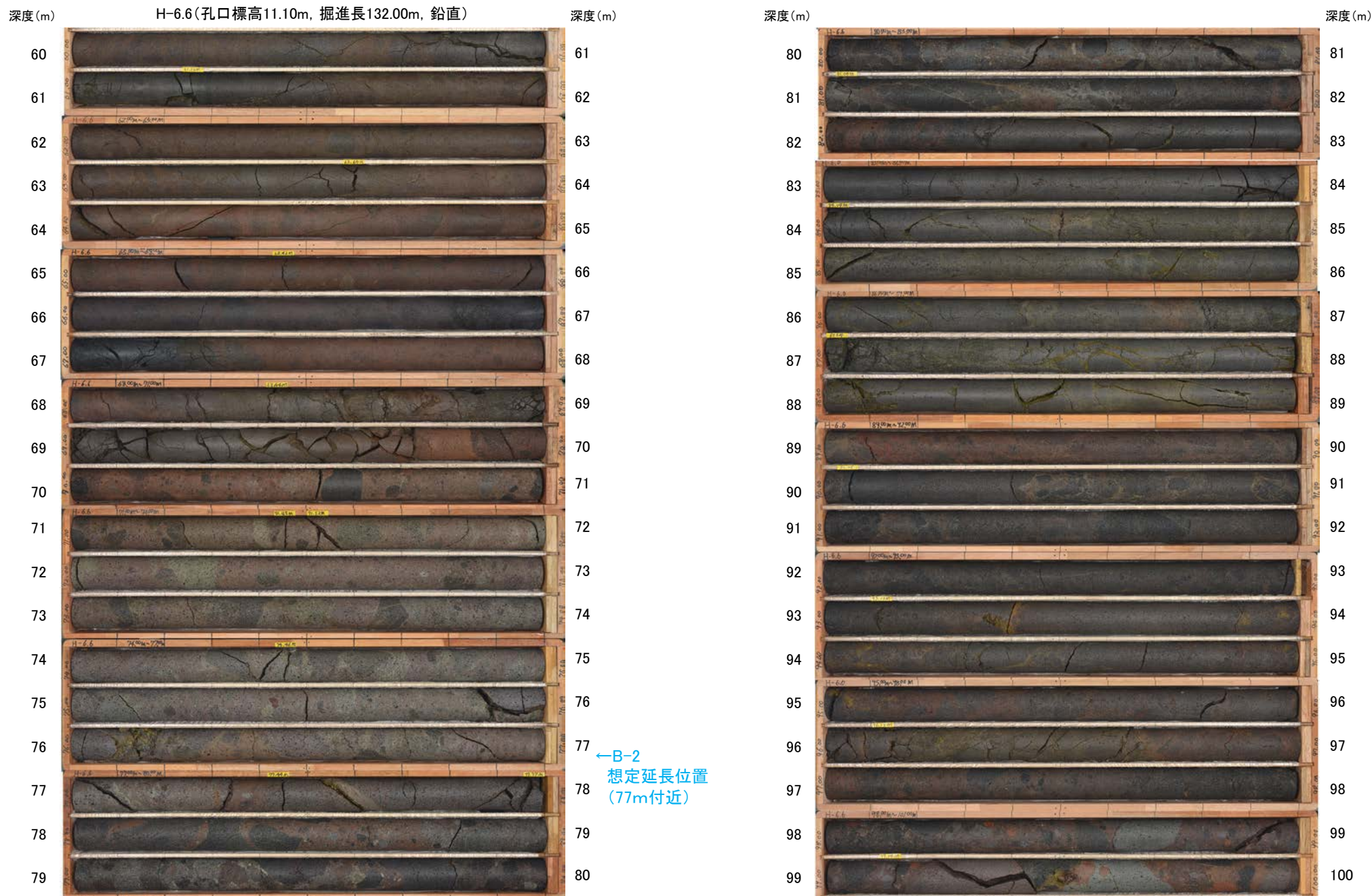


S-1とB-2の水平方向・深度方向のデータ ーボーリング断面②ー

第553回審査会合
机上配布資料1 P.9-15 一部修正

■H-6.6孔のB-2の想定延長位置付近のコア写真を示す。

柱状図はデータ集10 P.10-10-19~22



※深度77.60m付近に見られる割れ目は、その付近で変形構造は見られず、破砕部ではない。なお、走向傾斜はN33° E/59° SEであり、B-2と対応しない。

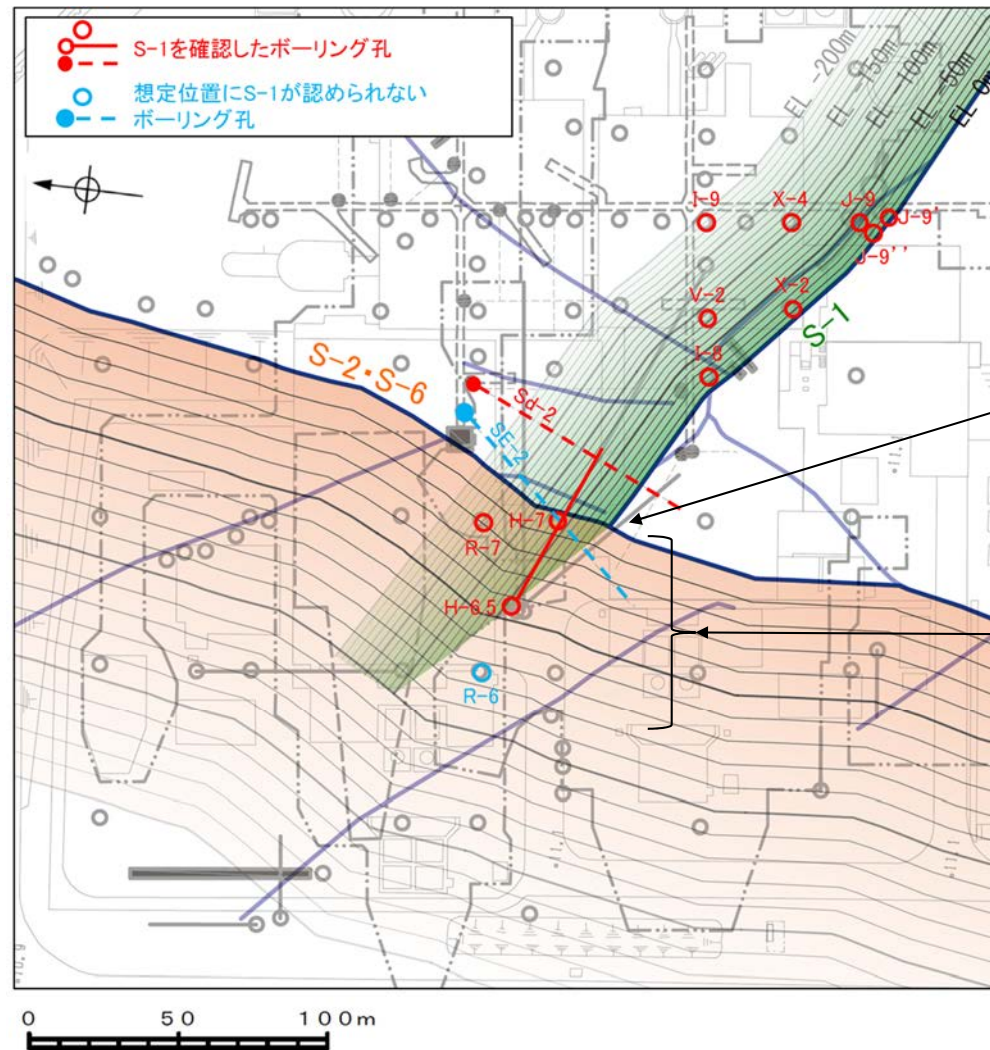
コア写真(深度60~100m)

H-6.6孔において、想定延長位置付近にB-2は認められない。

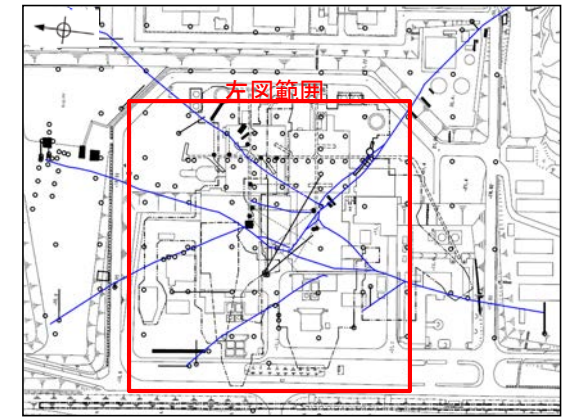
(5) S-1とS-2・S-6の水平方向・深度方向のデータ

S-1とS-2・S-6の水平方向・深度方向のデータ

○S-1は、水平方向・深度方向にS-2・S-6を越えて連続しない。



S-1とS-2・S-6の関係

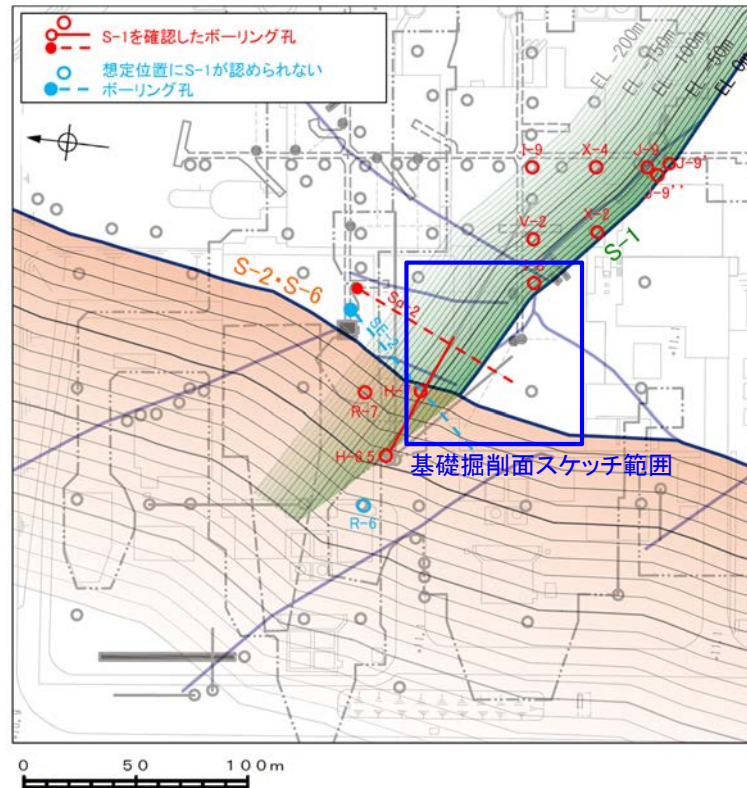


位置図

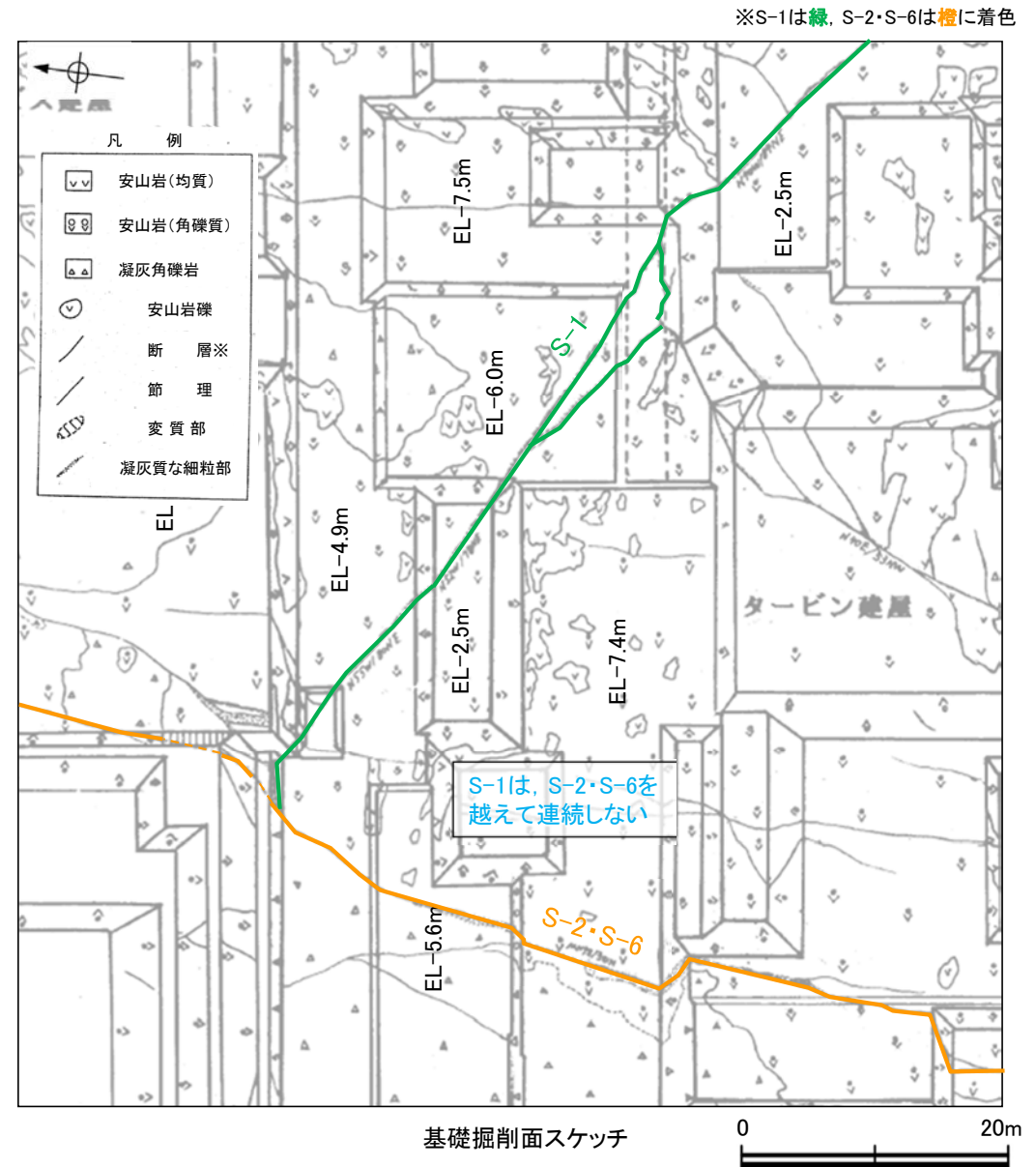
S-1は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない
(基礎掘削面P.7-27)

S-1は、深度方向にS-2・S-6を越えて連続しない
(ボーリング断面P.7-28~30)

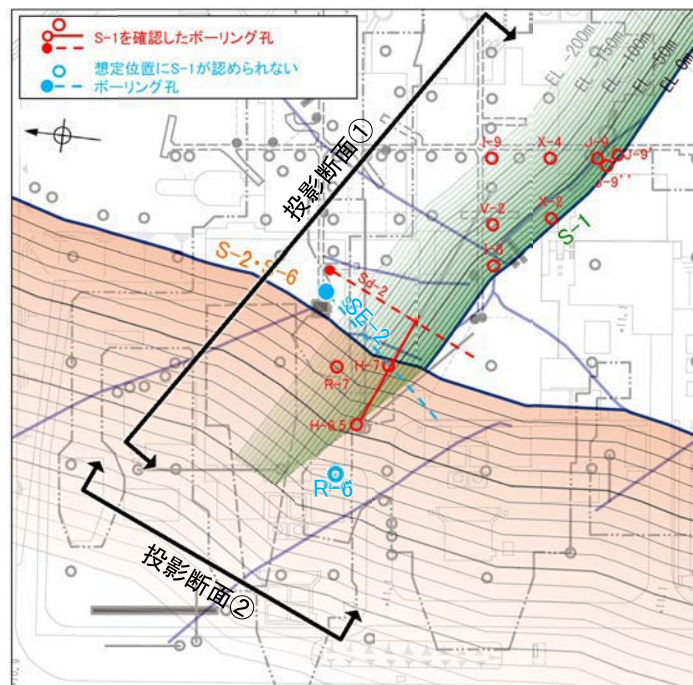
○基礎掘削面において、S-1は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない。



位置図

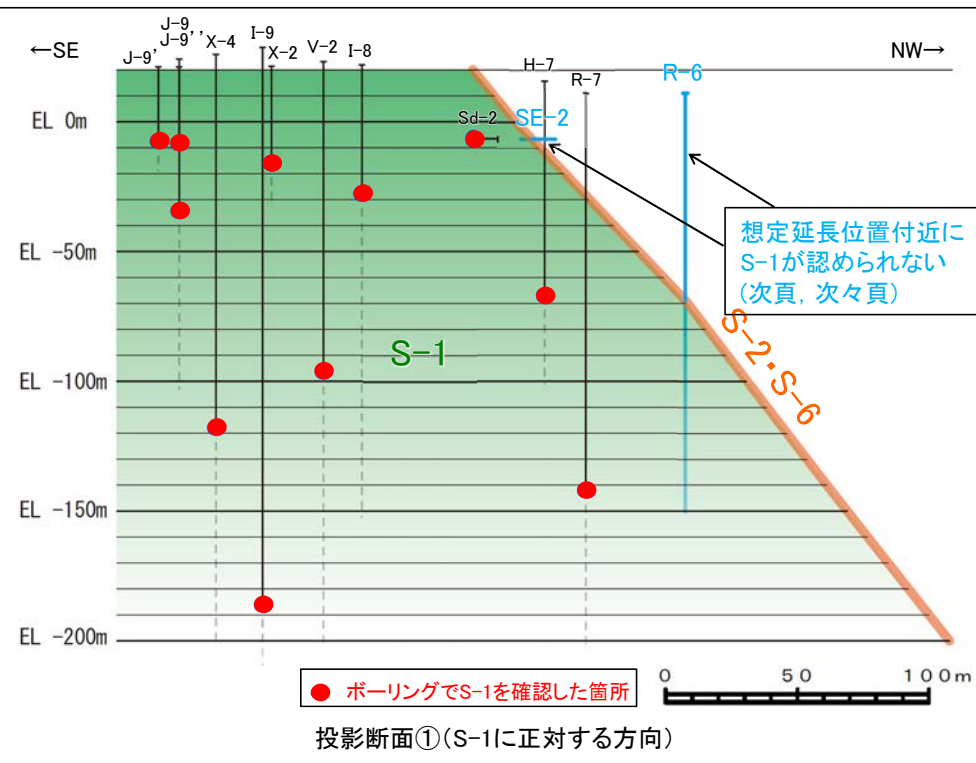


○ボーリング断面において、S-1は、S-2・S-6を越えて連続しない。

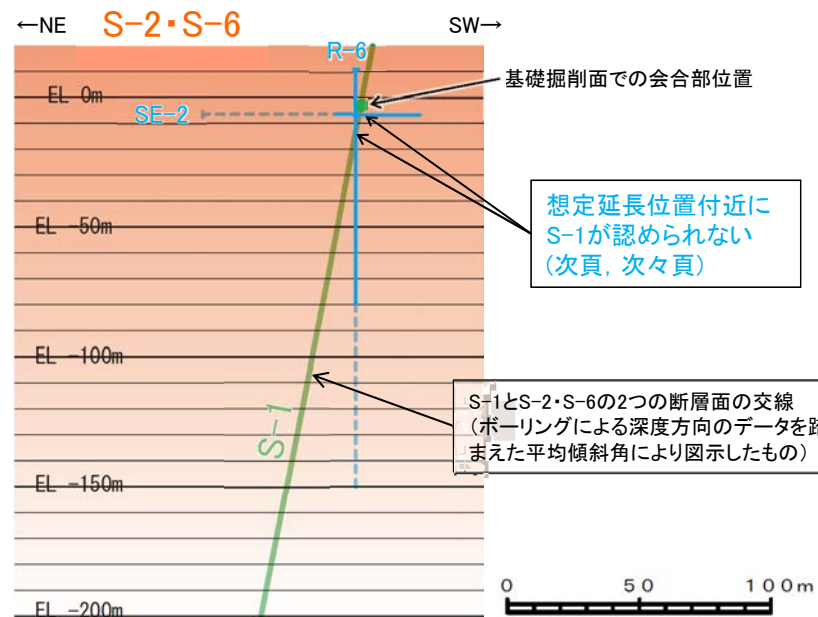


位置図

S-1は、S-2・S-6断層面より北西側のSE-2孔及びR-6孔において想定延長位置付近に認められず、S-2・S-6断層面より南東側のみ認められる。



投影断面① (S-1に正対する方向)



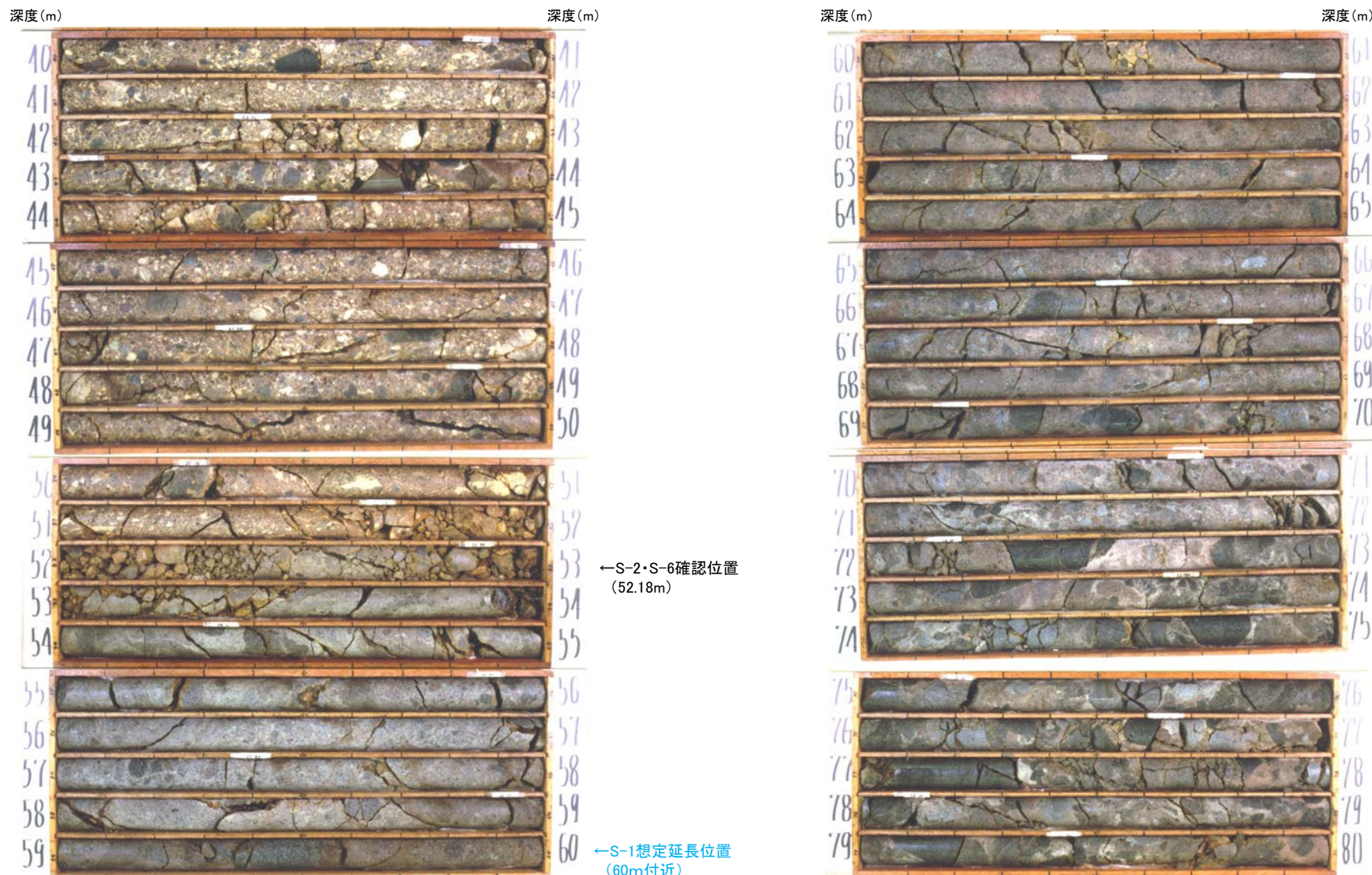
投影断面② (S-1に直交する方向)

■SE-2孔のS-1の想定延長位置付近のコア写真を示す。

柱状図はデータ集10 P.10-2-113~115

この写真は、層相の判断を行うため、明度を調整

SE-2孔(孔口標高-6.46m, 掘進長85.00m, 水平)



コア写真(深度40~80m)

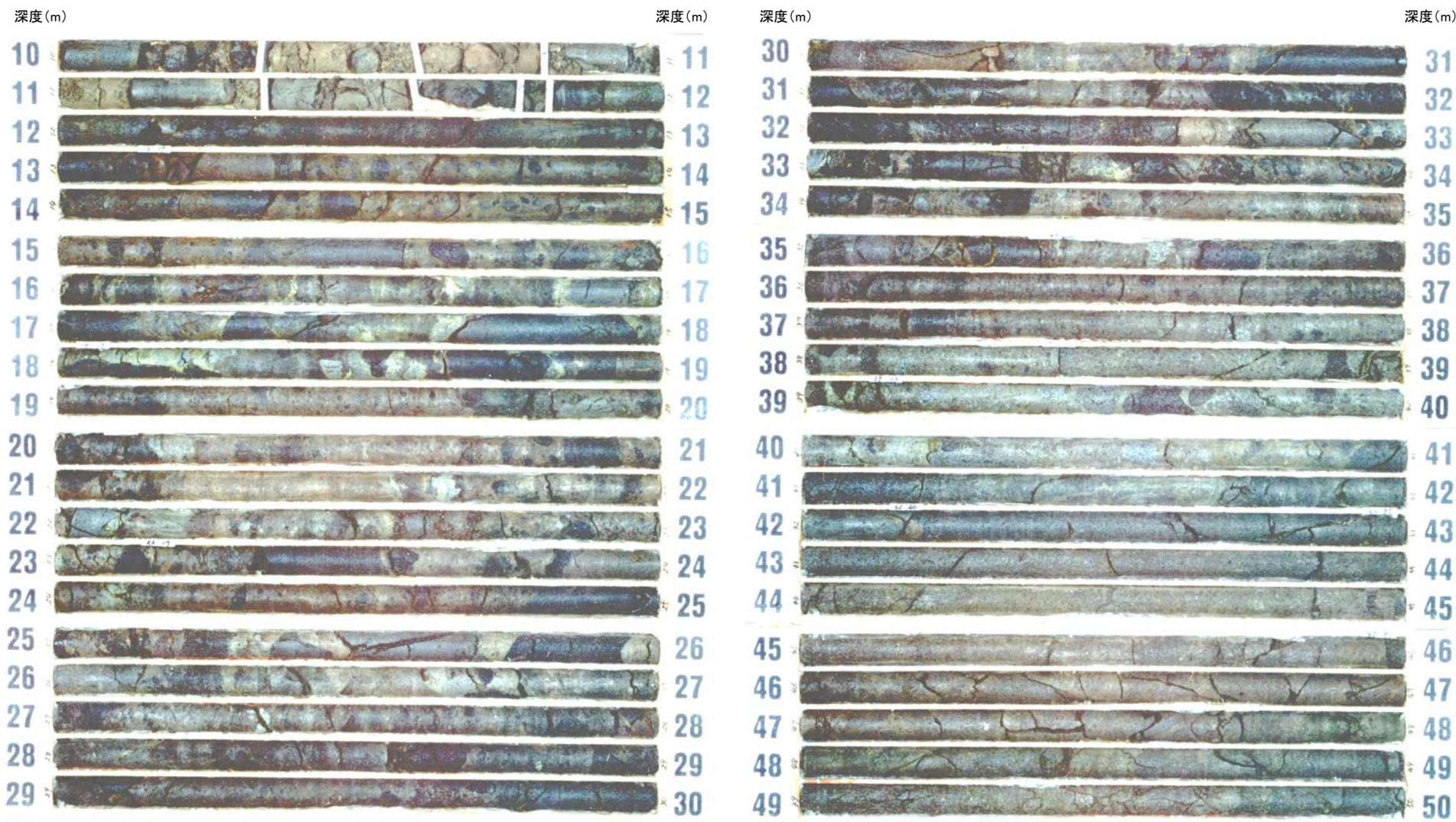
SE-2孔において、想定延長位置付近にS-1は認められない。

■R-6孔のS-1の想定延長位置付近のコア写真を示す。

柱状図はデータ集10 P.10-2-108～112

この写真は、層相の判断を行うため、明度を調整

R-6孔(孔口標高11.23m, 掘進長161.50m, 鉛直)



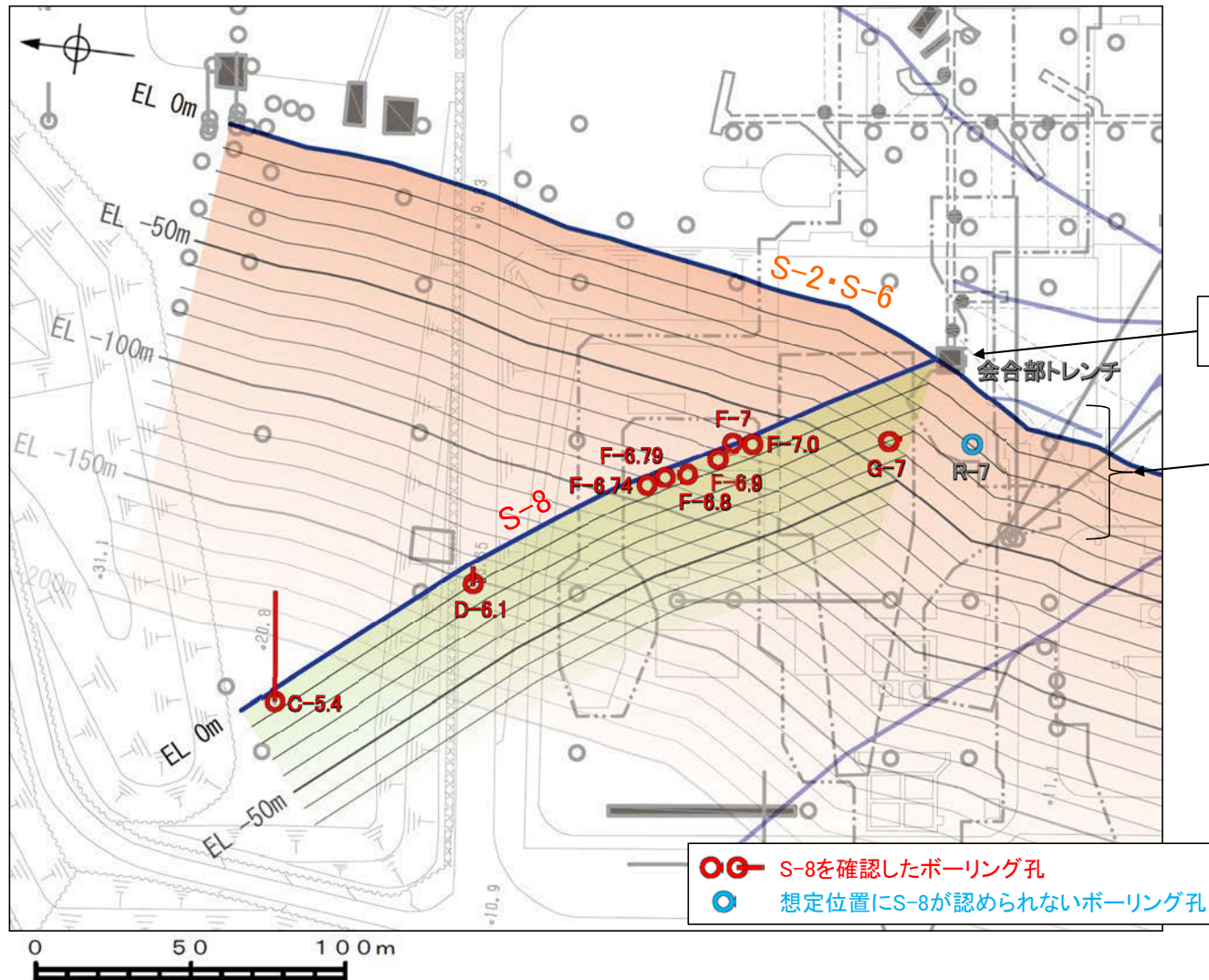
コア写真(深度10～50m)

R-6孔において、想定延長位置付近にS-1は認められない。

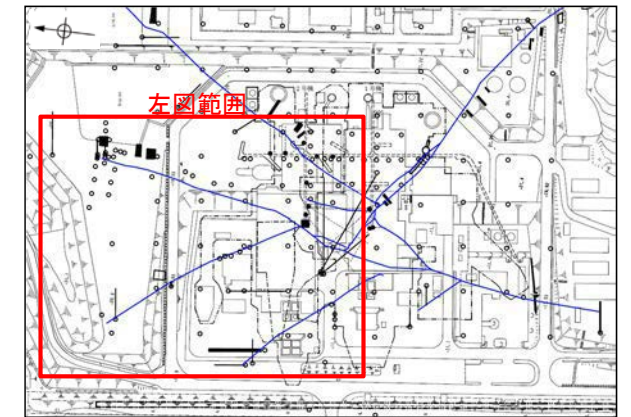
(6) S-2・S-6とS-8の水平方向・深度方向のデータ

S-2・S-6とS-8の水平方向・深度方向のデータ

OS-8は、水平方向・深度方向にS-2・S-6を越えて連続しない。



S-2・S-6とS-8の関係

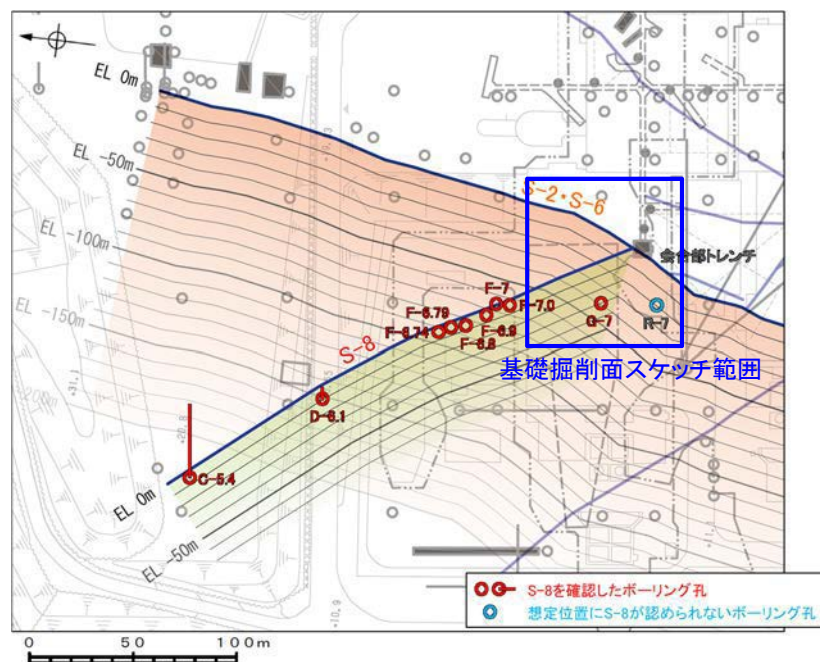


位置図

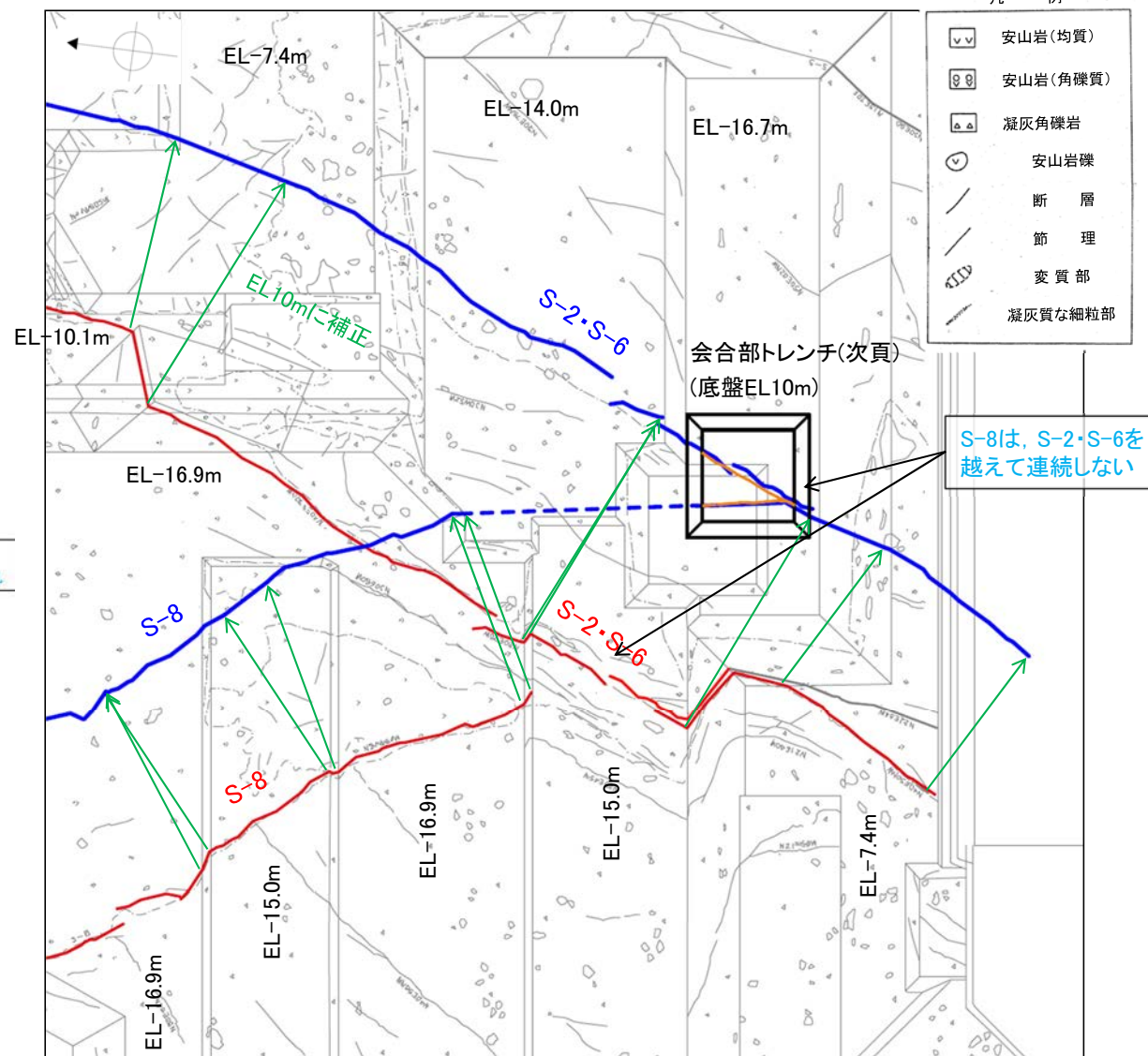
S-8は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない
(基礎掘削面P.7-33, 会合部トレンチP.7-34)

S-8は、深度方向にS-2・S-6を越えて連続しない
(ボーリング断面P.7-35・36)

○基礎掘削面において、S-8は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない。



位置図



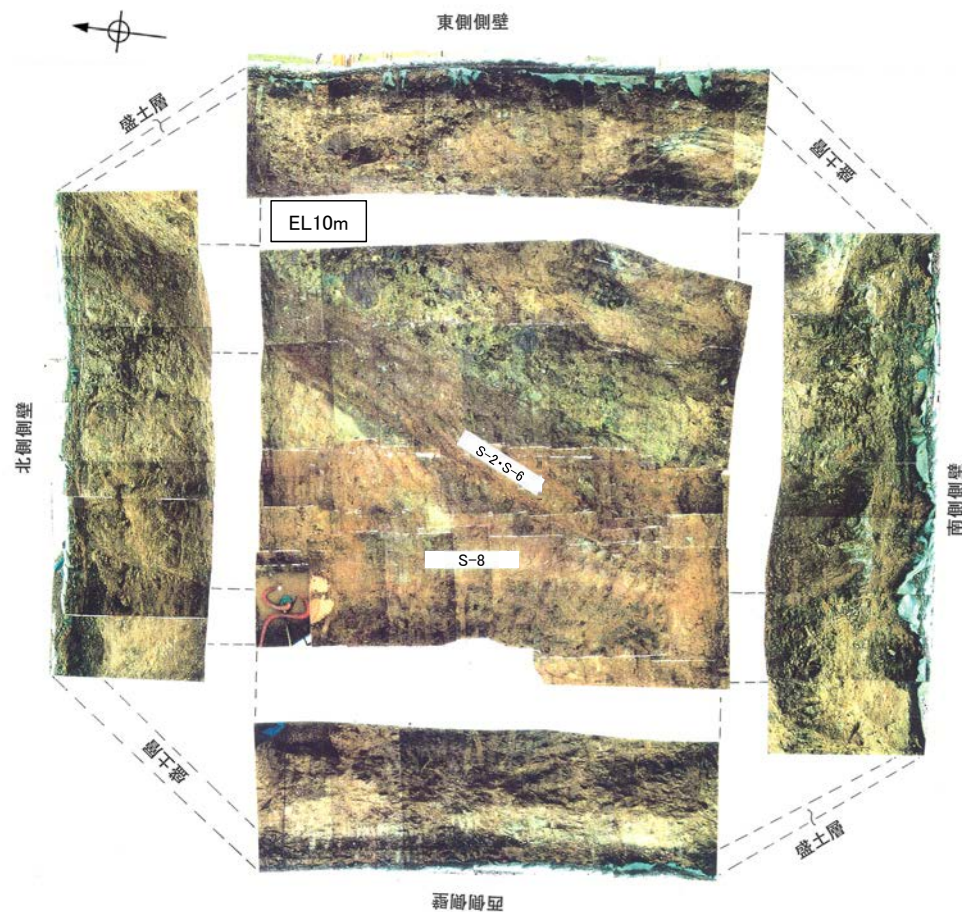
断層(EL10m盤トレース(投影))
断層(トレンチ底盤)
断層(基礎掘削面レベル)

基礎掘削面スケッチ

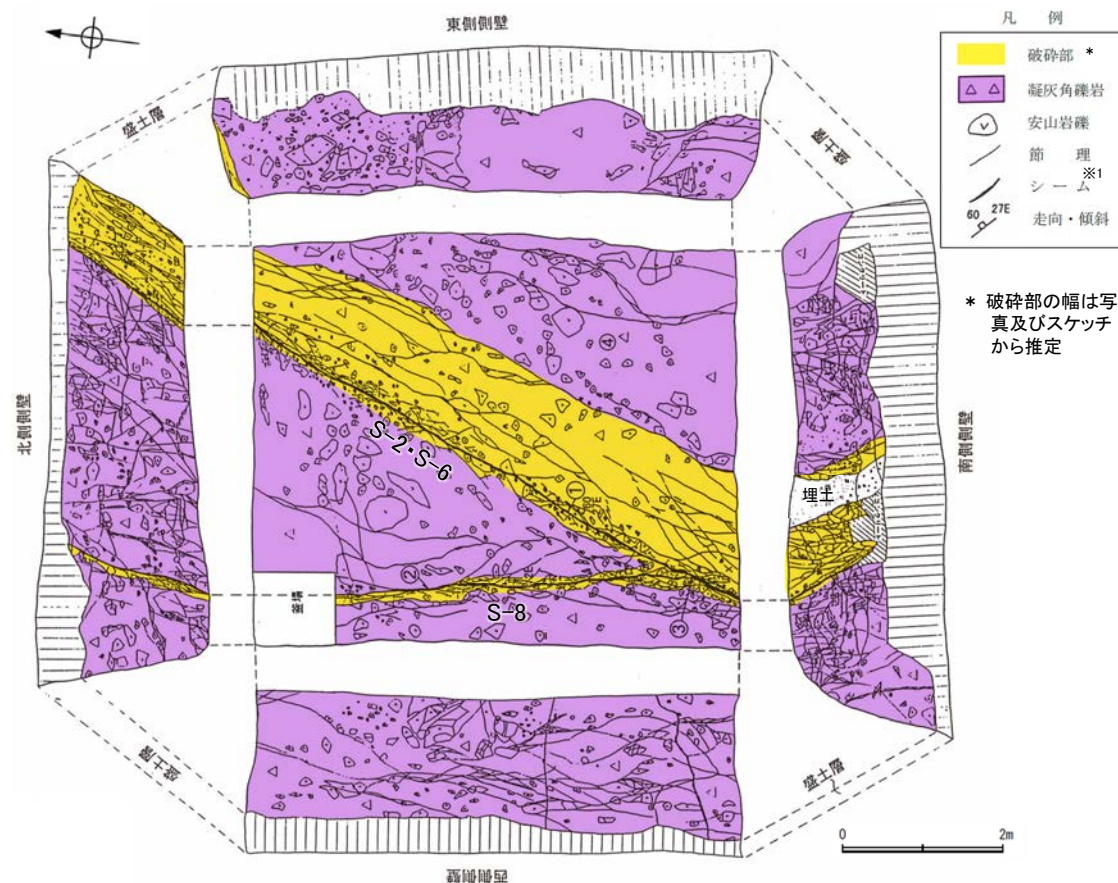
凡 例

- 安山岩(均質)
- 安山岩(角礫質)
- 凝灰角礫岩
- 安山岩礫
- 断 層
- 節 理
- 変 質 部
- 凝灰質な細粒部

○会合部トレンチにおいて、S-8は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない。



トレンチ写真(展開図)



① S-2・S-6

厚さ0.5～5cmの赤褐色ないし黄褐色岩片混じり粘土からなり、シーム※1に接する面の一部には鏡肌・条線が認められる。

走向・傾斜 N27° E/60° NW※2

(※2: N19° E/60° NW(真北補正))

比較的明瞭な面が直線的に連続している。

② S-8

厚さ0.5～1cmの暗赤褐色ないし黄褐色岩片混じり粘土からなり、シーム※1に接する面の一部には鏡肌・条線が認められる。

走向・傾斜 N2° E～N6° W/70° ～80° W※3

(※3: N6° W～N14° W/70° ～80° W(真北補正))

③ S-2・S-6とS-8の会合部

S-8はS-2・S-6に近づくにつれて、その走向方向がS-2・S-6の方向に近似するようになり、やがてはS-2・S-6に収束する。

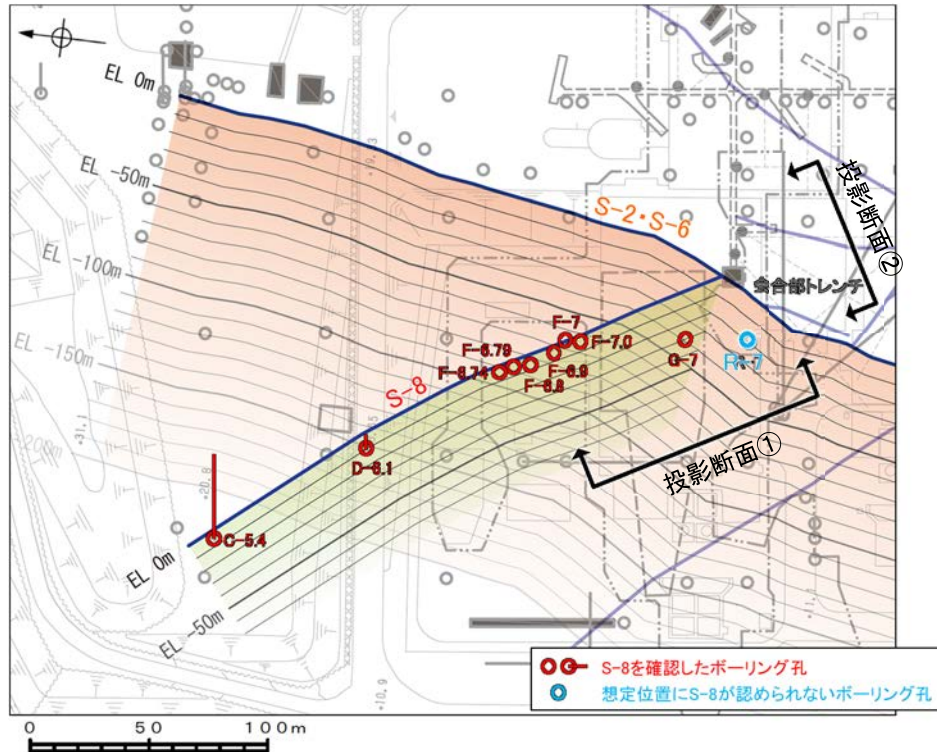
④ 凝灰角礫岩

硬質礫の分布は少なく、全体的にやや軟質である。構成礫径は5～10cm大のものが多く、シーム※1に沿って幅1m程で全体に赤褐色を帯び、シーム※1にほぼ平行な節理が認められやや軟質である。部分的に黄白色礫が認められる。

※1 スケッチ時の記載用語。
「粘土状破碎部」に対応する。

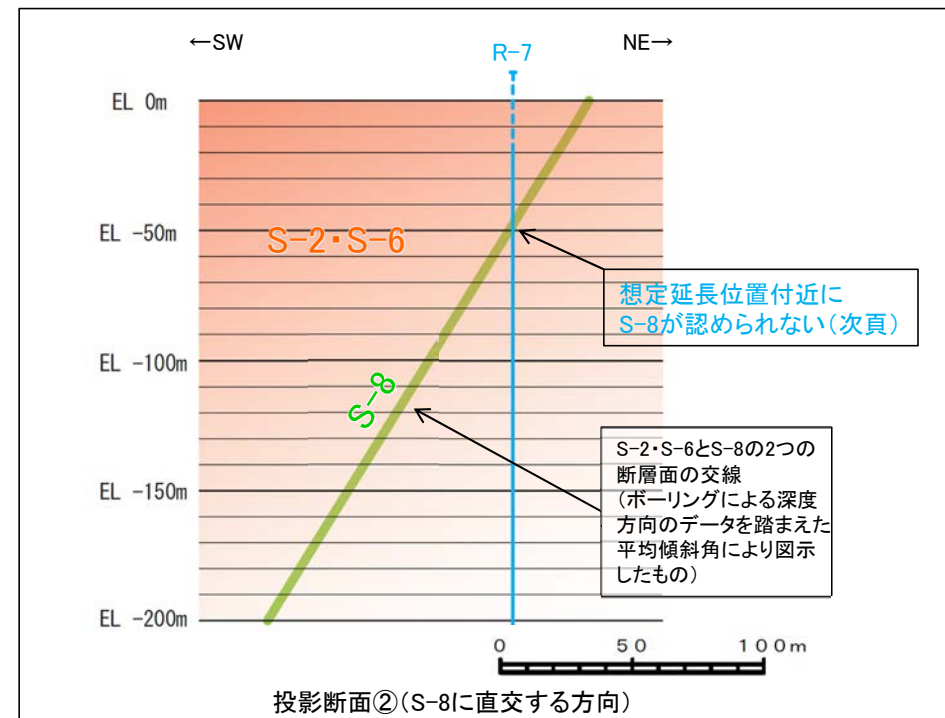
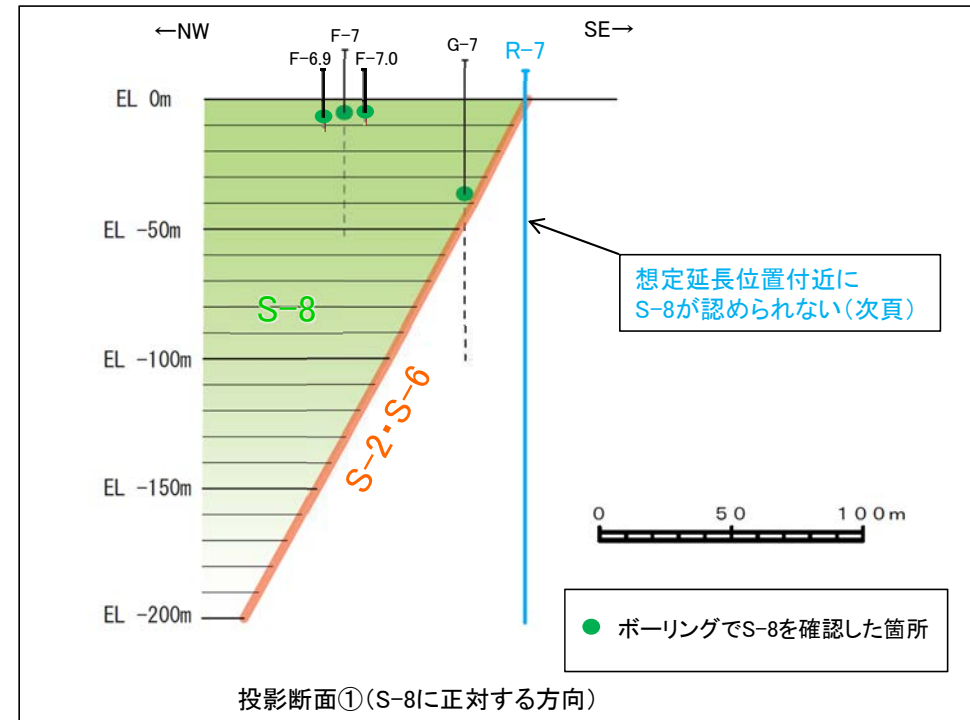
トレンチスケッチ(展開図)
S-2・S-6とS-8の会合部の状況

○ボーリング断面において、S-8は、S-2・S-6を越えて連続しない。



位置図

S-8は、S-2・S-6断層面より南東側のR-7孔において想定延長位置付近に認められず、S-2・S-6断層面より北西側にのみ認められる。

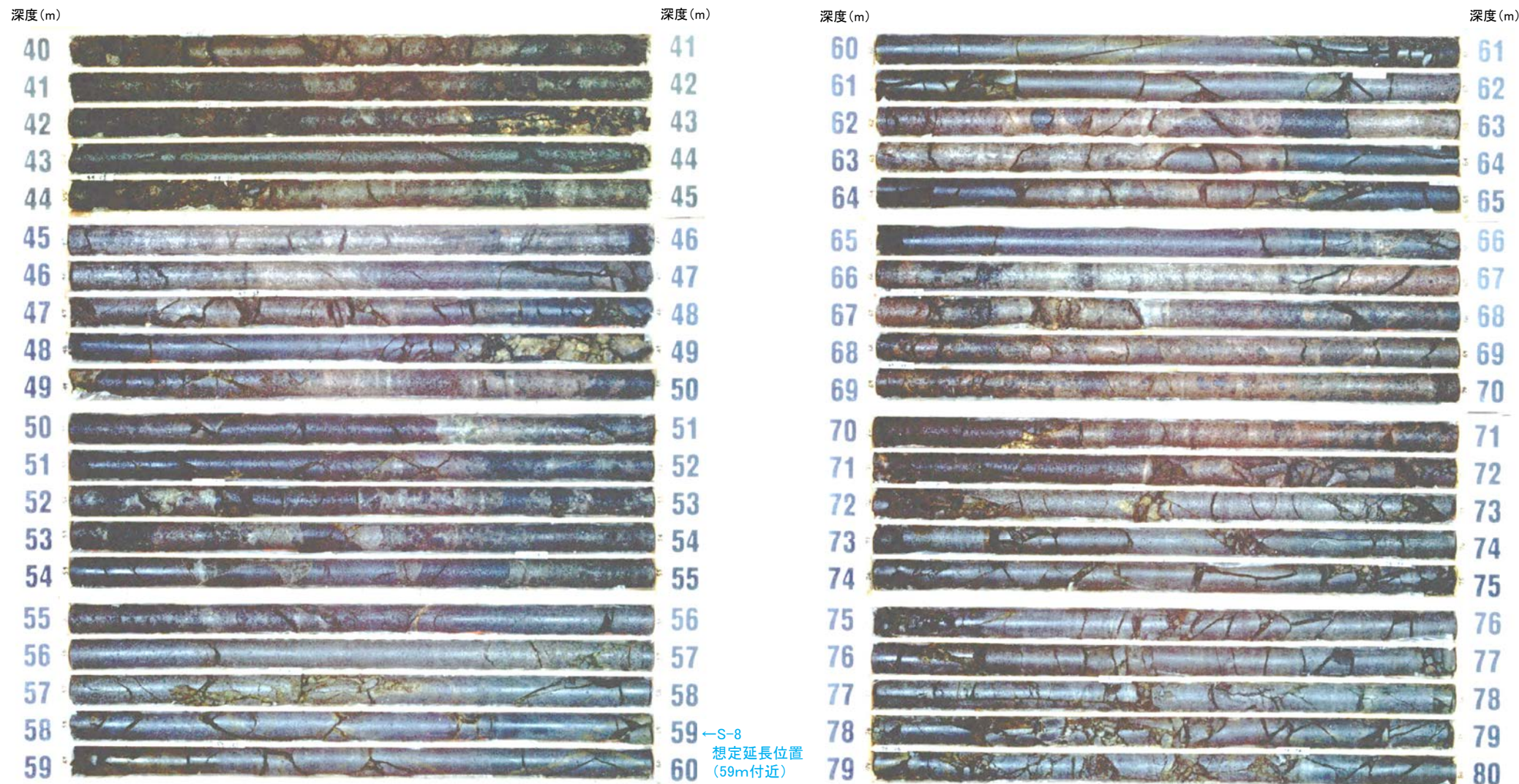


ボーリング(R-7孔) S-8想定延長位置付近のコア写真

柱状図はデータ集10 P.10-7-17~22

この写真は、層相の判断を行うため、明度を調整

R-7孔(孔口標高11.28m, 掘進長213.00m, 鉛直)



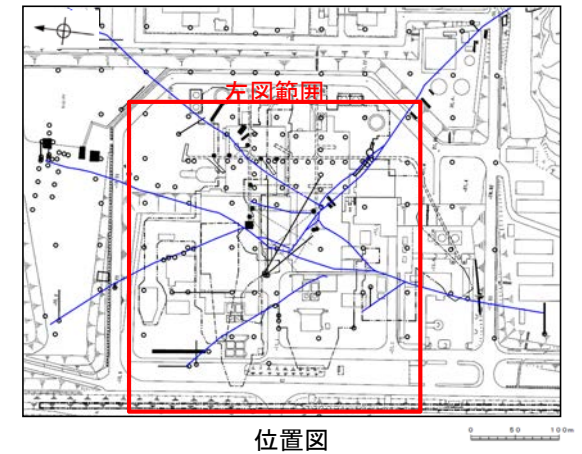
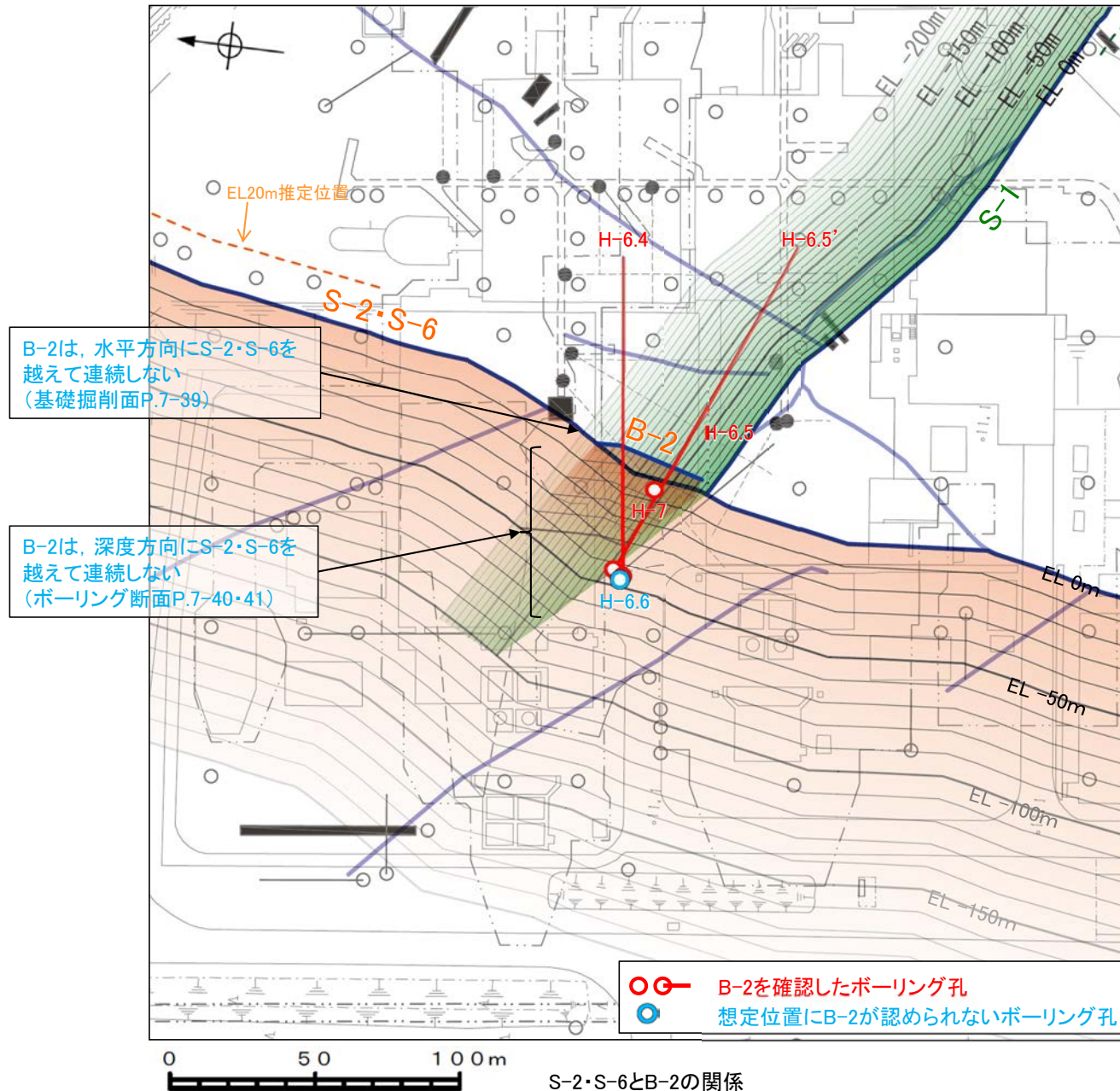
コア写真(深度40~80m)

R-7孔において、想定延長位置付近にS-8は認められない。

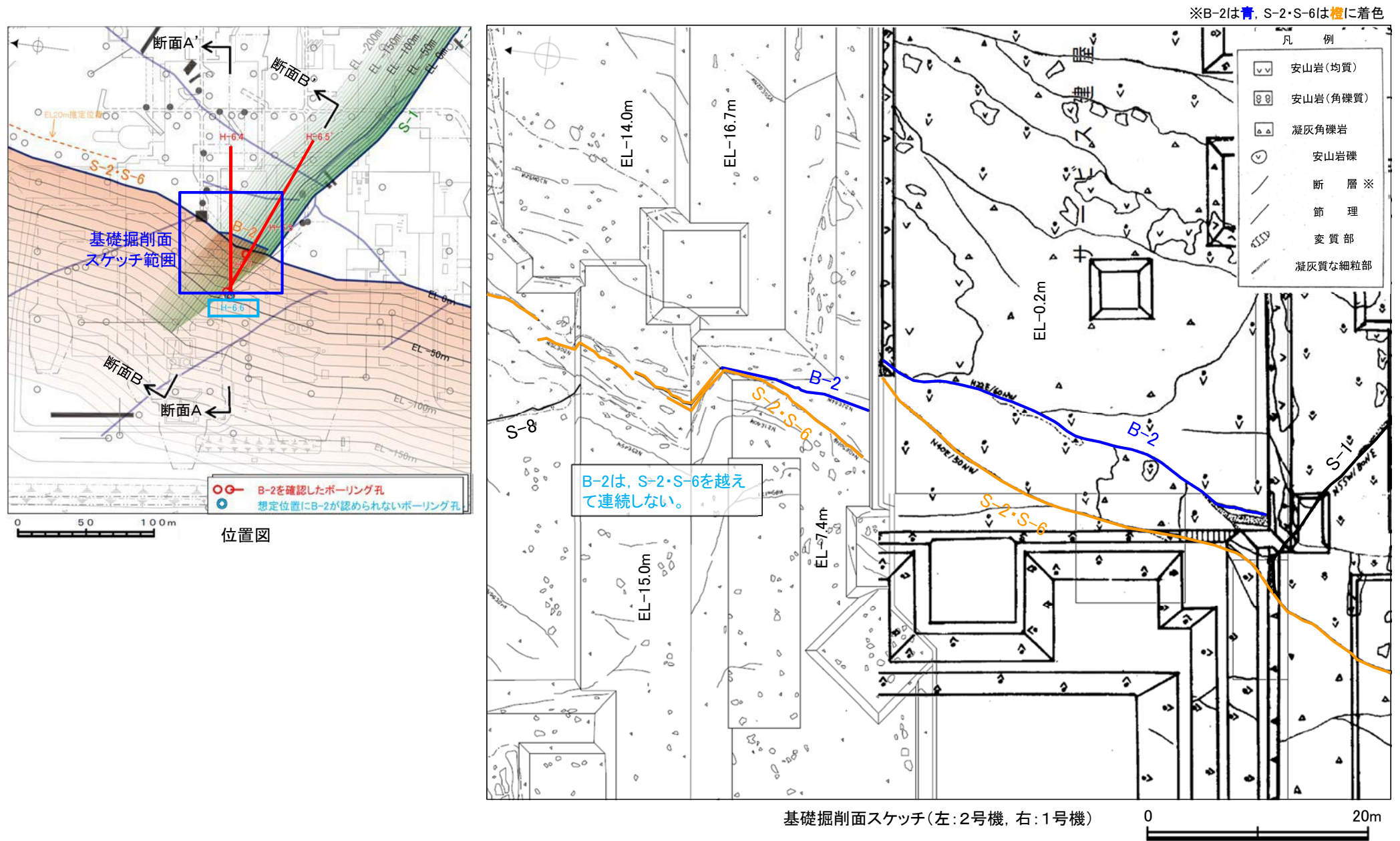
(7) S-2・S-6とB-2の水平方向・深度方向のデータ

S-2・S-6とB-2の水平方向・深度方向のデータ

○B-2は、水平方向・深度方向にS-2・S-6を越えて連続しない。

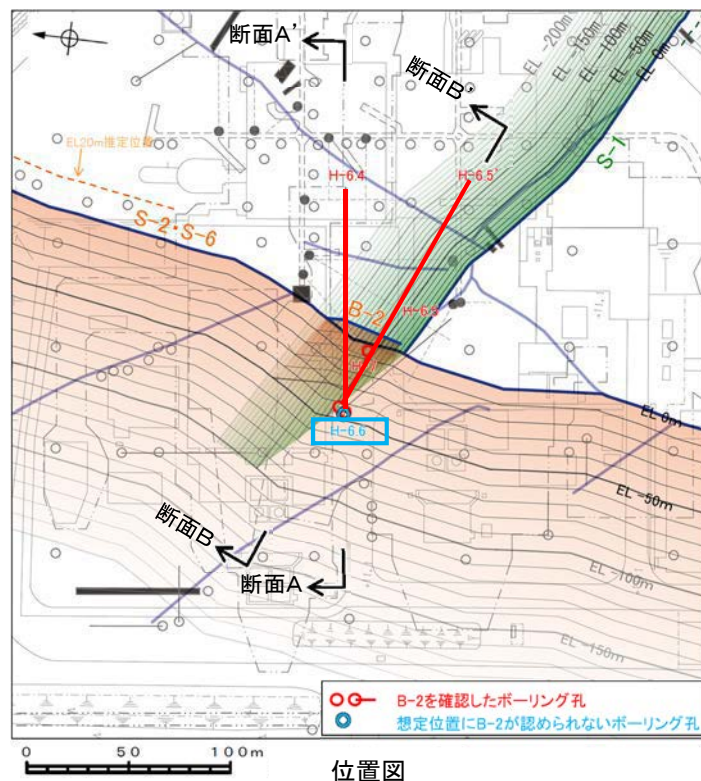


○基礎掘削面において、B-2は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない。



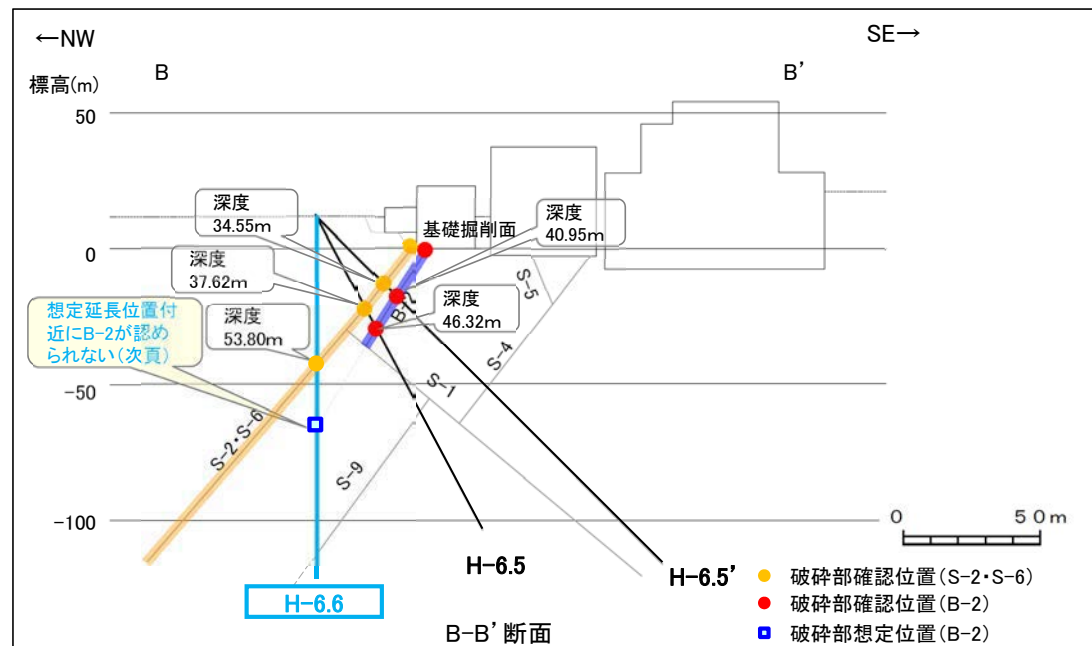
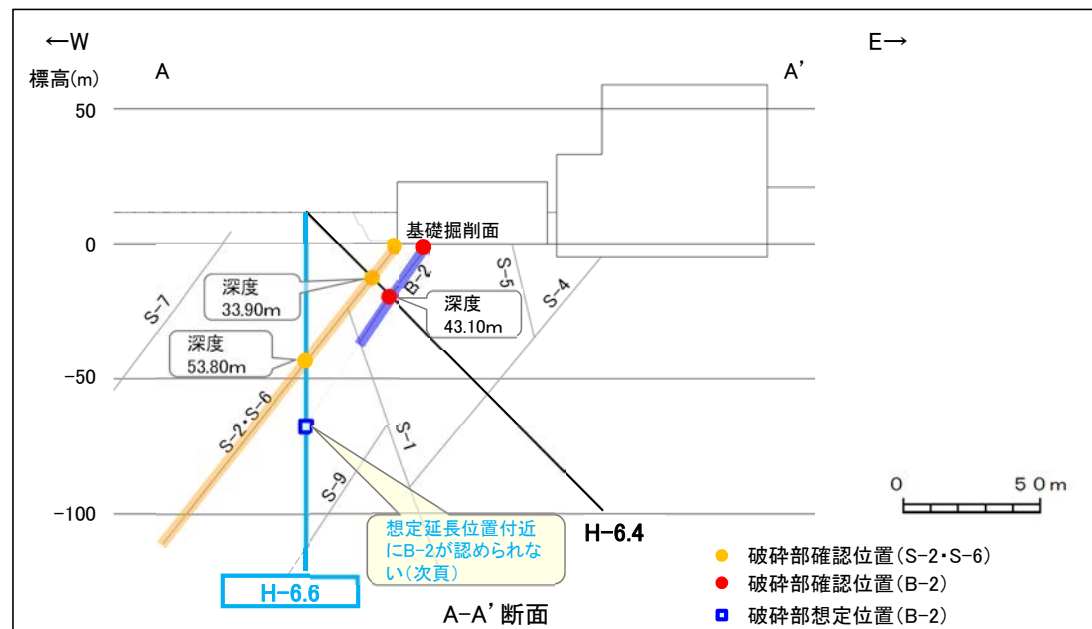
S-2・S-6とB-2の水平方向・深度方向のデータ ーボーリング断面①ー

○ボーリング断面において、B-2は、S-2・S-6を越えて連続しない。



B-2は、ボーリングH-6.6孔において想定延長位置付近に認められず、S-2・S-6断層面より南東側にのみ認められる。

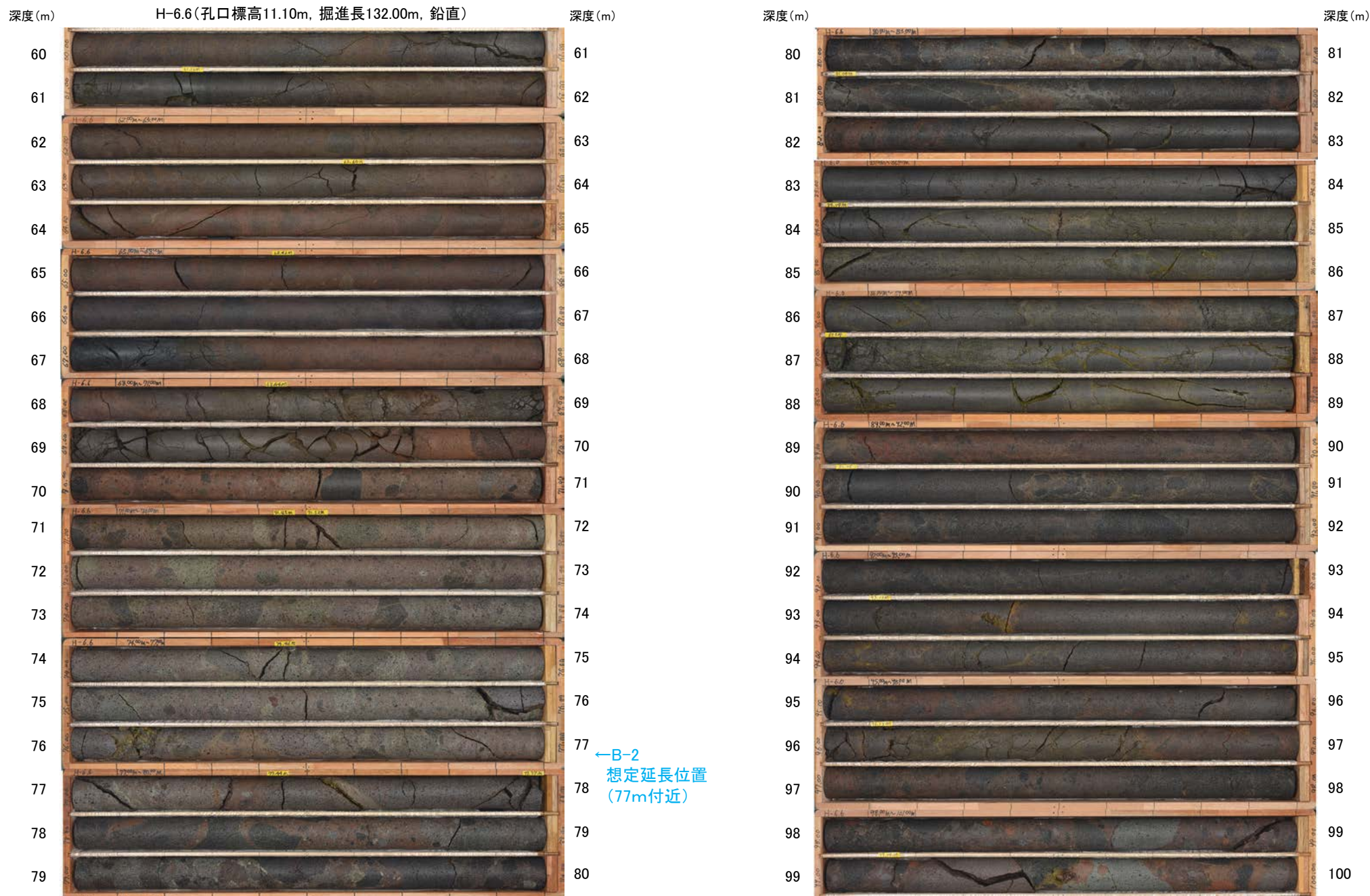
この図の断層線は、周辺ボーリングでの出現位置を基に直線的に描いている。



S-2・S-6とB-2の水平方向・深度方向のデータ ーボーリング断面②ー

ボーリング(H-6.6孔) B-2想定延長位置付近のコア写真

柱状図はデータ集10 P.10-10-19~22



※深度77.60m付近に見られる割れ目は、その付近で変形構造は見られず、破砕部ではない。なお、走向傾斜はN33° E/59° SEであり、B-2と対応しない。

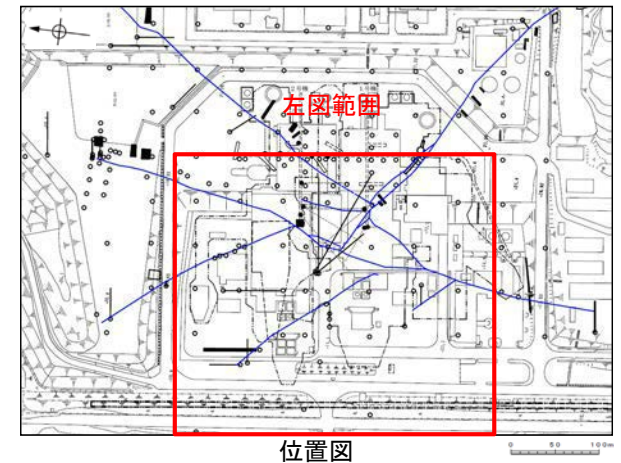
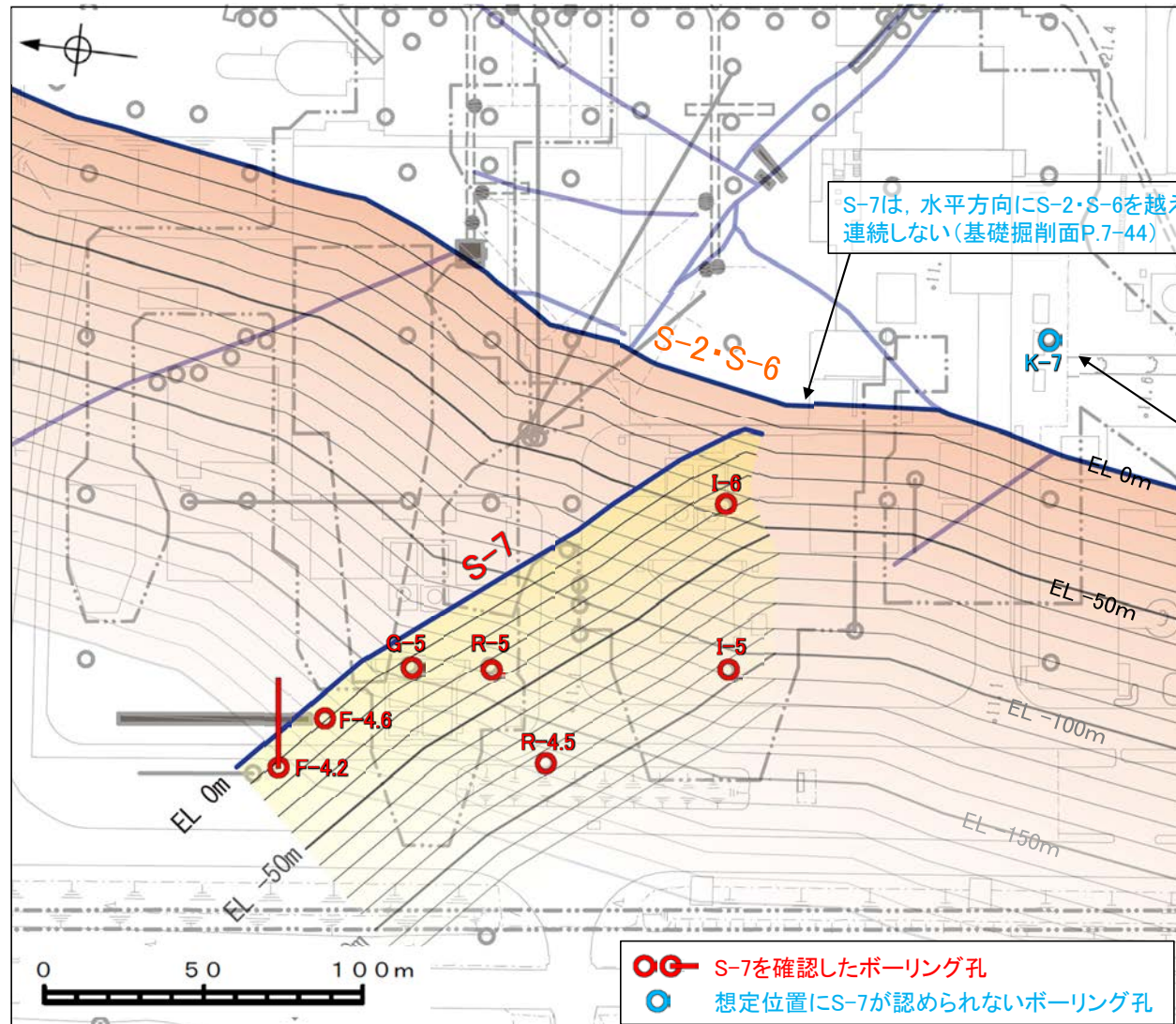
コア写真(深度60~100m)

H-6.6孔において、想定延長位置付近にB-2は認められない。

(8) S-2・S-6とS-7の水平方向・深度方向のデータ

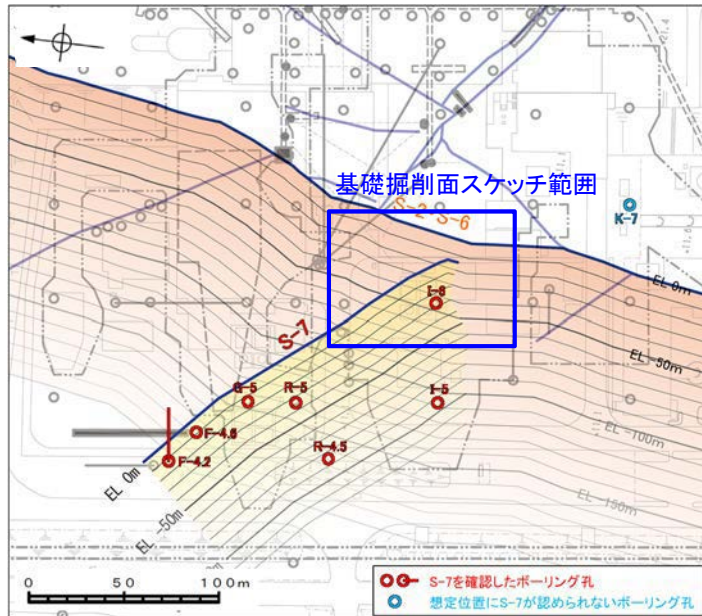
S-2・S-6とS-7の水平方向・深度方向のデータ

○S-7は、水平方向・深度方向にS-2・S-6を越えて連続しない。



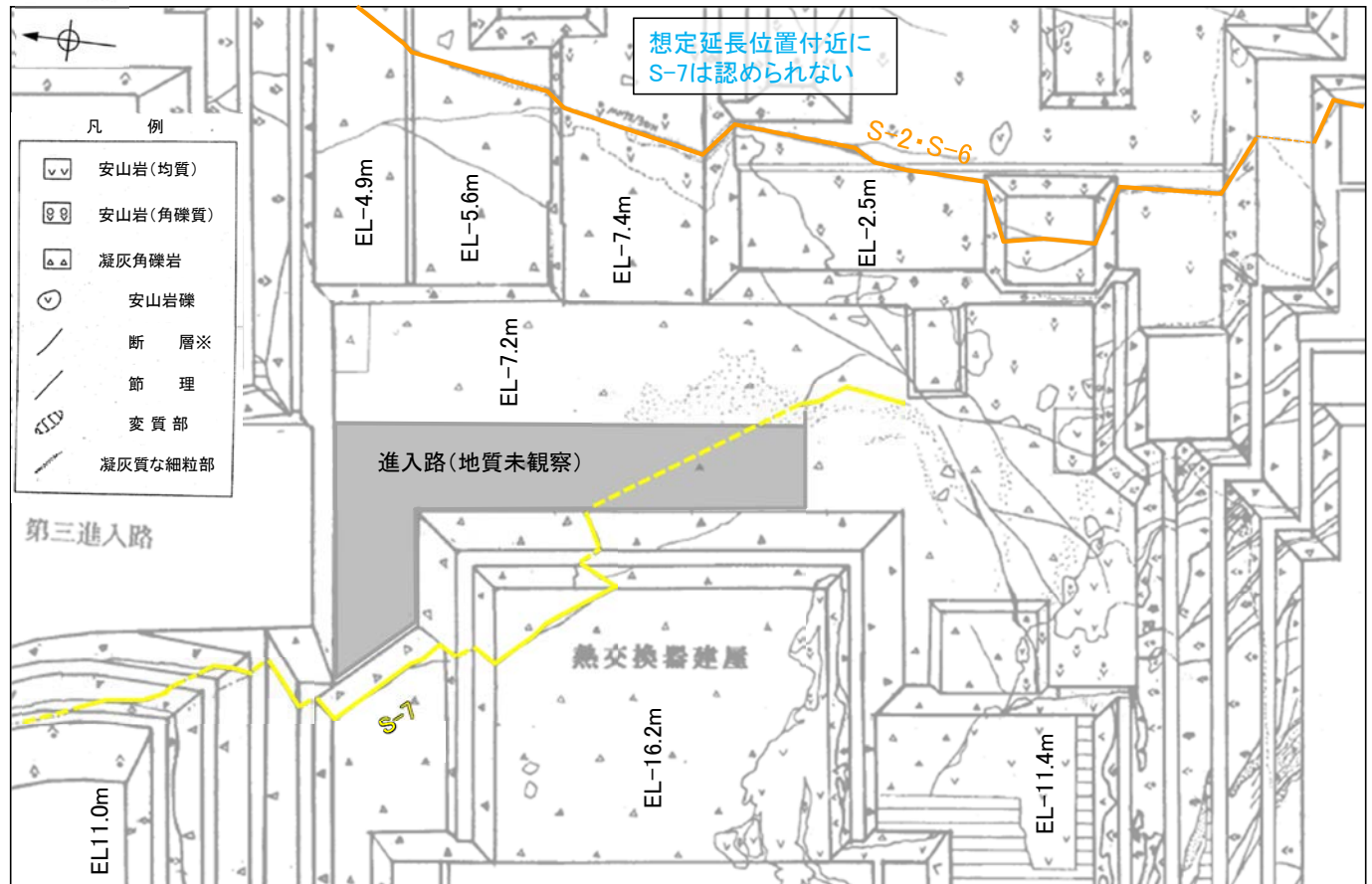
S-2・S-6とS-7の関係

○基礎掘削面において、S-7は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない。



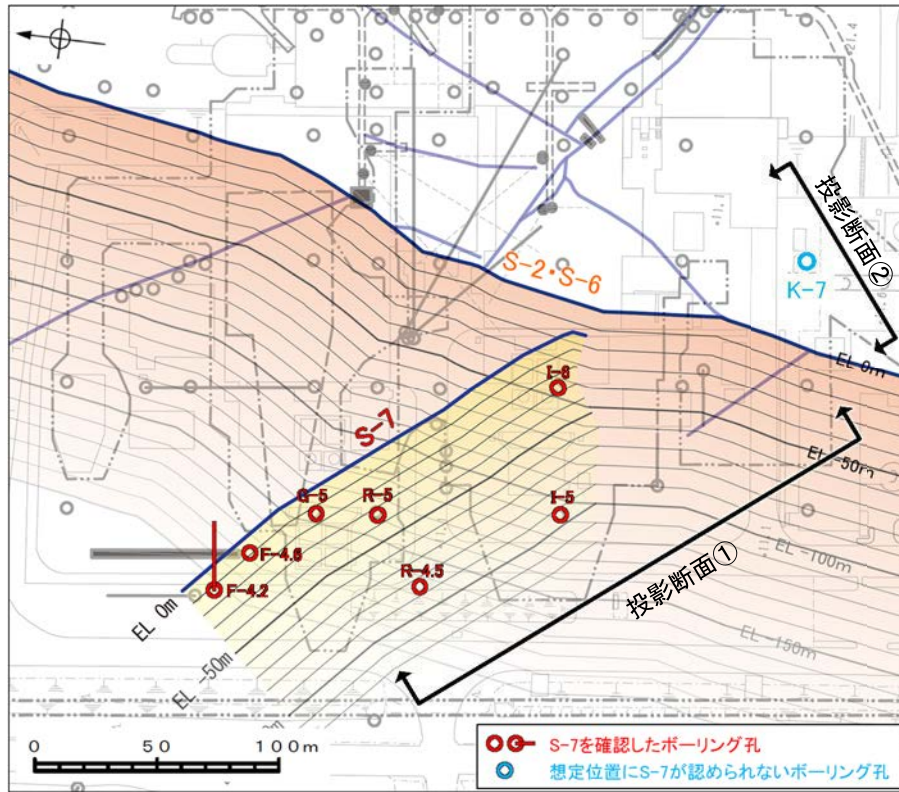
位置図

※S-7は黄, S-2・S-6は橙に着色



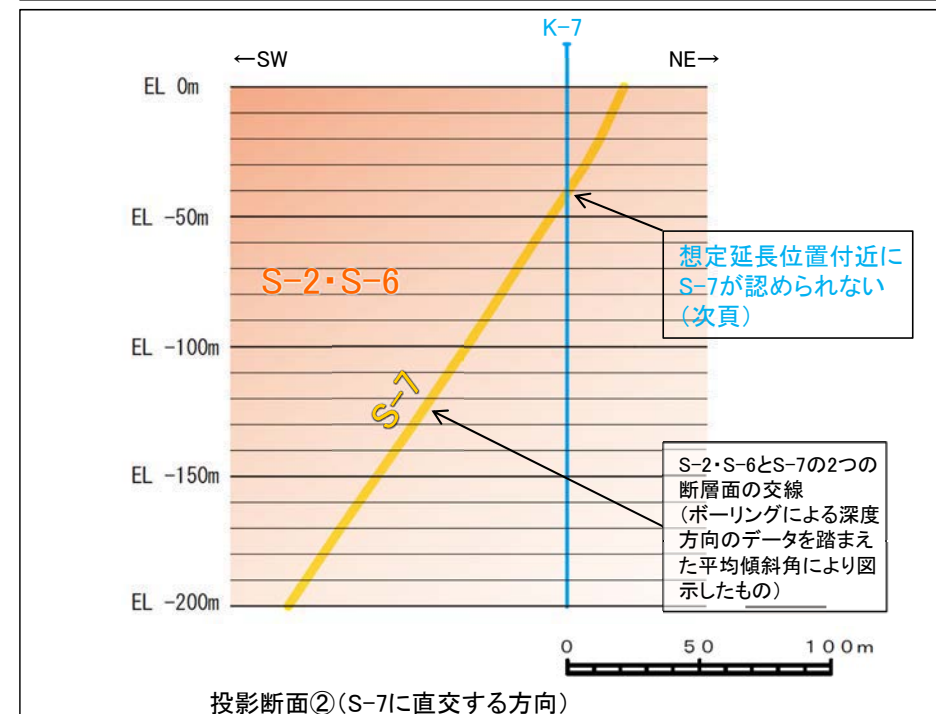
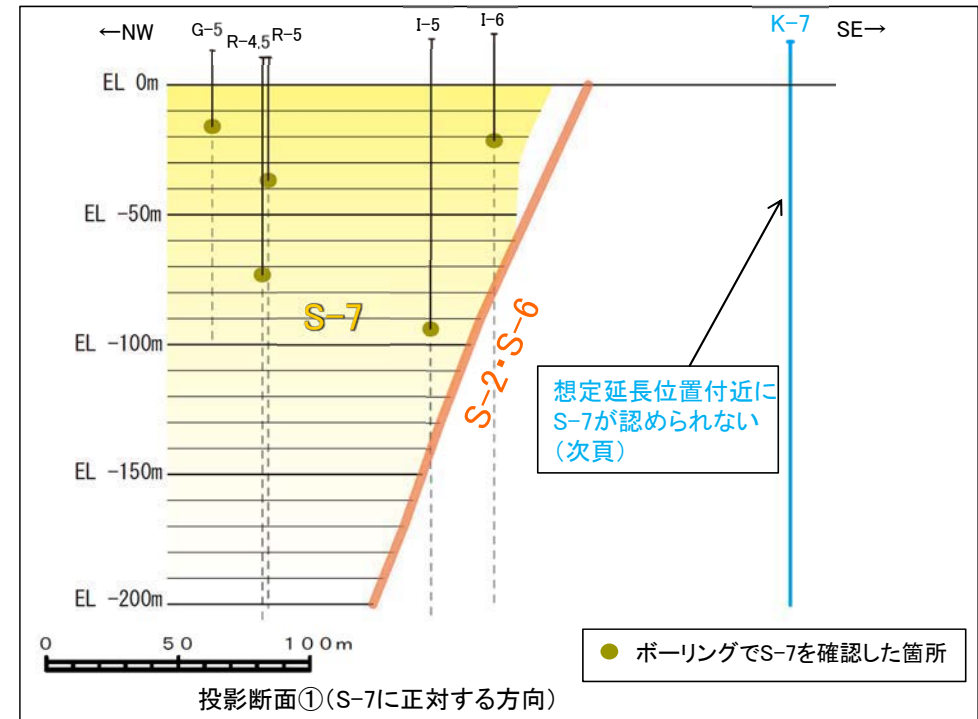
基礎掘削面スケッチ

○ボーリング断面において、S-7は、S-2・S-6を越えて連続しない。



位置図

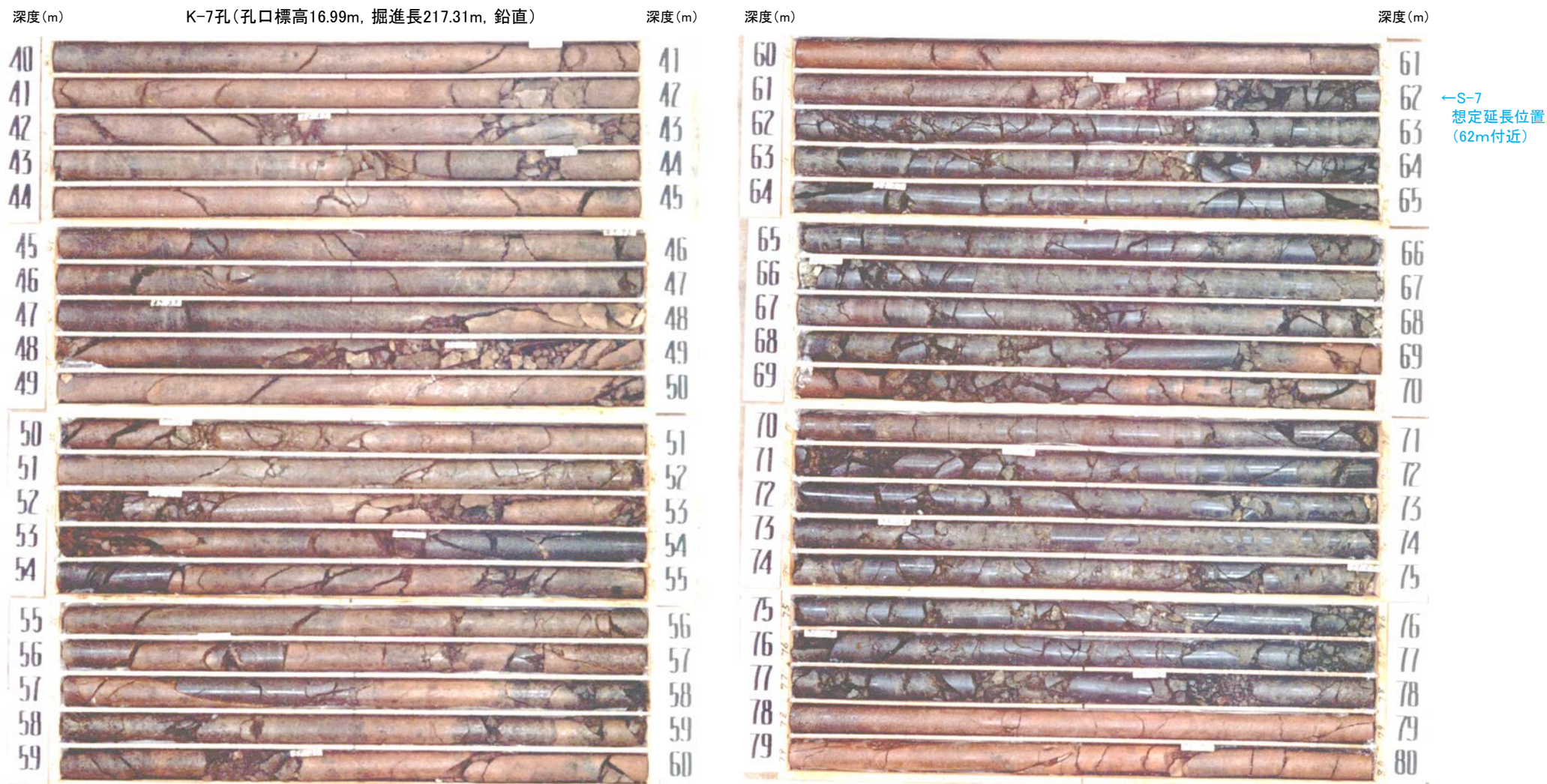
S-7は、S-2・S-6断層面より南東側のK-7孔において想定延長位置付近に認められず、S-2・S-6断層面より北西側にのみ認められる。



ボーリング(K-7孔) S-7想定延長位置付近のコア写真

柱状図はデータ集10 P.10-6-40～45

この写真は、層相の判断を行うため、明度を調整



コア写真(深度40～80m)

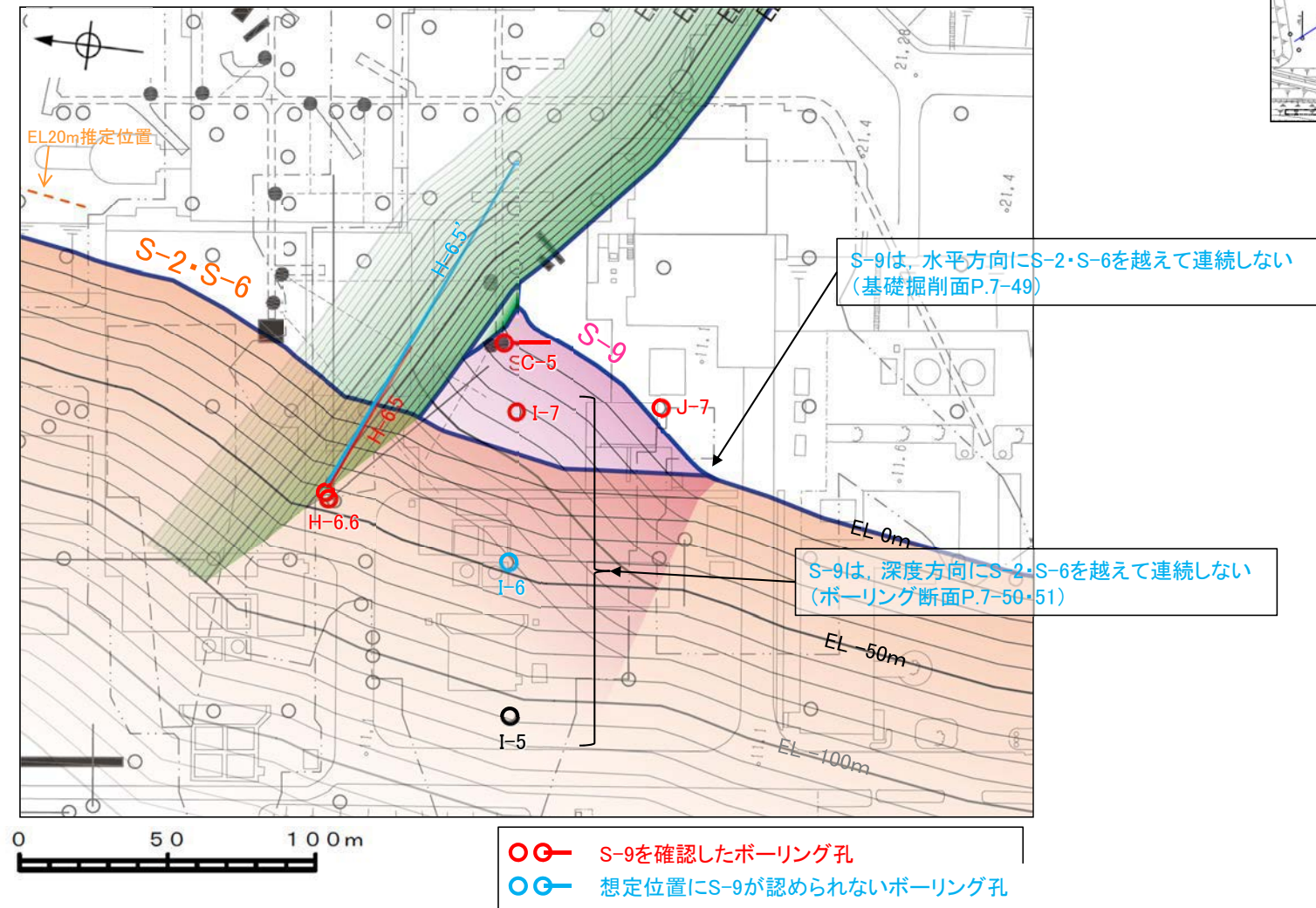
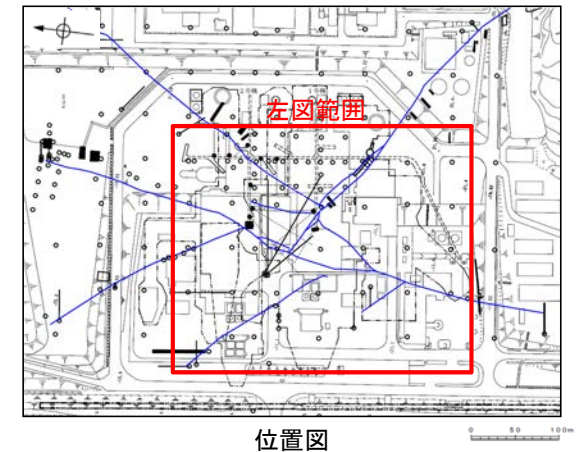
※ 61.7m付近に岩種境界が認められるが、その境界を含め、
想定延長位置付近には破碎部は認められない。

K-7孔において、想定延長位置付近にS-7は認められない。

(9) S-2・S-6とS-9の水平方向・深度方向のデータ

S-2・S-6とS-9の水平方向・深度方向のデータ

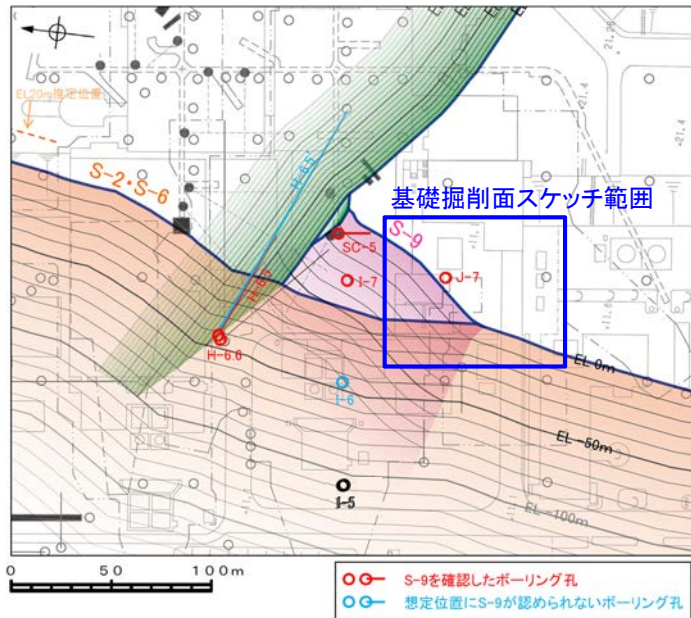
○S-9は、水平方向・深度方向にS-2・S-6を越えて連続しない。



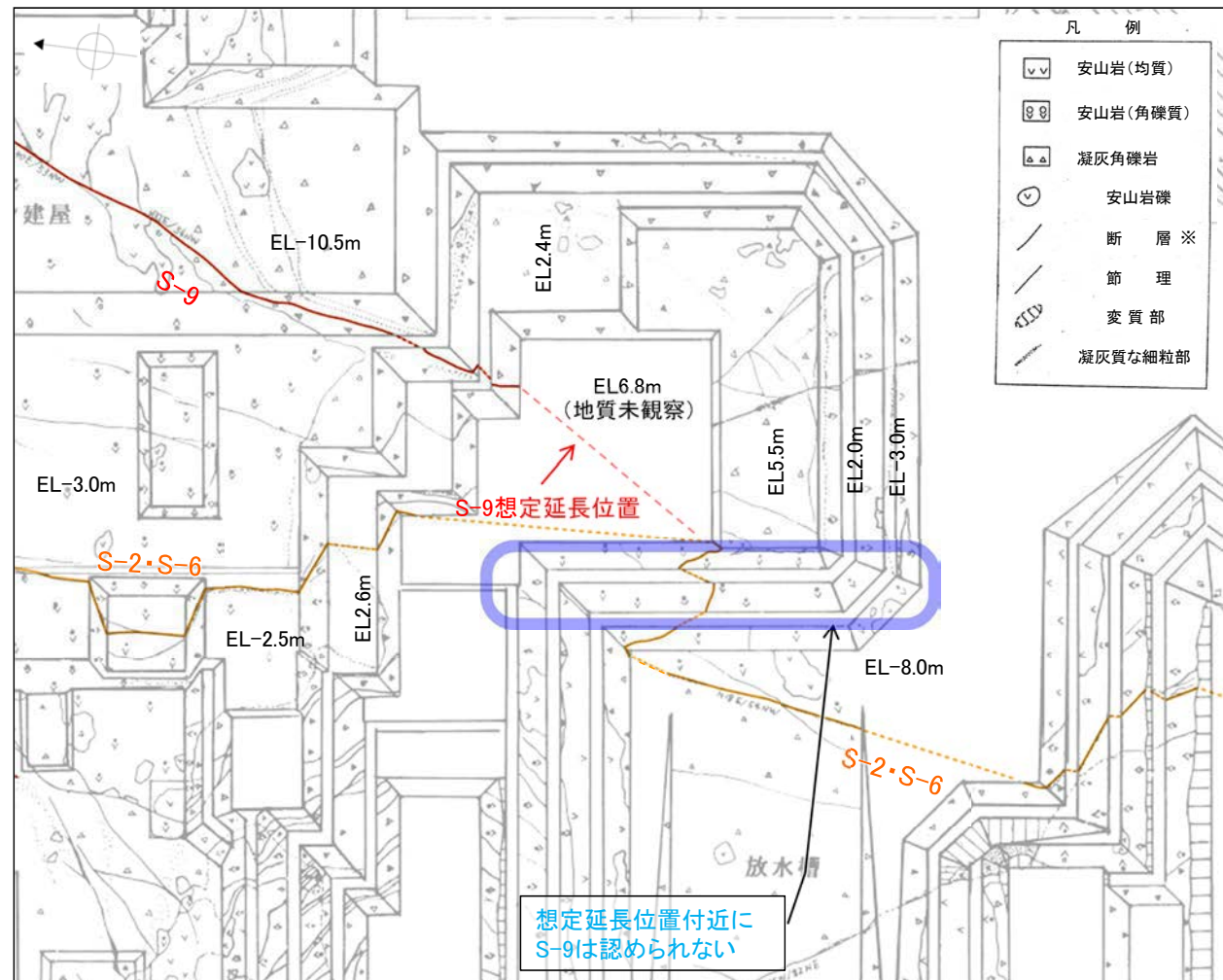
S-2・S-6とS-9の関係

○基礎掘削面において、S-9は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない。

※: S-9は赤, S-2・S-6は橙に着色



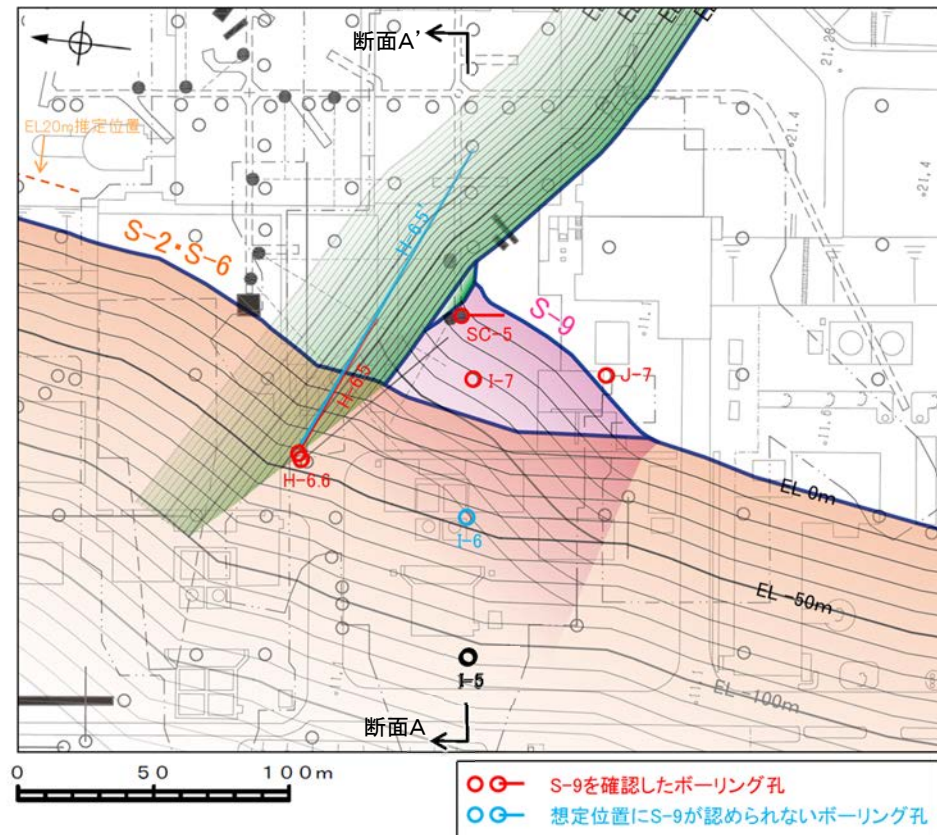
位置図



基礎掘削面スケッチ

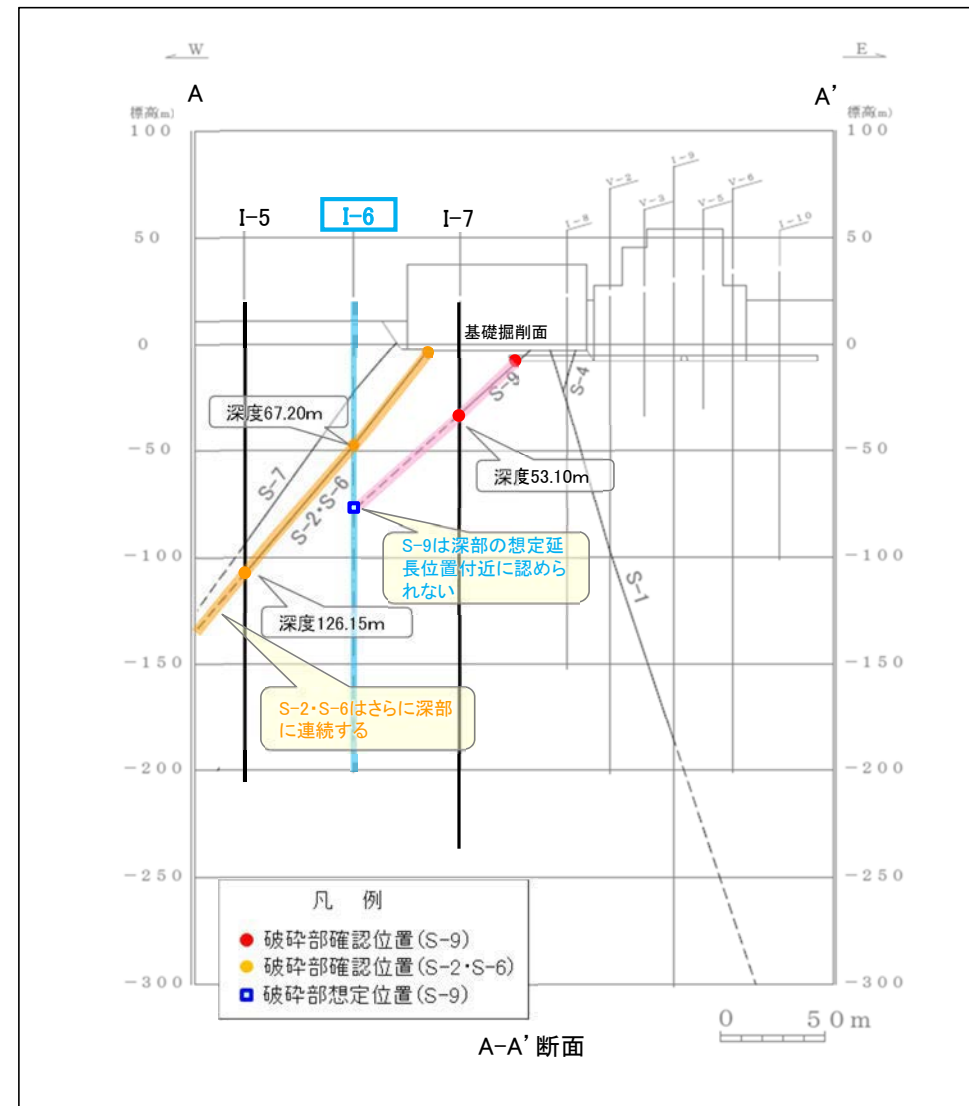
S-2・S-6とS-9の水平方向・深度方向のデーターボーリング断面①ー

○ボーリング断面において、S-9は、S-2・S-6を越えて連続しない。



位置図

S-9は、ボーリングI-6孔において想定延長位置付近に認められず、S-2・S-6断層面より南東側にのみ認められる。



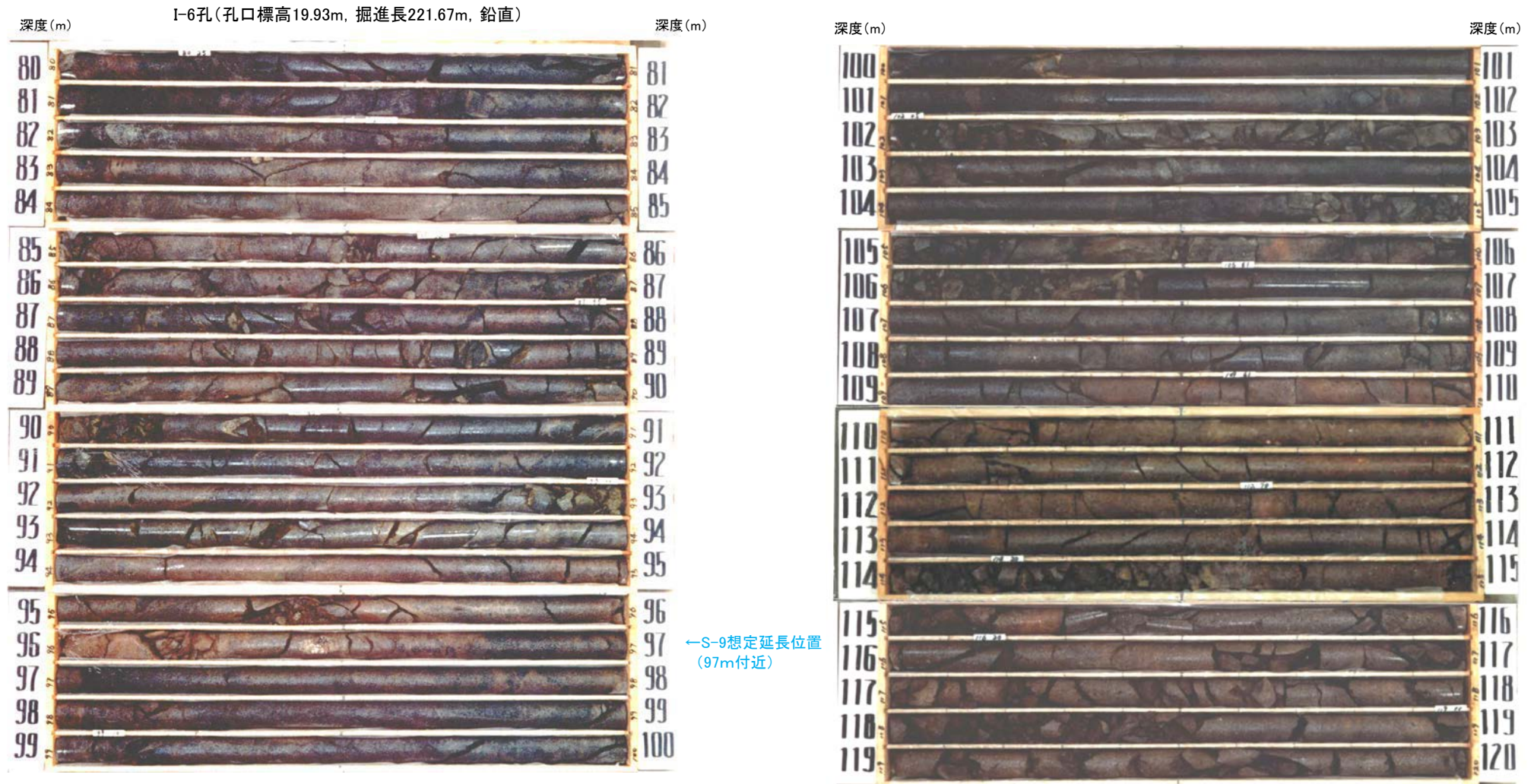
この図の断層線は、周辺ボーリングでの出現位置を基に直線的に描いている。

S-2・S-6とS-9の水平方向・深度方向のデーターボーリング断面②ー

■I-6孔のS-9の想定延長位置付近のコア写真を示す。

柱状図はデータ集10 P.10-8-26～31

この写真は、層相の判断を行うため、明度を調整



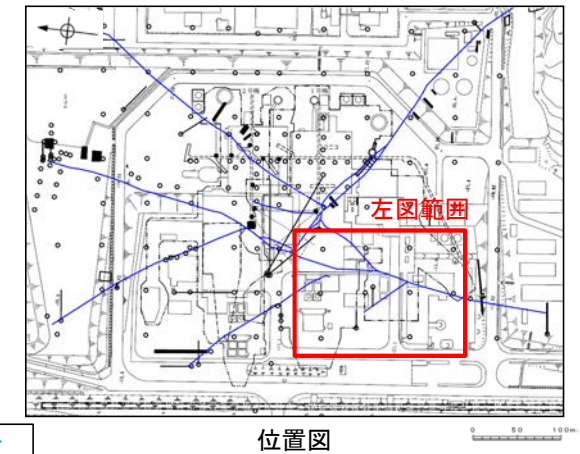
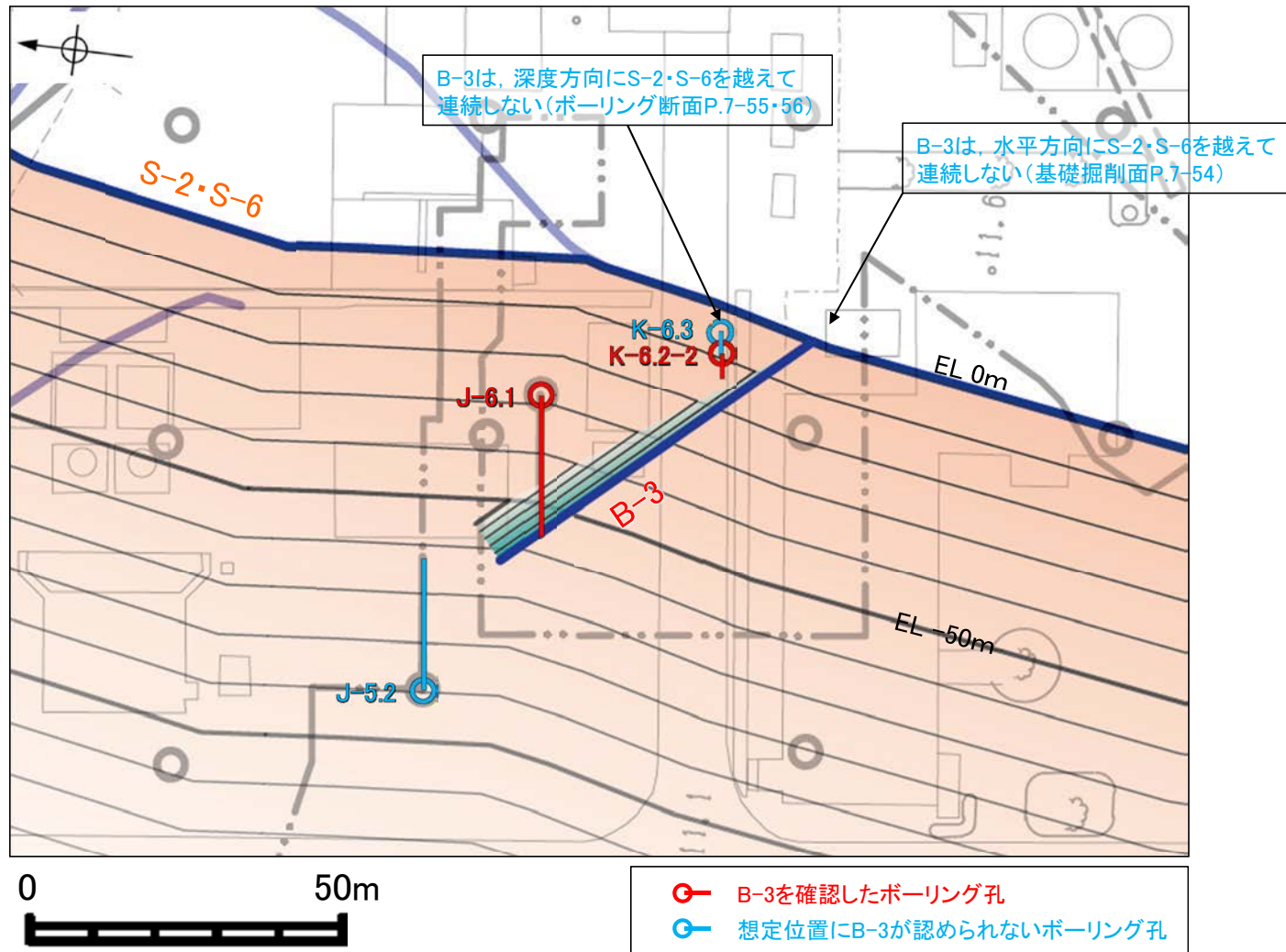
コア写真(深度80～120m)

I-6孔において、想定延長位置付近にS-9は認められない。

(10) S-2・S-6とB-3の水平方向・深度方向のデータ

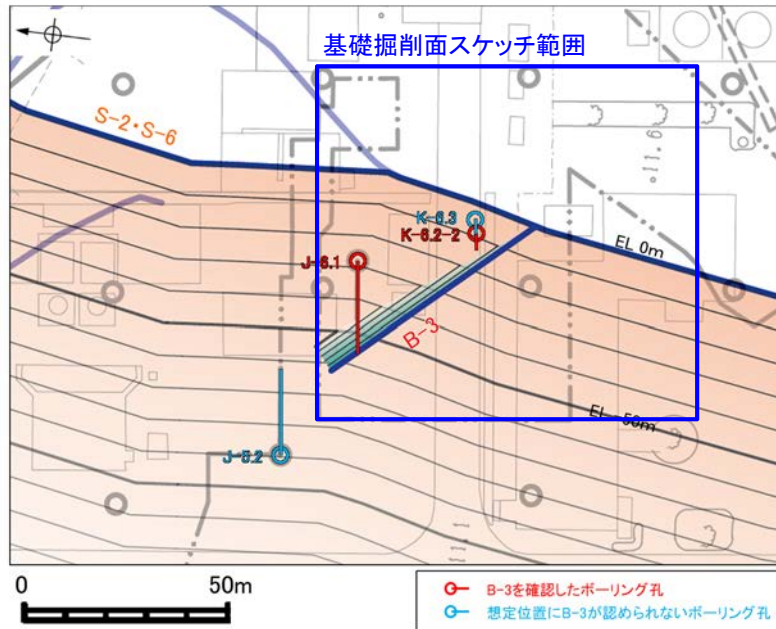
S-2・S-6とB-3の水平方向・深度方向のデータ

○B-3は、水平方向・深度方向にS-2・S-6を越えて連続しない。

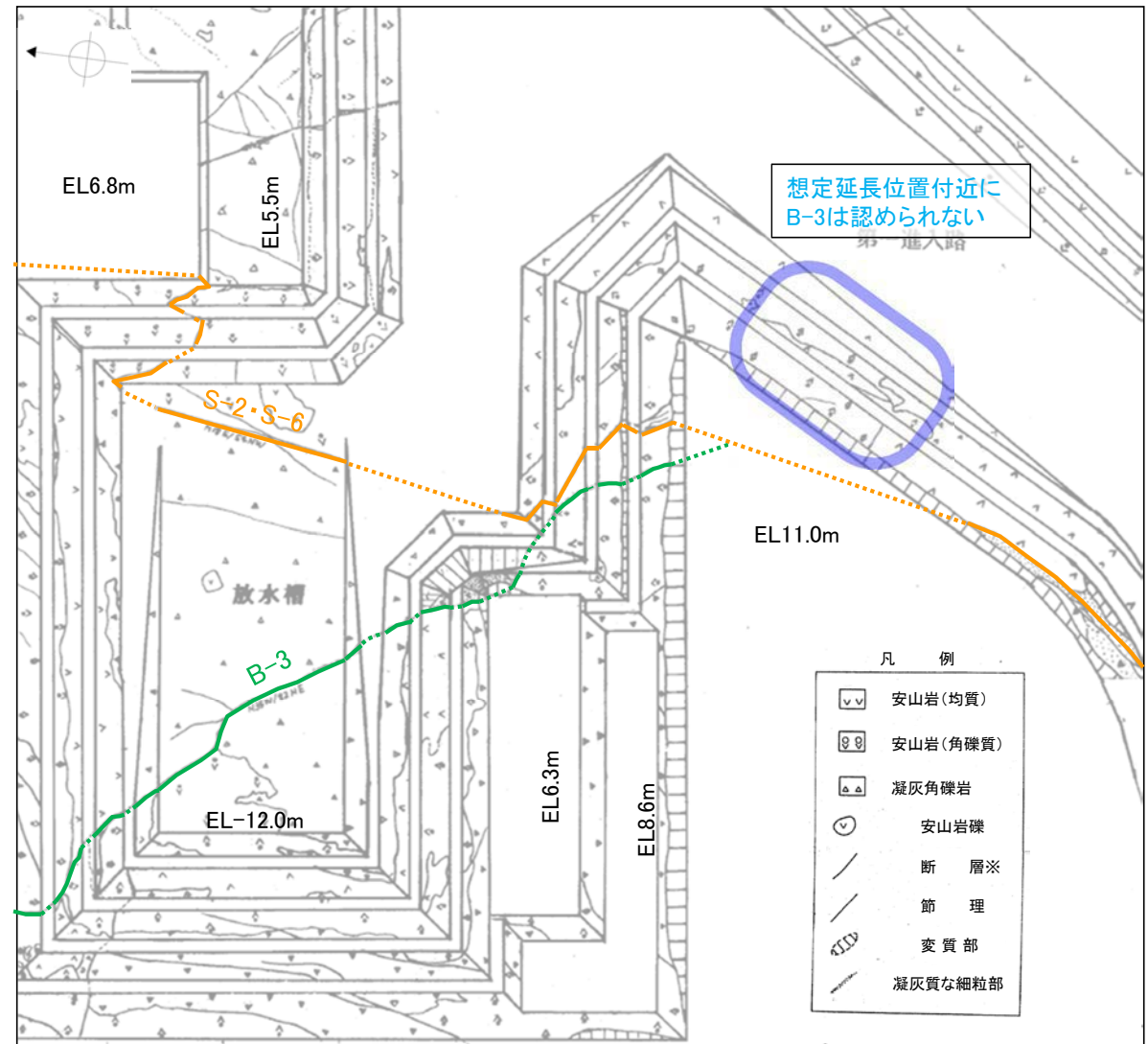


S-2・S-6とB-3の関係

○基礎掘削面において、B-3は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない。

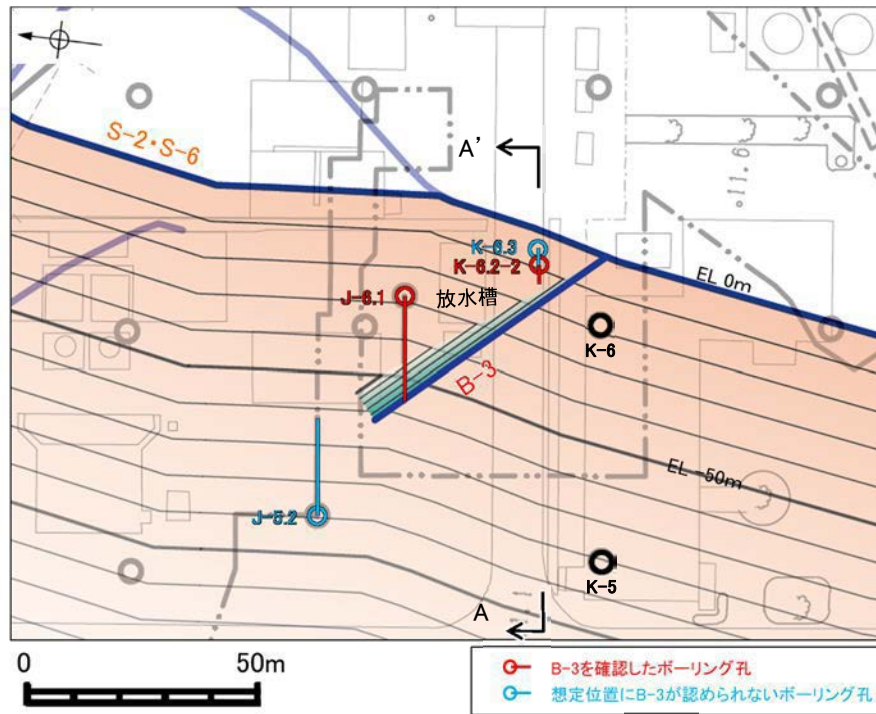


位置図



基礎掘削面スケッチ

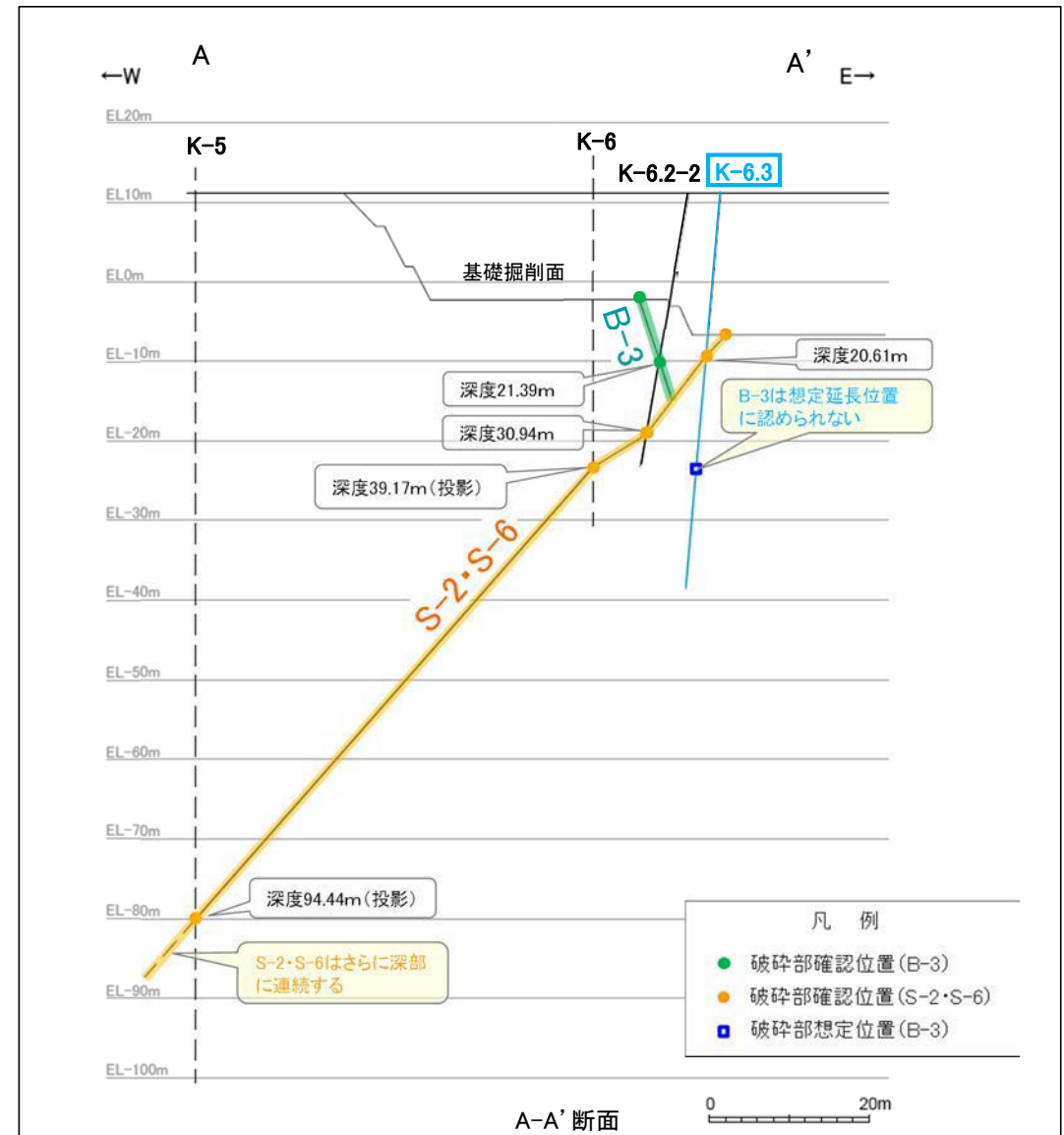
○ボーリング断面において、B-3は、S-2・S-6を越えて連続しない。



位置図

断面位置

- ・B-3は、K-6.3孔において、想定延長位置付近に認められない。
- ・北西傾斜であるS-2・S-6と北東傾斜であるB-3は、深部で会合する関係にあり、B-3は、S-2・S-6を越えて連続しない。

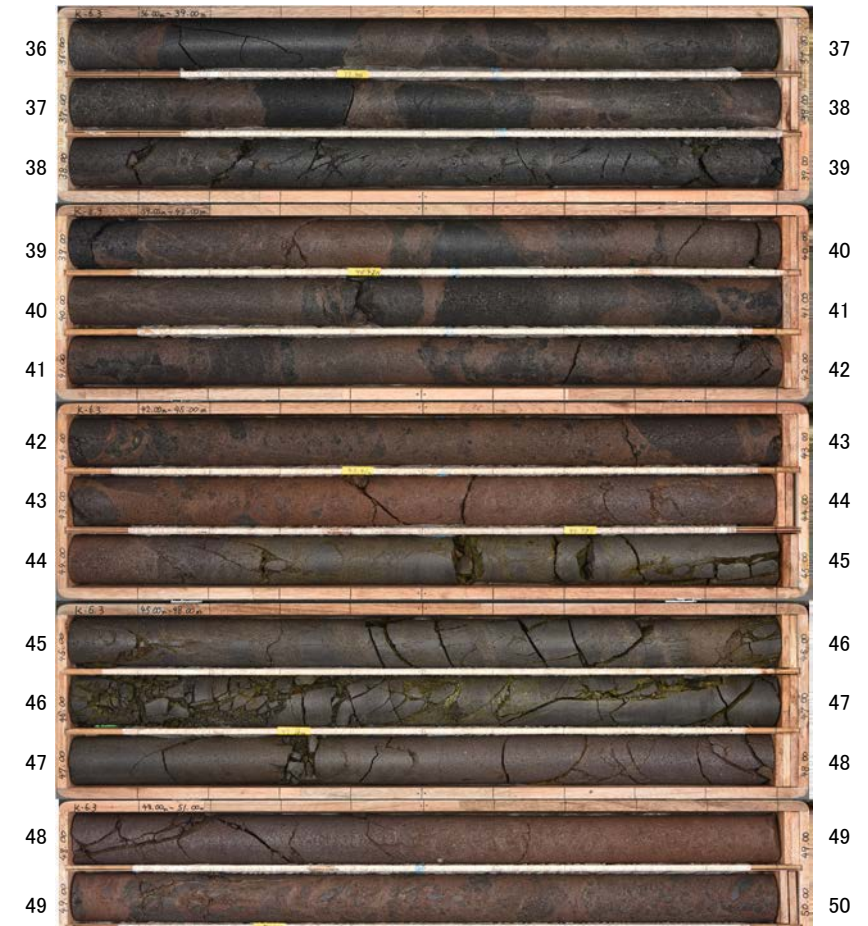
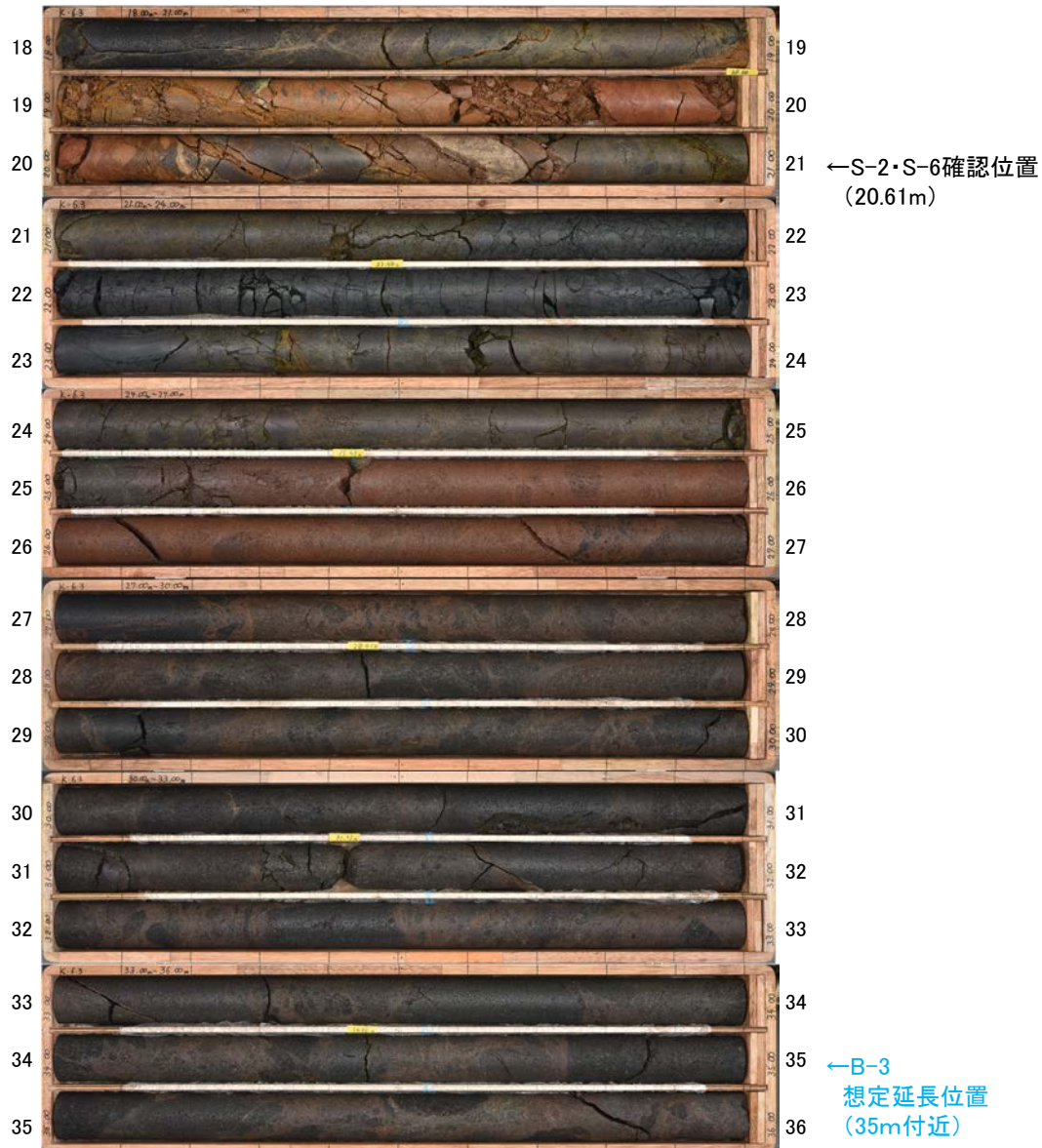


この図の断面線は、周辺ボーリングでの出現位置を基に直線的に描いている。
K-5, K-6孔は投影位置。

ボーリング(K-6.3孔) B-3想定延長位置付近のコア写真

柱状図はデータ集10 P.10-11-6～7

K-6.3孔(孔口標高11.05m, 掘進長50.00m, 傾斜85°)



←B-3
想定延長位置
(35m付近)

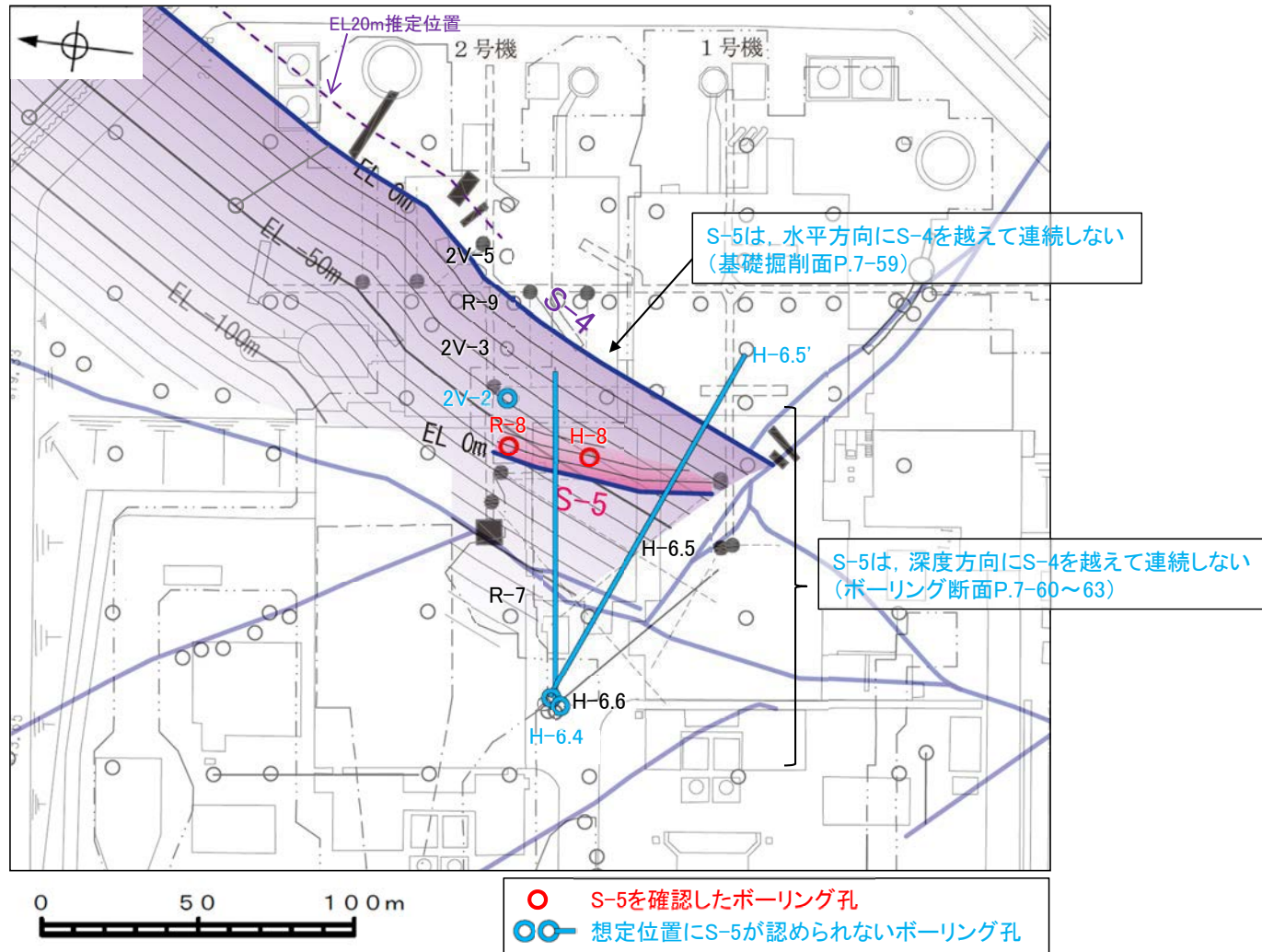
K-6.3孔において、想定延長位置付近にB-3は認められない。

コア写真(深度18～50m)

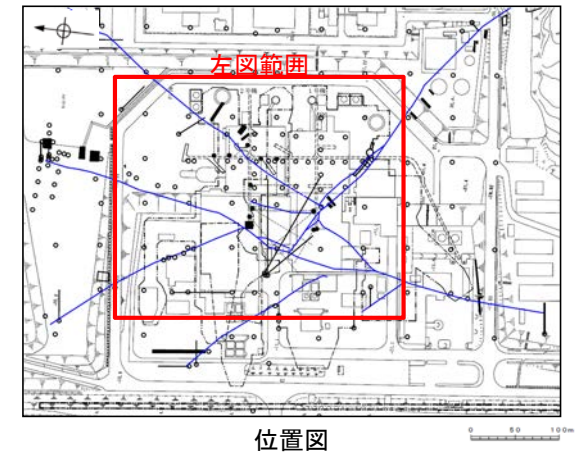
(11) S-4とS-5の水平方向・深度方向のデータ

S-4とS-5の水平方向・深度方向のデータ

○S-5は、水平方向・深度方向にS-4を越えて連続しない。

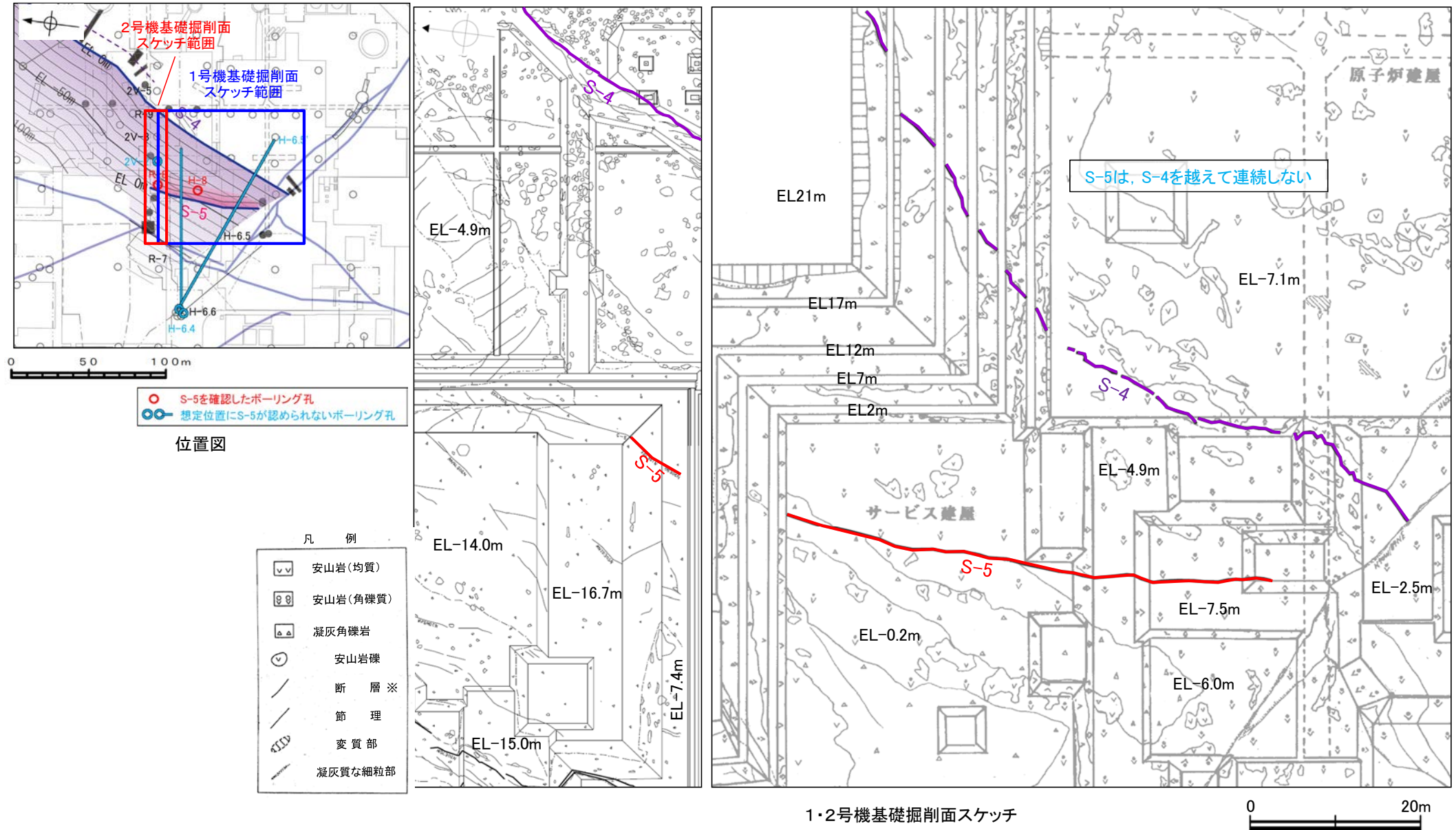


S-4とS-5の関係



○基礎掘削面において、S-5は、水平方向にS-4を越えて連続しない。

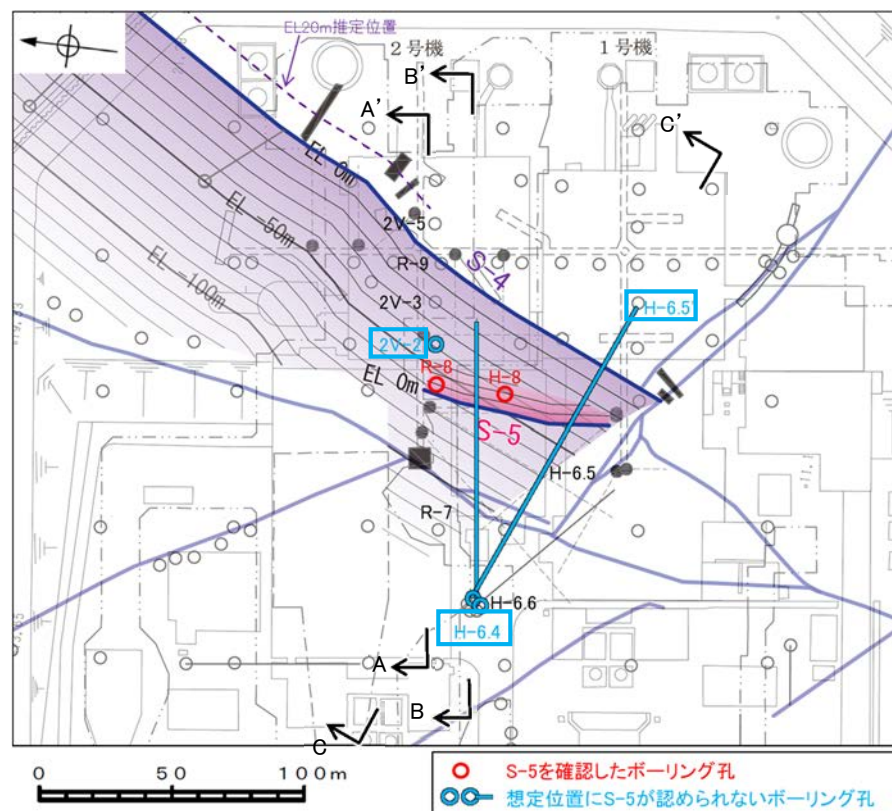
※S-5は赤、S-4は紫に着色



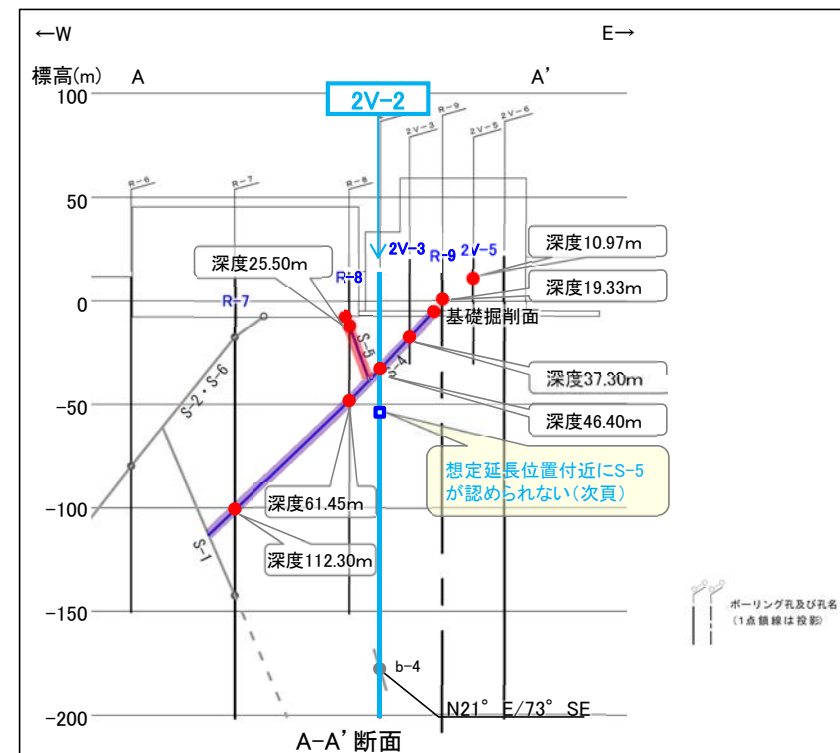
○ボーリング断面において、S-5は、S-4を越えて連続しない。

この図の断層線は、周辺ボーリングでの出現位置を基に直線的に描いている。

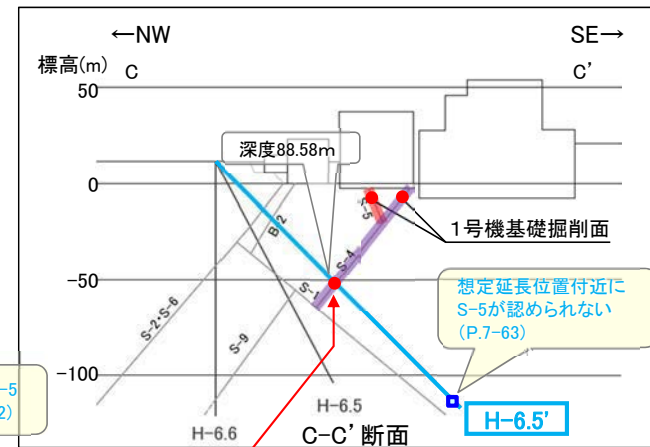
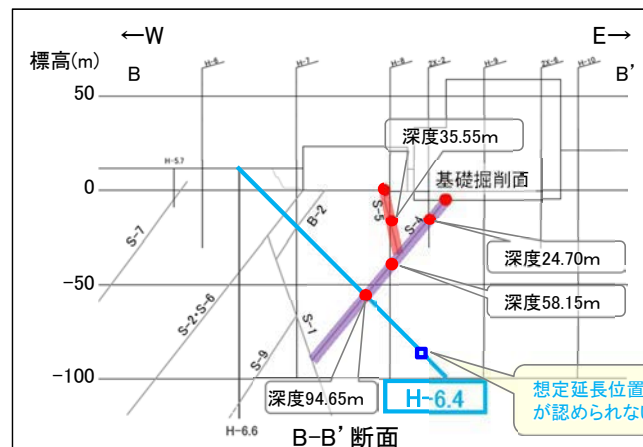
- 破砕部確認位置(S-4, S-5)
- 破砕部想定位置(S-5)



位置図



- ・S-5は2V-2孔、H-6.4孔及びH-6.5'孔において想定延長位置付近に認められない。
- ・北西傾斜であるS-4と南東傾斜であるS-5は、深部で会合する関係にあり、S-5は、S-4を越えて連続しない。



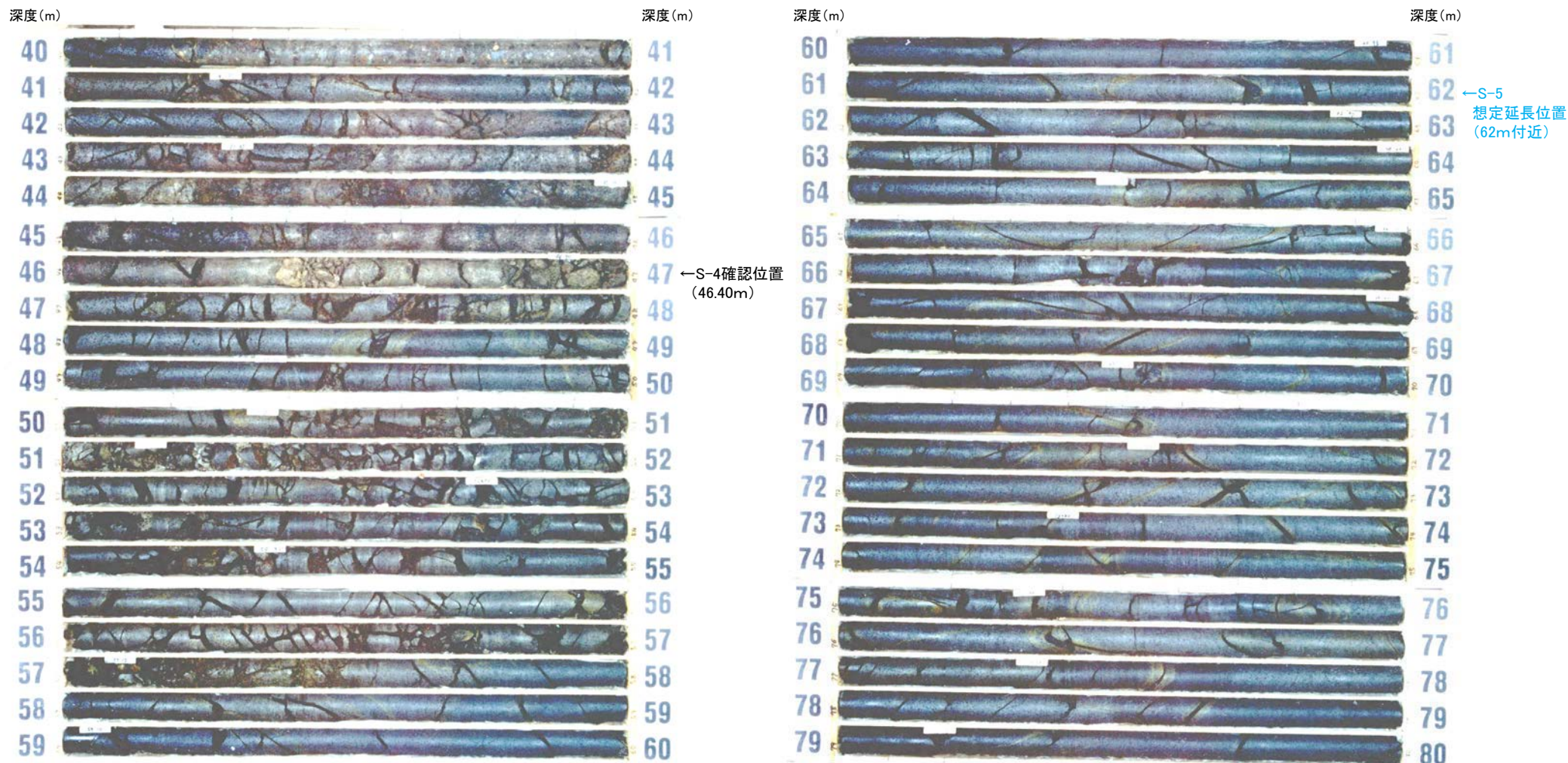
S-4を延長(第627回審査会合以降にH-6.5'孔のコア再観察により変更)

ボーリング(2V-2孔) S-5想定延長位置付近のコア写真

柱状図はデータ集10 P.10-5-13~18

この写真は、層相の判断を行うため、明度を調整

2V-2孔(孔口標高13.28m, 掘進長214.50m, 鉛直)

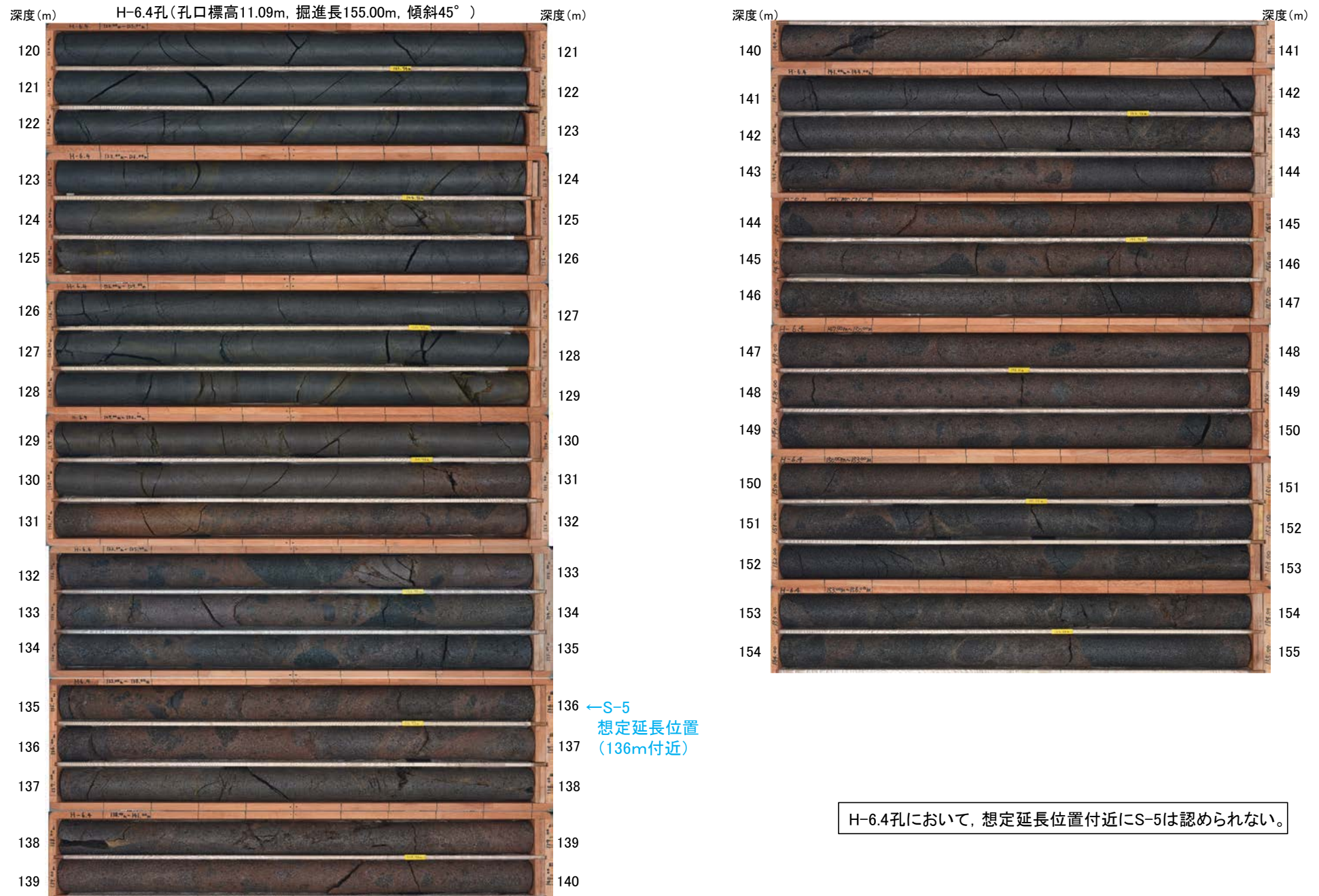


コア写真(深度40~80m)

2V-2孔において、想定延長位置付近にS-5は認められない。

ボーリング(H-6.4孔) S-5想定延長位置付近のコア写真

柱状図はデータ集10 P.10-3-9～12



コア写真(深度120～155m)

ボーリング(H-6.5'孔) S-5想定延長位置付近のコア写真

柱状図はデータ集10 P.10-3-17～21

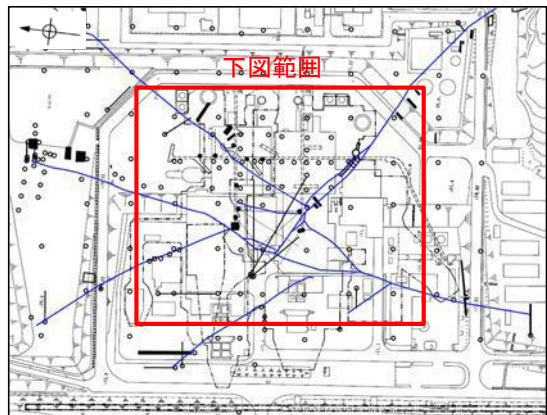
H-6.5' 孔(孔口標高11.02m, 掘進長180.00m, 傾斜45°)



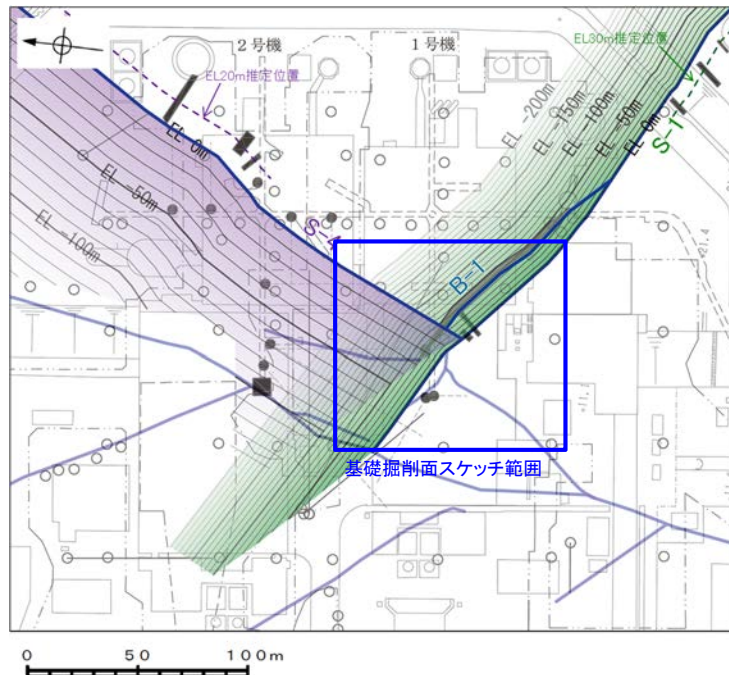
H-6.5' 孔において, 想定延長位置付近にS-5は認められない。

(12) S-4とB-1の水平方向のデータ

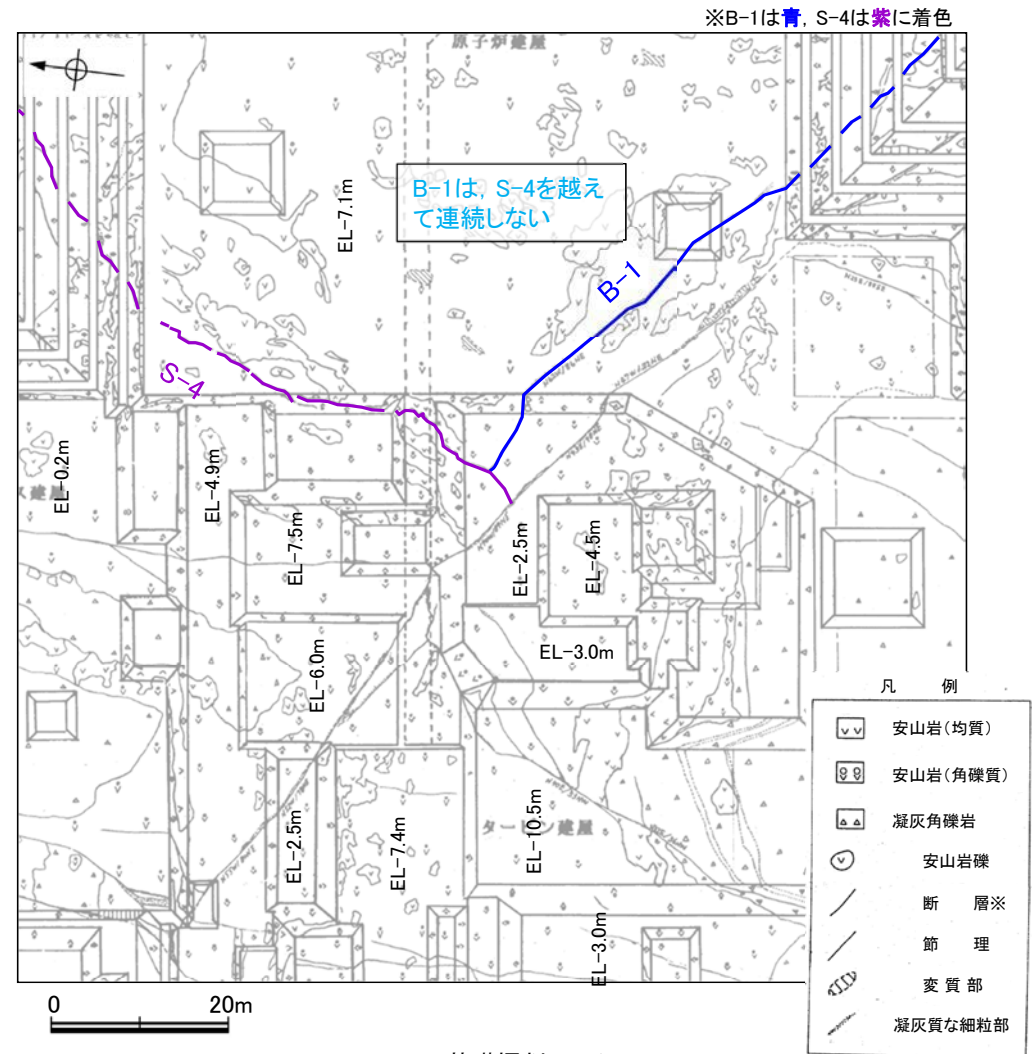
○基礎掘削面において、B-1は、水平方向にS-4を越えて連続しない。



位置図



位置図



基礎掘削面スケッチ